

**2016年（平成28年）
投資信託に関するアンケート調査
（NISA、iDeCo等制度に関する調査）**

報 告 書

2017年3月



一般社団法人
投資信託協会

＜目 次＞

ページ

1. 調査計画の概要	4
2. 調査結果の要約	8
3. 回答者のプロフィール	24
(1)性別、年代〔Q1〕〔Q2〕	25
(2)職業〔Q3〕	27
(3)20歳未満の親族の有無〔Q4①②〕	28
(4)世帯年収、個人年収〔Q5①②〕	30
(5)保有経験のある金融資産〔Q6①〕	32
(6)現在保有している金融資産〔Q6②〕	33
(7)投資信託/ETF/J-REITの保有期間(各商品の現在保有者)〔Q7①②③〕	34
4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向	37
(1)ETFの認知状況〔Q8①②〕	38
(2)ETFの特徴認知(ETF認知者)〔Q9①〕	39
(3)ETFの魅力点、最魅力点〔Q9②③〕	40
(4)ETFの不満点、最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)〔Q10①②〕	42
(5)ETF今後の購入・継続保有意向〔Q11〕	44
(6)J-REITの認知状況〔Q8②〕	45
(7)J-REITの特徴認知(J-REIT認知者)〔Q12①〕	46
(8)J-REITの魅力点、最魅力点〔Q12②③〕	47
(9)J-REITの不満点、最不満点(J-REIT内容認知者、保有経験者)〔Q13①②〕	49
(10)J-REIT今後の購入・継続保有意向〔Q14〕	51

目次

5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向	52
(1)NISAの認知〔Q15①〕	53
(2)NISAの利用状況（制度認知者）〔Q16①〕	54
(3)NISAでの保有金融商品(現在金融商品保有者)〔Q17①〕	55
(4)NISAでの積立投資実施状況、口座開設金融機関 （NISAでの現在金融商品保有者）〔Q18/Q19①〕	56
(5)NISA口座開設・金融商品未購入理由 （NISA口座開設・金融商品未購入層）〔Q20①〕	57
(6)NISA口座未開設理由(認知・口座未開設層)〔Q20①〕	58
(7)NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ （NISA口座開設・金融商品未購入層）〔Q21①〕	59
(8)NISA口座開設検討のきっかけ(認知・口座未開設層)〔Q21①〕	60
(9)NISAの今後の利用意向〔Q22①〕	61
(10)NISAでの投資方法意向、月次積立投資希望額(今後利用意向者) 〔Q23①/Q24①〕* 月次積立投資希望額は、各制度での毎月定額積立投資意向者ベース	62
6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向 *20歳未満の親族がいる者ベース	63
(1)ジュニアNISAの認知〔Q15②〕	64
(2)ジュニアNISAの利用状況（制度認知者）〔Q16②〕	65
(3)ジュニアNISAでの保有金融商品(現在金融商品保有者)〔Q17②〕	66
(4)ジュニアNISAでの積立投資実施状況、口座開設金融機関 （ジュニアNISAでの現在金融商品保有者）〔Q18/Q19②〕	67
(5)ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由 （ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層）〔Q20②〕	68
(6)ジュニアNISA口座未開設理由(認知・口座未開設層)〔Q20②〕	69
(7)ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ （ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層）〔Q21②〕	70
(8)ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ(認知・口座未開設層)〔Q21②〕	71
(9)ジュニアNISAの今後の利用意向〔Q22②〕	72
(10)ジュニアNISAでの投資方法意向、月次積立投資希望額(今後利用意向者) 〔Q23②/Q24②〕* 月次積立投資希望額は、各制度での毎月定額積立投資意向者ベース	73

<目 次>

7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向 74

* (1)以外は60歳未満の者ベース

(1)企業型確定拠出年金の認知〔Q15③〕	75
(2)企業型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q16③〕	76
(3)企業型確定拠出年金での保有金融商品(現在金融商品保有者)〔Q17③〕	77
(4)企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況 (企業型確定拠出年金加入層)〔Q30〕	78

8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向 79

* (1)(4)以外は60歳未満の者ベース

(1)個人型確定拠出年金の認知〔Q15④〕	80
(2)個人型確定拠出年金の利用状況(制度認知者)〔Q16④〕	81
(3)個人型確定拠出年金での保有金融商品(現在金融商品保有者)〔Q17④〕	82
(4)個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)〔Q27①〕	83
(5)個人型確定拠出年金の特徴認知(60歳未満の制度認知者)〔Q27①〕	84
(6)個人型確定拠出年金の魅力点、最魅力点〔Q27②③〕	85
(7)個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由及び 口座未開設理由〔Q25〕	87
(8)個人型確定拠出年金での投資性商品購入及び口座開設検討のきっかけ〔Q26〕	88
(9)個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向〔Q28〕	89
(10)個人型確定拠出年金の利用対象者拡大に関する認知と興味度 (制度認知者)〔Q29〕	90

9. その他項目 91

(1)NISA制度/ジュニアNISA制度/企業型確定拠出年金/個人型確定拠出年金 で投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①②③④〕	92
* ジュニアNISAは20歳未満の親族がいる者ベース	
* 企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満ベース	

* 末尾添付資料 : 調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、『ETF、J-REIT』の認知・保有状況、魅力度、不満点、購入意向などを把握すると同時に、『NISA、ジュニアNISA、企業型／個人型確定拠出年金(iDeCo)』制度の認知・利用状況、口座での金融商品未購入理由や口座未開設理由、利用意向などを確認し、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																						
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：インターネットモニター） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																																																																																						
調査対象	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）の20～79歳の男女																																																																																						
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <p>* 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成27年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。</p> <p>* 職業条件による除外は実施していない。</p> <p><性・年代・エリアごとの回収数詳細></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>首都圏</td> <td>431</td> <td>556</td> <td>634</td> <td>458</td> <td>479</td> <td>361</td> <td>2919</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>201</td> <td>241</td> <td>290</td> <td>220</td> <td>259</td> <td>200</td> <td>1411</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>774</td> <td>954</td> <td>1051</td> <td>940</td> <td>1101</td> <td>767</td> <td>5587</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性計</td> <td>1406</td> <td>1751</td> <td>1975</td> <td>1618</td> <td>1839</td> <td>1328</td> <td>9917</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>首都圏</td> <td>406</td> <td>521</td> <td>592</td> <td>431</td> <td>493</td> <td>418</td> <td>2861</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>200</td> <td>246</td> <td>295</td> <td>227</td> <td>281</td> <td>240</td> <td>1489</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>735</td> <td>921</td> <td>1036</td> <td>954</td> <td>1151</td> <td>936</td> <td>5733</td> </tr> <tr> <td colspan="2">女性計</td> <td>1341</td> <td>1688</td> <td>1923</td> <td>1612</td> <td>1925</td> <td>1594</td> <td>10083</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2747</td> <td>3439</td> <td>3898</td> <td>3230</td> <td>3764</td> <td>2922</td> <td>20000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。</p> <p>首都圏： 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5780サンプル 阪神圏： 大阪、京都、兵庫、奈良／計2900サンプル その他地域： 上記以外の都道府県／計11320サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	合計	男性	首都圏	431	556	634	458	479	361	2919	阪神圏	201	241	290	220	259	200	1411	その他地域	774	954	1051	940	1101	767	5587	男性計		1406	1751	1975	1618	1839	1328	9917	女性	首都圏	406	521	592	431	493	418	2861	阪神圏	200	246	295	227	281	240	1489	その他地域	735	921	1036	954	1151	936	5733	女性計		1341	1688	1923	1612	1925	1594	10083	TOTAL		2747	3439	3898	3230	3764	2922	20000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	合計																																																																															
男性	首都圏	431	556	634	458	479	361	2919																																																																															
	阪神圏	201	241	290	220	259	200	1411																																																																															
	その他地域	774	954	1051	940	1101	767	5587																																																																															
男性計		1406	1751	1975	1618	1839	1328	9917																																																																															
女性	首都圏	406	521	592	431	493	418	2861																																																																															
	阪神圏	200	246	295	227	281	240	1489																																																																															
	その他地域	735	921	1036	954	1151	936	5733																																																																															
女性計		1341	1688	1923	1612	1925	1594	10083																																																																															
TOTAL		2747	3439	3898	3230	3764	2922	20000																																																																															
調査時期	2016年11月24日（木）～12月6日（火）																																																																																						
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																						
調査実施機関	株式会社インテージ																																																																																						

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータを見る際は、あくまで参考値として捉える様に注意する必要がある。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
基本軸 1	性別	1 男性	Q1の調査結果から作成
		2 女性	
	年代別	1 20代	Q2の調査結果から作成
		2 30代	
		3 40代	
		4 50代	
		5 60代	
		6 70代	
	世帯年収別	1 100万円未満	Q5①の調査結果から作成
		2 ~300万円	
		3 ~500万円	
		4 ~1000万円	
5 ~1000万円以上			
職業別	1 自営/自由・農林漁業	Q3で「5.自由業」「6.農林漁業」「7.自営業」回答者	
	2 会社員、会社役員、派遣・契約社員など	Q3で「1.会社員・非営利団体職員」「2.会社役員・経営者」「3.派遣・契約社員」回答者	
	3 公務員・専業主婦/主夫	Q3で「4.公務員」「9.専業主婦/主夫」回答者	
基本軸 2	投資信託保有状況別(※1)(※2)	1 現在保有層	Q6②で「4.投資信託(ETF,REIT除く)」「6.ETF」「7.不動産投信(J-REIT)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「4」「6」「7」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q6①で「4」「6」「7」と回答しておらず、また「14.保有したものはなし」と回答していない者
		4 保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q6①で「4」「6」「7」と回答しておらず、「14」と回答している者
ETF分析軸	ETF認知別	1 商品内容認知層	Q8①で「1.名前も商品の内容も知っている」「2.名前は知っているが、商品の内容はよく分からない」回答者
	ETF保有状況別(※1)	1 現在保有層	Q6②で「6.ETF」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「6」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 認知・保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8①で「1-2」且つ Q6①で「6と14以外」の回答者
		4 認知・保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8①で「1-2」且つ Q6①で「14」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8①で「3.非認知」且つ Q6①で「6と14以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8①で「3」且つ Q6①で「14」回答者		
J-REIT分析軸	J-REIT認知別	1 商品内容認知層	Q8②で「1-2」回答者
	J-REIT保有状況別(※1)	1 現在保有層	Q6②で「7.不動産投信(J-REIT)」回答者
		2 保有経験層(現在非保有)	Q6①で「7」と回答し、Q6②で回答していない者
		3 認知・保有未経験層(金融資産保有経験有)	Q8②で「1-2」且つ Q6①で「7と14以外」の回答者
		4 認知・保有未経験層(金融資産保有経験無)	Q8②で「1-2」且つ Q6①で「14」回答者
		5 非認知層(金融資産保有経験有)	Q8②で「3.非認知」且つ Q6①で「7と14以外」の回答者
6 非認知層(金融資産保有経験無)	Q8②で「3.非認知」且つ Q6①で「14」回答者		

※1 Q6①②のどちらかで「15.わからない・答えたくない」との回答者は、金融資産の保有状況が不明の為、分類に含めず。

※2 国内の投資信託商品の保有状況で分類を実施しており、「外国で作られた投資信託」(Q6=5)は保有条件として加味していない。従って、「外国で作られた投資信託」の保有経験があっても、国内の投資信託(Q6=「4.投資信託」「6.ETF」「7.J-REIT」)の保有経験がなければ「保有未経験層」に分類される。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

分析軸		カテゴリー	備考
NISA 分析軸	NISA実施 状況別	1 現在口座開設層	Q16①で「1.口座開設して、現在も金融商品保有」 「2.口座開設したが、まだ金融商品未購入」回答者
		2 口座開設経験層 (現在非開設)	Q16①で「3.過去に口座開設し金融商品保有、 現在口座閉鎖」「4.過去に口座開設したが、 金融商品未購入で閉鎖」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q15①で「1.名前も制度の内容も知っている」 「2.名前は知っているが、制度の内容はよく分からない」 且つ Q16①で「5.今までに口座開設なし」回答者
		4 非認知層	Q15①で「3.知らない」回答者
	今後NISA 利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q22①で「1.利用したい、利用し続けたい」 「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」回答者
ジュニア NISA 分析軸 (*)	ジュニアNISA 実施状況別	1 現在口座開設層	Q16②で「1-2」回答者
		2 口座開設経験層 (現在非開設)	Q16②で「3-4」回答者
		3 認知・口座非開設層	Q15②で「1-2」且つ Q16②で「5」回答者
		4 非認知層	Q15②で「3」回答者
	今後ジュニアNISA 利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q22②で「1-2」回答者
企業型 確定 拠出 年金 分析軸 (*)	企業型確定拠出 年金実施状況別	1 口座開設層	Q16③で「1」回答者
		2 認知・口座非開設層	Q15③で「1-2」且つ Q16③で「5」回答者
		3 非認知層	Q15③で「3」回答者
個人型 確定 拠出 年金 分析軸 (*)	個人型確定拠出 年金認知別	1 商品内容認知層	Q15④で「1」回答者
	個人型確定拠出 年金実施状況別	1 口座開設層	Q16④で「1」回答者
		2 認知・口座非開設層	Q15④で「1-2」且つ Q16④で「5」回答者
		3 非認知層	Q15④で「3」回答者
今後個人型 確定拠出年金 利用意向有層	1 利用意向有層全体	Q28で「1.利用したい、利用し続けたい」 「2.やや利用したい、やや利用し続けたい」回答者	

* ジュニアNISA分析軸は「20歳未満の親族がいる者」に、企業型／個人型確定拠出年金分析軸は「60歳未満の者」に絞って作成。

○ NISA／ジュニアNISA／個人型確定拠出年金では、上記以外に「現在口座非開設・投資信託保有状況」「今後利用意向有・投資信託保有状況別」でも部分的に分析を実施。

2. 調査結果の要約



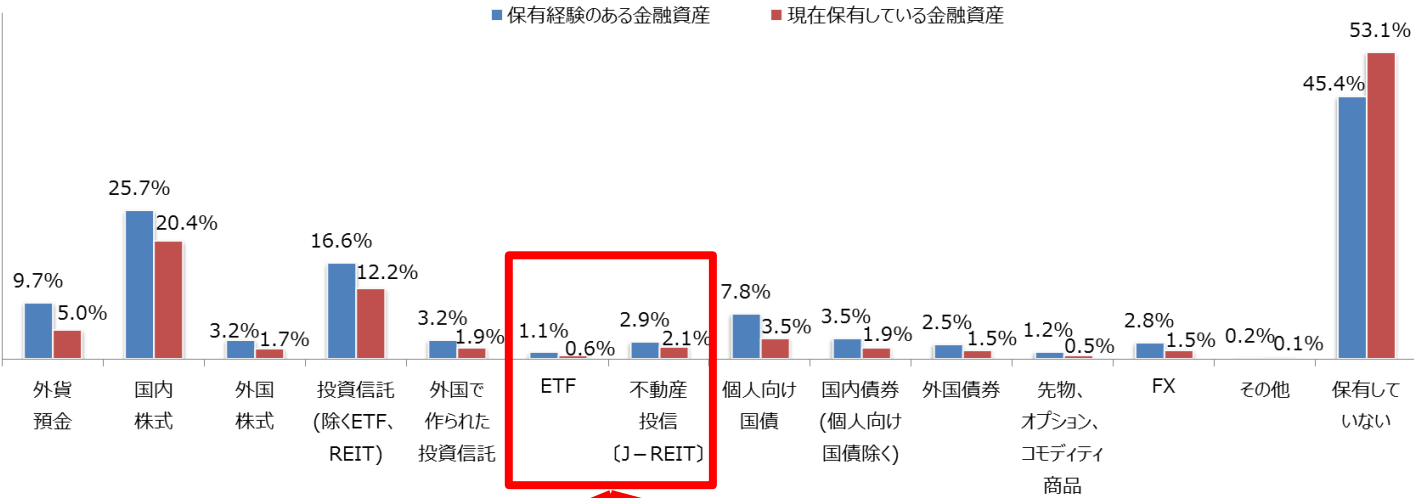
2. 調査結果の要約

ETF、J-REITの保有率

- **ETF、J-REITの保有経験率は1.1%、2.9%、現在保有率は0.6%、2.1%に留まる。**
ETFの保有率は年代間で大きな差はないが、J-REITは高齢層ほど保有経験率、現在保有率ともに高くなる。

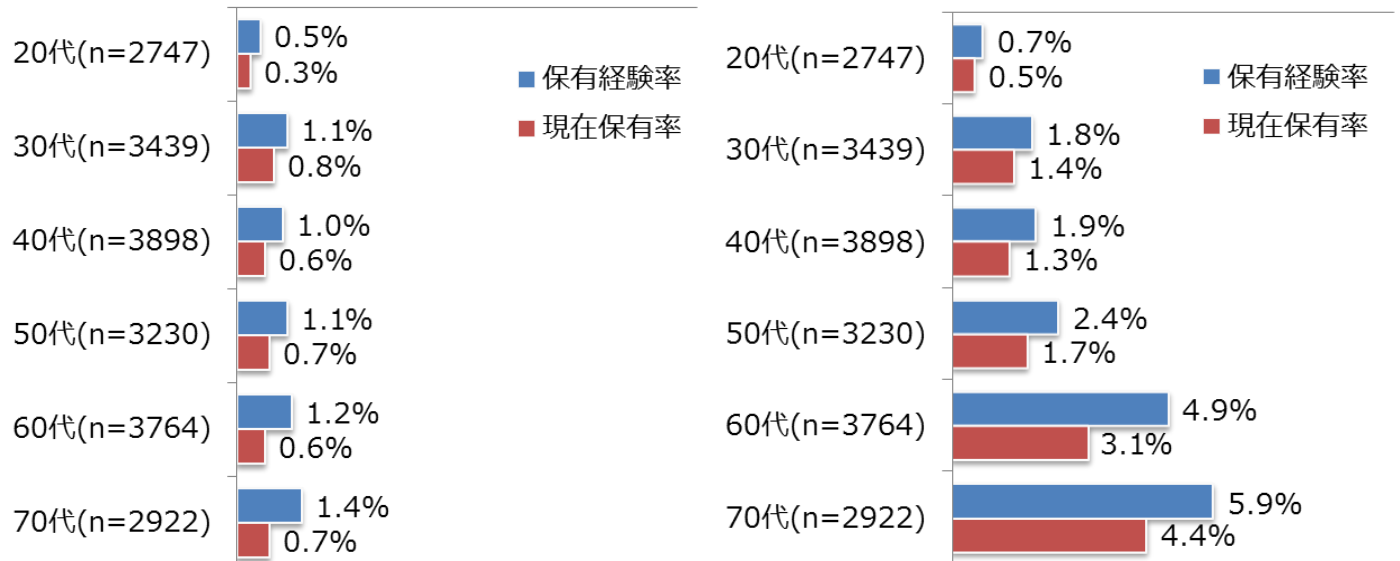
<保有経験のある金融資産／現在保有している金融資産>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.32,33)

* 「不明・回答拒否」を除いて掲載



<ETF 年代別保有経験／現在保有率> (P.32,P.33)

<J-REIT 年代別保有経験率／現在保有率> (P.32,P.33)

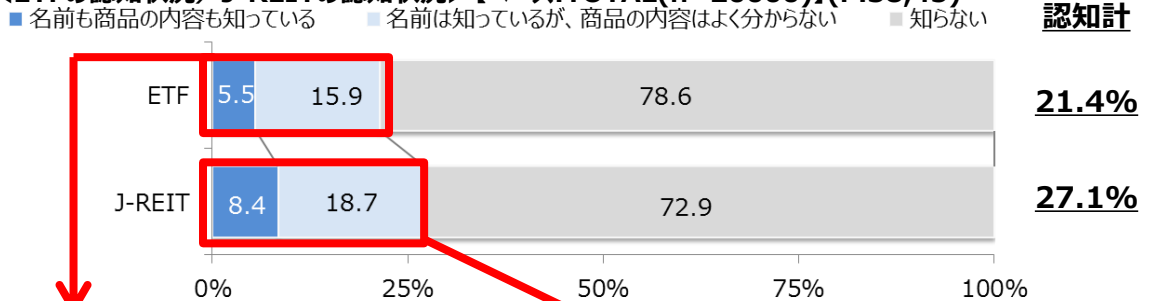


2. 調査結果の要約

ETF、J-REITの認知状況／特徴認知

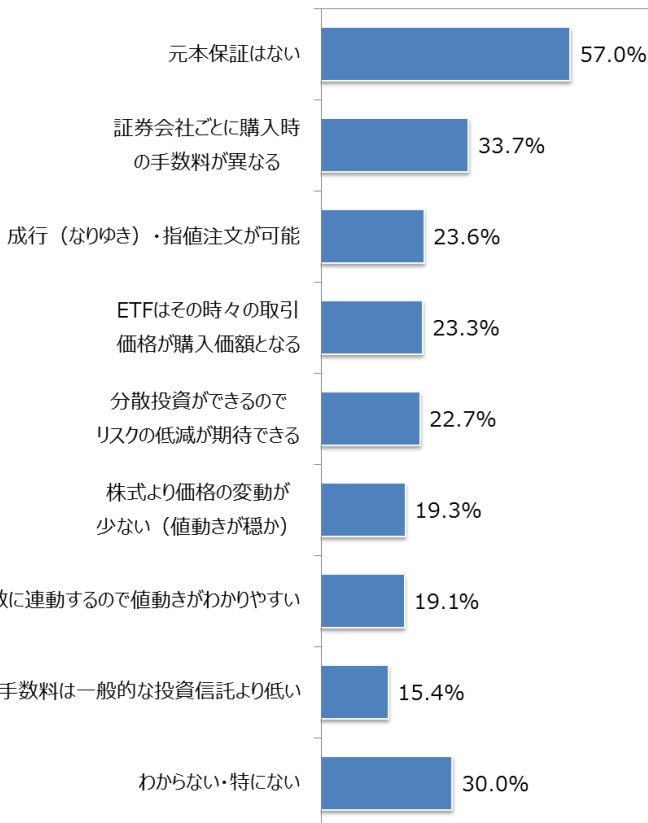
- **ETFの認知率(認知計)は21.4%、J-REITの認知率は27.1%と、J-REITの方がやや認知は高い。**
- **商品特徴では、両商品共に「元本保証がない」ことの認知が最も高く、ETFでは「証券会社ごとに購入時手数料が異なる」「成行・指値注文が可能」「その時々取引価格が購入価額」といった売買関連の特徴の認知が、J-REITでは「少額から不動産投資できる」「複数の不動産に分散投資できる」といった分散投資に関連する特徴の認知がそれぞれ高い。**

＜ETFの認知状況／J-REITの認知状況＞【ベース：TOTAL(n=20000)】(P.38,45)



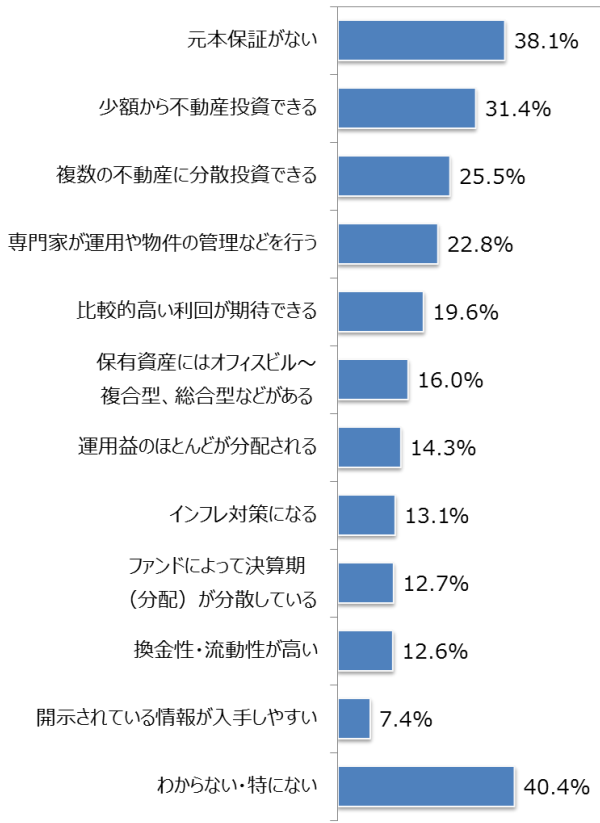
＜ETF特徴認知＞

【ベース：ETF認知者(n=4275)】(P.39)



＜J-REIT特徴認知＞

【ベース：J-REIT認知者(n=5425)】(P.46)



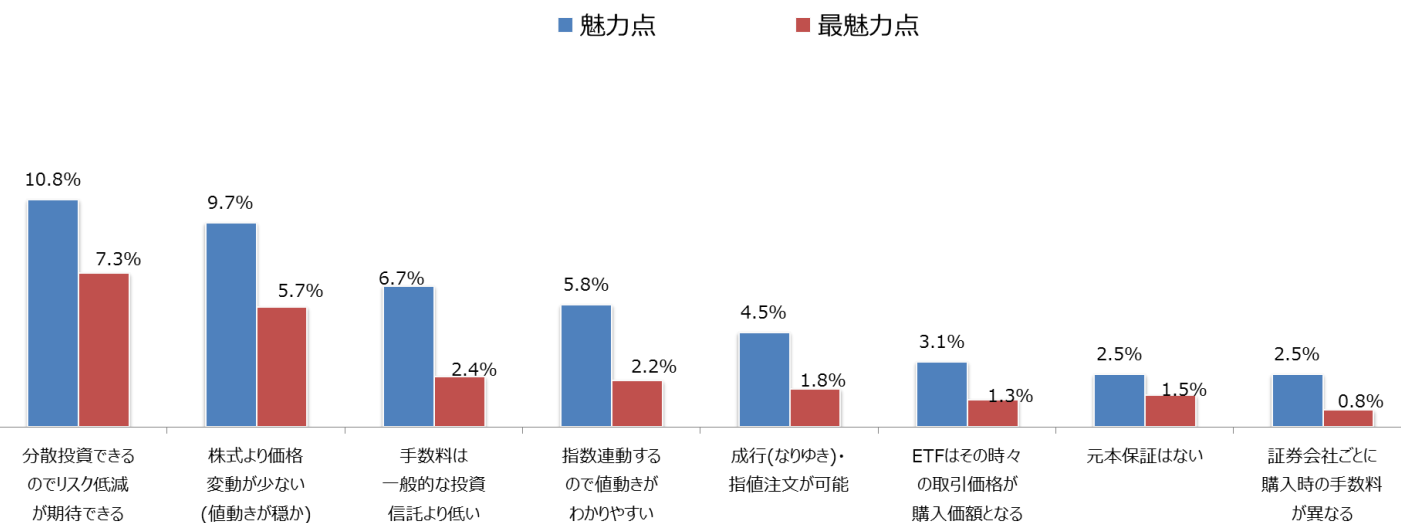
2. 調査結果の要約

ETFの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

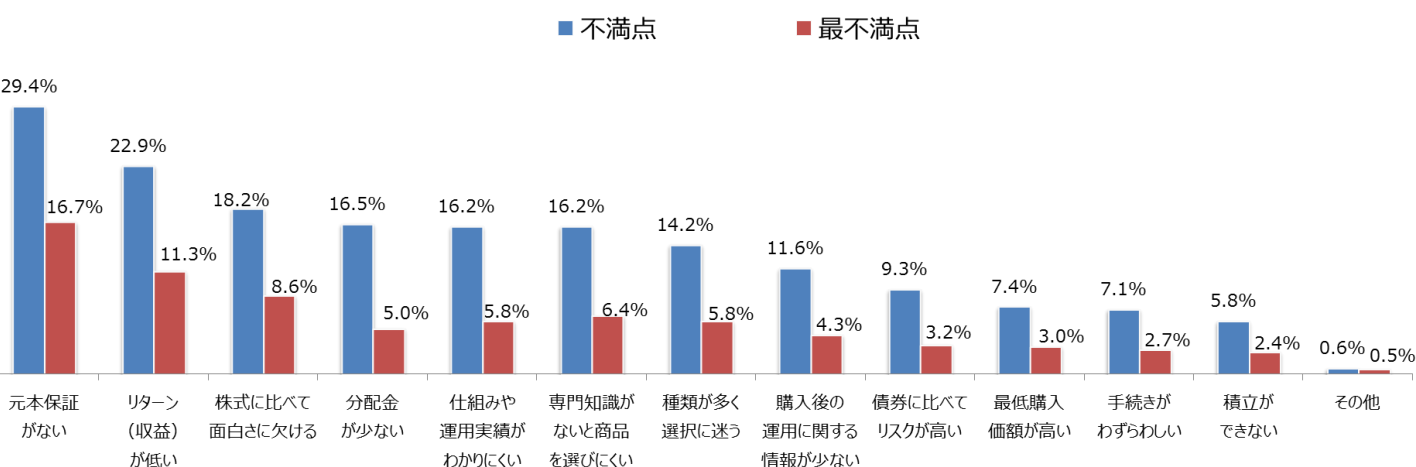
■ETFは、「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」ことや「株式より価格変動が少ない」ことに魅力を感じられる。その一方で「元本保証がないこと」「リターン(収益)の低さ」「株式に比べて面白さに欠けること」が不満となる模様。

・ETF現在保有層は、「手数料は一般的投信より低い」「指値連動するので値動きがわかりやすい」「分散投資できるのでリスク低減に期待できる」といった特徴に魅力を感じているが、「購入後の運用情報に関する情報の少なさ」や「積立投資できない」ことへの不満がやや強い。

<ETFの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.40,41)



<ETFの不満点、最不満点>【ベース:ETF保有経験者および内容認知者(n=1119)】(P.42,43)



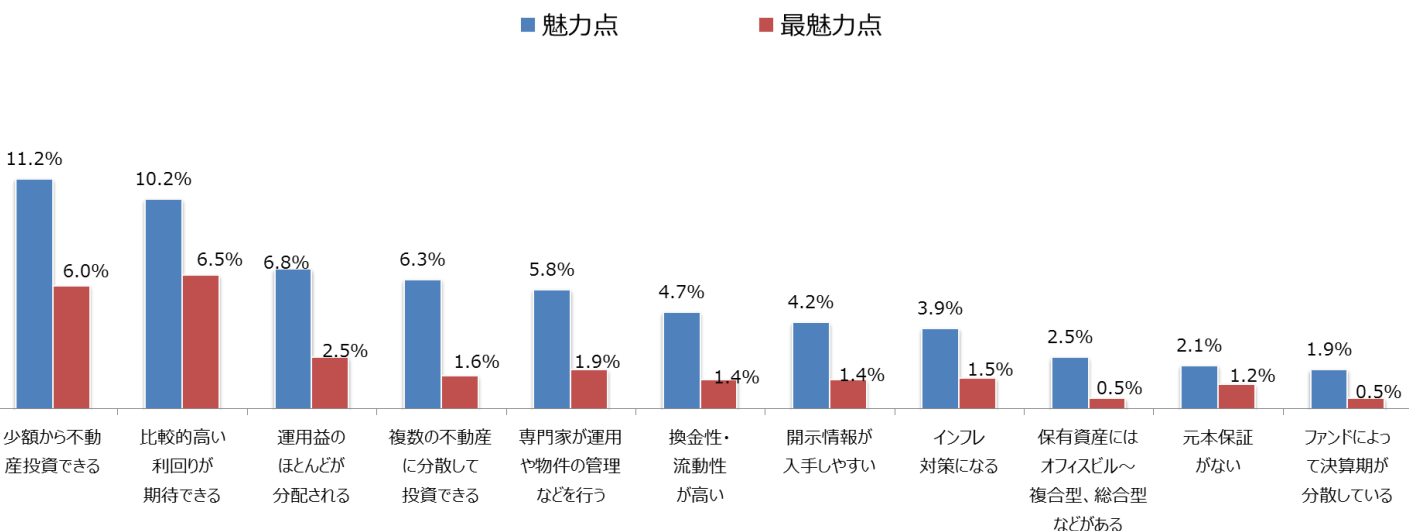
2. 調査結果の要約

J-REITの魅力点、最魅力点／不満点、最不満点

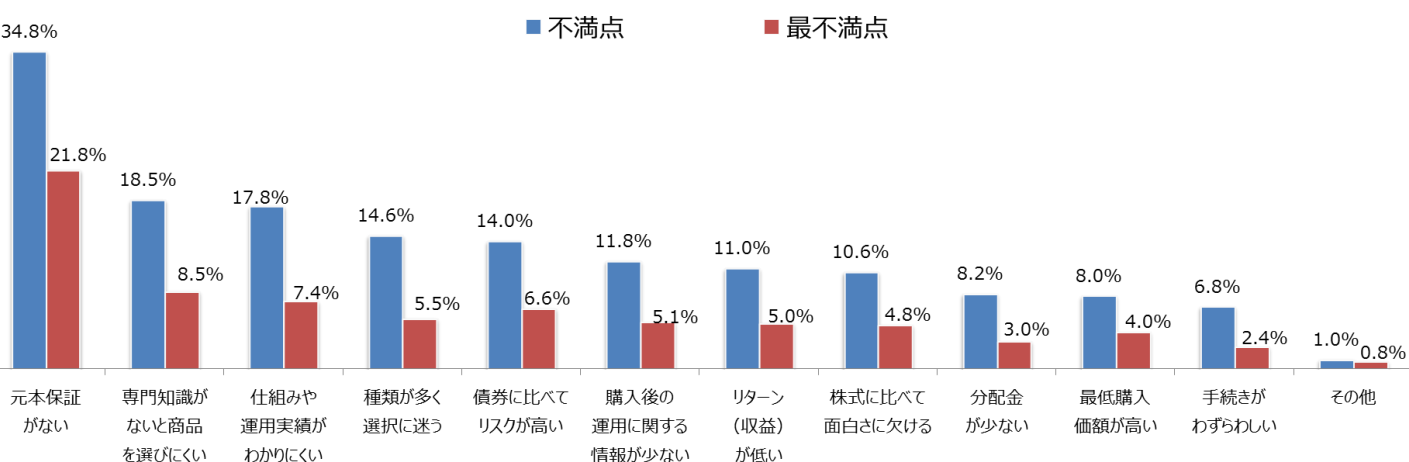
■ J-REITは、「少額から不動産投資できる」ことや「比較的高い利回り」に魅力を感じられる。その一方で「元本保証がない」ことや、「専門知識がないと商品を選びにくい」「仕組みや運用実績がわかりにくい」といった、商品内容の分かりにくさが不満となる模様。

・ J-REIT現在保有層では、「比較的高い利回りが期待できる」ことに魅力を感じている人が多い。

<J-REITの魅力点、最魅力点>【ベース:TOTAL(n=20000)】(P.47,48)



<J-REITの不満点、最不満点>【ベース:J-REIT保有経験者および内容認知者(n=1769)】(P.49,50)



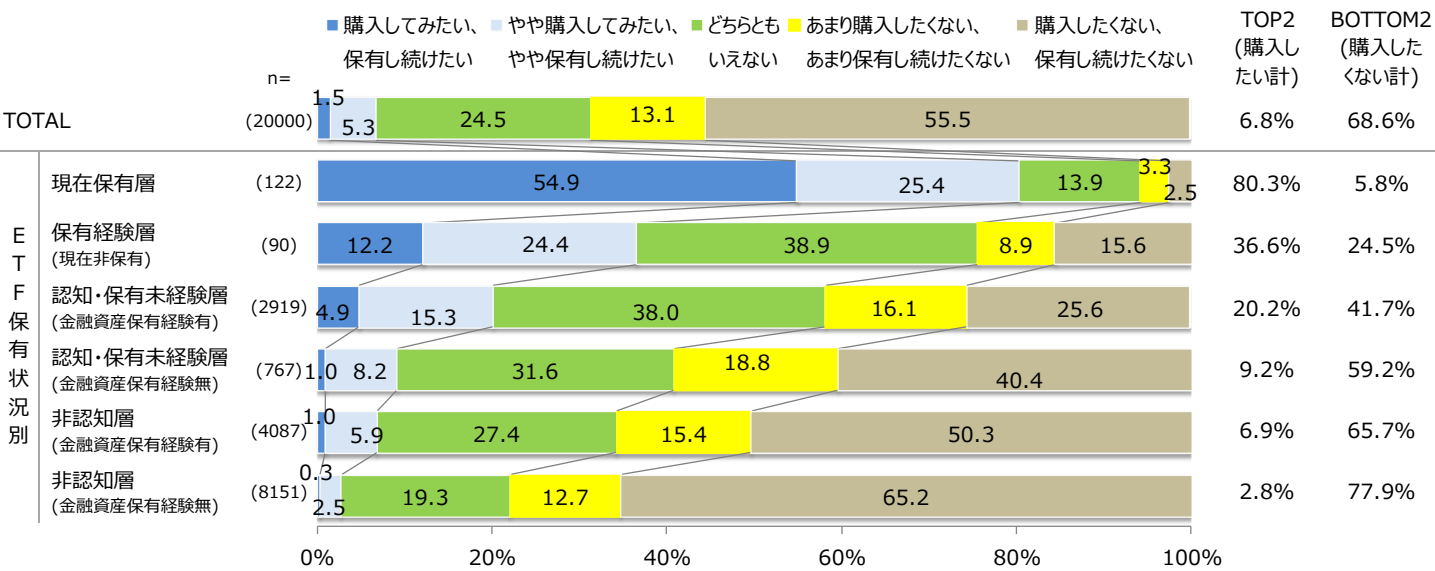
2. 調査結果の要約

ETF、J-REITの今後の購入・継続保有意向

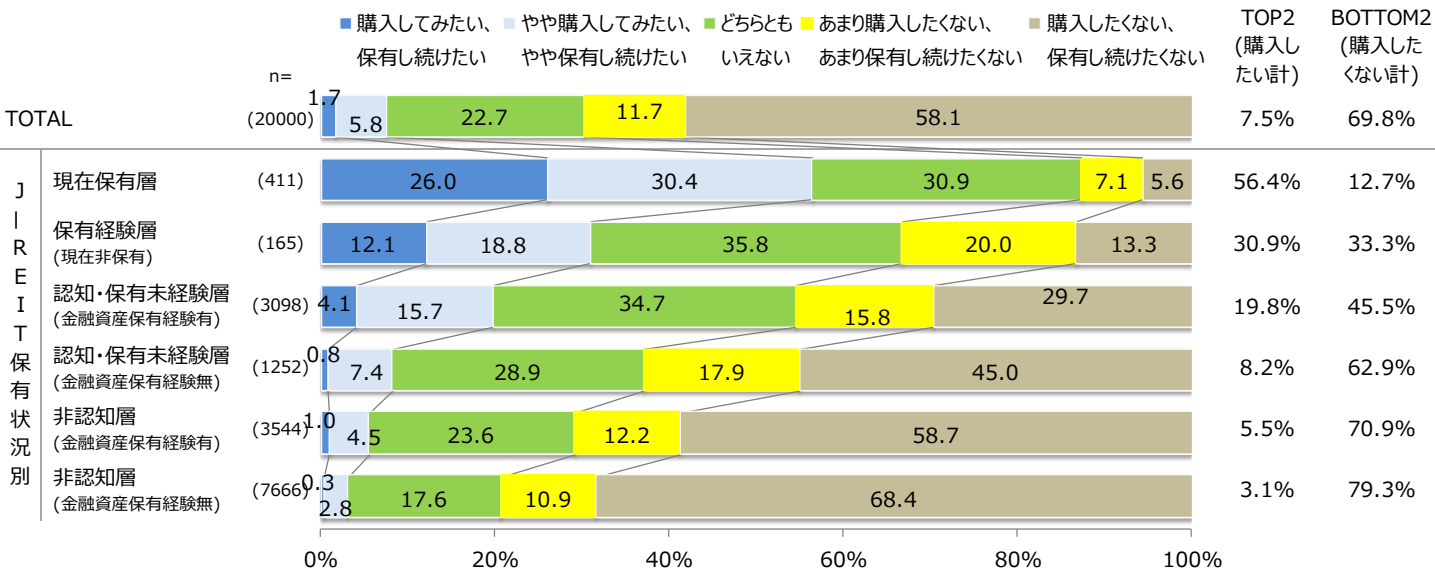
■ 全体では、ETF、J-REIT共に7%前後の購入意向(TOP2 ※)に留まる。
 但し各商品の現在保有層で見ると、ETFでは約80%と大半が、J-REITでは約56%と半数以上が継続での保有意向を示している。

※ TOP2=購入したい計（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）

<ETFの今後の購入・継続保有> (P.44)



<J-REITの今後の購入・継続保有> (P.51)



2. 調査結果の要約

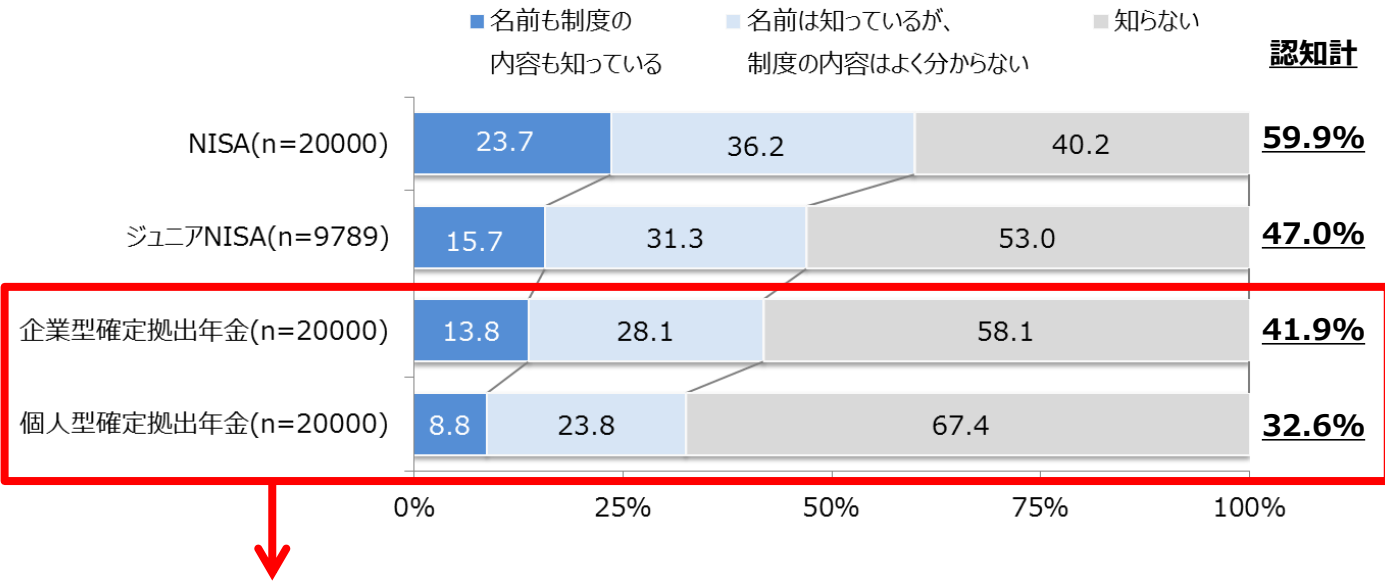
NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金(iDeCo)の認知状況

■ 4制度の中では、NISAの認知が59.9%で最も高く、個人型確定拠出年金の認知が32.6%で最も低くなる。制度内容の認知率をみると、最も高いNISAでも23.7%（認知者における40%程度）に留まり、まだまだ浸透の余地がうかがえる。

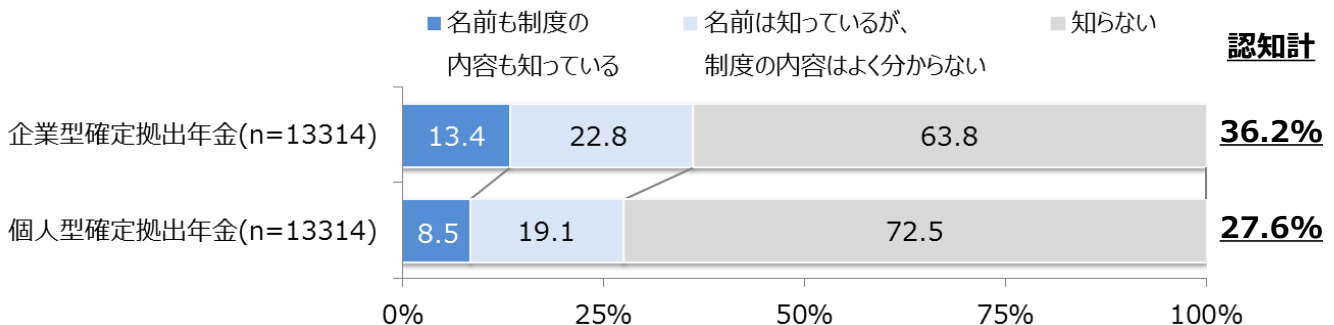
・どの制度も、高齢層ほど、また高年収層ほど認知率は高くなる。

<NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P.53,64,75,80)

* ジュニアNISA(n=9789)は20歳未満の親族有の者ベース



<60歳未満における、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の認知状況> (P.75,80)



2. 調査結果の要約

NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況／企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況

■各制度認知者で、口座開設し現在金融商品を保有しているのは、NISAでは21.8%、ジュニアNISAは1.7%、個人型確定拠出年金では9.3%にそれぞれ留まる。

* NISA口座開設者でみると、4人に1人が口座開設したものの金融商品を購入していない。

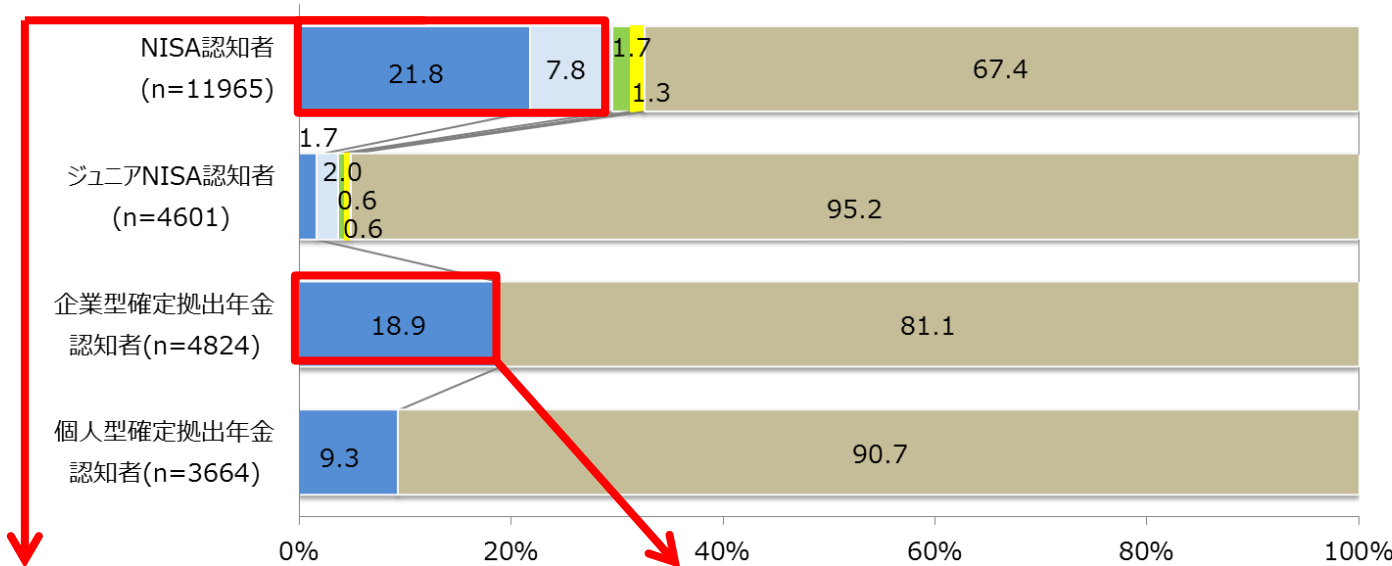
■また企業型確定拠出年金では、現在金融商品保有者の約40%がマッチング拠出を利用している。

・どの制度も、高年取層ほど、口座開設し金融商品を保有している割合が高くなる。

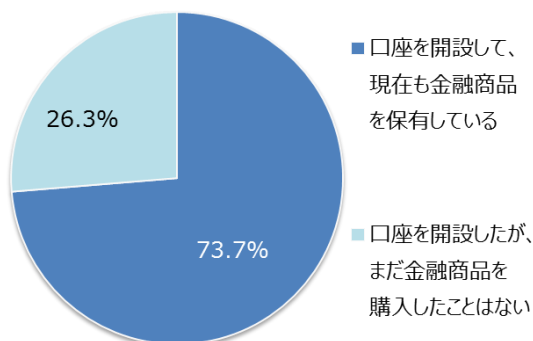
<NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金の利用状況>【ベース:各制度認知者】

(P.54,65,76,81) * ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型／個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース

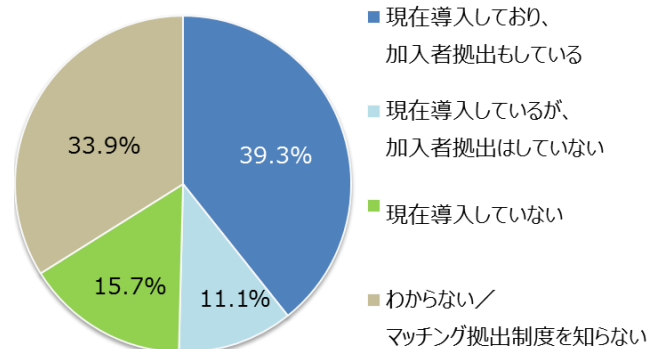
■ 口座を開設して、現在も金融商品を保有している
 ■ 口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない
 ■ 過去に口座を開設し金融商品を保有していたが、現在は口座を閉じている
 ■ 過去に口座を開設したが、金融商品を保有することなく口座を閉じた
 ■ 今までに口座を開設したことはない



<NISA口座開設者における、同制度での金融商品保有状況>【ベース:NISA口座現在開設者(n=3544)】(P.54)



<企業型確定拠出年金でのマッチング拠出利用状況>【ベース:60歳未満で同制度での金融商品保有者(n=911)】(P.78)



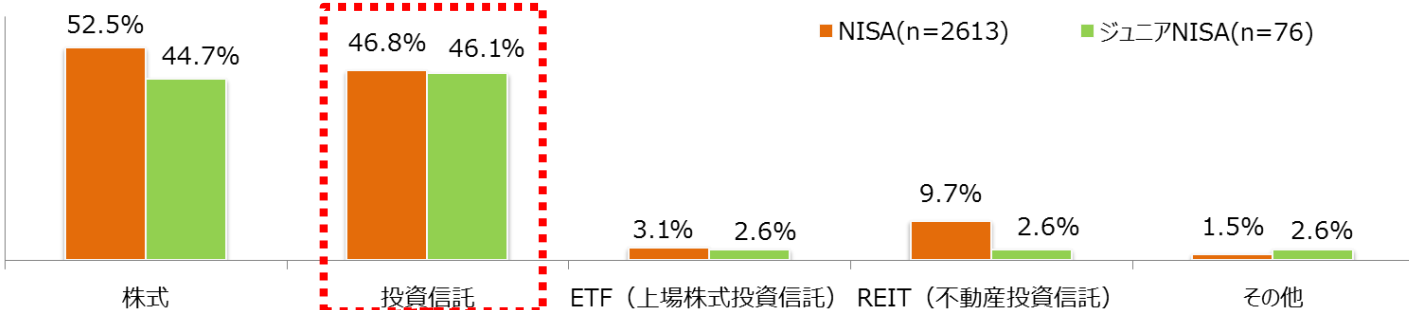
2. 調査結果の要約

NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金制度での保有金融商品

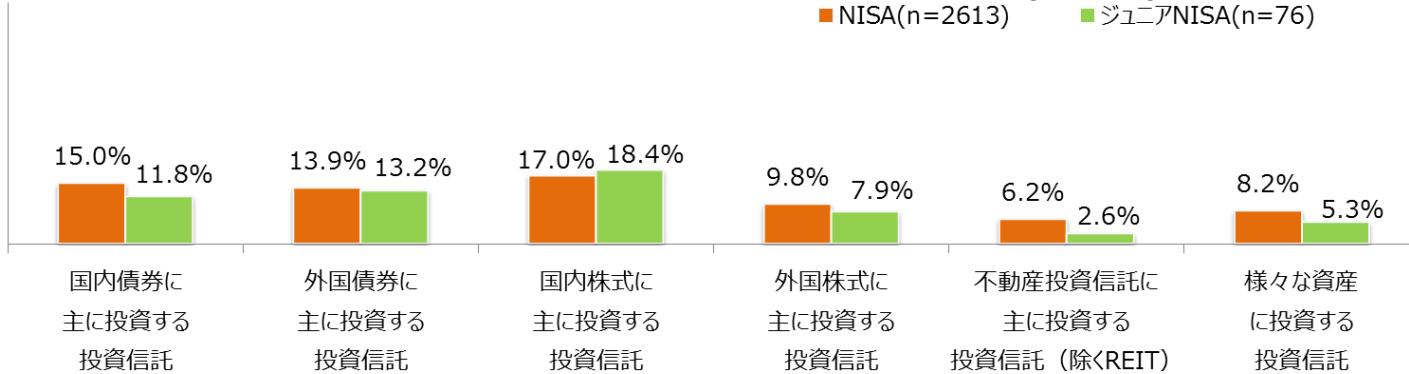
■ NISAでは「株式」に次いで「投資信託」の保有が多く、ジュニアNISAでは「投資信託」の保有が最も多い。投信の中では、両制度共に「国内株式に主に投資する投資信託」の保有が多い。またETF、REITの保有率は両制度共に10%未満。

■ 企業型確定拠出年金は「投資信託計」（「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合）が、個人型確定拠出年金は「定期預金」が最多。企業型は「国内株式／債券に主に投資する投資信託」が上位に続くのに対し、個人型は「保険商品」「国内債券に主に投資する投資信託」が上位に続き、より低リスク志向の運用となる様子。

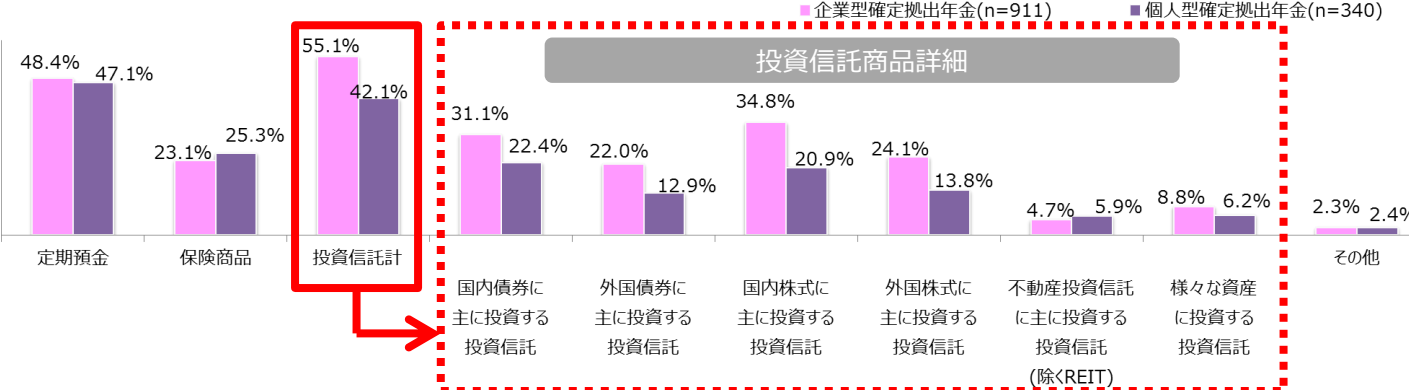
<NISA、ジュニアNISAでの保有金融商品>【ベース:各制度での金融商品保有者】(P.55,66) *「不明・回答拒否」除く



<NISA、ジュニアNISAでの保有投資信託商品詳細>【ベース:各制度での金融商品保有者】(P.55,66)



<企業型／個人型確定拠出年金での保有金融商品>【ベース:各制度での金融商品保有者】(P.77,82) *「不明・回答拒否」除く



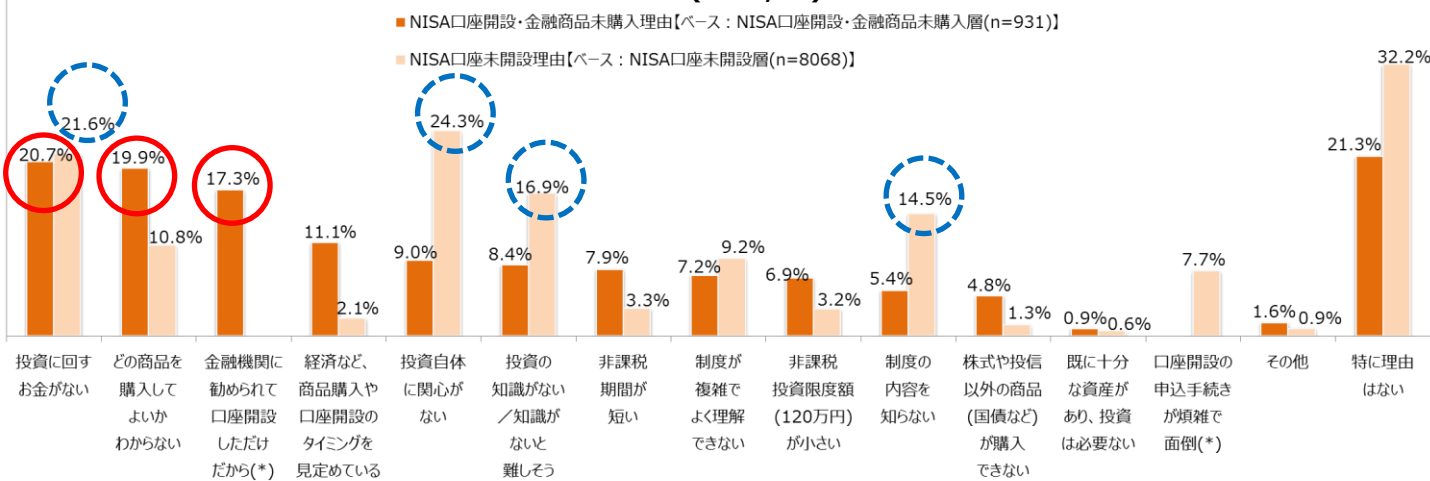
2. 調査結果の要約

NISA制度での口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／ NISA制度での金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ NISAでの金融商品未購入理由は、「投資に回すお金がない」「どの商品を購入してよいかわからない」「金融機関の勧めで口座開設しただけ」が多く、金融商品購入のきっかけでは「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」と知識向上が多くなる。

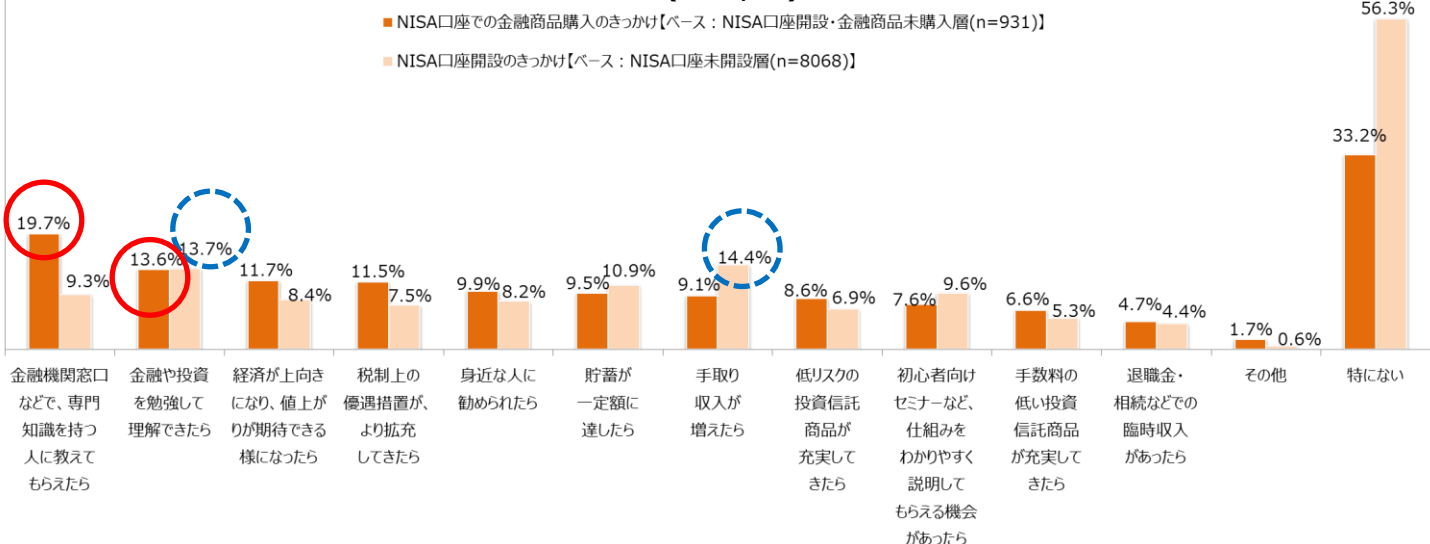
■ NISA口座未開設の理由では、「投資に関心がない」「投資に回すお金がない」「投資知識がない」「制度内容を知らない」と、投資への関心・知識のなさ、経済的余裕のなさが多い。また口座開設のきっかけでは「収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」といった自身の経済環境の変化と投資知識の向上が多くなる。

＜NISA制度での金融商品未購入理由、口座未開設理由＞ (P.57,58) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート



* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層／「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

＜NISA制度で金融商品購入、口座開設検討のきっかけ＞ (P.59,60) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入のきっかけで高い項目

○・・・口座未開設理由／口座開設のきっかけで高い項目

2. 調査結果の要約

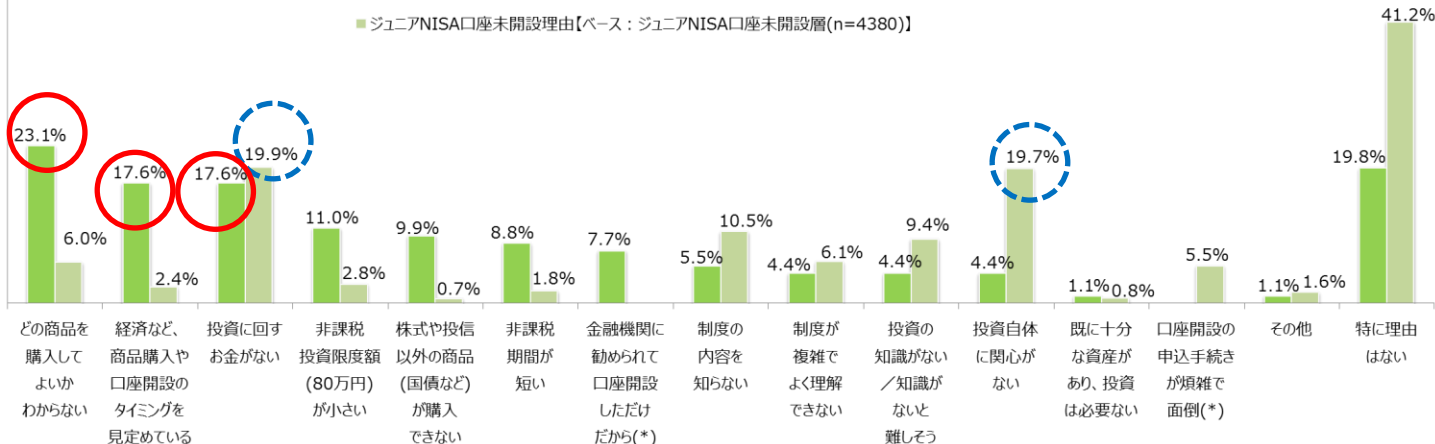
ジュニアNISA制度での口座開設・金融商品未購入理由、口座未開設理由／
ジュニアNISA制度での金融商品購入、口座開設検討のきっかけ

■ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」「タイミングを見定めている」「投資に回すお金がない」が多く、金融商品購入のきっかけでは、「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「身近な人に勧められたら」と他者による教育や推奨が多くなる。

■ジュニアNISA口座未開設の理由では、「投資に回すお金がない」「投資自体に関心がない」が多い。一方で口座開設のきっかけでは目立って高い項目はなく、「手取り収入が増えたら」が約10%で最多となる。

<ジュニアNISA制度での金融商品未購入理由、口座未開設理由> (P.68,69) ※ 金融商品未購入理由で降順にソート

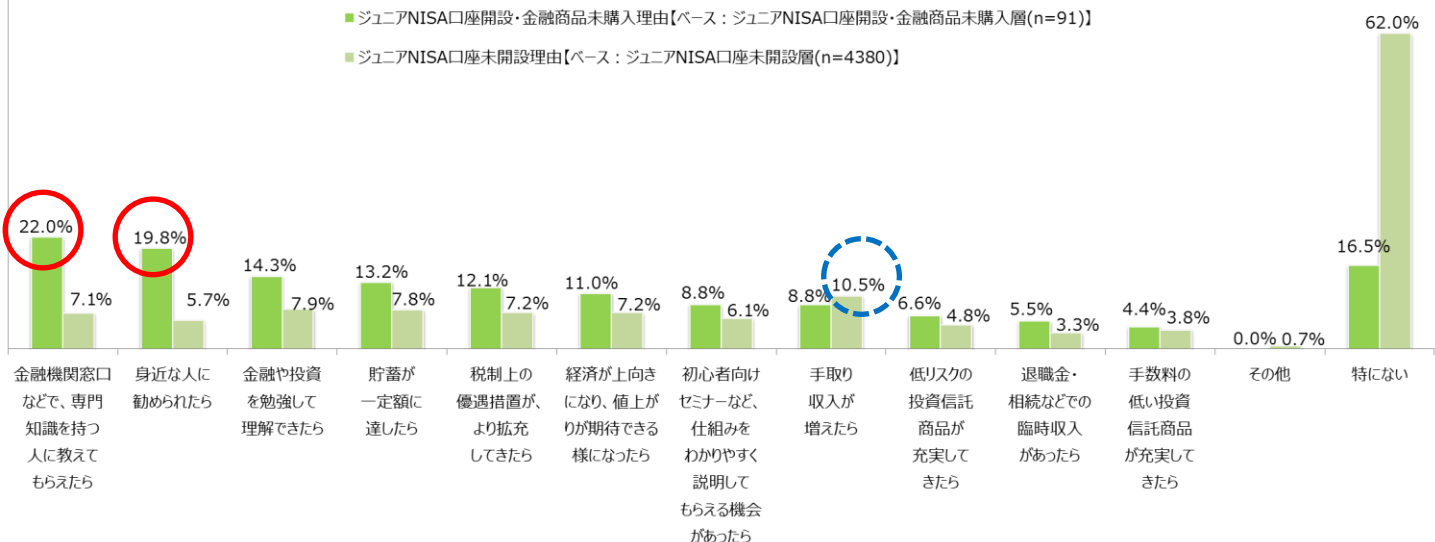
■ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由【ベース：ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層(n=91)】
■ジュニアNISA口座未開設理由【ベース：ジュニアNISA口座未開設層(n=4380)】



* 「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層／「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層にのみ聴取

<ジュニアNISA制度で金融商品購入、口座開設検討のきっかけ> (P.70,71) ※ 金融商品購入のきっかけで降順にソート

■ジュニアNISA口座開設・金融商品購入理由【ベース：ジュニアNISA口座開設・金融商品購入層(n=91)】
■ジュニアNISA口座未開設理由【ベース：ジュニアNISA口座未開設層(n=4380)】



○・・・金融商品未購入理由／金融商品購入のきっかけで高い項目

○・・・口座未開設理由／口座開設のきっかけで高い項目

2. 調査結果の要約

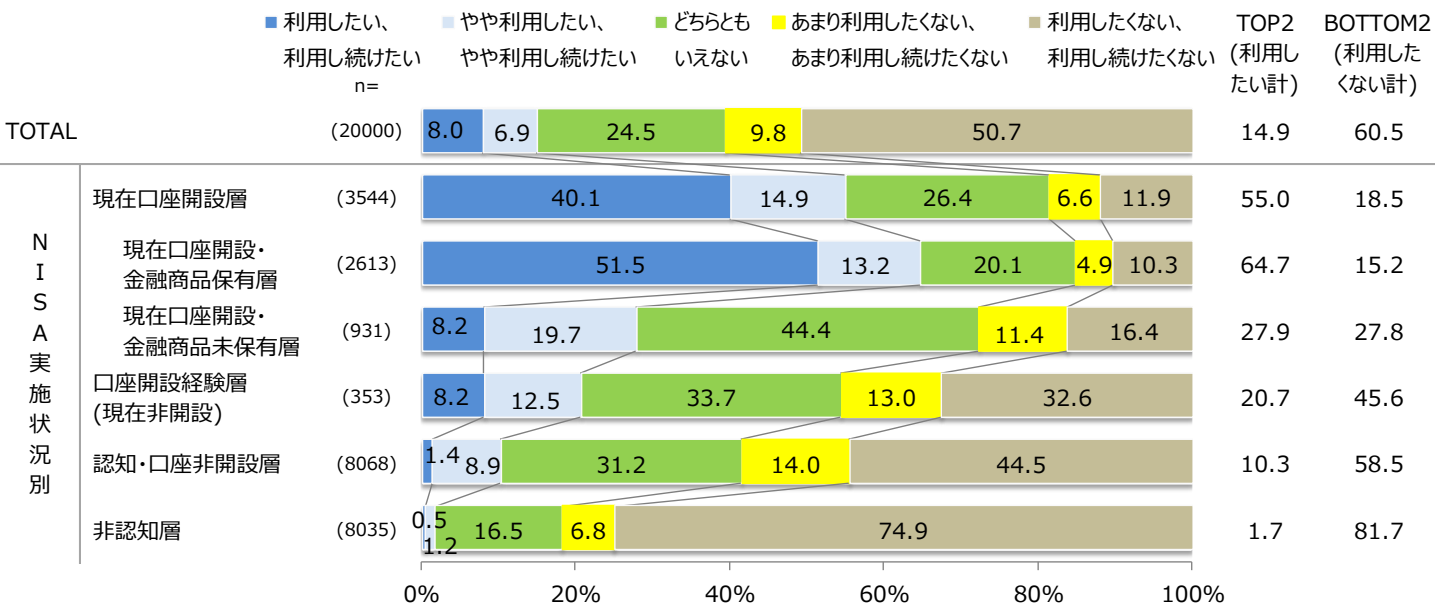
NISA制度、ジュニアNISA制度の今後の利用・継続利用意向

■ 全体では、NISA14.9%、ジュニアNISA5.1%の利用意向(TOP2 ※)に留まる。
 現在口座開設層で見ると、NISA、ジュニアNISA共に半数以上が継続保有意向を示す。
 (但し現在NISA口座開設層の中を、現在金融商品の保有の有無でみてみると、
 金融商品を保有していない層では「どちらともいえない」が44.4%と多く、継続を
 決めかねている様子が見える。)

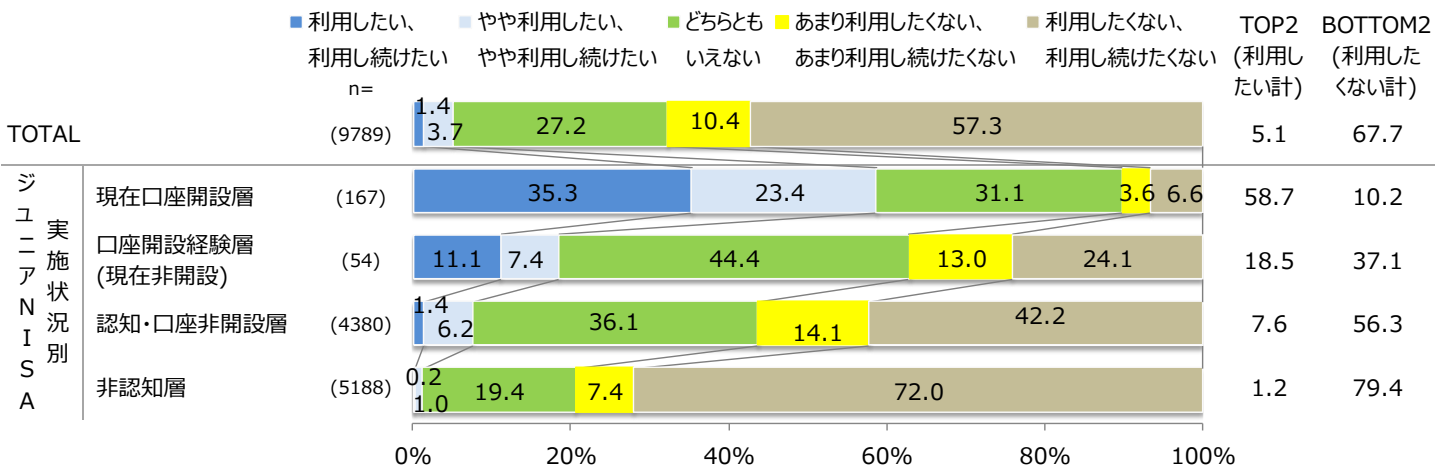
※ TOP2=利用したい計 (「利用したい、利用し続けたい」+「やや利用したい、やや利用し続けたい」)

- ・ 年代別では、若年層ほどジュニアNISAの利用意向が増加する傾向。
- ・ 世帯年収別では、高年収層ほどNISA、ジュニアNISA共に利用意向が高くなる。

<NISA制度の今後の利用・継続利用意向> (P.61)



<ジュニアNISA制度の今後の利用・継続利用意向> (P.72)



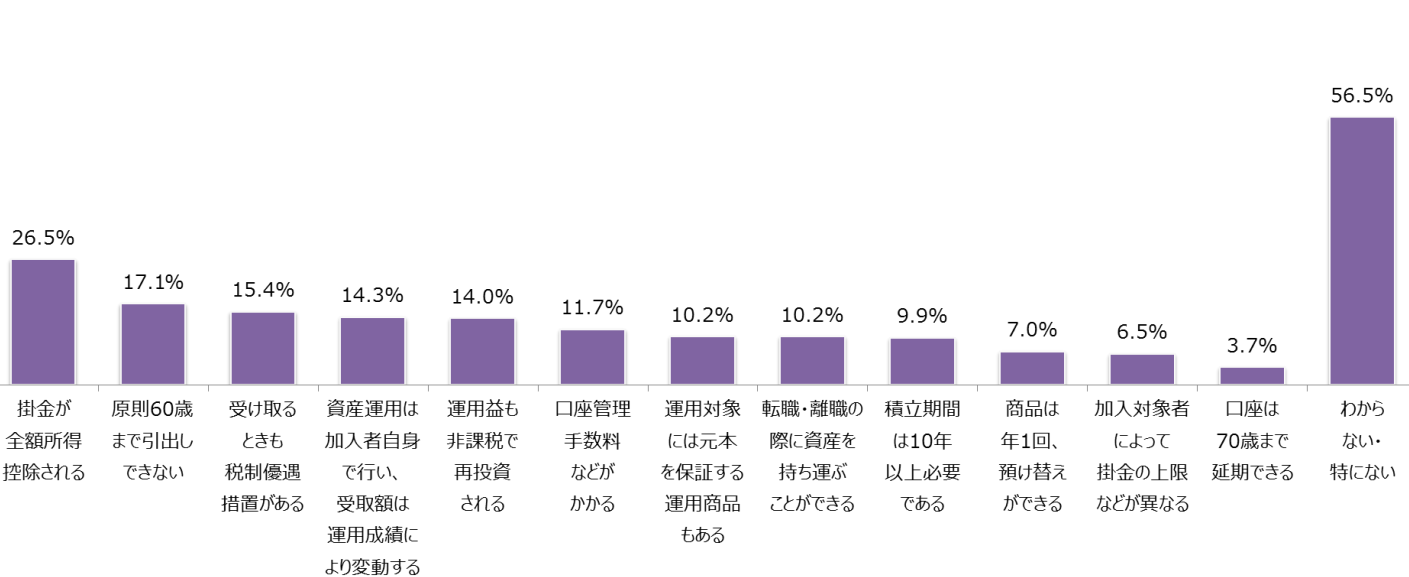
2. 調査結果の要約

個人型確定拠出年金の特徴認知／個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点

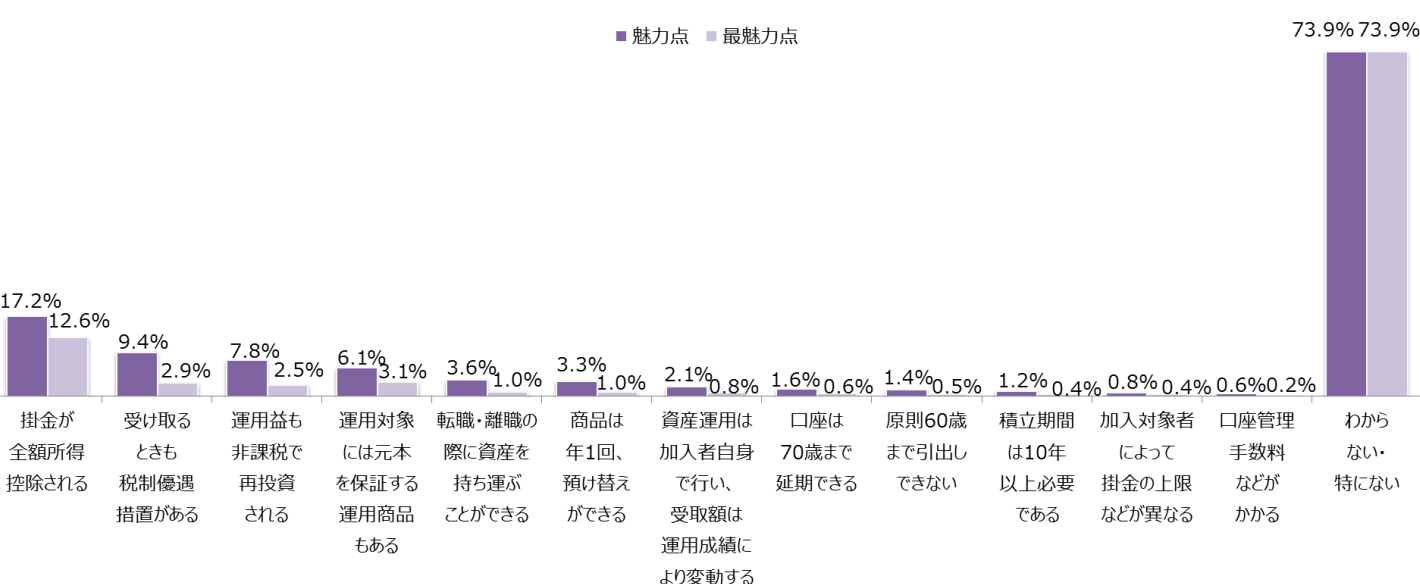
■商品特徴では、「掛金が全額控除」「受取時も税制優遇」といった税制措置や「原則60歳まで引出しできない」といった基礎的な制度内容の認知が高い。

■また「掛金が全額控除」「受取時も税制優遇」といった税制措置は魅力点としても他要素に比べ高い。

<個人型確定拠出年金の特徴認知> [ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者(n=3664)](P.84)



<個人型確定拠出年金の魅力点・最魅力点> [ベース：60歳未満の者TOTAL(n=13314)](P.85,86)



2. 調査結果の要約

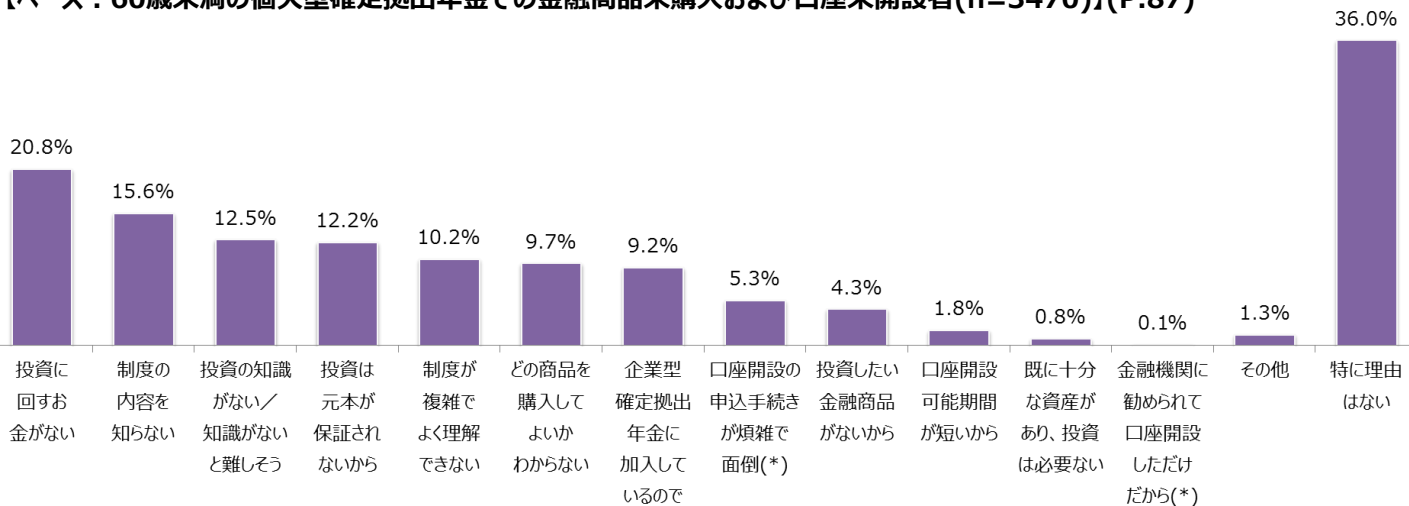
個人型確定拠出年金での口座開設・金融商品未購入および口座未開設理由／ 個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ

■ **金融商品未購入(定期預金・保険商品を除く投資性商品の未購入)および口座未開設の理由では、「投資に回すお金がない」の他に、「制度の内容を知らない」「投資の知識がない」と知識不足が多くあがる。**

■ **金融商品(定期預金・保険商品を除く投資性商品)の購入および口座開設のきっかけでは、「投資に回すお金ができた」「手取り収入が増えたら」など自身の経済環境の変化や、「金融や投資を勉強して理解できたら」との知識向上が多くなる様子。**

<個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設理由>

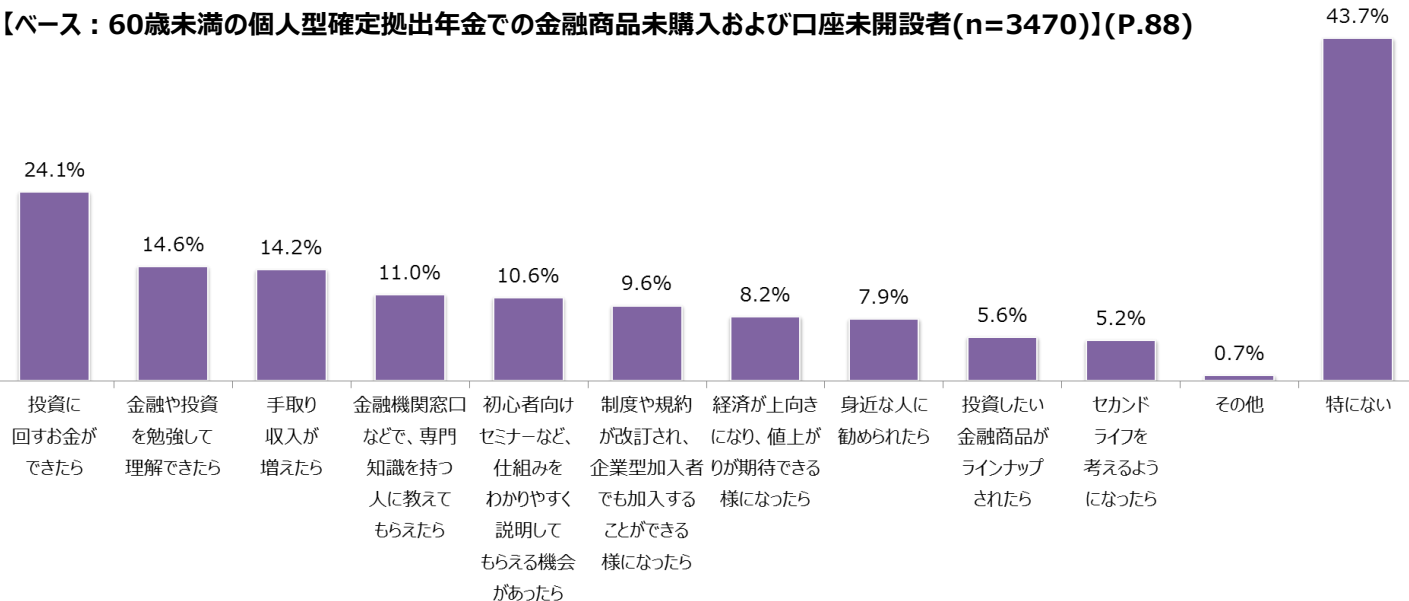
[ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設者(n=3470)](P.87)



* 「口座開設の申し込み手続きが煩雑で面倒」は口座未開設層(n=3324)／「金融機関に勧められて口座開設しただけ」は金融資産未購入層(n=146)にのみ聴取

<個人型確定拠出年金での金融商品購入および口座開設のきっかけ>

[ベース：60歳未満の個人型確定拠出年金での金融商品未購入および口座未開設者(n=3470)](P.88)



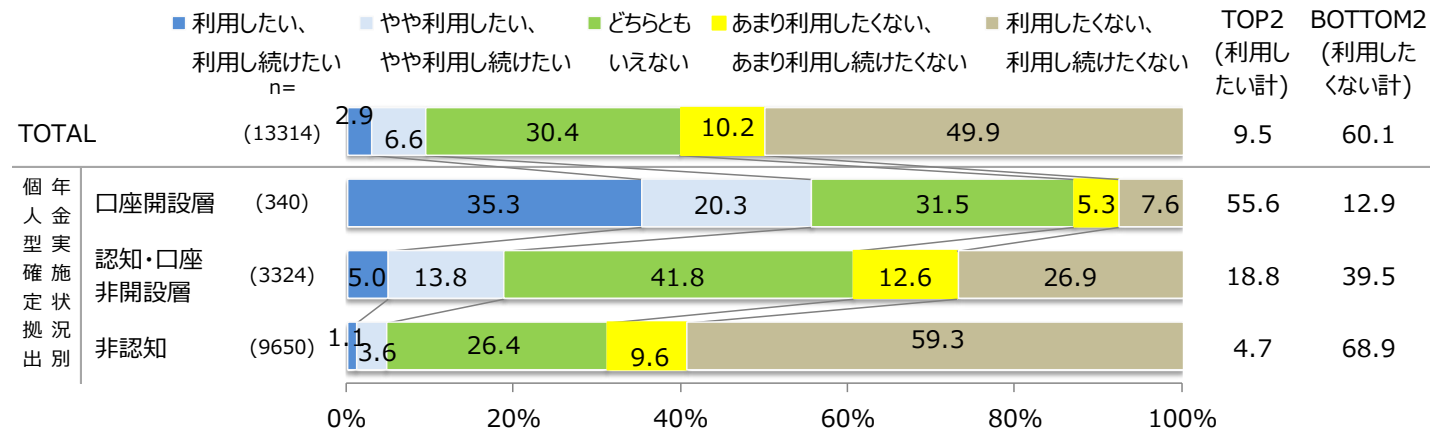
2. 調査結果の要約

個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向／個人型確定拠出年金の対象者拡大認知・興味度

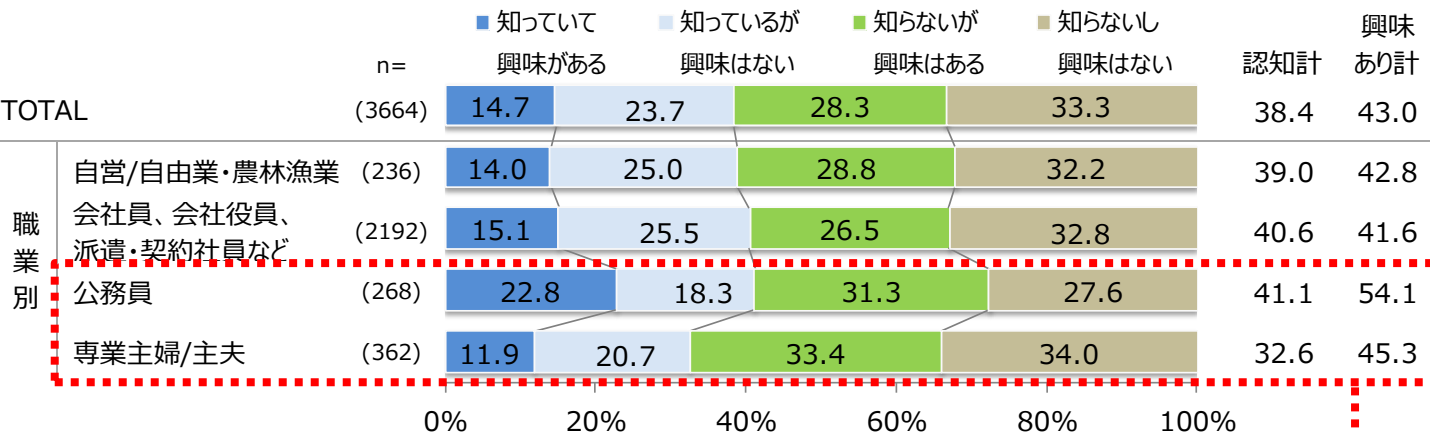
■ 全体では、9.5%の利用意向(TOP2:利用したい計)に留まる。但し口座開設層では、半数以上が継続での保有意向を示している。

■ 制度対象者の拡大については、認知率(認知計)38.4%、興味度(興味あり計)43.0%との結果。拡大対象となる「公務員」では、他の職業に比べ興味をもっている割合が高い。また「専業主婦/主夫」では相対的に認知率は低い興味度はやや高く、若年層ほど興味を示す。

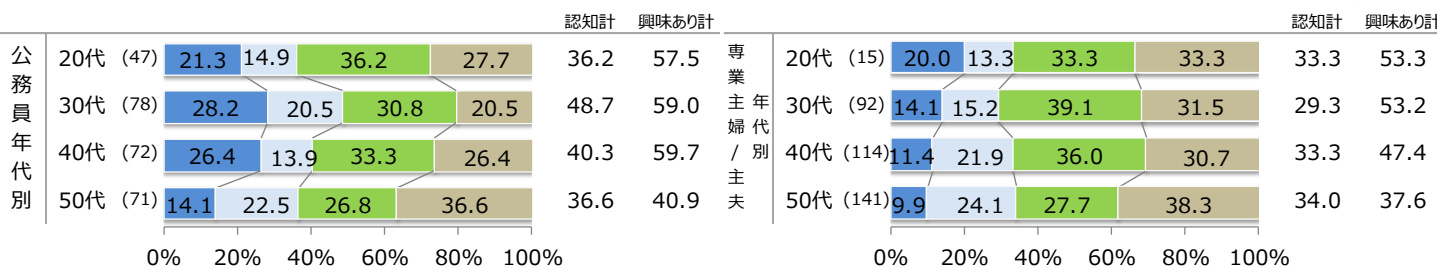
<個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向>【ベース:60歳未満の者】(P.89)



<個人型確定拠出年金の対象者拡大認知・興味度>【ベース:60歳未満の、企業型確定拠出年金での金融商品保有者】(P.90)



<公務員・専業主婦/主夫の年代別での、個人型確定拠出年金の対象者拡大認知・興味度> (P.90)



2. 調査結果の要約

NISA、ジュニアNISA、企業型確定拠出年金、個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品

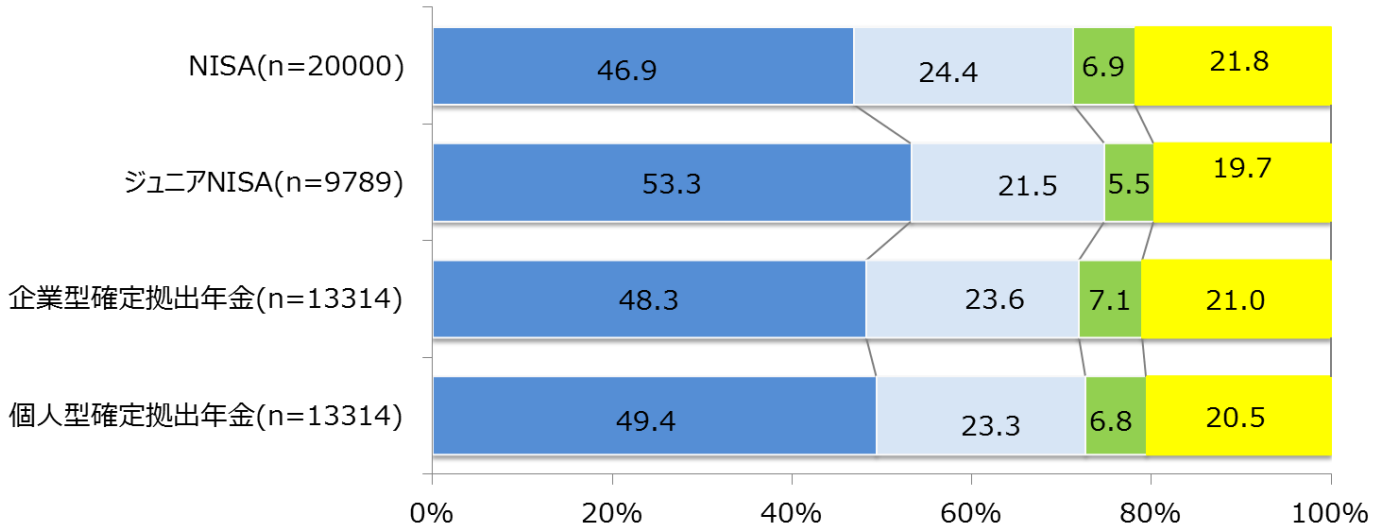
■ いずれの制度も、全体では「極力元本が安全であるもの(利回りは小さくてもよい)」への投資意向が強いが、制度利用意向者では「安定した利回りを目標とするもの(値下がりリスクは少々なら良い)」への投資意向が強くなる。特にNISAでは、他制度に比べてリスクの高い商品への投資意向が強くなる様子。

・ いずれの制度でも、高齢層ほど「極力元本安全」商品への投資意向が高まる。また高年収層ほど「安定利回りを目標」とした商品や「比較的高い分配が期待できる」商品への投資意向が高まる。

<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品> (P.92,93,94,95)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース

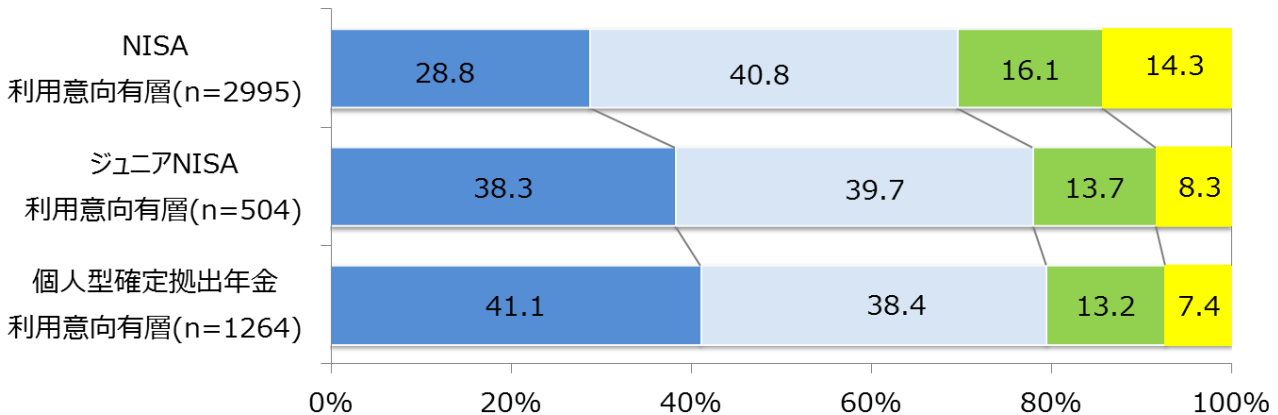
■ 極力元本が安全であるもの (利回りは小さくてもよい) ■ 安定した利回りを目標とするもの (値下がりリスクは少々なら良い) ■ 比較的高い分配が期待できるもの (値下がりリスクがあっても良い) ■ 値上がりの期待が持てるもの (値下がりリスクがあっても良い)



<各制度で投資する場合に、選択したい金融商品>【ベース:各制度利用意向者】(P.92,93,95)

* ジュニアNISAは20歳未満の親族有の者、企業型/個人型確定拠出年金は60歳未満の者ベース

■ 極力元本が安全であるもの (利回りは小さくてもよい) ■ 安定した利回りを目標とするもの (値下がりリスクは少々なら良い) ■ 比較的高い分配が期待できるもの (値下がりリスクがあっても良い) ■ 値上がりの期待が持てるもの (値下がりリスクがあっても良い)



3. 回答者のプロフィール

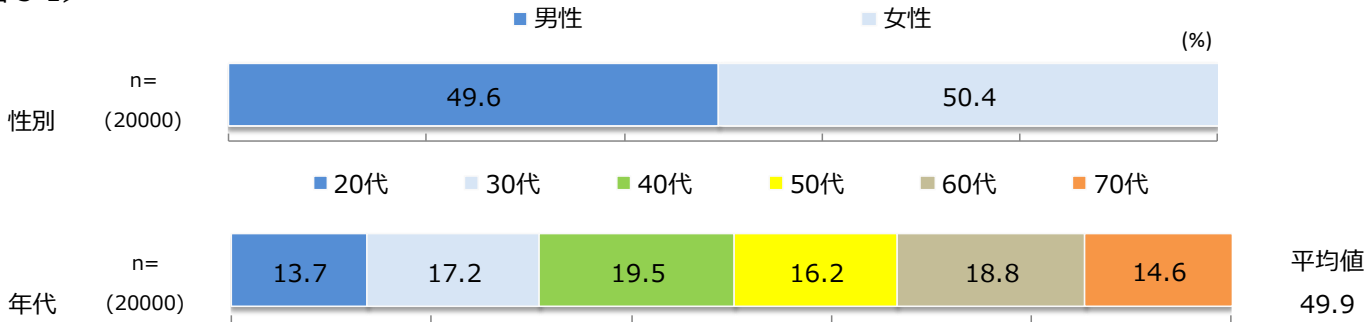


3. 回答者のプロフィール

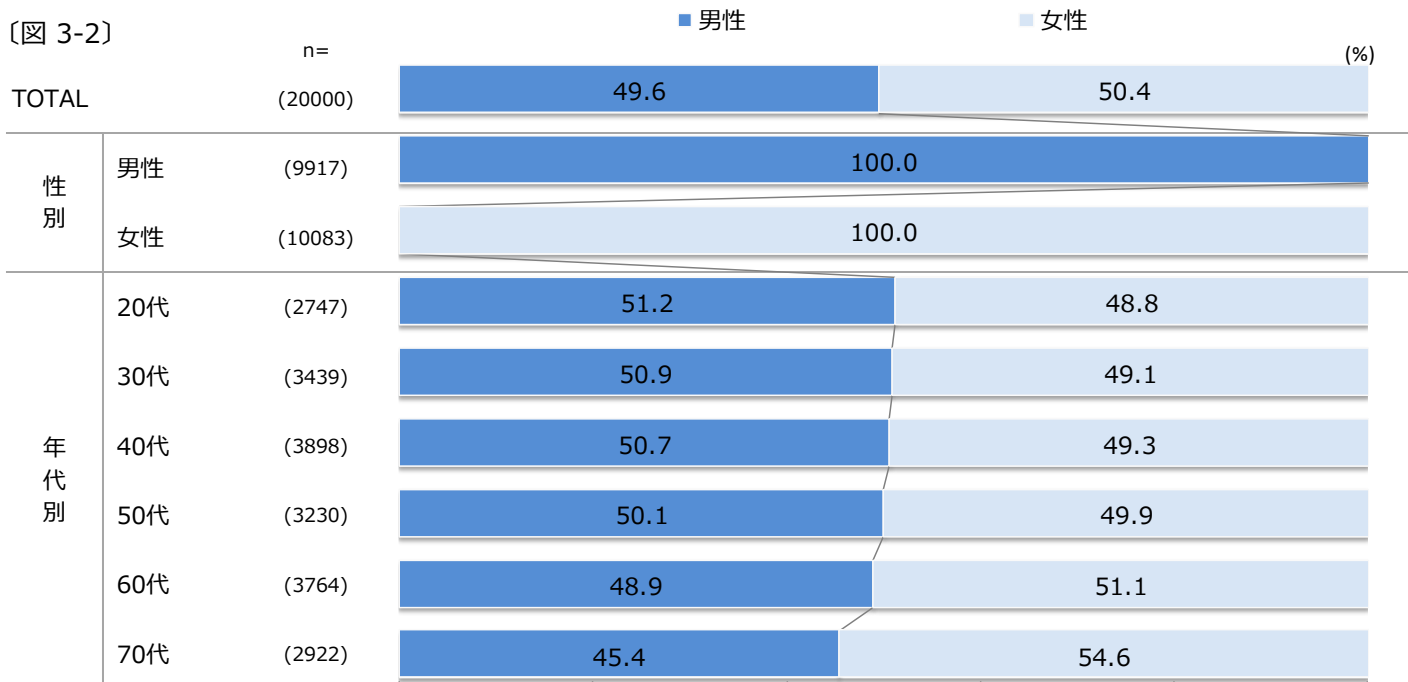
(1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

- 回答者の性別は「男性」が49.6%、「女性」が50.4%。
年代では「40代」が19.5%で最も多く、平均年齢は49.9歳となる。〔図3-1〕
- 年代別に男女比をみると、70代で「女性」の方がやや多い。〔図3-2〕
- 投資信託保有状況別では、現在保有層および保有経験層、保有未経験層(金融資産は保有経験有)で「男性」の方が多くなる。〔図3-3〕
また年代が上がるにつれ投資信託の「現在保有層」「保有経験層」どちらも増加する。〔図3-5〕

〔図 3-1〕

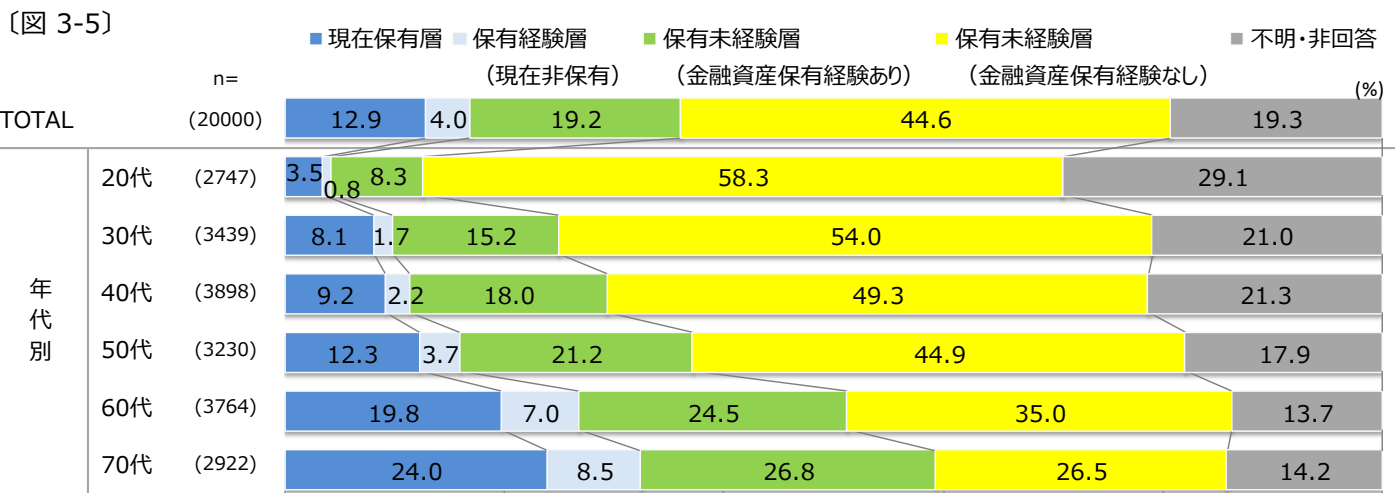
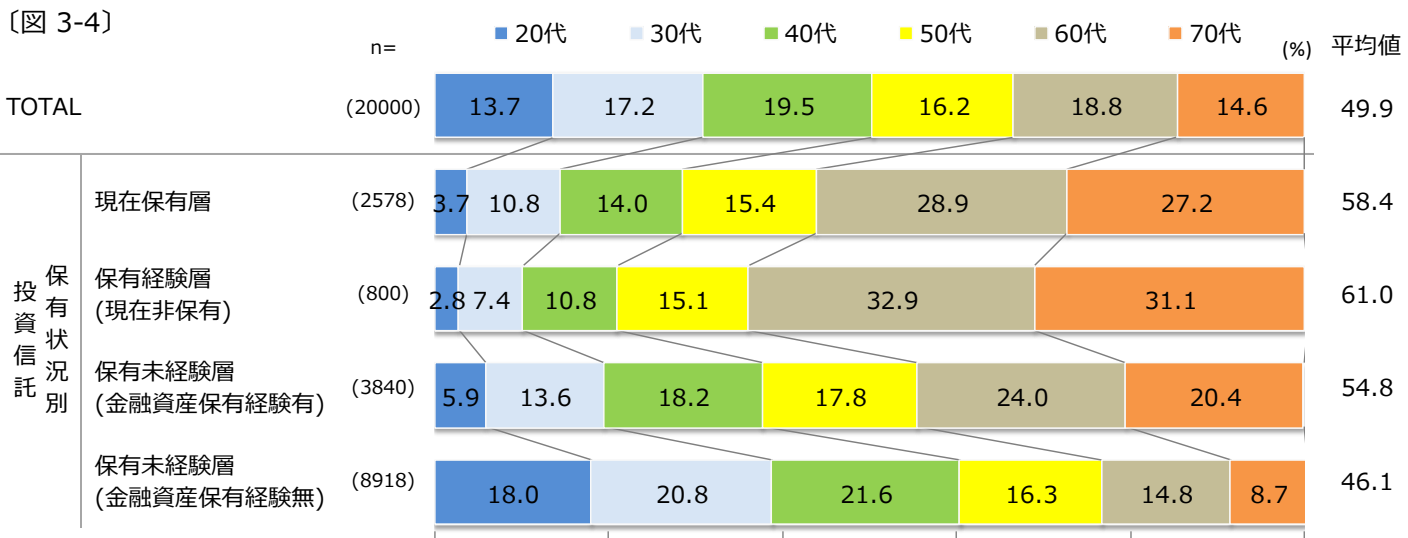
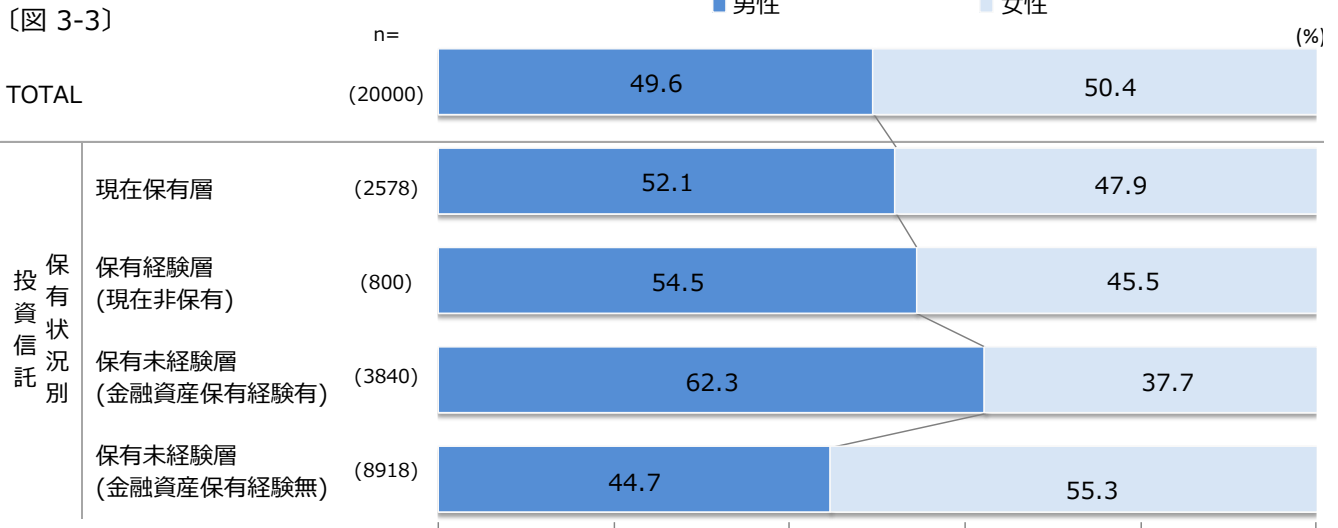


〔図 3-2〕



3. 回答者のプロフィール

(1) 性別・年代〔Q1:単数回答・Q2:自由記述回答〕

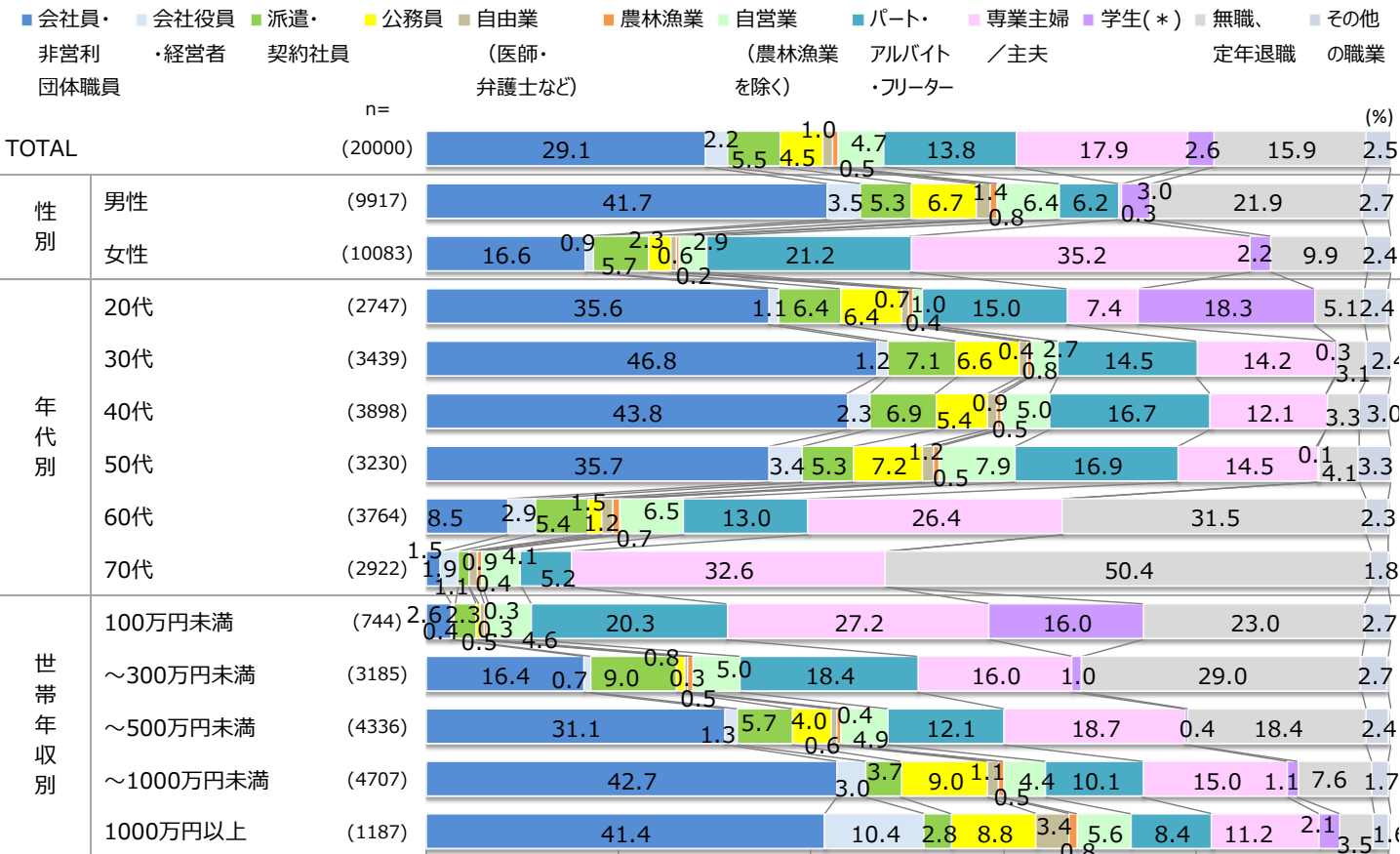


3. 回答者のプロフィール

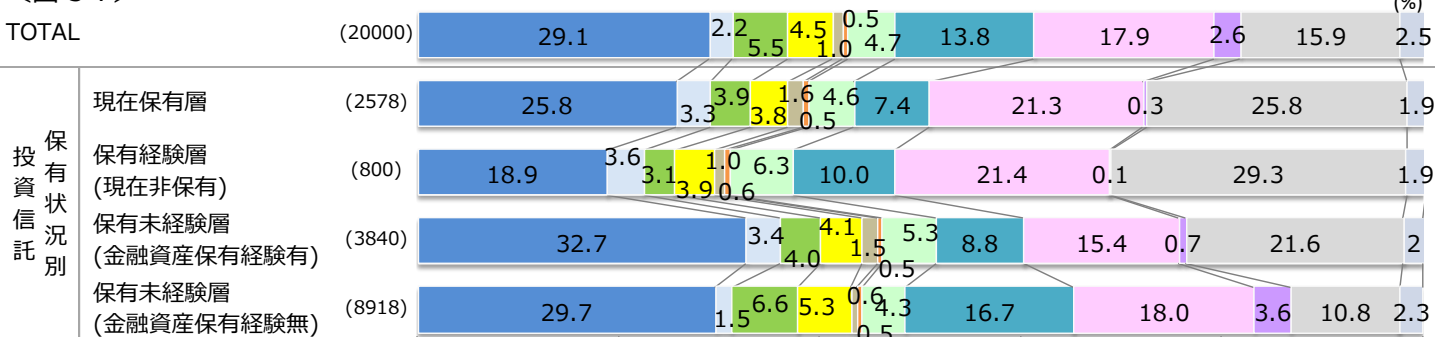
(2) 職業〔Q3:単数回答〕

- 回答者の職業は「会社員・非営利団体職員」(29.1%)が最も多く、世帯年収が上がるにつれ増加する傾向。また年収1,000万円以上の世帯では、「会社役員・経営者」(10.4%)がやや多い。〔図3-6〕
- 投資信託の現在保有層や保有経験層では、「専業主婦／主夫」「無職・定年退職」が保有未経験層に比べやや多い。〔図3-7〕

〔図 3-6〕



〔図 3-7〕



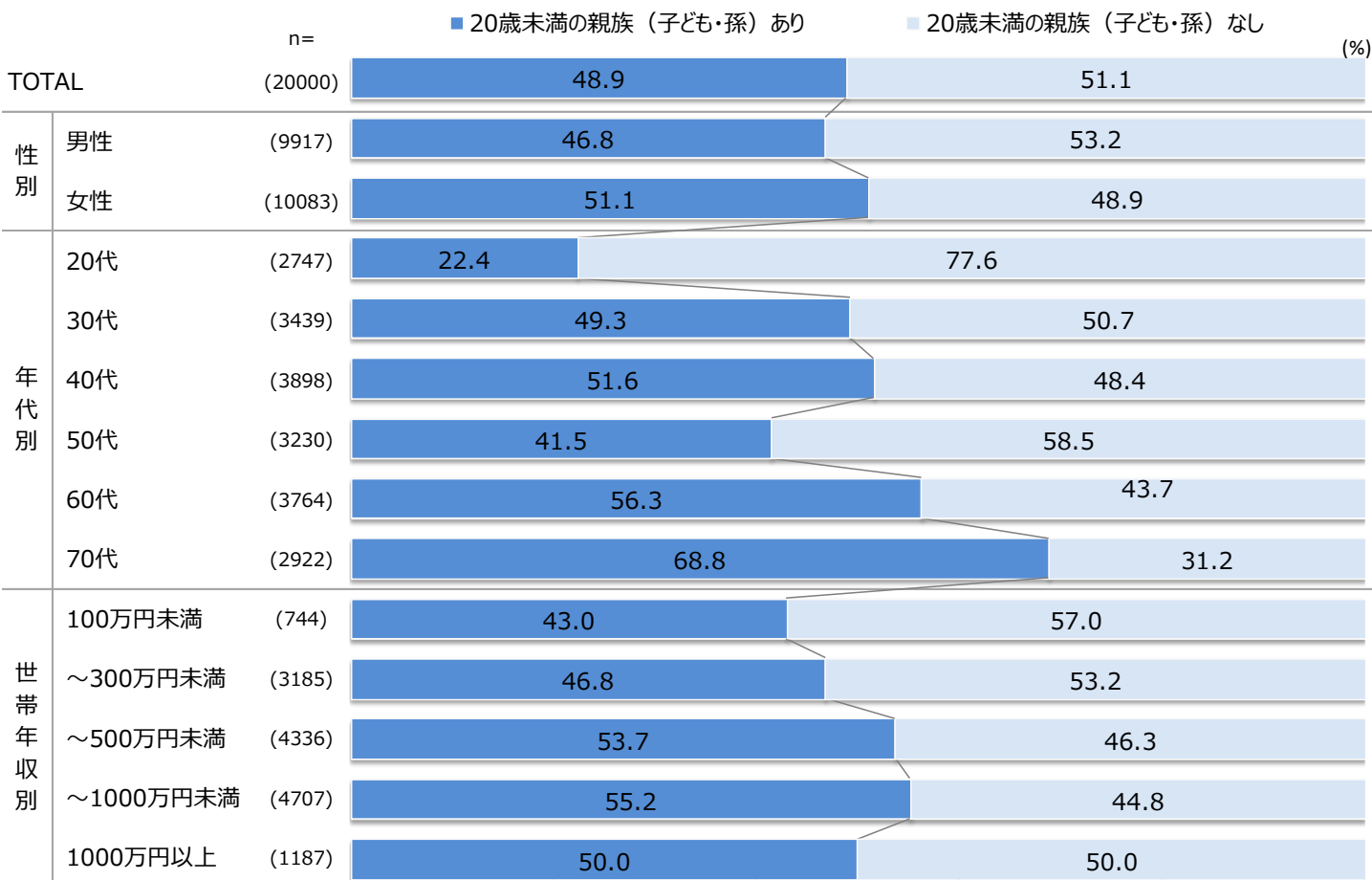
* 学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

3. 回答者のプロフィール

(3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

- 20歳未満の親族(子ども・孫)がいる割合は、48.9%と全体の約半数で、年代が上がるほど高くなる傾向。〔図3-8〕
- また世帯年収1000万円以上の層では「自身の20歳未満の子ども」が、100～500万円未満層では「自身の20歳未満の孫」がいる割合がやや高い。〔図3-9〕〔図3-10〕

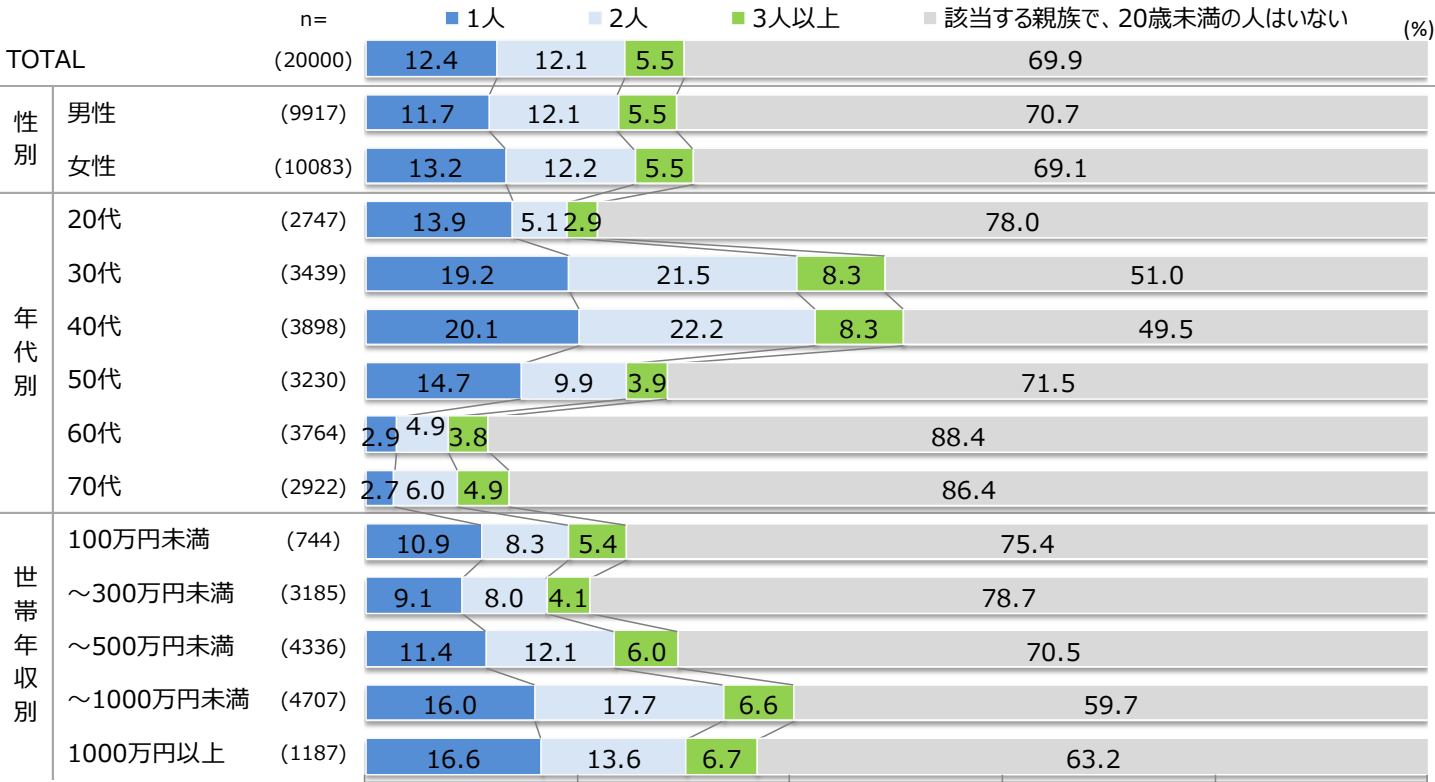
〔図 3-8〕【20歳未満の親族（子ども・孫）の有無】 ※ Q4①②の結果を加工して作成



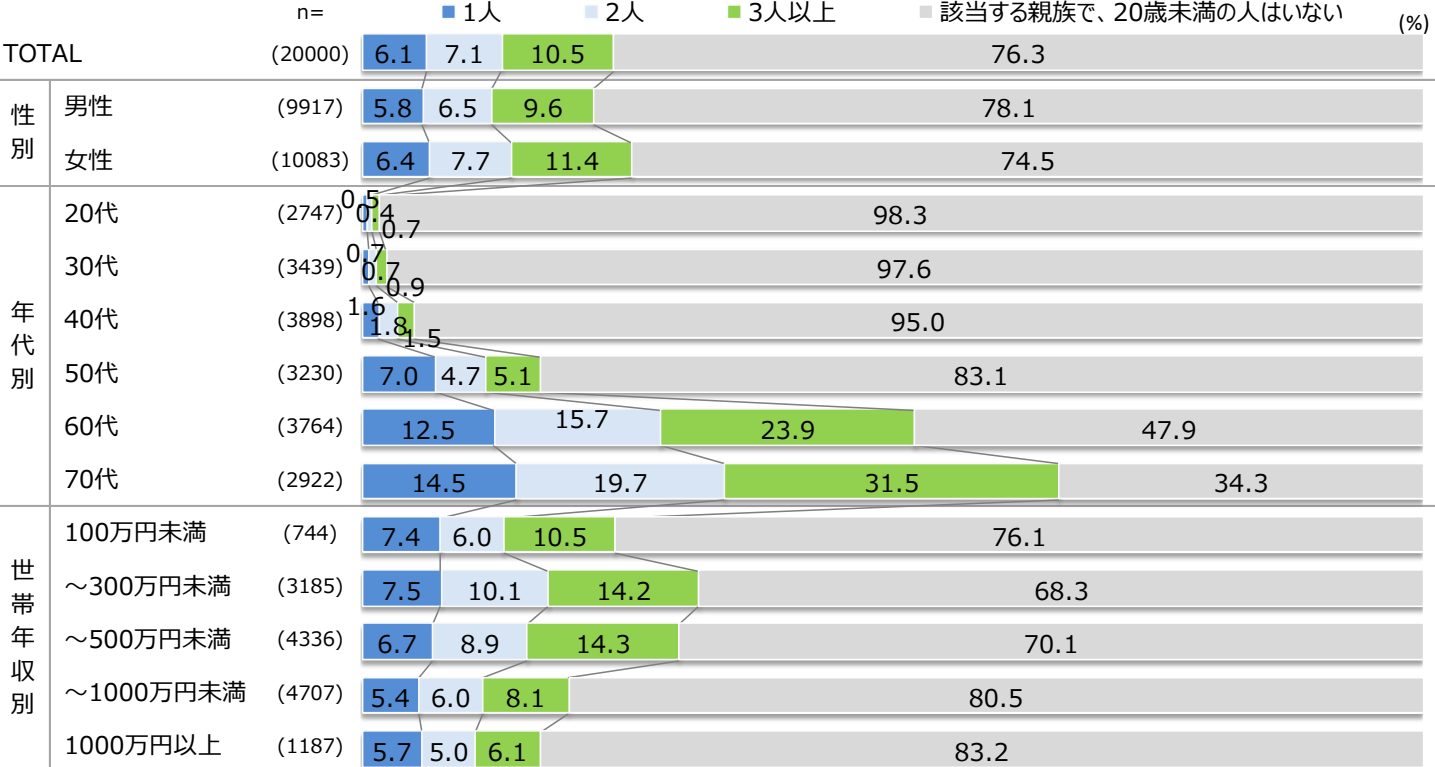
3. 回答者のプロフィール

(3) 20歳未満の親族の有無〔Q4①②:単数回答〕

〔図 3-9〕【Q4① 20歳未満の子どもの有無】



〔図 3-10〕【Q4② 20歳未満の孫の有無】

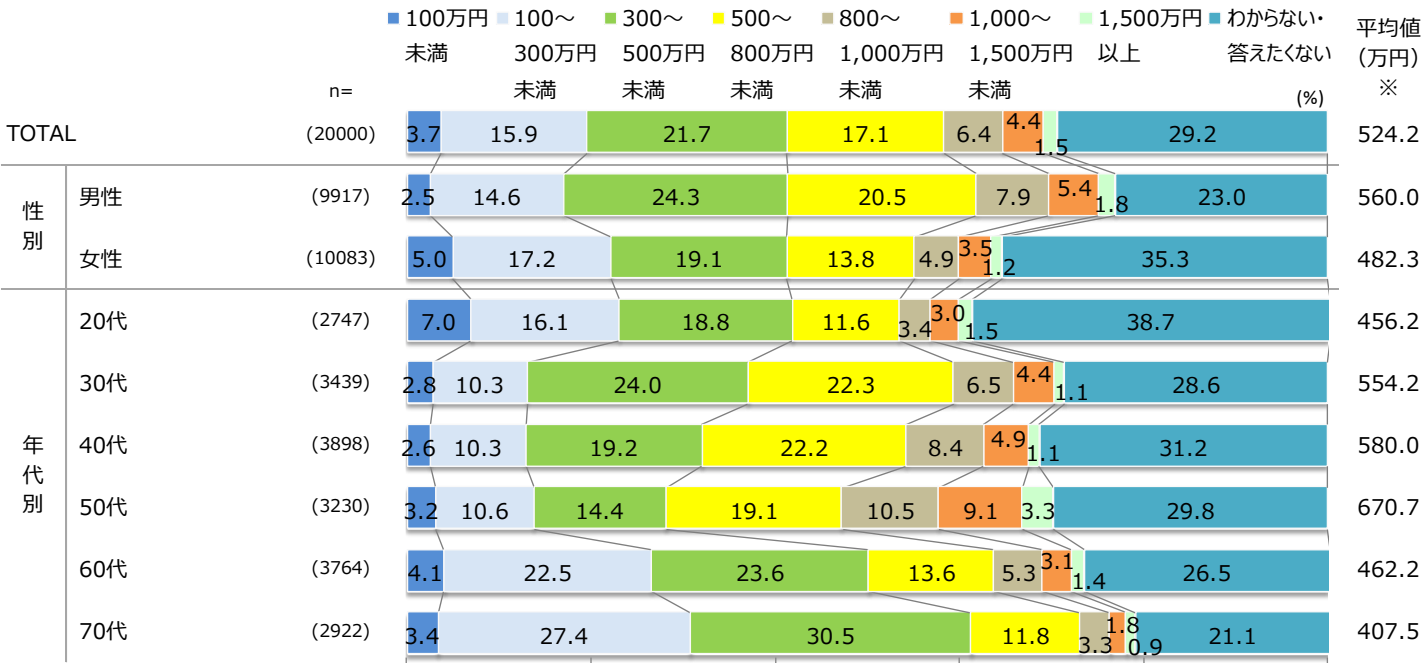


3. 回答者のプロフィール

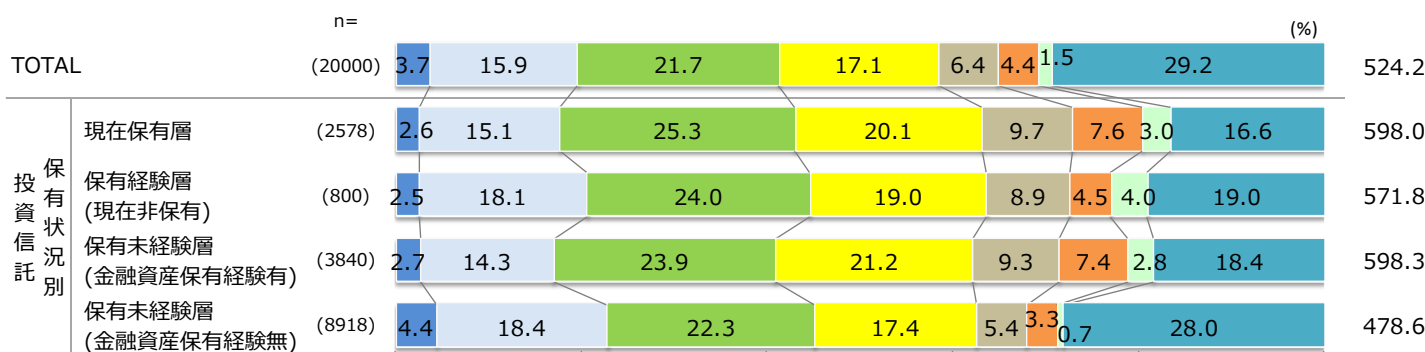
(4) 世帯年収〔Q5①:単数回答〕

- 世帯年収は「300～500万円未満」が21.7%とやや多く、また『100～800万円未満』合計で半数以上(54.7%)を占め、平均値は「524.2万円」となる。〔図3-11〕
- 投資信託の保有状況別でみると、現在保有層と保有未経験層(金融資産保有経験有)の平均値がどちらも「約600万円」と、他層に比べ高い。〔図3-12〕

〔図 3-11〕



〔図 3-12〕



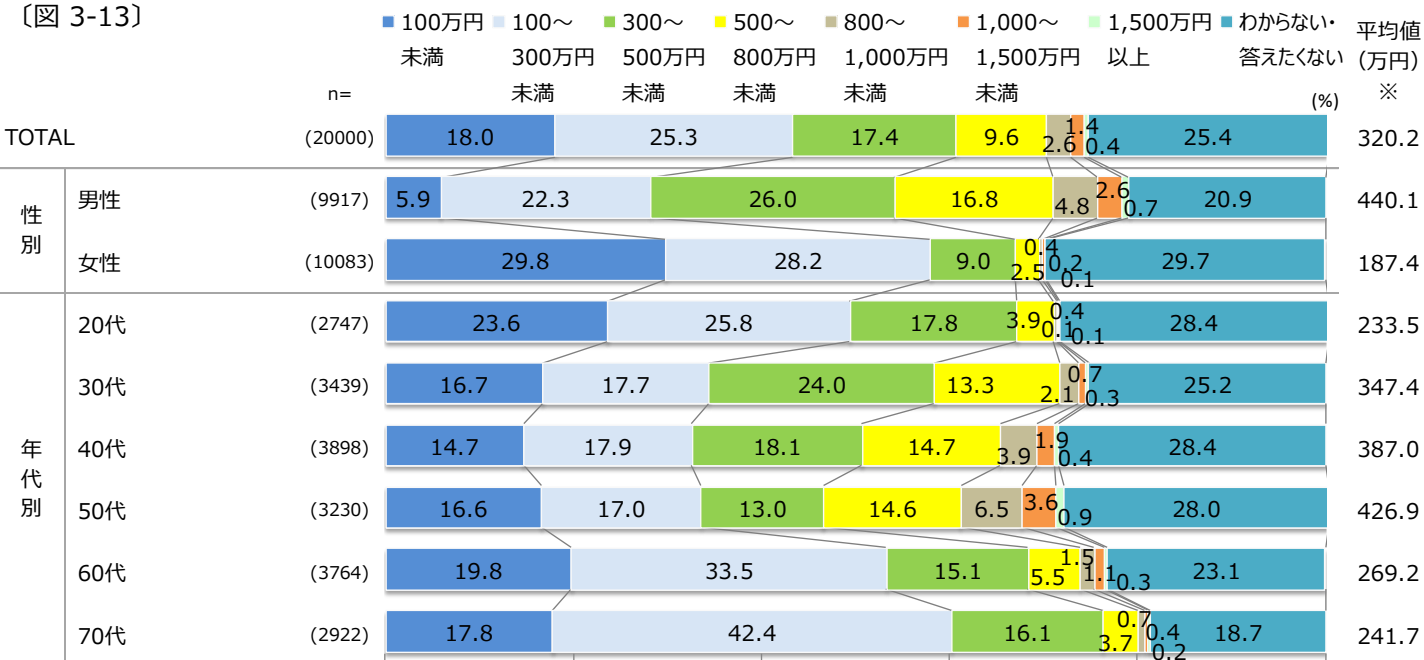
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

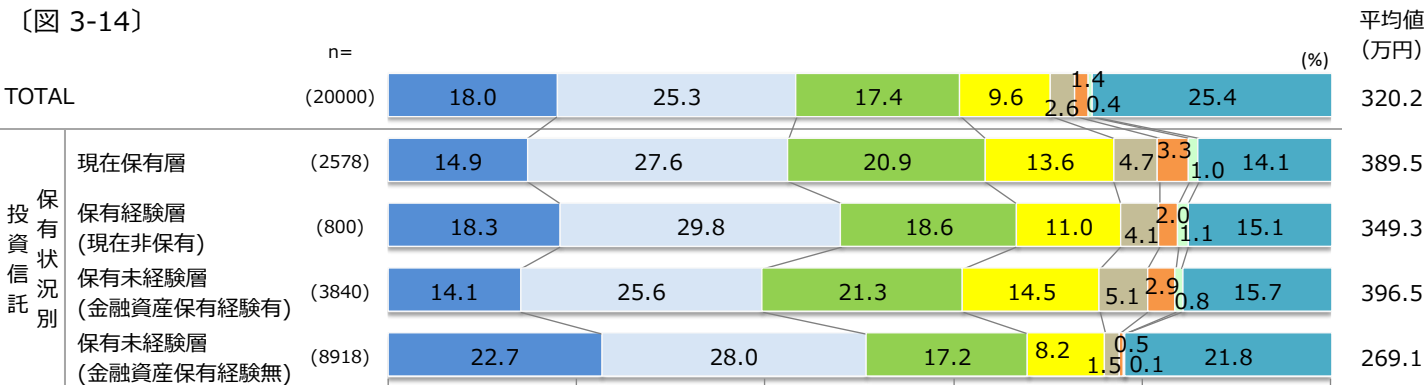
(4) 個人年収〔Q5②:単数回答〕

- 個人年収は「100～300万円未満」が25.3%とやや多く、また『500万円未満』合計で60.7%を占め、平均値は「320.2万円」となる。〔図3-13〕
- 投資信託の保有状況別や保有種類別でみると、世帯年収と同様に、現在保有層、保有未経験層（金融資産保有経験有）の平均値が、他層に比べ高くなる。〔図3-14〕

〔図 3-13〕



〔図 3-14〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

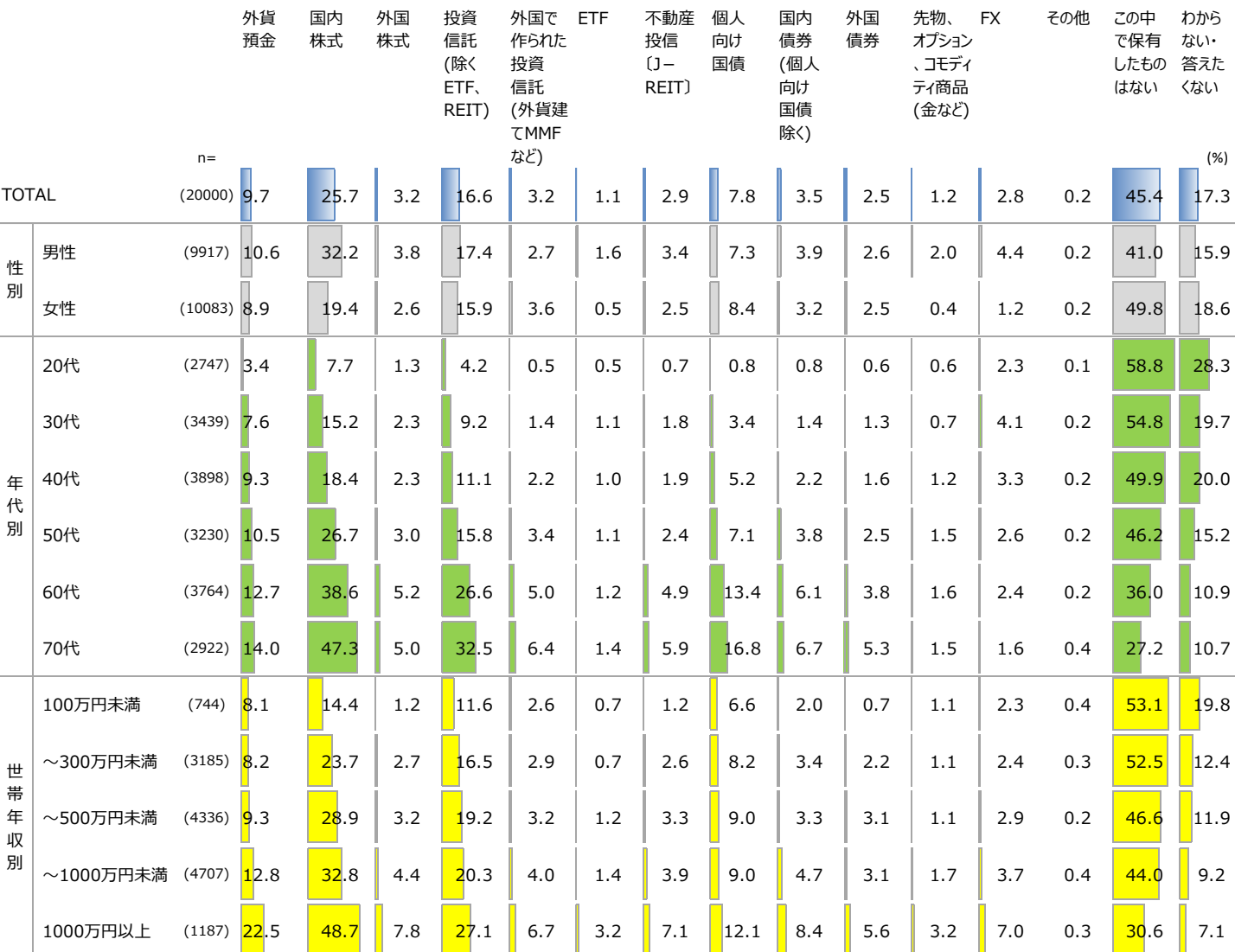
100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

3. 回答者のプロフィール

(5) 保有経験のある金融資産〔Q6①:重複回答〕

- 「投資信託」の保有経験率は16.6%と「国内株式」(25.7%)に次いで多くなる。「J-REIT」は2.9%に留まり、「ETF」は1.1%と最も低い保有経験率となる。
- 年代が上がるにつれ、「投資信託」「J-REIT」の保有経験率は増加する。一方「ETF」は年代間で大きな差は見られず、また30代を除く全年代で、金融資産の中で最も低い保有経験率となる。
- 世帯年収別では、高年収層ほど「投資信託」「ETF」「J-REIT」いずれの保有経験率も高まるが、「ETF」はどの層も他金融資産に比べ保有経験率は最も低くなる傾向。〔図3-15〕

〔図 3-15〕



3. 回答者のプロフィール

(6) 現在保有している金融資産〔Q6②:重複回答〕

- 「投資信託」の現在保有率は12.2%と、保有経験率と同様に「国内株式」(20.4%)に次いで多い。「J-REIT」は2.1%に留まり、「ETF」は0.6%と低くなる。
- 「投資信託」「J-REIT」の現在保有率は年代や世帯年収上がるにつれ増加する。一方「ETF」の現在保有率は、世帯年収が上がると増加するが、年代間では大きな差はみられない。〔図3-16〕

〔図 3-16〕

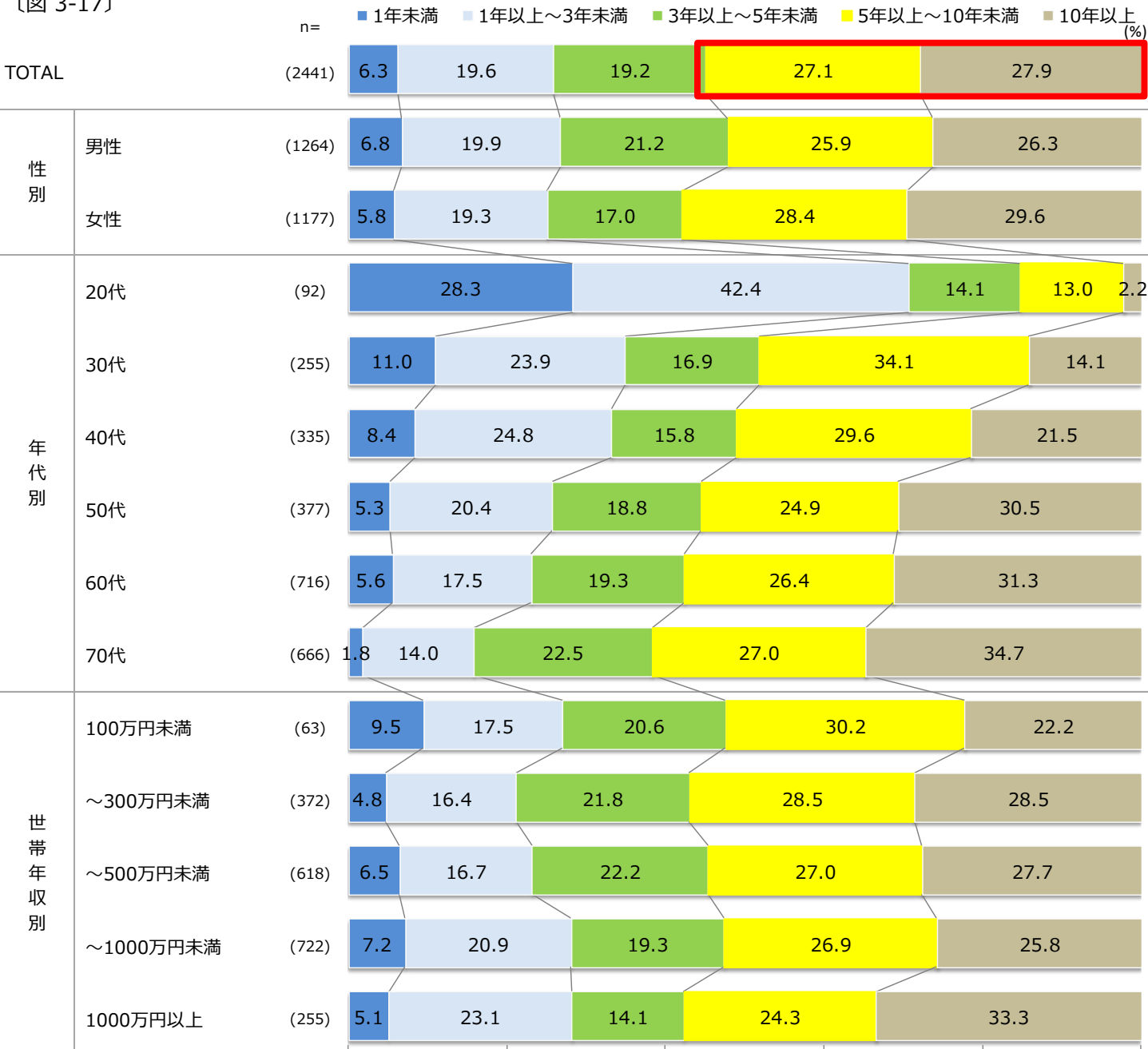
		n=	外貨 預金	国内 株式	外国 株式	投資 信託 (除く ETF、 REIT)	外国で 作られた 投資 信託 (外貨建 てMMF など)	ETF	不動産 投信 〔J- REIT〕	個人 向け 国債	国内 債券 (個人 向け 国債 除く)	外国 債券	先物、 オプション 、コモディ ティ商品 (金など)	FX	その他	保有 している ものは ない	わから ない・ 答えた くない	(%)
TOTAL		(20000)	5.0	20.4	1.7	12.2	1.9	0.6	2.1	3.5	1.9	1.5	0.5	1.5	0.1	53.1	16.7	
性別	男性	(9917)	5.4	26.0	2.0	12.7	1.6	1.0	2.4	3.5	2.0	1.5	0.8	2.5	0.2	48.8	15.7	
	女性	(10083)	4.7	14.8	1.3	11.7	2.1	0.3	1.7	3.5	1.7	1.5	0.2	0.6	0.1	57.3	17.7	
年代別	20代	(2747)	2.2	6.4	0.9	3.3	0.4	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	1.5	0.1	64.8	24.1	
	30代	(3439)	4.7	12.8	1.7	7.4	1.0	0.8	1.4	1.7	1.0	0.9	0.4	2.2	0.2	61.0	17.4	
	40代	(3898)	4.8	15.1	1.3	8.6	1.3	0.6	1.3	2.5	1.2	0.8	0.6	1.8	0.1	57.5	18.3	
	50代	(3230)	5.7	21.1	1.8	11.7	1.9	0.7	1.7	3.3	2.1	1.6	0.5	1.5	0.1	53.6	15.7	
	60代	(3764)	5.9	30.0	2.3	19.0	2.7	0.6	3.1	6.1	3.1	2.1	0.6	1.3	0.2	44.9	12.6	
	70代	(2922)	6.5	36.1	1.8	22.8	3.9	0.7	4.4	6.5	3.2	3.3	0.4	0.7	0.2	37.0	13.3	
世帯 年収別	100万円未満	(744)	4.3	10.2	0.1	8.5	1.1	0.4	0.5	3.2	1.6	0.3	0.3	1.3	0.3	60.6	19.0	
	~300万円未満	(3185)	3.9	17.7	1.2	11.7	1.6	0.4	1.8	3.3	1.9	1.4	0.3	1.1	0.2	60.5	12.1	
	~500万円未満	(4336)	4.6	22.4	1.3	14.3	1.9	0.6	2.4	3.8	1.6	1.8	0.4	1.7	0.1	55.4	11.3	
	~1000万円未満	(4707)	6.9	27.2	2.6	15.3	2.4	0.9	2.7	4.2	2.5	1.9	0.7	2.2	0.3	51.7	8.7	
	1000万円以上	(1187)	13.1	42.4	4.8	21.5	4.2	1.8	5.3	6.8	5.3	3.6	1.3	3.9	0.1	37.2	6.7	

3. 回答者のプロフィール

(7) 投資信託の保有期間（投資信託現在保有者）〔Q7①:単数回答〕

- 投資信託（ETF、J-REITを除く）の保有期間は『5年以上計』で55.0%と半数以上をしめる。その保有期間『5年以上計』は男性52.2%＜女性58.0%と女性の方がやや高く、女性の方が長く保有する傾向がうかがえる。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど保有期間の長い層が増加し、長期保有者が多くなる傾向。世帯年収別では1000万円以上世帯で「10年以上」保有層が33.3%と多く特徴的。〔図3-17〕

〔図 3-17〕

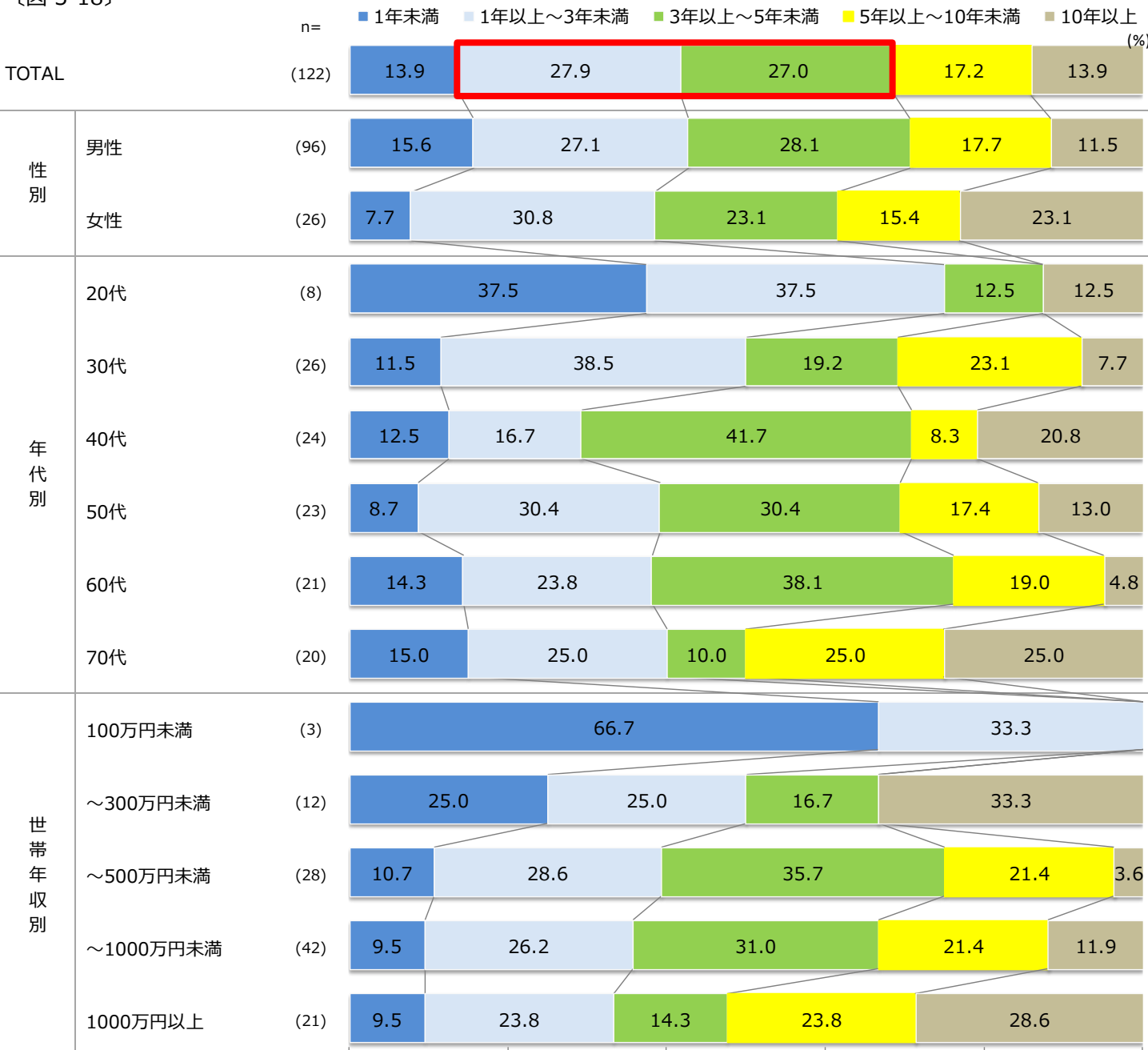


3. 回答者のプロフィール

(7) ETFの保有期間（ETF現在保有者）〔Q7②:単数回答〕

- ETFの保有期間は『1年以上～5年未満計』がボリュームゾーンで、54.9%と半数以上となる。
〔図3-18〕

〔図 3-18〕

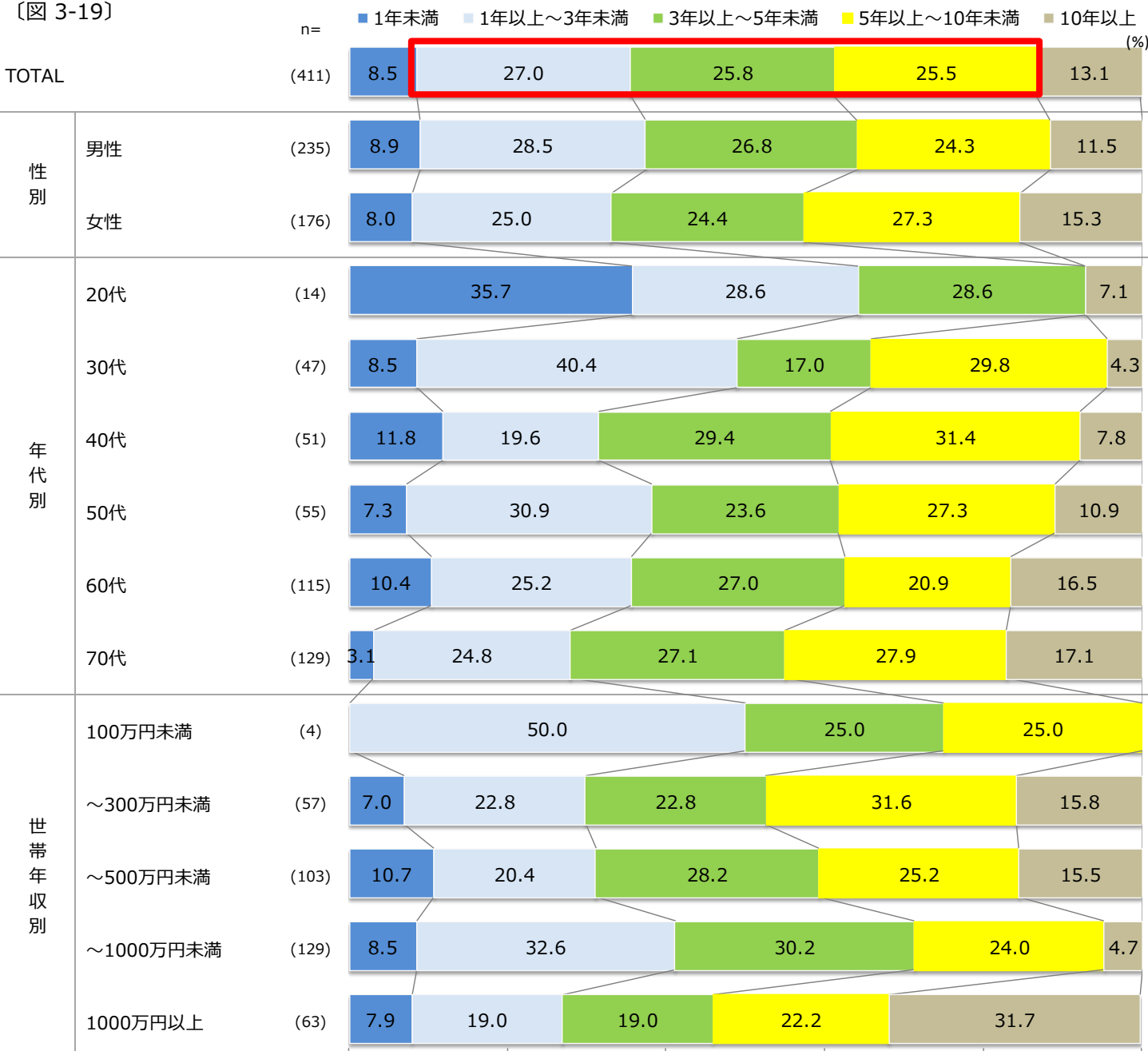


3. 回答者のプロフィール

(7) J-REITの保有期間 (J-REIT現在保有者) [Q7③:単数回答]

- J-REITの保有期間は「1年以上～3年未満」「3年以上～5年未満」「5年以上～10年未満」がいずれも26%程度で均衡。
- 年代が上がるほど、保有期間の長い層が増加し、長期保有者が多くなる傾向。
また世帯年収別では1000万円以上の世帯で「10年以上」(31.7%)が目立って高い。[図3-19]

[図 3-19]



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

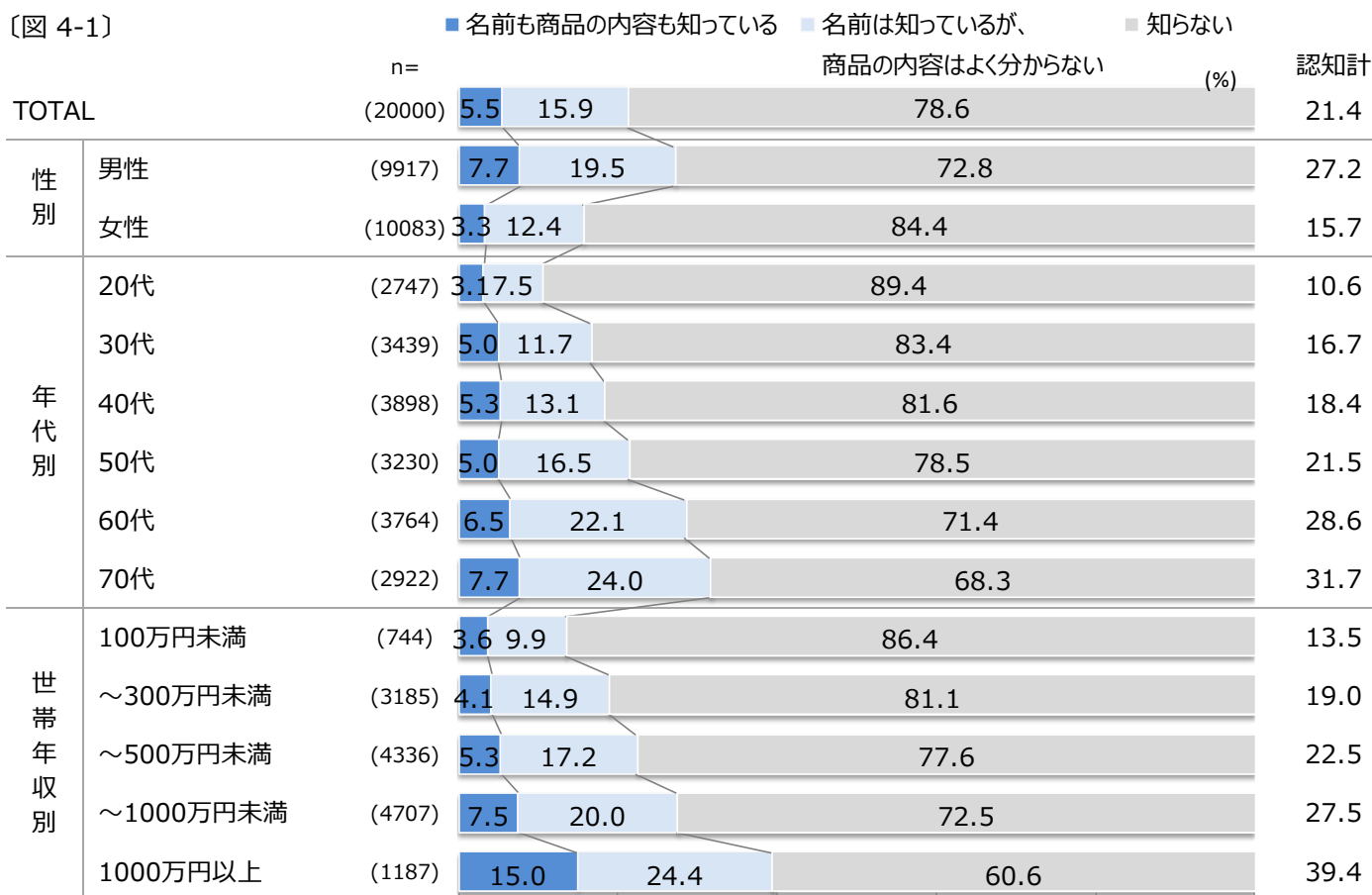


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

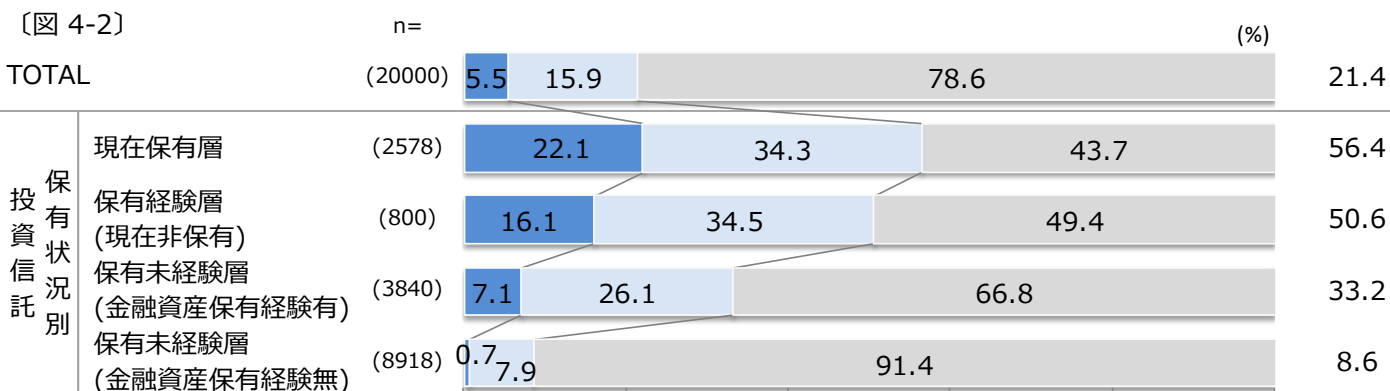
(1) ETFの認知状況〔Q8①:単数回答〕

- ETFの認知率(認知計)は21.4%。また「商品内容認知」は5.5%に留まる。
- 年代や世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図4-1〕
- 投資信託保有状況別では、投資への関与が高い層ほど認知率は高いが、現在保有層でも43.7%が非認知となる。〔図4-2〕

〔図 4-1〕



〔図 4-2〕

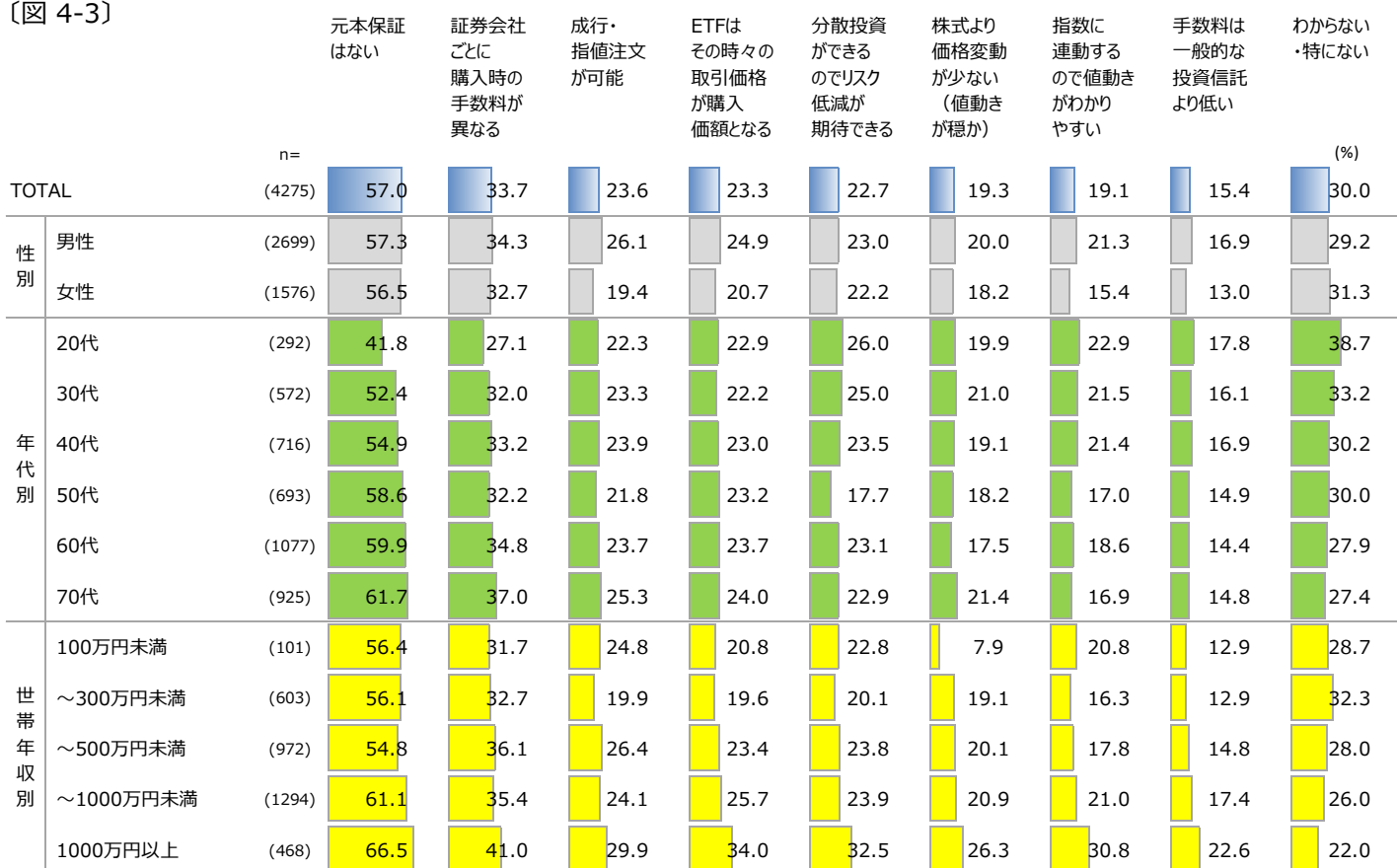


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

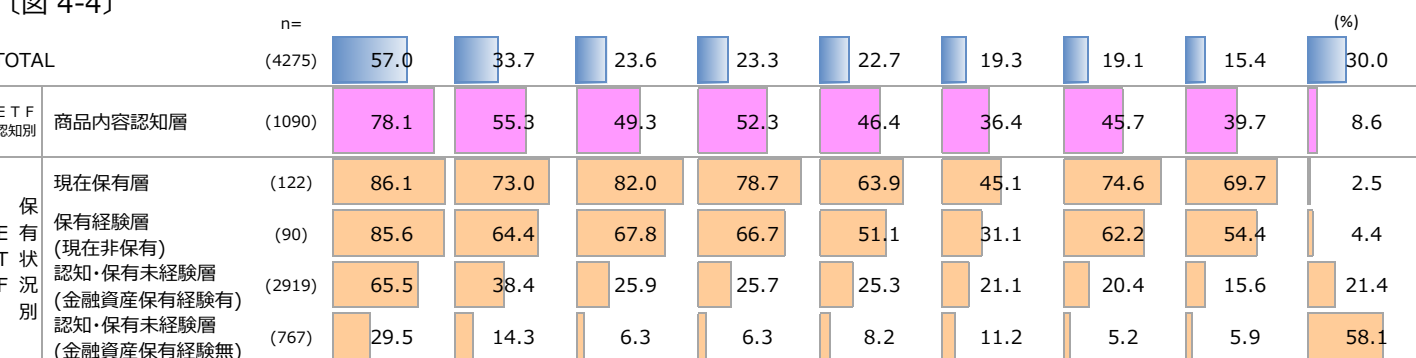
(2) ETFの特徴認知(ETF認知者)(Q9①:複数回答)

- ETFの特徴の認知は「元本保証はない」(57.0%)が最も高く、「証券会社ごとに購入時手数料が異なる」(33.7%)が続く。年代別では高齢層ほど「元本保証はない」「証券会社ごとに購入時手数料が異なる」の認知が高い。世帯年収別では上の階層ほど、どの項目も認知が高くなる。〔図4-3〕
- 全体では「手数料は一般的な投資信託より低い」の認知(15.4%)が最も低くなるのに対し、商品内容認知層や現在保有層、保有経験層といった関与の高い層では、「株式より価格変動が少ない」の認知が最も低くなる。〔図4-4〕

〔図 4-3〕



〔図 4-4〕



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

(3) ETFの魅力点〔Q9②:重複回答〕

- ETFの魅力点は「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」(10.8%)、「株式より価格変動が少ない」(9.7%)と、リスクの低さに関する特徴が上位にあがる。〔図4-5〕
- 現在保有層では「指数連動するので値動きが分かりやすい」「手数料は一般的な投資信託より低い」が50%以上と高く、特に魅力を感じている様子。〔図4-6〕

〔図 4-5〕

		n=	分散投資 ができる のでリスク 低減が 期待できる	株式より 価格変動 が少ない	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数に 連動する ので値動き がわかり やすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFは その時々 の取引価格 が購入 価額となる	元本保証 はない	証券会社 ごとに 購入時の 手数料が 異なる	わからない ・特にな い	(%)
TOTAL		(20000)	10.8	9.7	6.7	5.8	4.5	3.1	2.5	2.5	77.0	
性別	男性	(9917)	11.1	8.7	7.2	6.6	5.6	3.9	3.3	3.3	74.8	
	女性	(10083)	10.6	10.6	6.3	5.1	3.4	2.4	1.7	1.7	79.1	
年代別	20代	(2747)	10.8	10.0	6.2	6.1	3.9	2.4	2.2	2.0	78.9	
	30代	(3439)	12.8	11.2	7.9	7.0	4.5	3.2	2.6	2.4	74.6	
	40代	(3898)	10.7	8.8	6.2	5.5	4.0	3.2	1.8	2.2	78.3	
	50代	(3230)	10.2	9.3	7.2	5.3	4.4	3.1	2.2	2.2	77.9	
	60代	(3764)	10.0	9.3	6.3	5.7	4.8	3.1	2.2	2.4	77.2	
	70代	(2922)	10.4	9.6	6.7	5.4	5.4	3.6	4.2	3.9	74.7	
世帯年収別	100万円未満	(744)	7.5	7.8	3.6	5.0	2.4	1.7	2.3	1.5	80.9	
	～300万円未満	(3185)	9.3	8.4	5.6	4.7	3.5	2.6	2.6	2.3	79.8	
	～500万円未満	(4336)	11.9	10.6	6.9	5.9	5.3	3.4	2.9	2.6	74.8	
	～1000万円未満	(4707)	14.6	12.7	9.5	7.9	5.8	4.0	2.9	3.6	69.4	
	1000万円以上	(1187)	19.7	15.4	12.6	12.7	9.7	6.8	3.6	4.7	60.1	

〔図 4-6〕

		n=	分散投資 ができる のでリスク 低減が 期待できる	株式より 価格変動 が少ない	手数料は 一般的な 投資信託 より低い	指数に 連動する ので値動き がわかり やすい	成行・ 指値注文 が可能	ETFは その時々 の取引価格 が購入 価額となる	元本保証 はない	証券会社 ごとに 購入時の 手数料が 異なる	わからない ・特にな い	(%)
TOTAL		(20000)	10.8	9.7	6.7	5.8	4.5	3.1	2.5	2.5	77.0	
保有状況別	現在保有層	(122)	49.2	20.5	51.6	53.3	39.3	36.1	9.0	11.5	9.8	
	保有経験層 (現在非保有)	(90)	35.6	21.1	32.2	36.7	31.1	21.1	3.3	8.9	18.9	
	認知・保有未経験層 (金融資産保有経験有)	(2919)	27.6	19.6	18.0	16.4	11.6	9.4	5.0	7.4	43.2	
	認知・保有未経験層 (金融資産保有経験無)	(767)	16.3	14.5	8.6	8.3	5.0	3.4	2.3	3.0	69.4	
	非認知層 (金融資産保有経験有)	(4087)	13.2	12.5	7.9	5.7	6.5	2.8	3.2	3.0	71.0	
	非認知層 (金融資産保有経験無)	(8151)	6.1	6.9	3.4	2.9	1.7	1.3	1.7	0.9	87.4	

4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

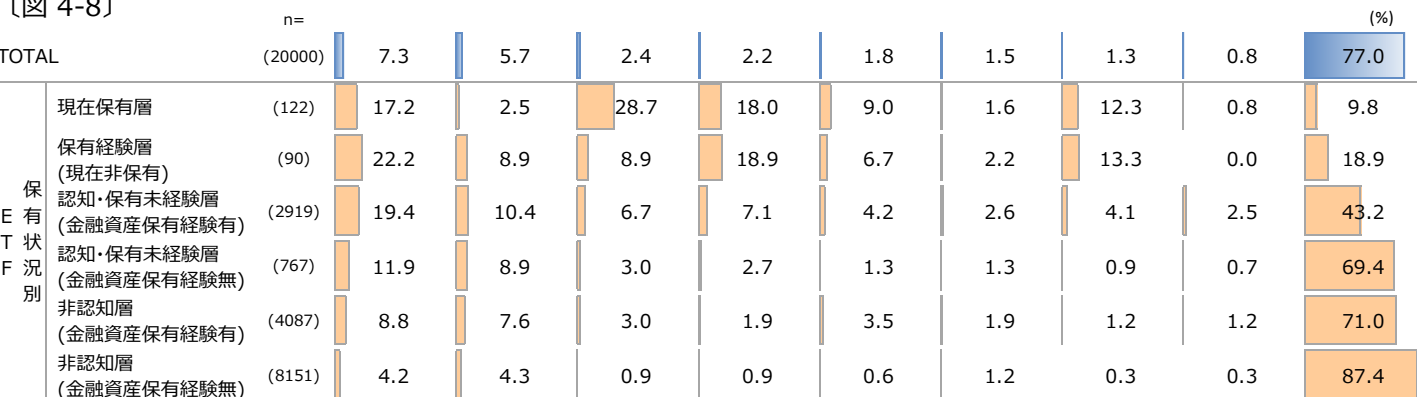
(3) ETFの最魅力点〔Q9③:単数回答〕

- ETFの最魅力点では、魅力点と同様に「分散投資できるのでリスク低減が期待できる」(7.3%)、「株式より価格変動が少ない」(5.7%)と、リスクの低さに関する特徴が上位。〔図4-7〕
- 現在保有層では「手数料は一般的な投資信託より低い」(28.7%)が最も高く、特に魅力を感じている様子。また保有経験層では「分散投資ができるのでリスク低減が期待できる」(22.2%)が最も高く、他層に比べても高い。〔図4-8〕

〔図 4-7〕



〔図 4-8〕

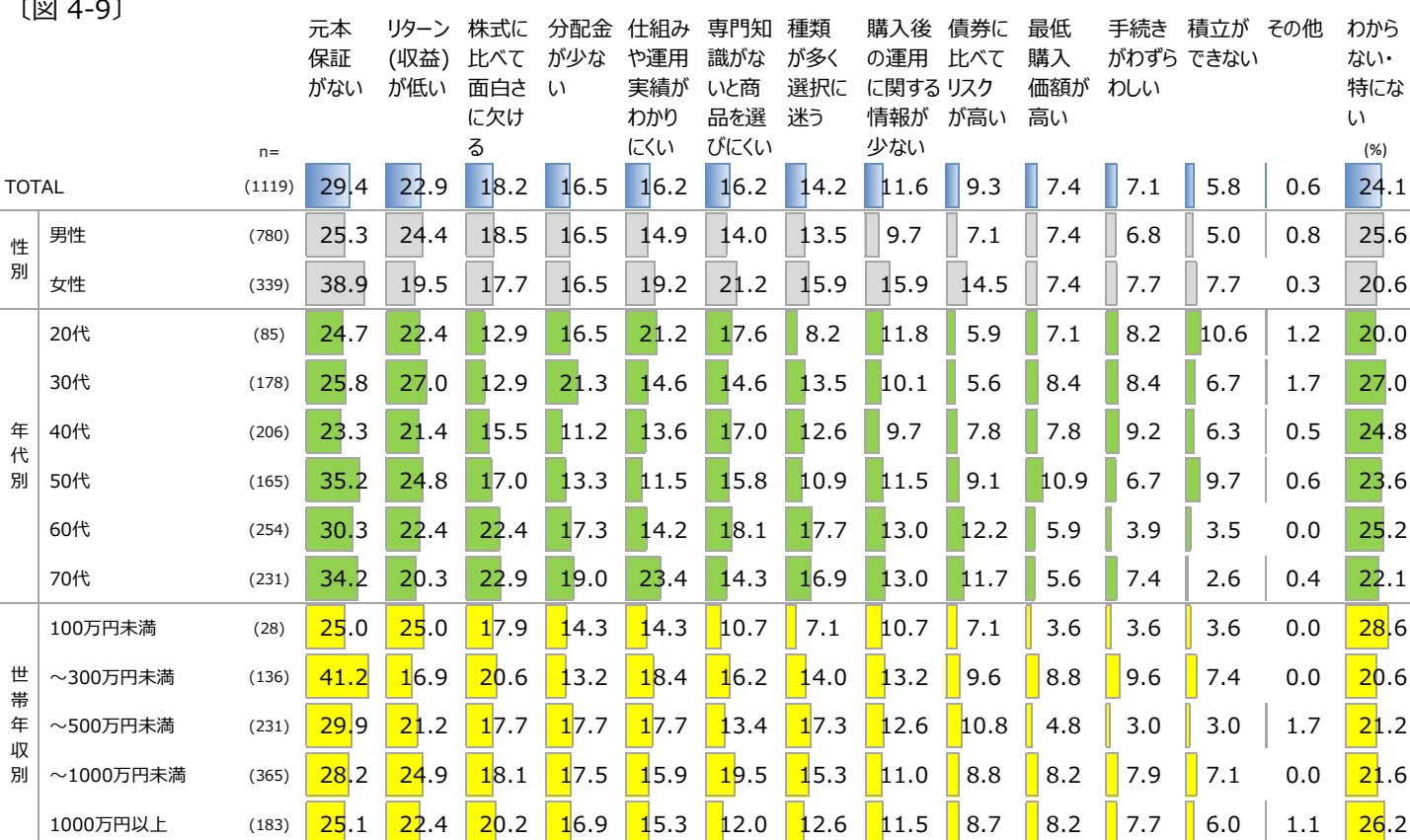


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

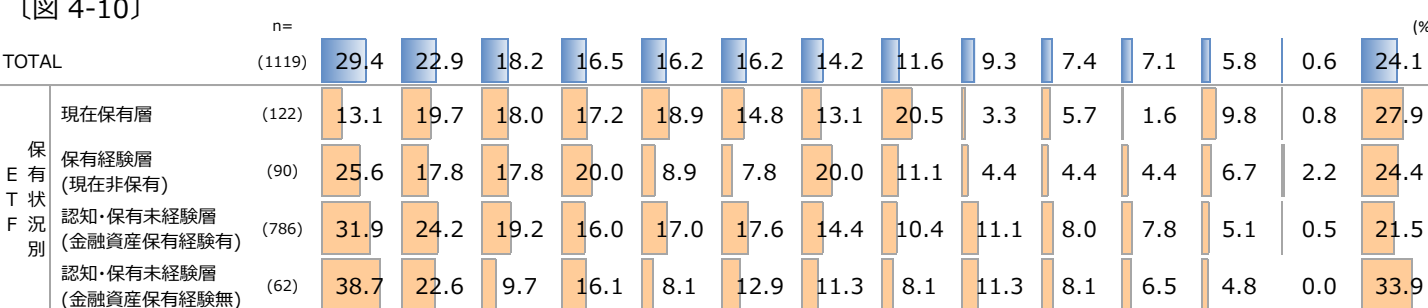
(4) ETFの不満点（ETF内容認知者、保有経験者）〔Q10①:重複回答〕

- ETFの不満点は「元本保証がない」(29.4%)、「リターン(利益)が低い」(22.9%)、「株式に比べて面白さに欠ける」(18.2%)が上位にあがる。〔図4-9〕
- 現在保有層は「購入後の運用に関する情報が少ない」(20.5%)、「積立ができない」(9.8%)が、保有経験層では「分配金が少ない」「種類が多く選択に迷う」(共に20.0%)が他層に比べてやや高い。また認知・保有未経験層では金融資産の保有経験有無に関わらず、「元本保証がない」「リターンが低い」「債券に比べてリスクが高い」「最低購入価額が高い」「手続きがわずらわしい」といった不満が他層に比べてやや高い。〔図4-10〕

〔図 4-9〕



〔図 4-10〕

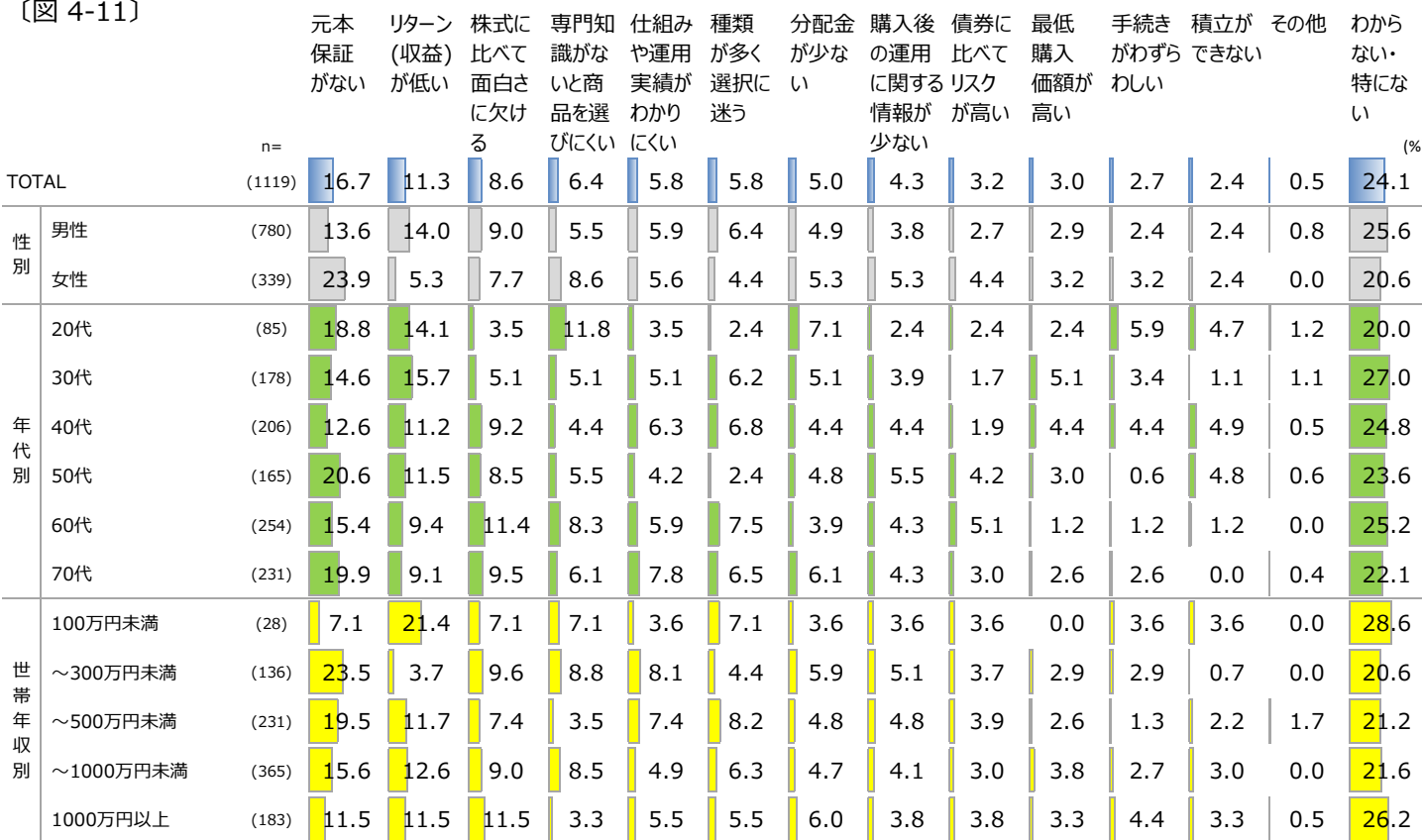


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

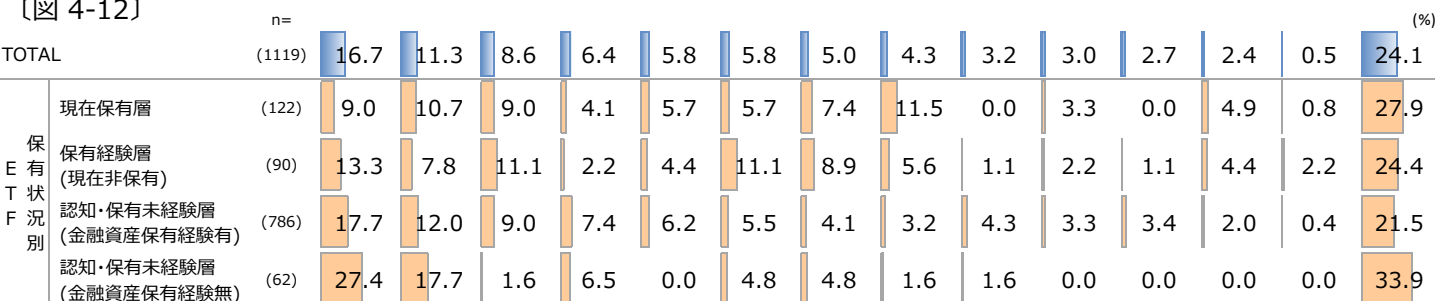
(4) ETFの最不満点(ETF内容認知者、保有経験者)[Q10②:単数回答]

- ETFの最不満点は、「元本保証がない」(16.7%)、「リターン(利益)が低い」(11.3%)、「株式に比べて面白さに欠ける」(8.6%)と不満点と同じ項目が上位にあがる。〔図4-11〕
- 現在保有層は「購入後の運用に関する情報が少ない」(11.5%)が、保有経験層では「種類が多く選択に迷う」(11.1%)が他層に比べてやや高い。また認知・保有未経験層では、「元本保証がない」「リターン(収益)が低い」との不満は高くなる。〔図4-12〕

〔図 4-11〕



〔図 4-12〕

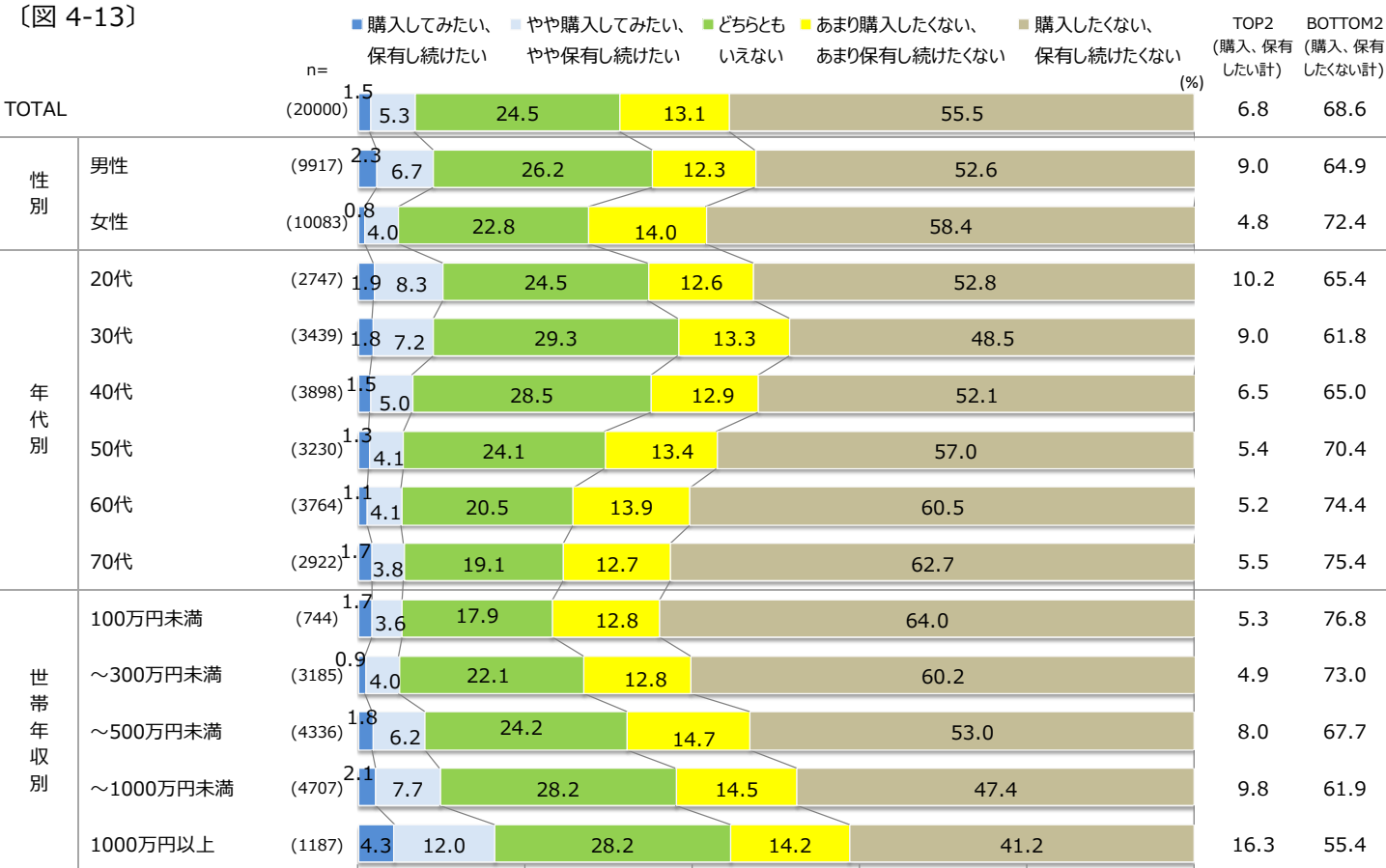


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

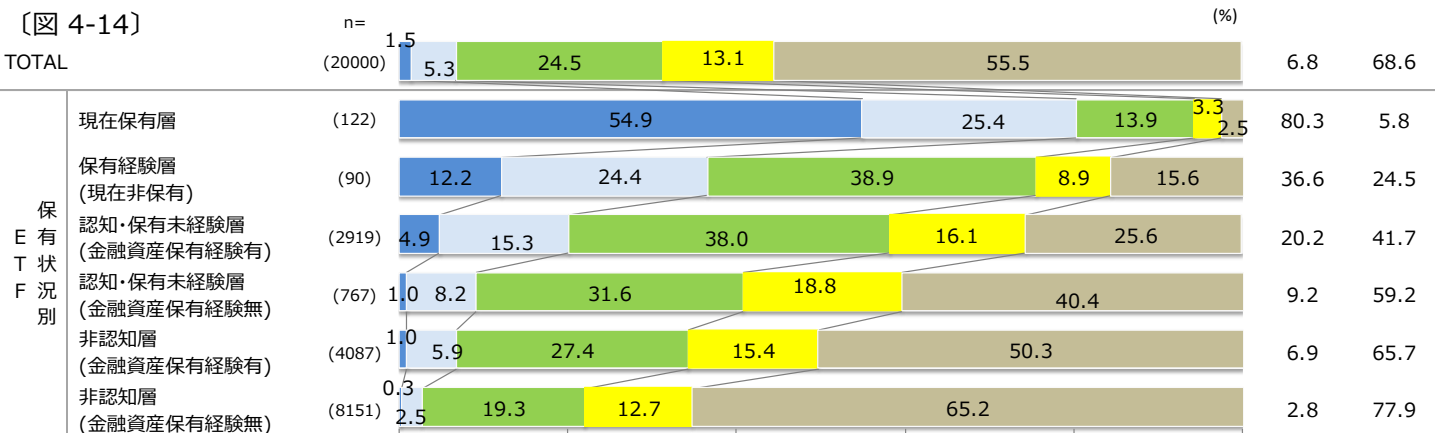
(5) ETF今後の購入・継続保有意向〔Q11:単数回答〕

- ETF今後の購入・継続保有意向は、TOP2(購入、保有したい計)が6.8%、BOTTOM2(購入、保有したくない計)が68.6%との結果。TOP2は年代が下がるにつれ、また世帯年収が上がるにつれ増加する傾向。〔図4-13〕
- 現在保有層ではTOP2が80.3%と継続での保有意向は高い。また保有経験層ではTOP2(36.6%)> BOTTOM2(24.5%)と再度の購入意向が高い模様。〔図4-14〕

〔図 4-13〕



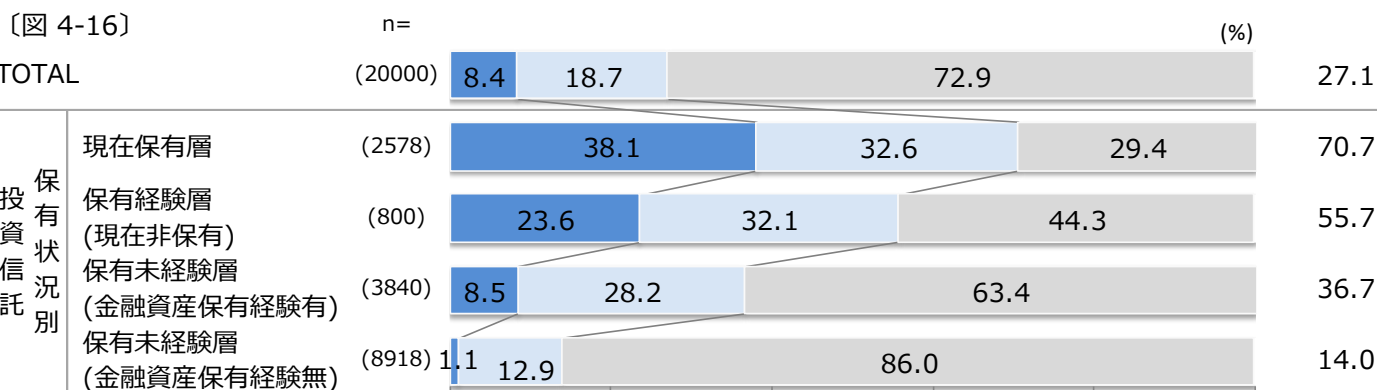
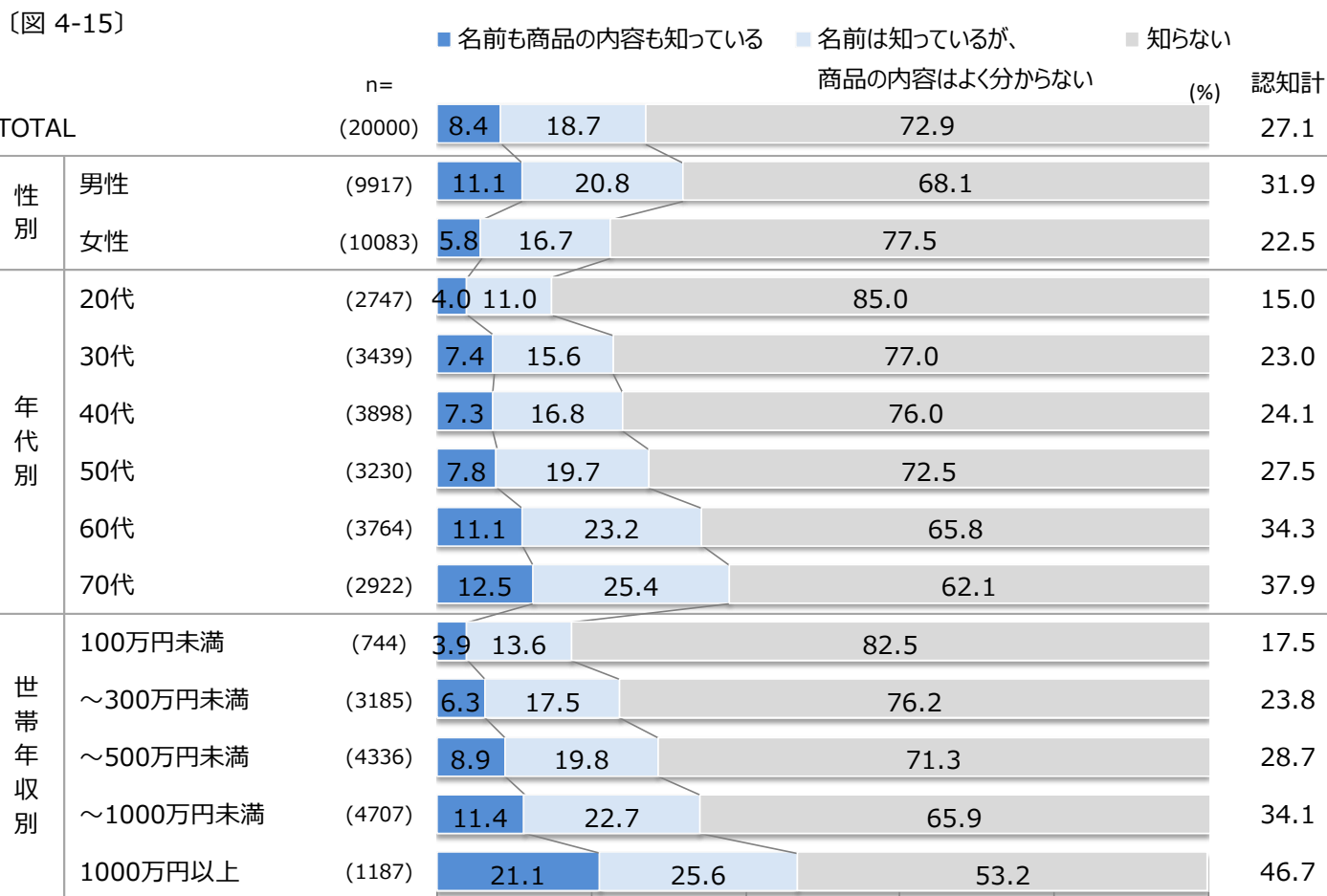
〔図 4-14〕



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

(6) J-REITの認知状況〔Q8②:単数回答〕

- J-REITの認知率(認知計)は27.1%とETF(21.4%〔図4-1〕)に比べやや高い。
- ETFと同様に、年代や世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図4-15〕
- 投資信託保有状況別では、投資への関与が高い層ほど認知率は高く、現在保有層では70.7%に達する。〔図4-16〕

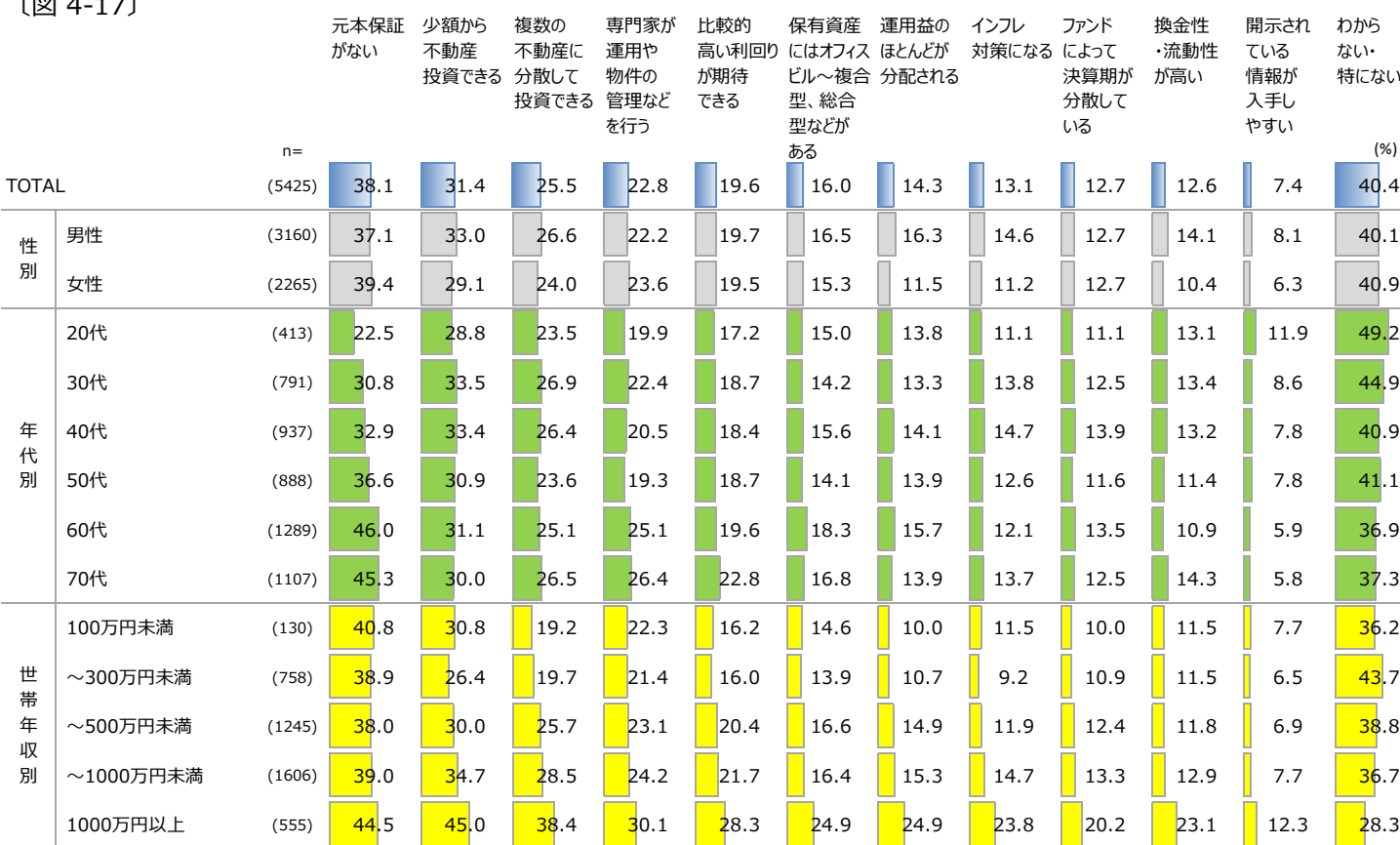


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

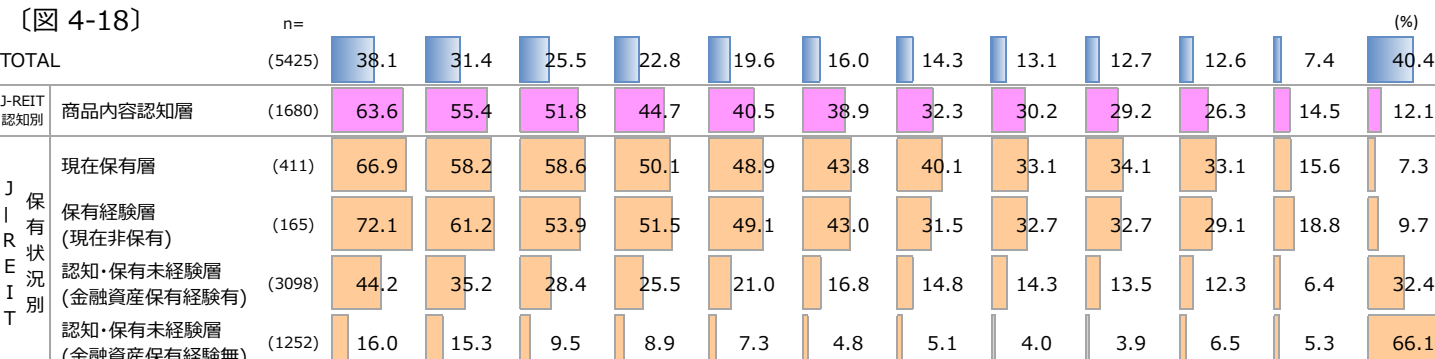
(7) J-REITの特徴認知 (J-REIT認知者)〔Q12①:複数回答〕

- J-REITの特徴の認知は「元本保証がない」(38.1%)が最も高く、「少額から不動産投資できる」(31.4%)が続く。年代別では60代以上の高齢層で「元本保証がない」「専門家が運用や管理などを行う」「比較的高い利回りが期待できる」「保有資産にはオフィス～複合型などがある」の認知が高い。また世帯年収別では上の階層ほど、どの項目も認知が高くなる。〔図4-17〕
- J-REITの保有状況別でみると、商品内容認知層や現在保有層などの関与の高い層でも「インフレ対策になる」「換金性・流動性が高い」といった特徴の認知は30%前後に留まる。〔図4-18〕

〔図 4-17〕



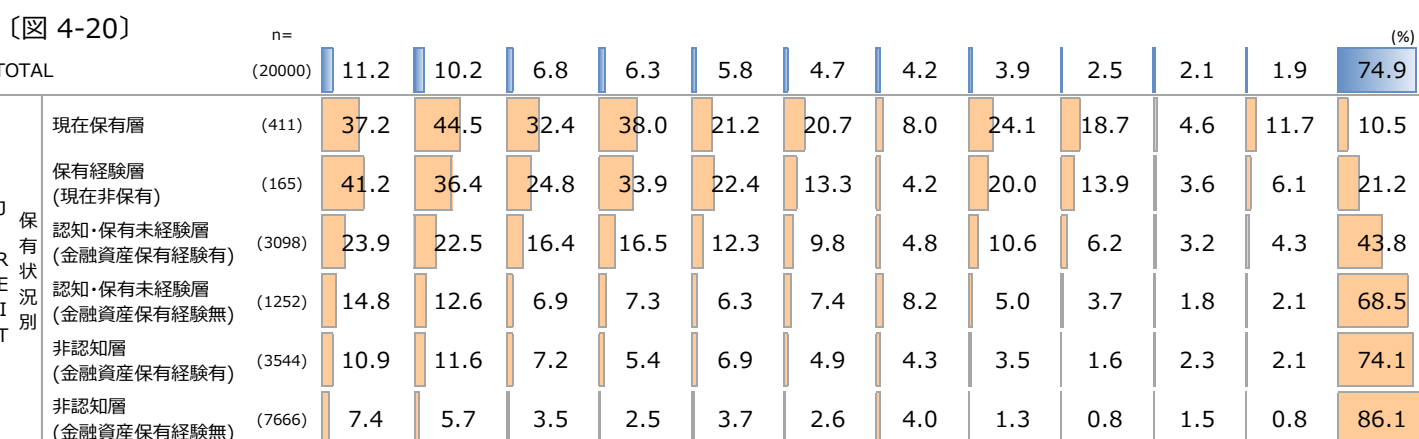
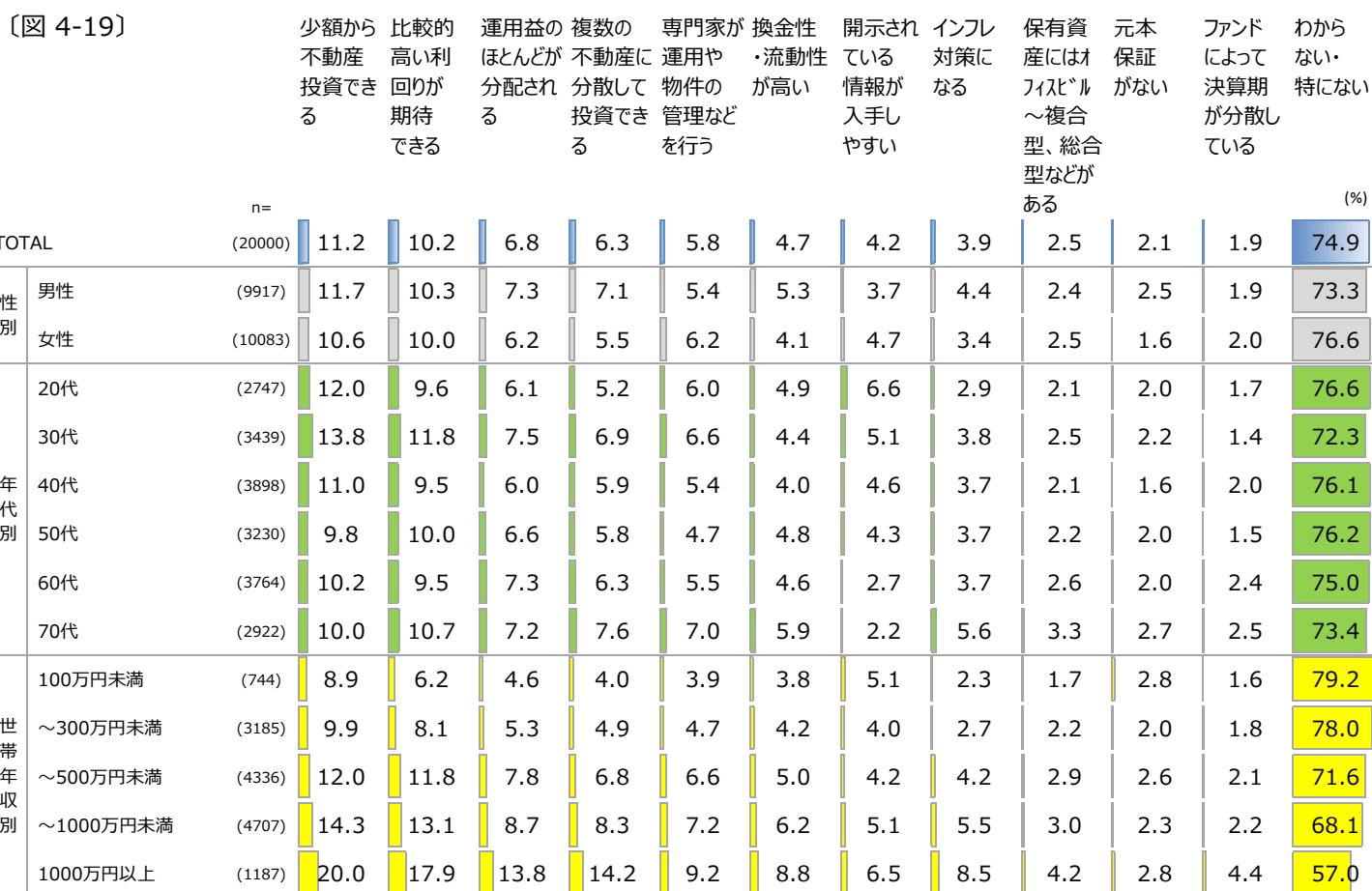
〔図 4-18〕



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

(8) J-REITの魅力点〔Q12②:重複回答〕

- J-REITの魅力点は「少額から不動産投資できる」(11.2%)、「比較的高い利回りが期待できる」(10.2%)が上位となる。〔図4-19〕
- 現在保有層では「比較的高い利回りが期待できる」が44.5%と最も高くなる。保有経験層では「少額から不動産投資できる」が41.2%で最も高い。〔図4-20〕



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

(8) J-REITの最魅力点〔Q12③:単数回答〕

- J-REITの魅力点は「比較的高い利回りが期待できる」(6.5%)、「少額から不動産投資できる」(6.0%)と、魅力点と同じ項目が上位となる。〔図4-21〕
- 現在保有層では「比較的高い利回りが期待できる」が29.2%と最も高くなる。保有経験層では「少額から不動産投資できる」が17.6%で他層に比べ高くなる。〔図4-22〕

〔図 4-21〕

		n=	比較的高い利回りが期待できる	少額から不動産投資できる	運用益のほとんどが分配される	専門家が運用や物件の管理などを行う	複数の不動産に分散して投資できる	インフレ対策になる	換金性・流動性が高い	開示されている情報が入手しやすい	元本保証がない	保有資産にはオフィスビル～複合型、総合型などがある	ファンドによって決算期が分散している	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(20000)	6.5	6.0	2.5	1.9	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	0.5	0.5	74.9	
性別	男性	(9917)	6.7	6.3	2.8	1.5	2.0	1.8	1.7	1.4	1.5	0.5	0.5	73.3	
	女性	(10083)	6.2	5.6	2.2	2.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.0	0.6	0.6	76.6	
年代別	20代	(2747)	5.5	6.9	1.9	1.9	1.0	1.1	1.1	2.3	1.1	0.3	0.4	76.6	
	30代	(3439)	7.4	7.4	2.6	2.0	1.5	1.4	1.4	1.7	1.4	0.3	0.5	72.3	
	40代	(3898)	5.9	6.1	2.1	1.9	1.6	1.6	1.1	1.6	1.0	0.5	0.6	76.1	
	50代	(3230)	6.8	5.3	2.4	1.3	1.7	1.3	1.4	1.4	1.4	0.4	0.5	76.2	
	60代	(3764)	6.2	5.0	3.3	1.9	1.7	1.6	1.6	1.8	0.9	1.2	0.7	0.6	75.0
	70代	(2922)	7.0	5.1	2.5	2.5	2.3	2.1	1.6	0.6	1.4	0.9	0.6	73.4	
世帯年収別	100万円未満	(744)	3.6	5.4	2.2	1.5	0.8	1.1	1.3	2.0	1.9	0.5	0.5	79.2	
	～300万円未満	(3185)	5.1	5.7	1.9	1.8	1.4	1.1	1.3	1.2	1.4	0.6	0.5	78.0	
	～500万円未満	(4336)	7.4	6.4	3.3	2.1	1.5	1.7	1.6	1.8	1.5	0.6	0.4	71.6	
	～1000万円未満	(4707)	8.5	7.5	2.9	2.4	2.4	2.3	1.8	1.5	1.3	0.7	0.7	68.1	
	1000万円以上	(1187)	11.2	10.1	5.1	2.4	4.5	2.8	2.0	1.9	1.3	0.8	0.8	57.0	

〔図 4-22〕

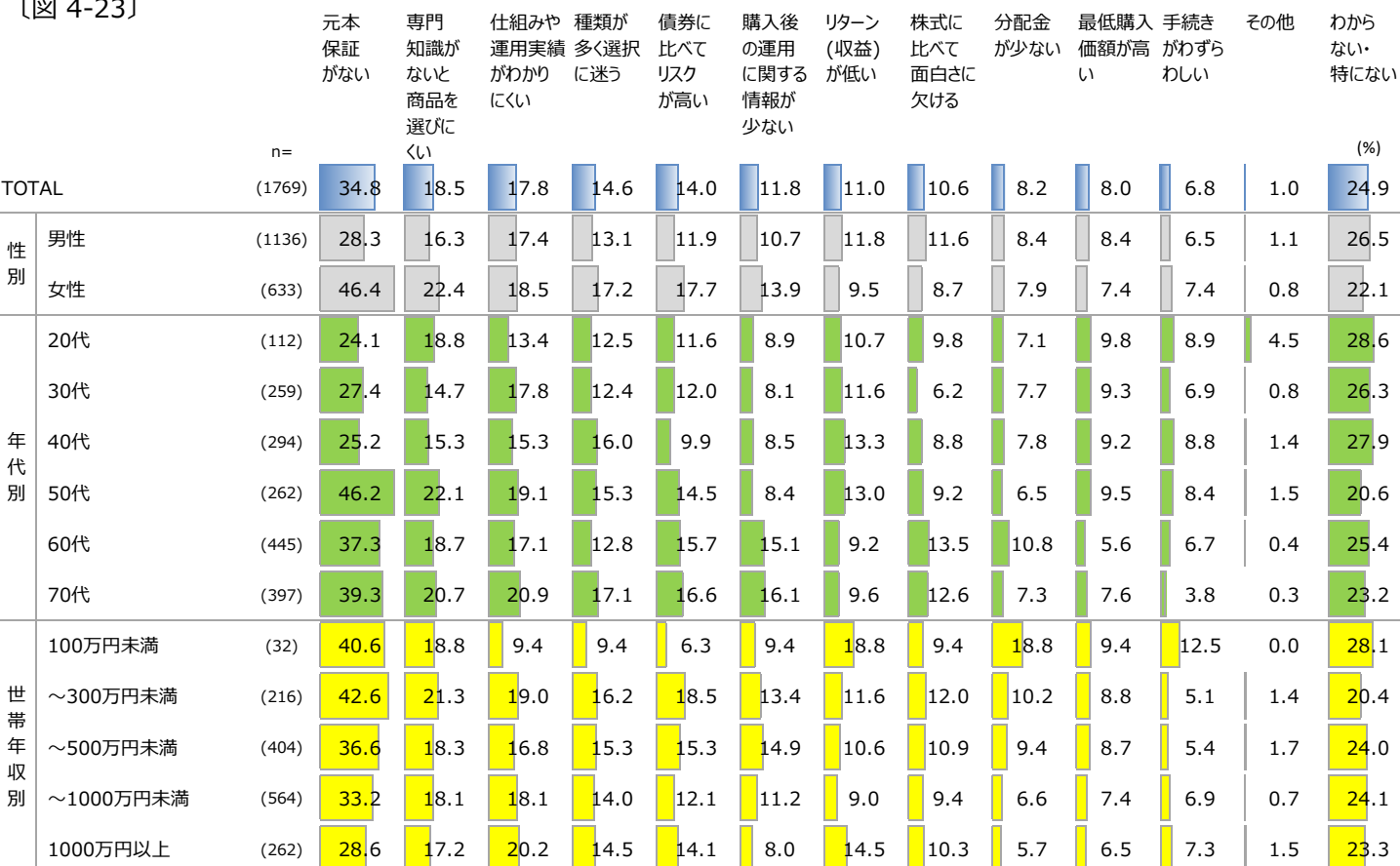
		n=	比較的高い利回りが期待できる	少額から不動産投資できる	運用益のほとんどが分配される	専門家が運用や物件の管理などを行う	複数の不動産に分散して投資できる	インフレ対策になる	換金性・流動性が高い	開示されている情報が入手しやすい	元本保証がない	保有資産にはオフィスビル～複合型、総合型などがある	ファンドによって決算期が分散している	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(20000)	6.5	6.0	2.5	1.9	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	0.5	0.5	74.9	
J-REIT保有状況別	現在保有層	(411)	29.2	13.6	13.1	6.1	9.0	6.1	3.6	0.7	1.5	4.9	1.7	10.5	
	保有経験層 (現在非保有)	(165)	23.0	17.6	9.7	6.1	9.7	6.1	3.6	0.0	0.6	1.8	0.6	21.2	
	認知・保有未経験層 (金融資産保有経験有)	(3098)	15.3	12.0	5.9	4.1	5.4	5.1	3.1	1.3	1.5	1.5	1.1	43.8	
	認知・保有未経験層 (金融資産保有経験無)	(1252)	8.1	8.6	2.2	2.1	1.5	1.5	2.2	3.0	1.0	1.0	0.3	68.5	
	非認知層 (金融資産保有経験有)	(3544)	7.1	6.0	2.9	2.4	1.2	1.1	1.4	1.2	1.7	0.3	0.7	74.1	
	非認知層 (金融資産保有経験無)	(7666)	3.2	4.4	1.2	1.1	0.3	0.4	0.7	1.3	1.0	0.1	0.2	86.1	

4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

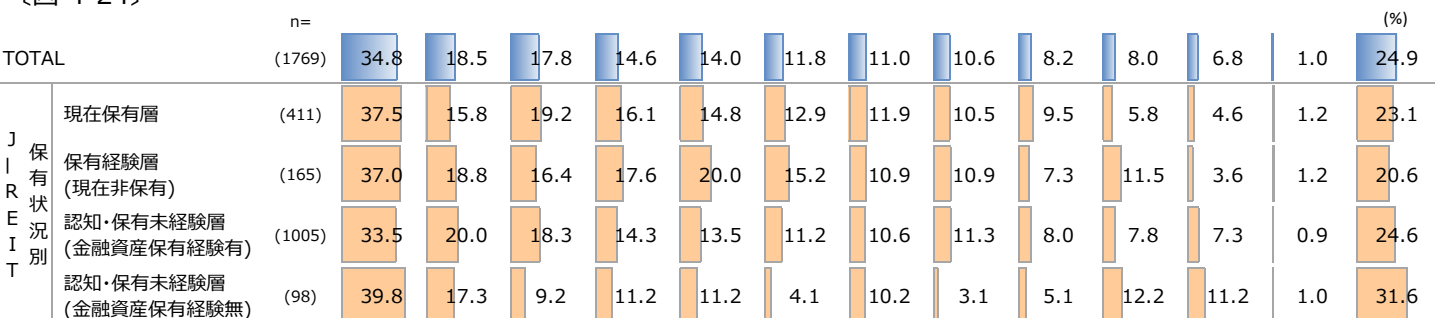
(9) J-REITの不満点 (J-REIT内容認知者、保有経験者)〔Q13①:重複回答〕

- J-REITの不満点は「元本保証がない」(34.8%)が突出。次いで「専門知識がないと商品を選びにくい」(18.5%)、「仕組みや運用実績がわかりにくい」(17.8%)が上位に続く。〔図4-23〕
- J-REIT保有状況別では、保有経験層で「債券に比べてリスクが高い」(20.0%)が他層に比べてやや高い。〔図4-24〕

〔図 4-23〕



〔図 4-24〕



4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

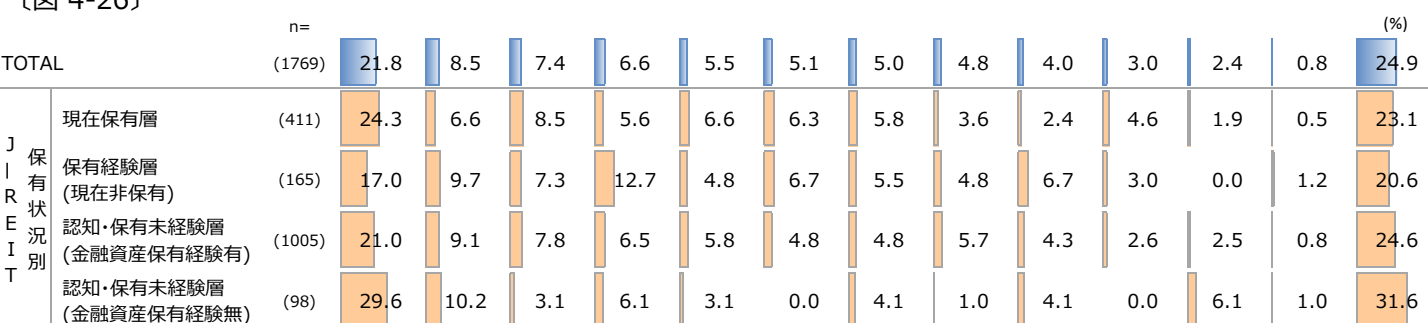
(9) J-REITの最不満点 (J-REIT内容認知者、保有経験者)〔Q13②:単数回答〕

- J-REITの最不満点は、不満点と同様に、「元本保証がない」(21.8%)が突出。〔図4-25〕
- J-REIT保有状況別では、保有経験層で「債券に比べてリスクが高い」(12.7%)が他層に比べてやや高い。〔図4-26〕

〔図 4-25〕



〔図 4-26〕

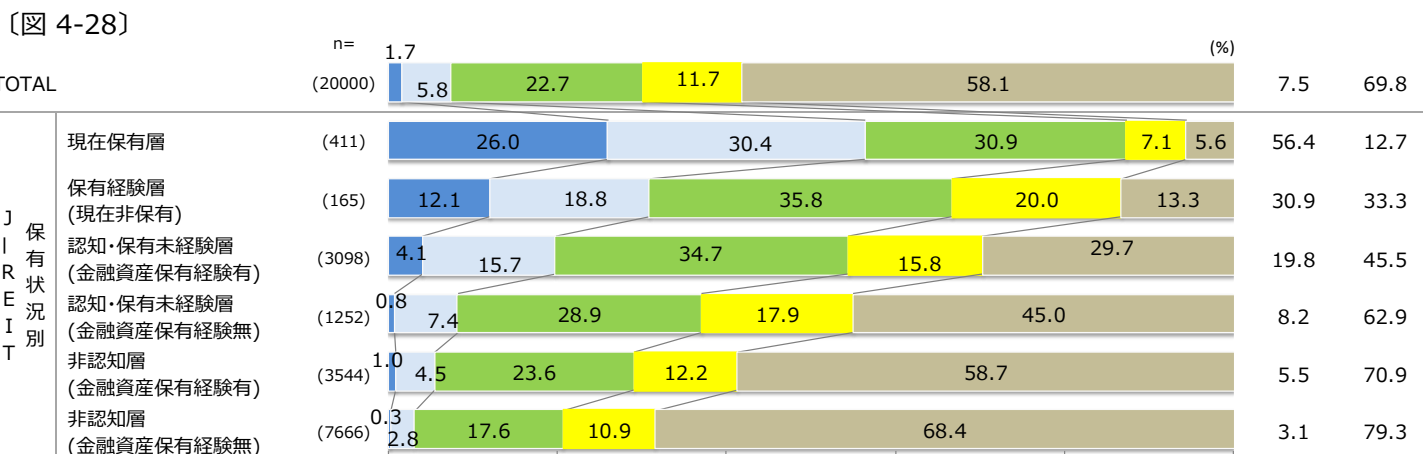
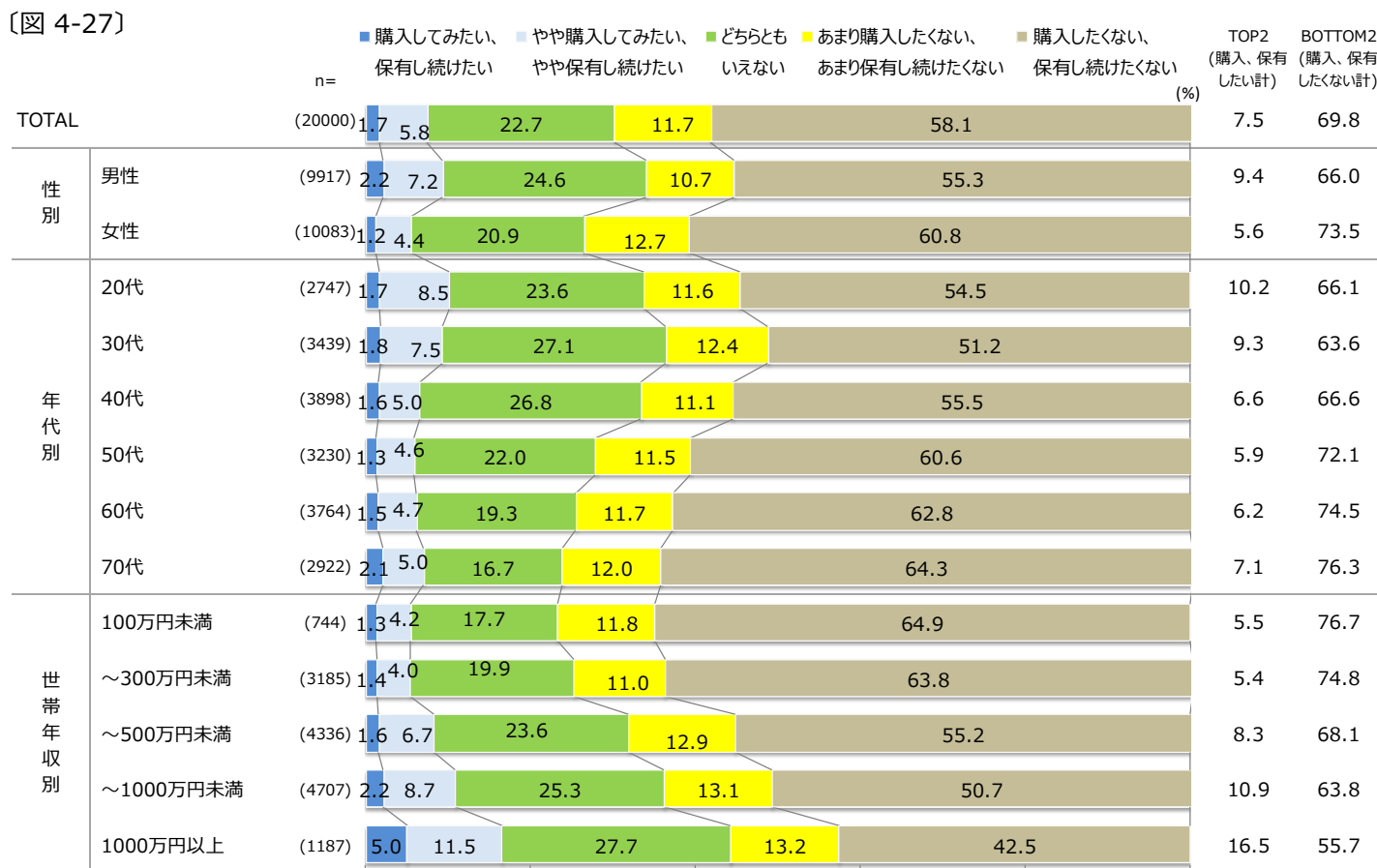


4. ETF、J-REITの浸透状況、今後の購入意向

(10) J-REIT今後の購入・継続保有意向〔Q14:単数回答〕

- J-REITの今後の購入・継続保有意向は、TOP2(購入、保有したい計)が7.5%、BOTTOM2(購入、保有したくない計)が69.8%との結果。
TOP2は、年代が下がるにつれ、また世帯年収が上がるにつれ増加する傾向。〔図4-27〕

- 現在保有層ではTOP2が56.4%と、ETF(TOP2:80.3%〔図4-14〕)に比べ低くなる。〔図4-28〕



5. NISA制度の浸透状況、 今後の利用意向

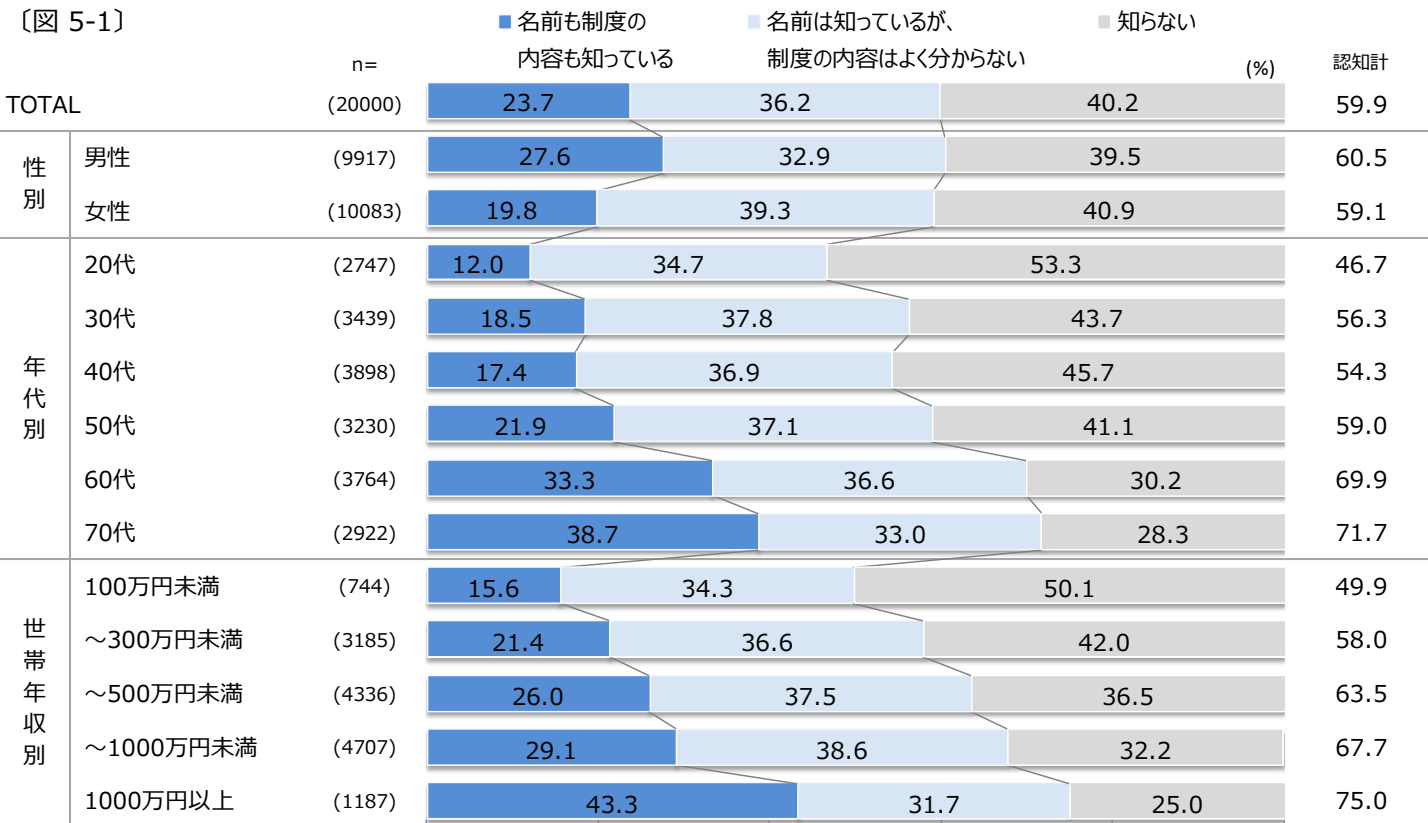


5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

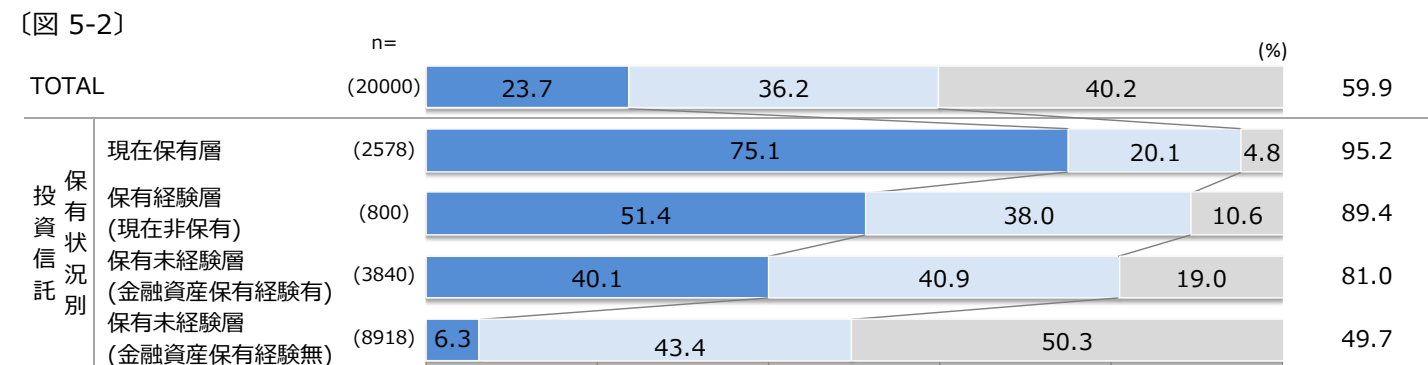
(1) NISAの認知〔Q15①:単数回答〕

- NISAの認知率(認知計)は59.9%。制度内容認知率は23.7%となる。
- 年代や世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図5-1〕
- 投資信託保有状況別で見ると、投資への関与が強い層ほど認知率は高く、現在保有層では95.2%に達する。一方で最もボリュームの大きい保有未経験層（金融資産保有経験無）での認知率は49.7%と半数に満たず、制度内容認知率は6.3%に留まる。〔図5-2〕

〔図 5-1〕



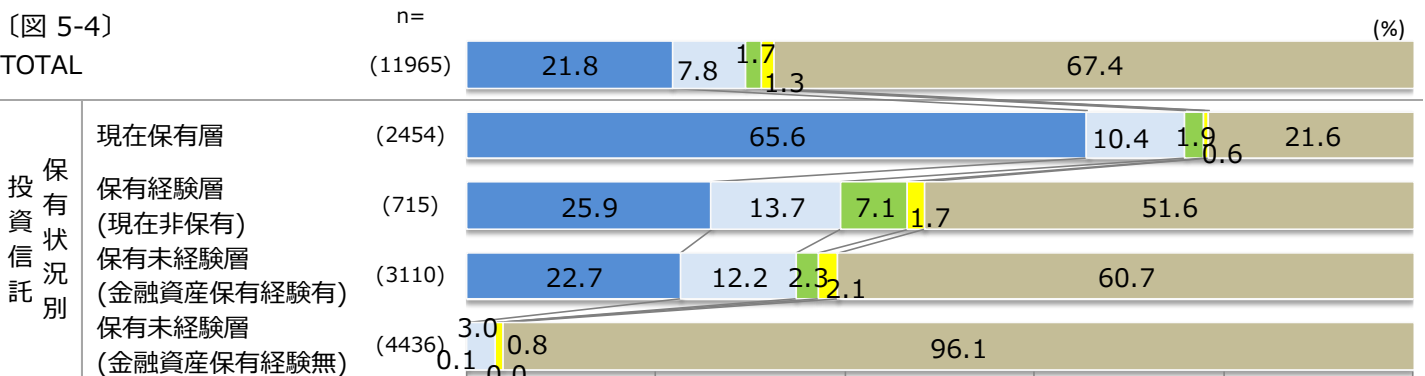
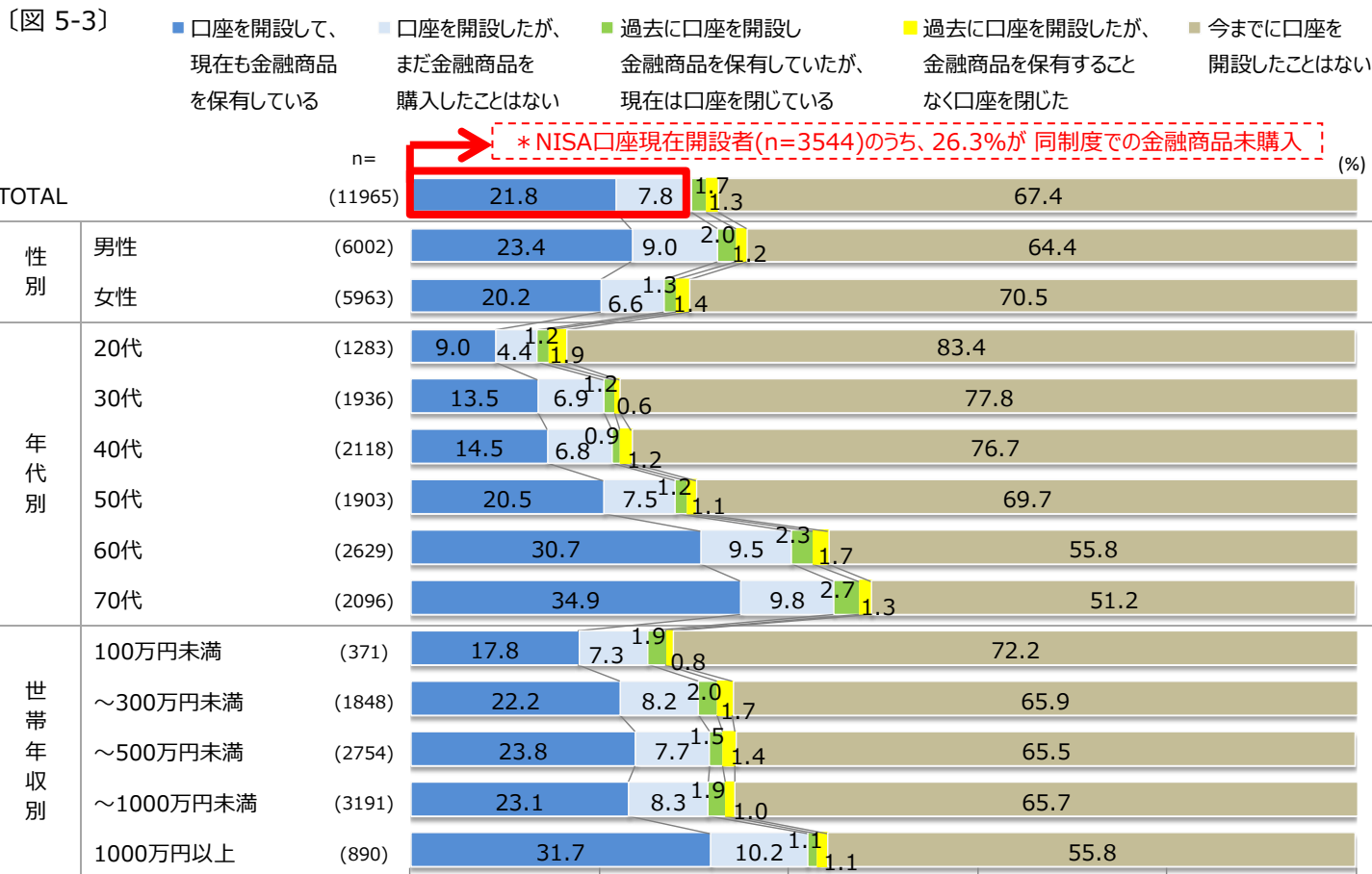
〔図 5-2〕



5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(2) NISAの利用状況(制度認知者)[Q16①:単数回答]

- NISA認知者のうち、同制度での現在金融商品保有者は21.8%に留まる。
また口座開設したが金融商品を保有していないのは7.8%となり、現在NISA口座開設者(計29.6%)の約4人に1人が口座を開いたものの、金融商品の購入に至っていない模様。
- 年代別では高齢層ほど、世帯年収別では1000万円以上世帯で、同制度での現在金融商品保有者が多い。〔図5-3〕
- 投信現在保有層では、同制度での現在金融商品保有者が65.6%に及ぶ。〔図5-4〕

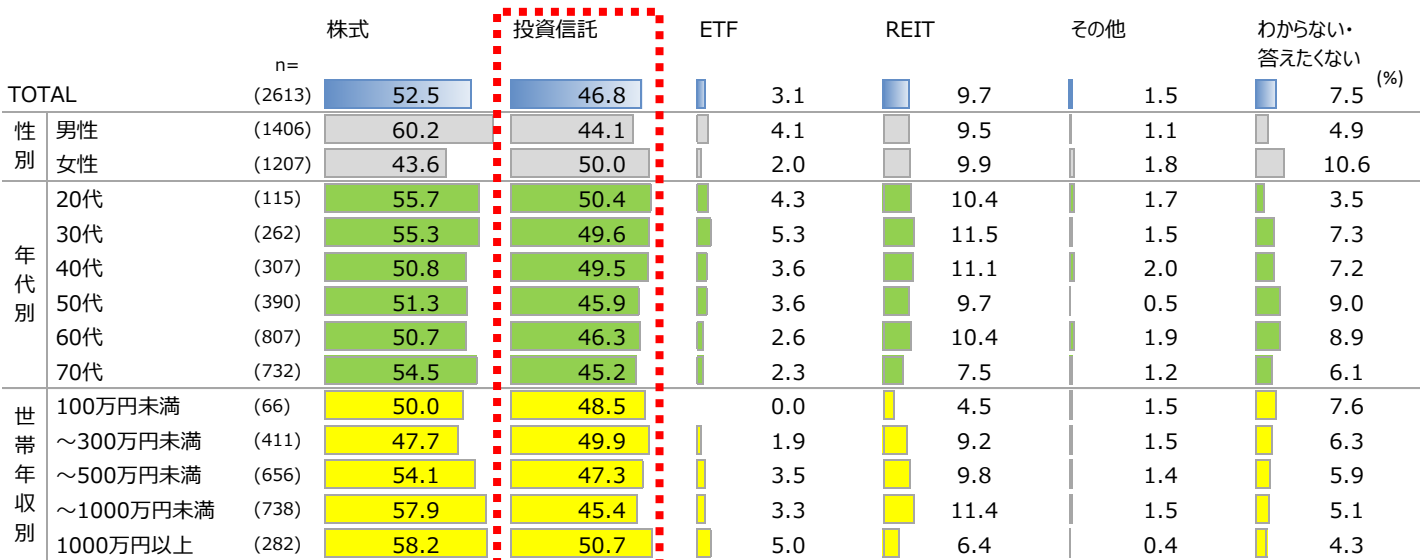


5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

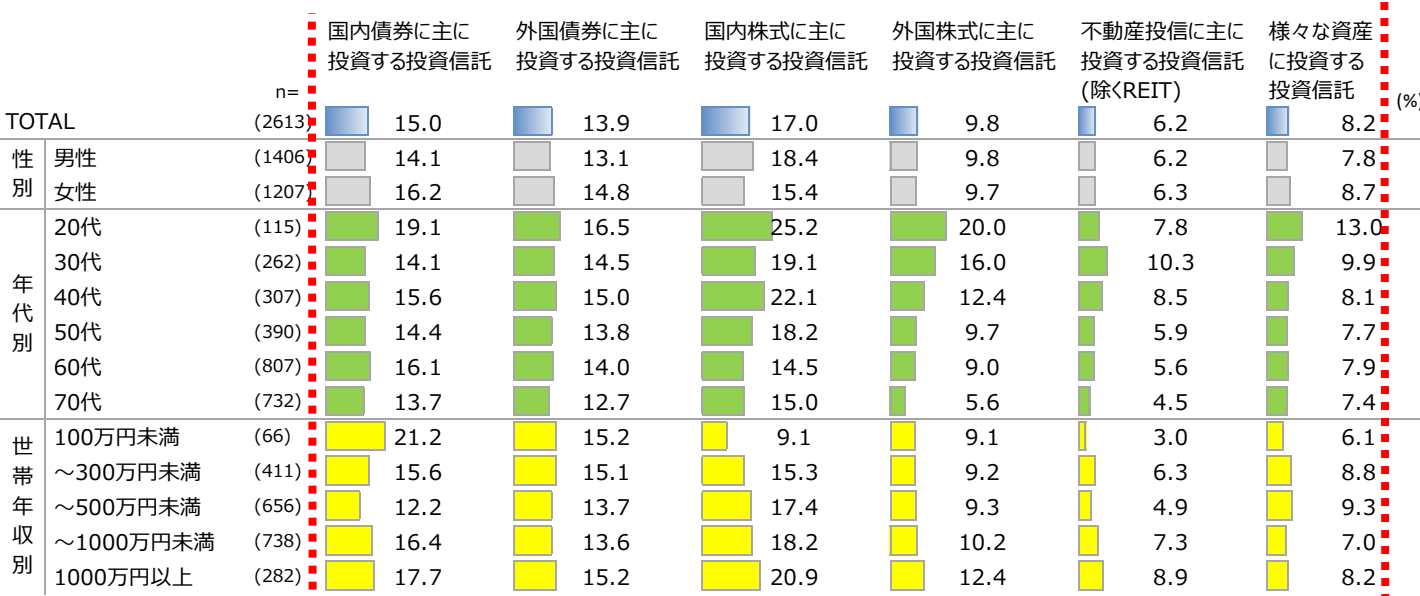
(3) NISAでの保有金融商品(NISAでの現在金融商品保有者) 〔Q17①:重複回答〕

- NISAでの保有金融商品をカテゴリごとにみると、「投資信託」(46.8%)は、「株式」(52.5%)に次いで多い。また「ETF」(3.1%)、「REIT」(9.7%)は10%に満たない反応。投資信託の中では「国内株式に主に投資する商品」の保有率が17.0%と、他商品に比べやや高い。
- 若年層ほど「投資信託」の保有率は増し、「国内／外国株式に主に投資する商品」が顕著に高い。また「国内／外国株式に主に投資する商品」は、高年収層ほど保有率が高い。〔図5-5〕〔図5-6〕

〔図 5-5〕【NISAで保有している金融商品カテゴリ】



〔図 5-6〕【NISAで保有している投資信託商品詳細】



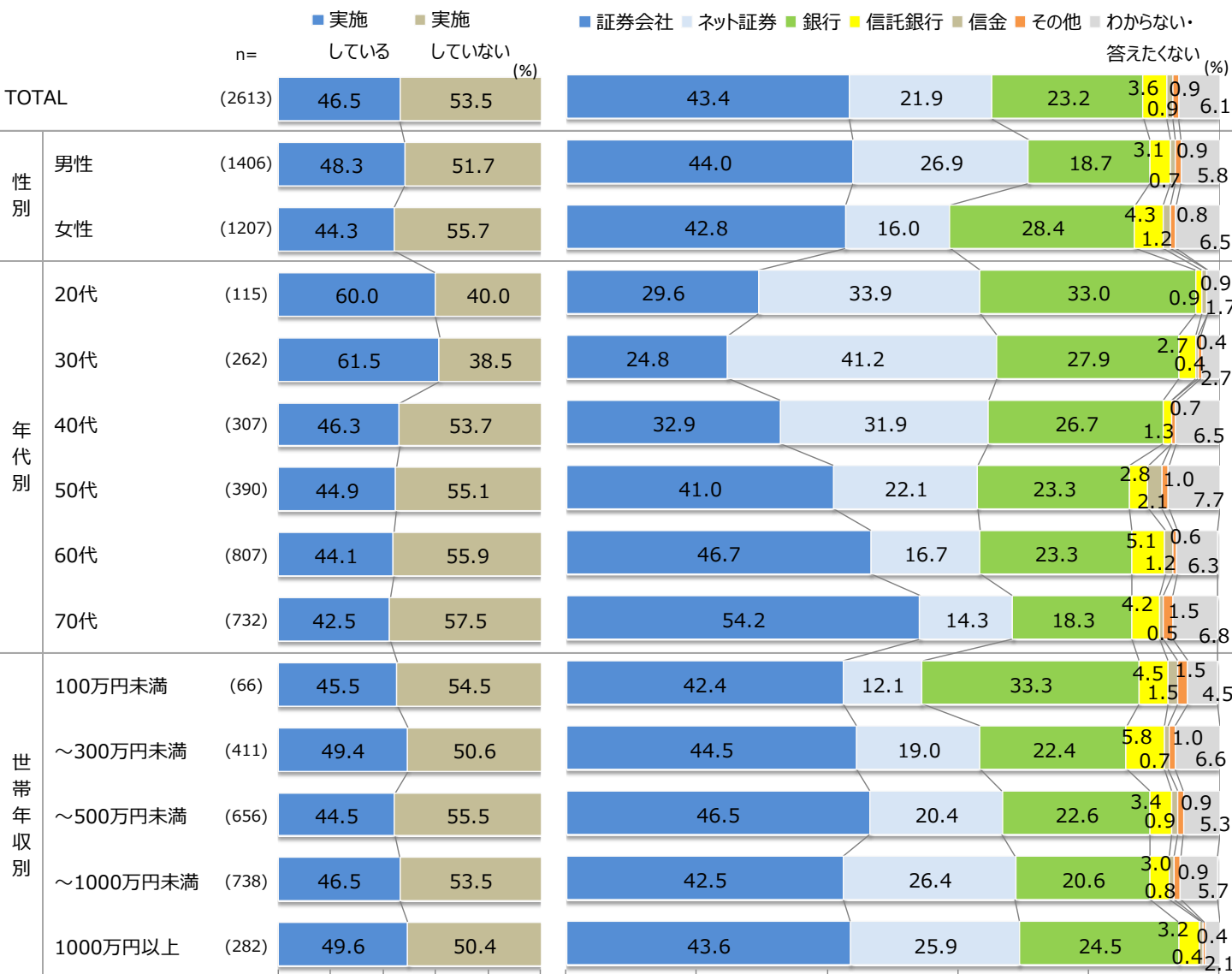
5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(4) NISAでの積立投資実施状況／口座開設金融機関 (NISAでの現在金融商品保有者)〔Q18／Q19①:単数回答〕

- NISAでの積立投資実施率は、46.5%と半数弱で、若年層ほど実施率は高い。また世帯年収別では層別で大きな差はみられない。〔図5-7〕
- NISA口座開設の金融機関は「証券会社」が43.4%で最も多く、「銀行」(23.2%)、「ネット証券」(21.9%)が続く。「証券会社」は高齢層ほど多く、「ネット証券」「銀行」は若年層ほど多くなる傾向。世帯年収別でみると、高年収層ほど「ネット証券」が多くなる傾向。〔図5-8〕

〔図 5-7〕【NISAでの積立投資実施状況】

〔図 5-8〕【NISA口座開設金融機関】



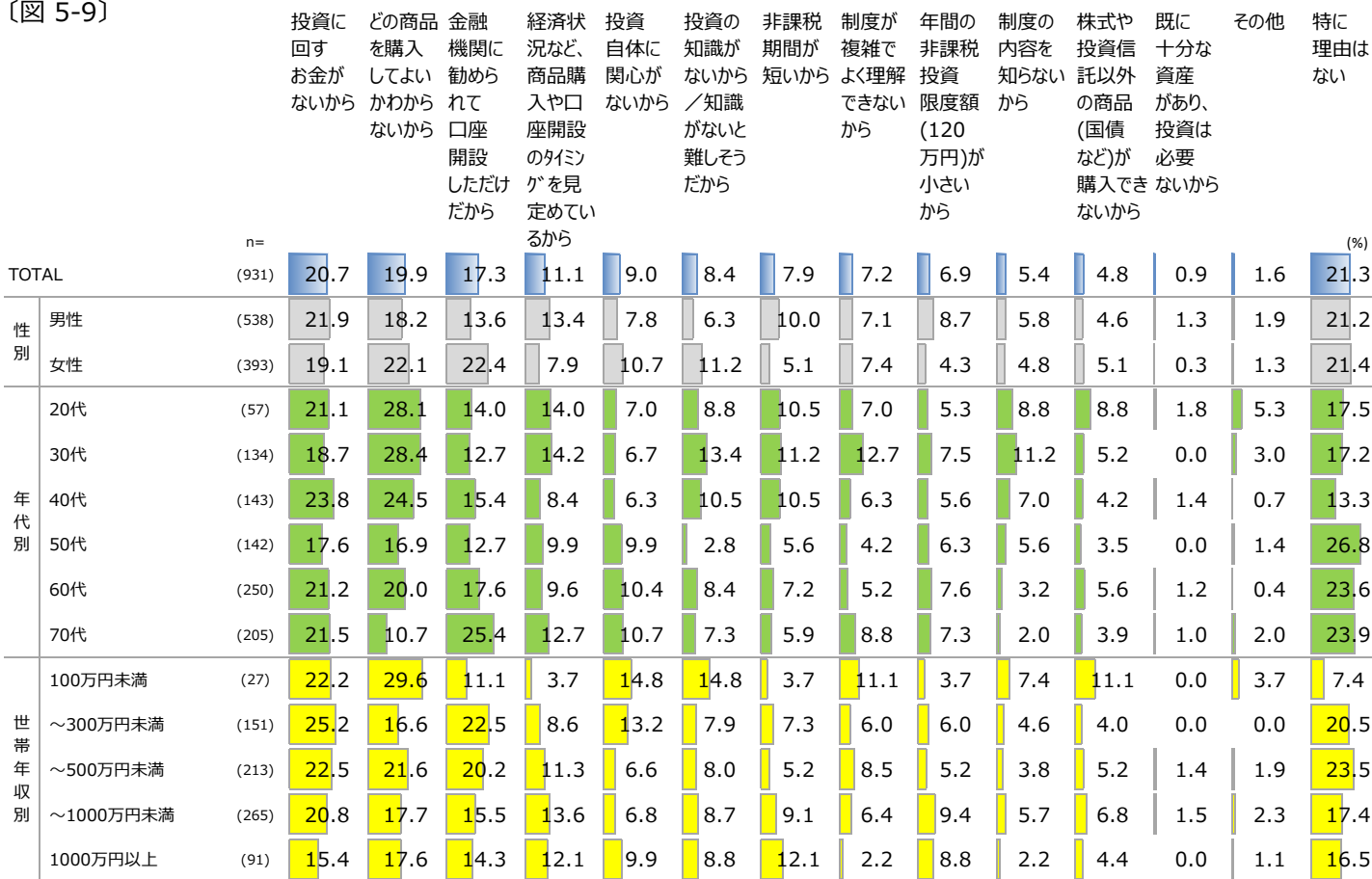
5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(5) NISA口座開設・金融商品未購入理由

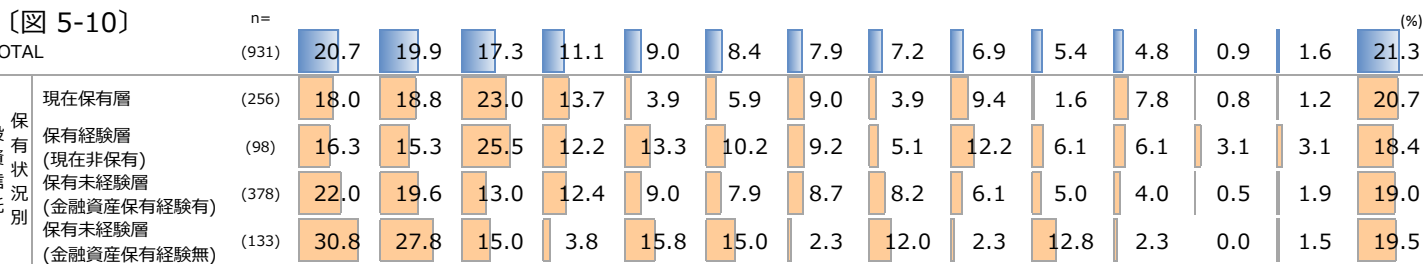
(NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q20①:重複回答〕

- NISAでの金融商品未購入理由は、「投資に回すお金がない」(20.7%)、「どの商品を購入してよいかわからない」(19.9%)、「金融機関に勧められて口座開設しただけ」(17.3%)が上位にあがる。年代別では、高齢層ほど「金融機関に勧められて開設しただけ」が増加し、若年層ほど「どの商品を購入してよいかわからない」が増加する傾向。〔図5-9〕
- 投信保有状況別でみると、相対的に現在保有層、保有経験層では「金融機関に勧められて開設しただけ」「非課税投資限度額が小さい」が、保有未経験層では「投資に回すお金がない」「どの商品を購入してよいか分らない」が高くなる。〔図5-10〕

〔図 5-9〕



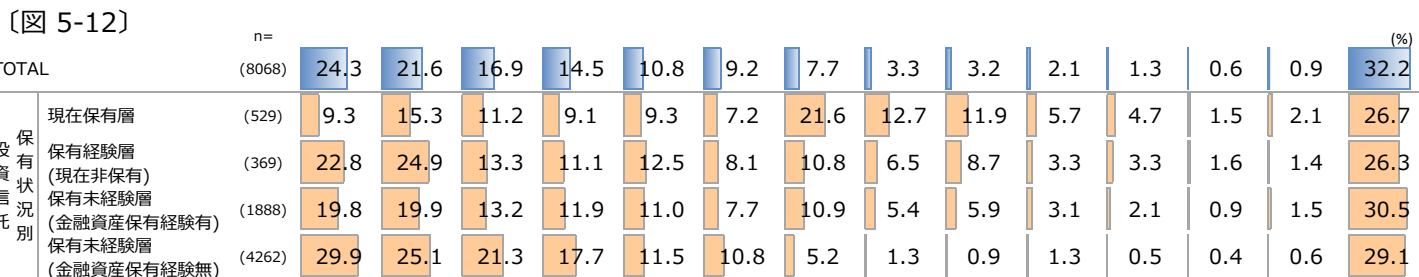
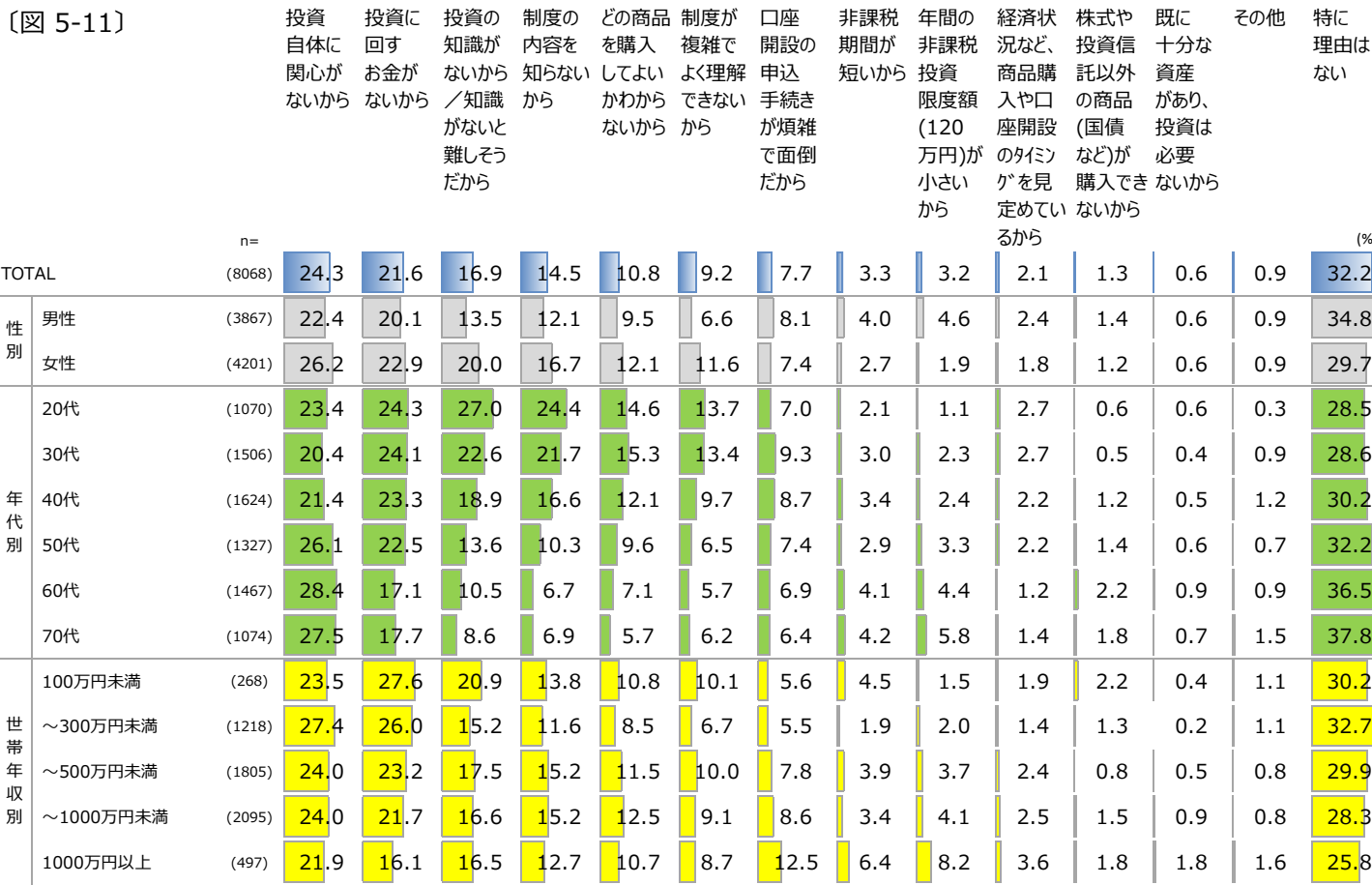
〔図 5-10〕



5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(6) NISA口座未開設理由(NISA認知・口座未開設層)〔Q20①:重複回答〕

- NISA口座未開設理由は、「投資に関心がない」(24.3%)、「投資に回すお金がない」(21.6%)が上位にあがる。年代別では、若年層ほど「投資の知識がない」「投資に回すお金がない」「制度内容を知らない」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑で理解できない」が高く、知識のなさや経済的理由が多くなる。反対に高齢層ほど「投資に関心がない」が高い。〔図5-11〕
- 投信保有状況別でみると、現在保有層では、「口座開設の申込手続きが煩雑で面倒」「非課税期間が短い」「非課税投資限度額が小さい」と、口座開設の手間感や制度内容への不満が理由として多くなる。〔図5-12〕

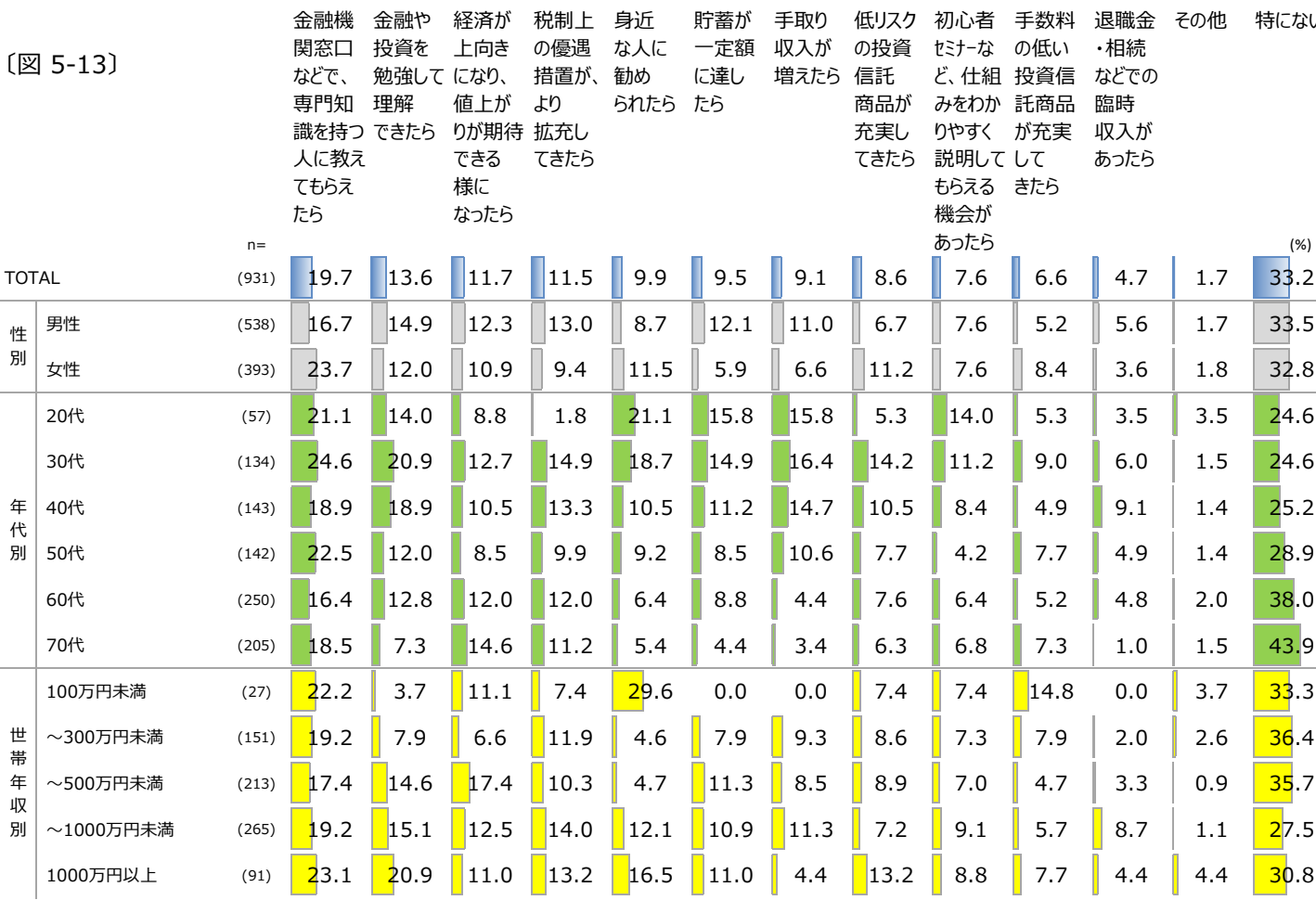


5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

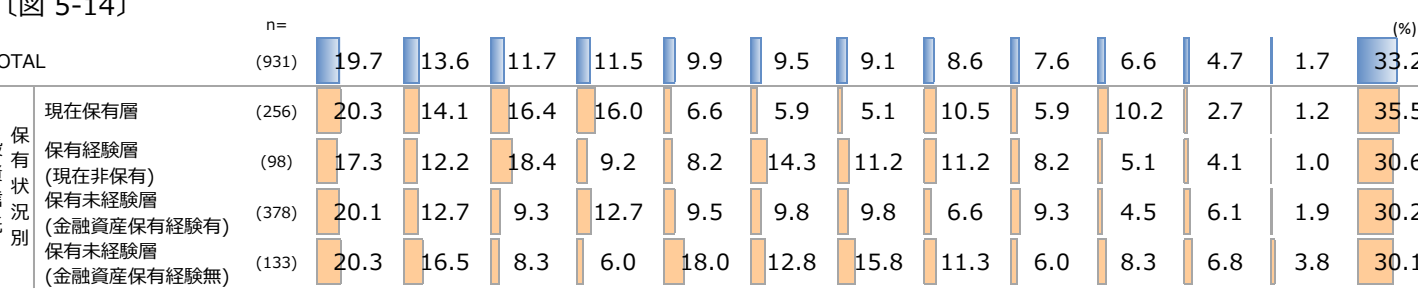
(7) NISA口座での金融商品購入検討のきっかけ (NISA口座開設・金融商品未購入層)〔Q21①:重複回答〕

- NISA口座開設・金融商品未購入層のNISAでの金融商品購入検討のきっかけは、「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」(19.7%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(13.6%)が上位。年代別で見ると、どの項目も30代で他年代に比べ高くなる傾向。〔図5-13〕
- 投信保有状況別では、いずれの層でも「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」が高い。また現在保有層では「税制上の優遇措置拡充」「手数料の低い投信商品が充実」が、保有未経験層(金融資産保有経験無)では「身近な人に勧められたら」「手取り収入が増えたら」が相対的に高い。〔図5-14〕

〔図 5-13〕



〔図 5-14〕



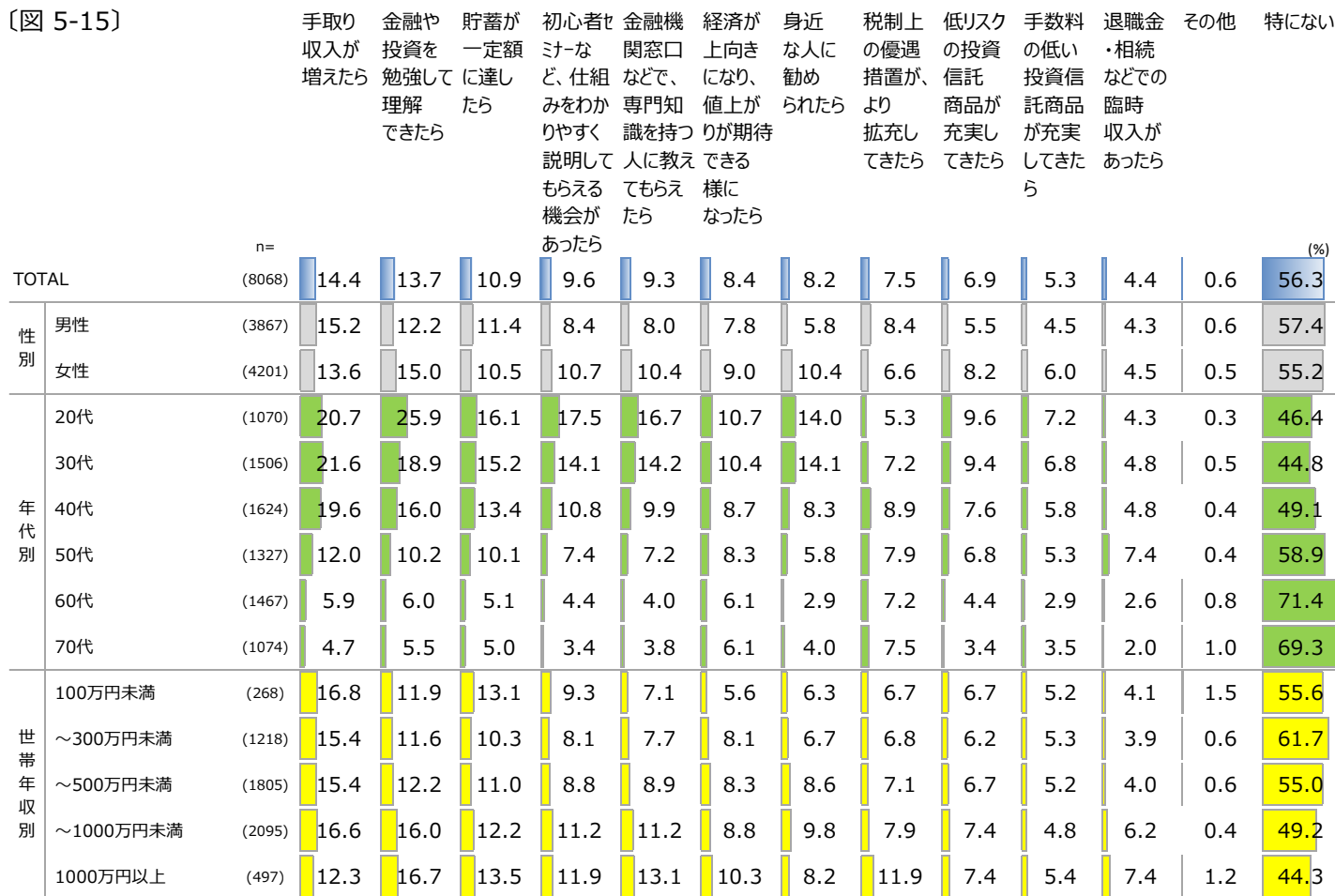
5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(8) NISA口座開設検討のきっかけ

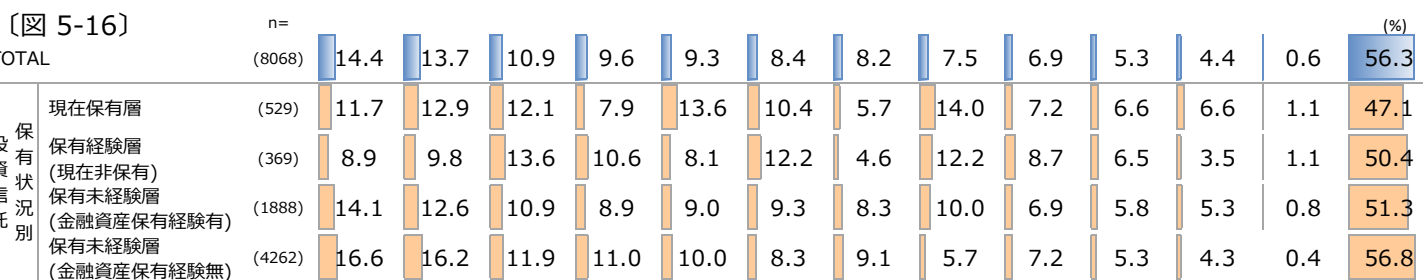
(NISA認知・口座未開設層)[Q21①:重複回答]

- NISA認知・口座未開設層のNISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(14.4%)、「金融や投資を勉強して理解できたら」(13.7%)が上位となる。年代別では若年層ほどどの項目も高くなる傾向。〔図5-15〕
- 投信保有状況別でみると、現在保有層では「税制上の優遇措置が拡充」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「臨時収入があったら」が、保有未経験層で「手取り収入が増えたら」「金融や投資を勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」が相対的に高くなる。〔図5-16〕

〔図 5-15〕



〔図 5-16〕

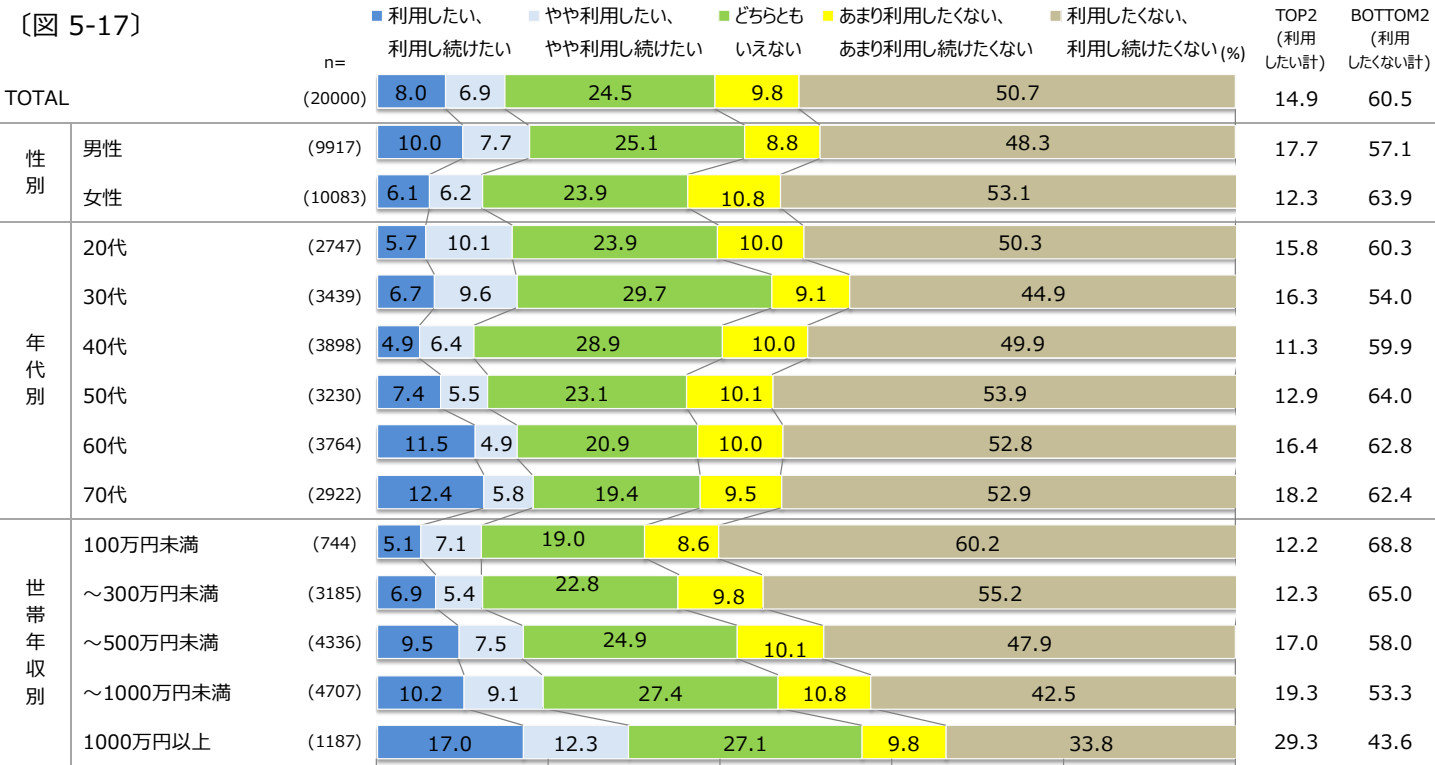


5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

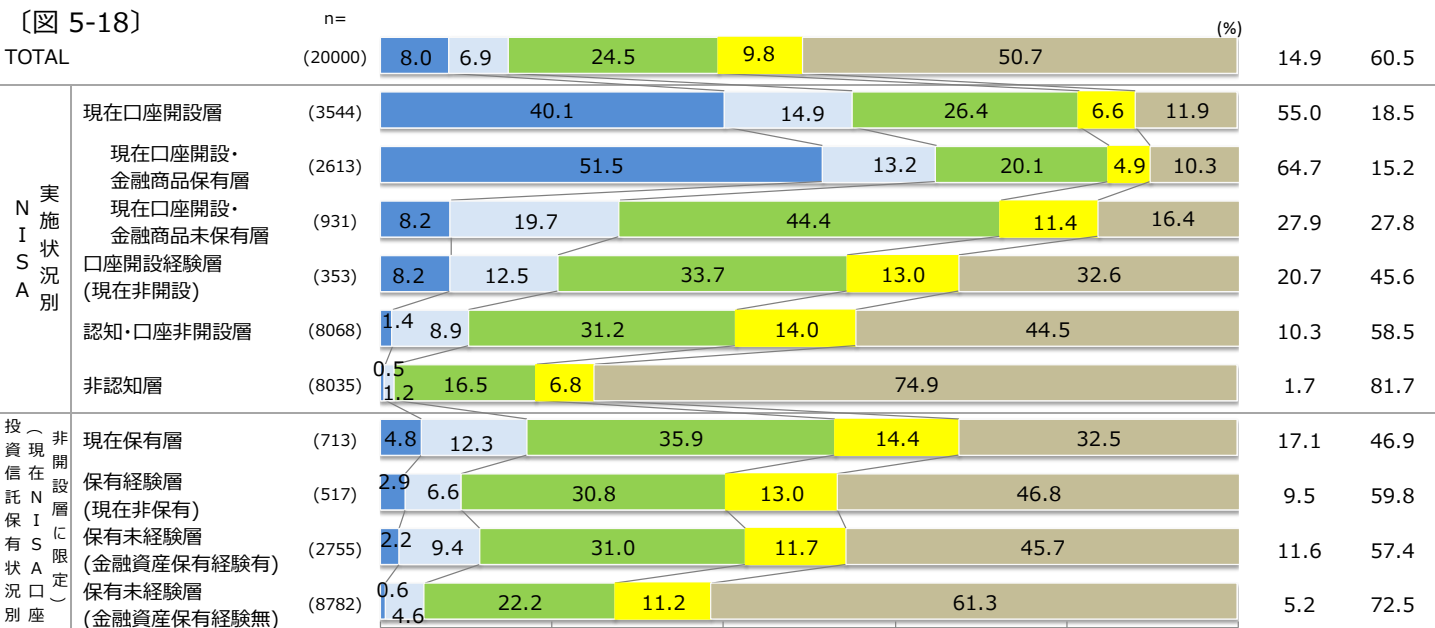
(9) NISAの今後の利用意向〔Q22①:単数回答〕

- NISAの利用・継続利用意向は、TOP2(利用したい計)が14.9%、BOTTOM2(利用したくない計)が60.5%との結果。TOP2は世帯年収が上がるにつれ増加する傾向。〔図5-17〕
- 現在NISA口座開設層は半数以上が継続意向を示すが、同層を金融商品保有有無で分割してみると、金融商品保有有無層は「どちらともいえない」が44.4%と多く、継続を決めかねている様子。〔図5-18〕

〔図 5-17〕



〔図 5-18〕

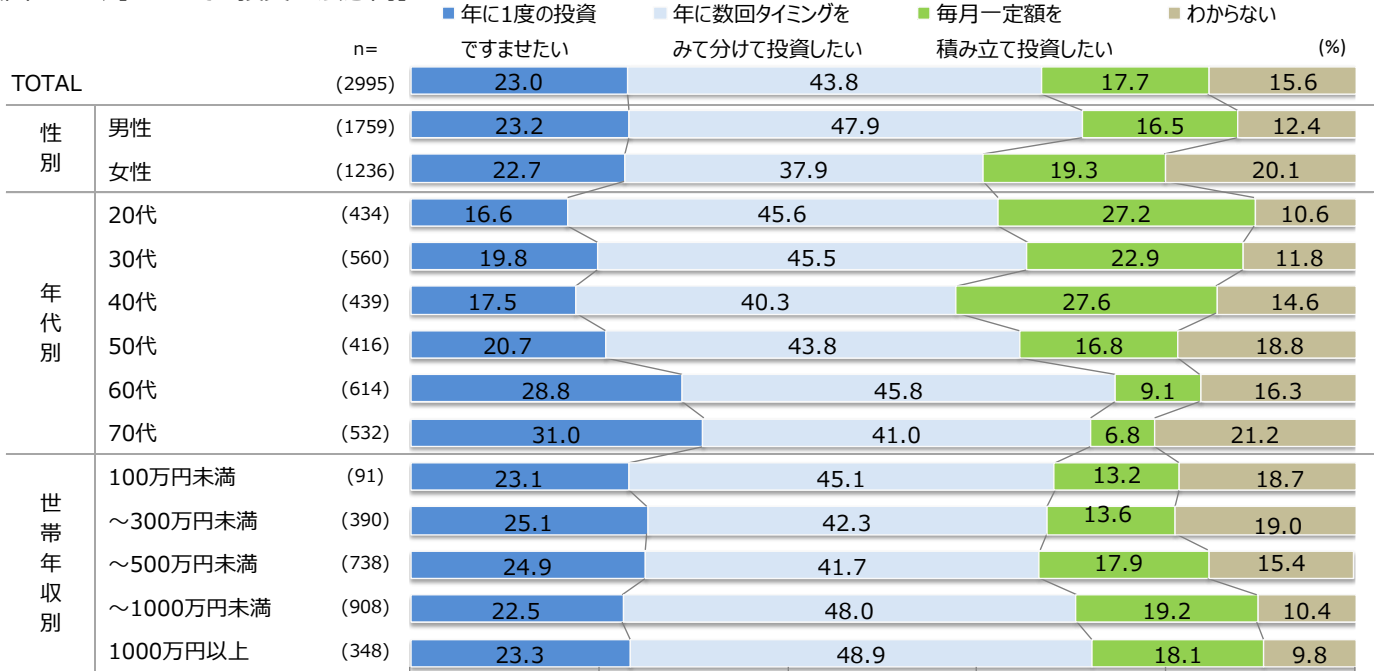


5. NISA制度の浸透状況、今後の利用意向

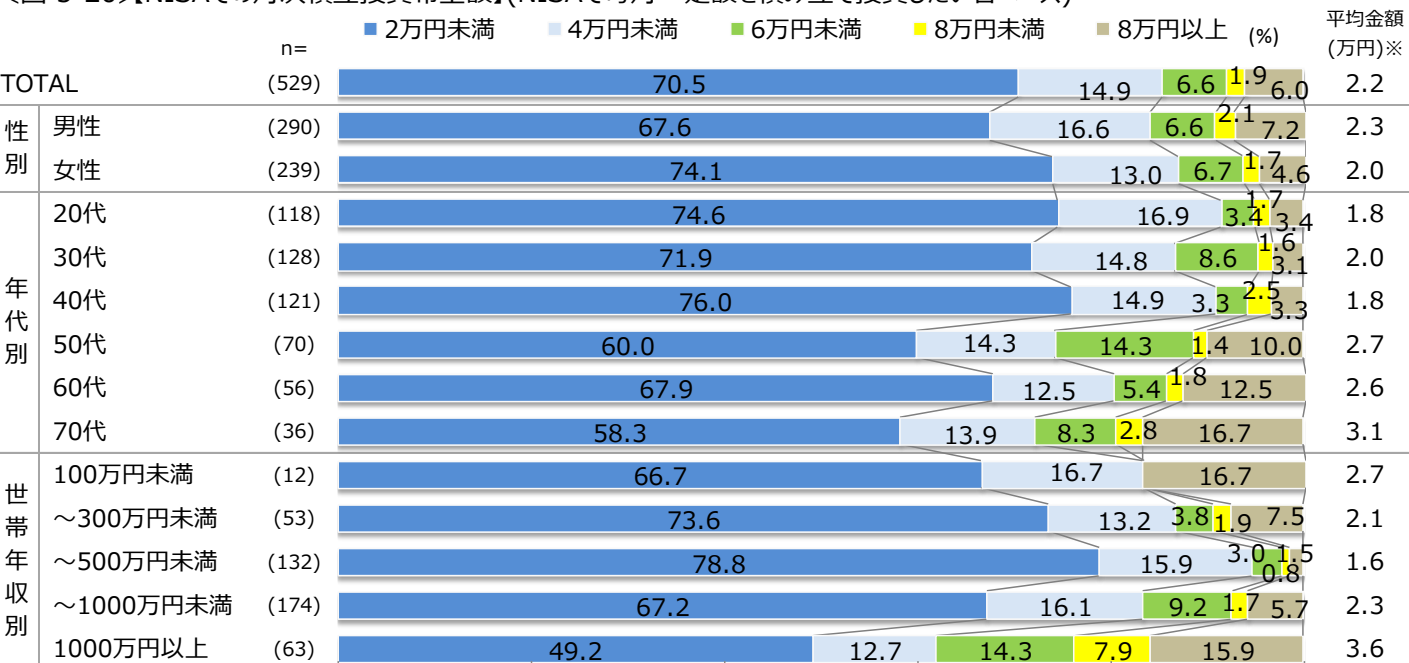
(10) NISAでの投資方法意向／月次積立投資希望額 (NISA今後利用意向者)〔Q23①／Q24①:共に単数回答〕

- NISAで実施したい投資方法は「年に数回」(43.8%)が最多、「毎月定額積立投資」は17.7%に留まる。「毎月定額」の額面では「2万円未満」が70.5%と大半をしめる。年代別では40代以下で、また世帯年収別では高年収層ほど、相対的に「毎月定額」の投資意向は高い。〔図5-19〕〔図5-20〕

〔図 5-19〕【NISAでの投資方法意向】



〔図 5-20〕【NISAでの月次積立投資希望額】(NISAで毎月一定額を積み立て投資したい者ベース)



※平均値算出にあたってのウエイト値 2万円未満：1万円／4万円未満：3万円／6万円未満：5万円／8万円未満：7万円／8万円以上：9万円

6. ジュニアNISA制度の浸透状況、 今後の利用意向

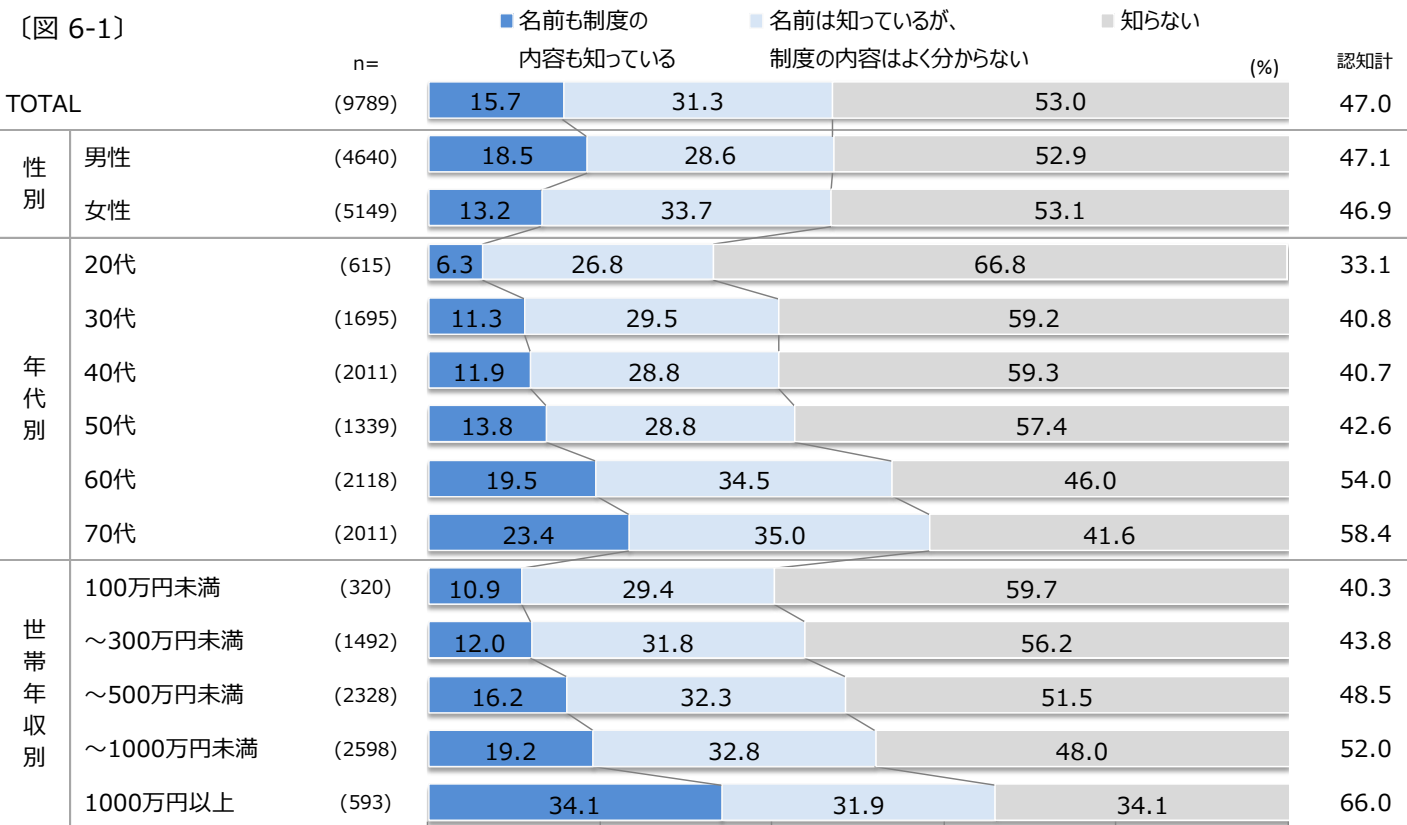


6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

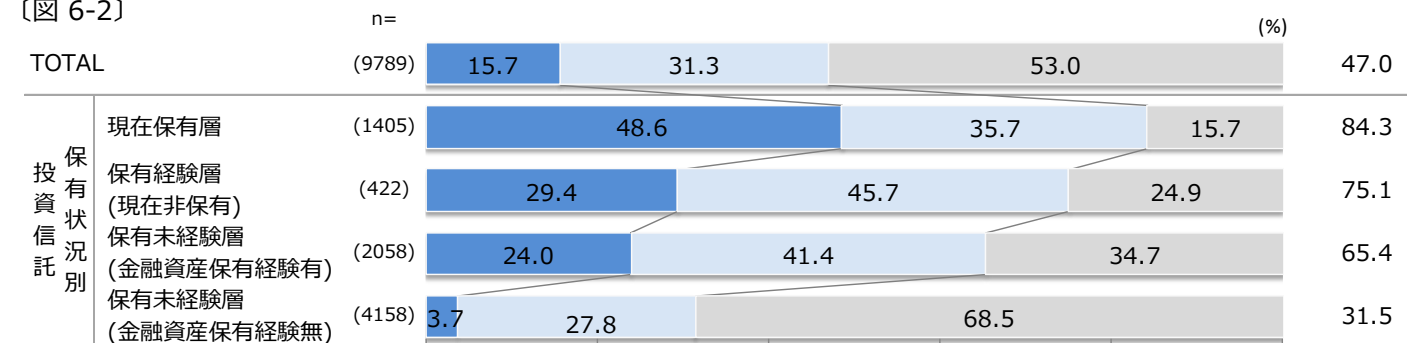
(1) ジュニアNISAの認知(20歳未満の親族がいる者)〔Q15②:単数回答〕

- ジュニアNISAの認知率(認知計)は47.0%とNISA(59.9%〔図5-1〕)に比べ低く、制度内容認知率は15.7%となる。
- またNISAと同様に、年代や世帯年収が上がるにつれ認知率は高まる傾向。〔図6-1〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率は高くなる。また保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は31.5%、制度内容認知率は3.7%に留まる。〔図6-2〕

〔図 6-1〕



〔図 6-2〕

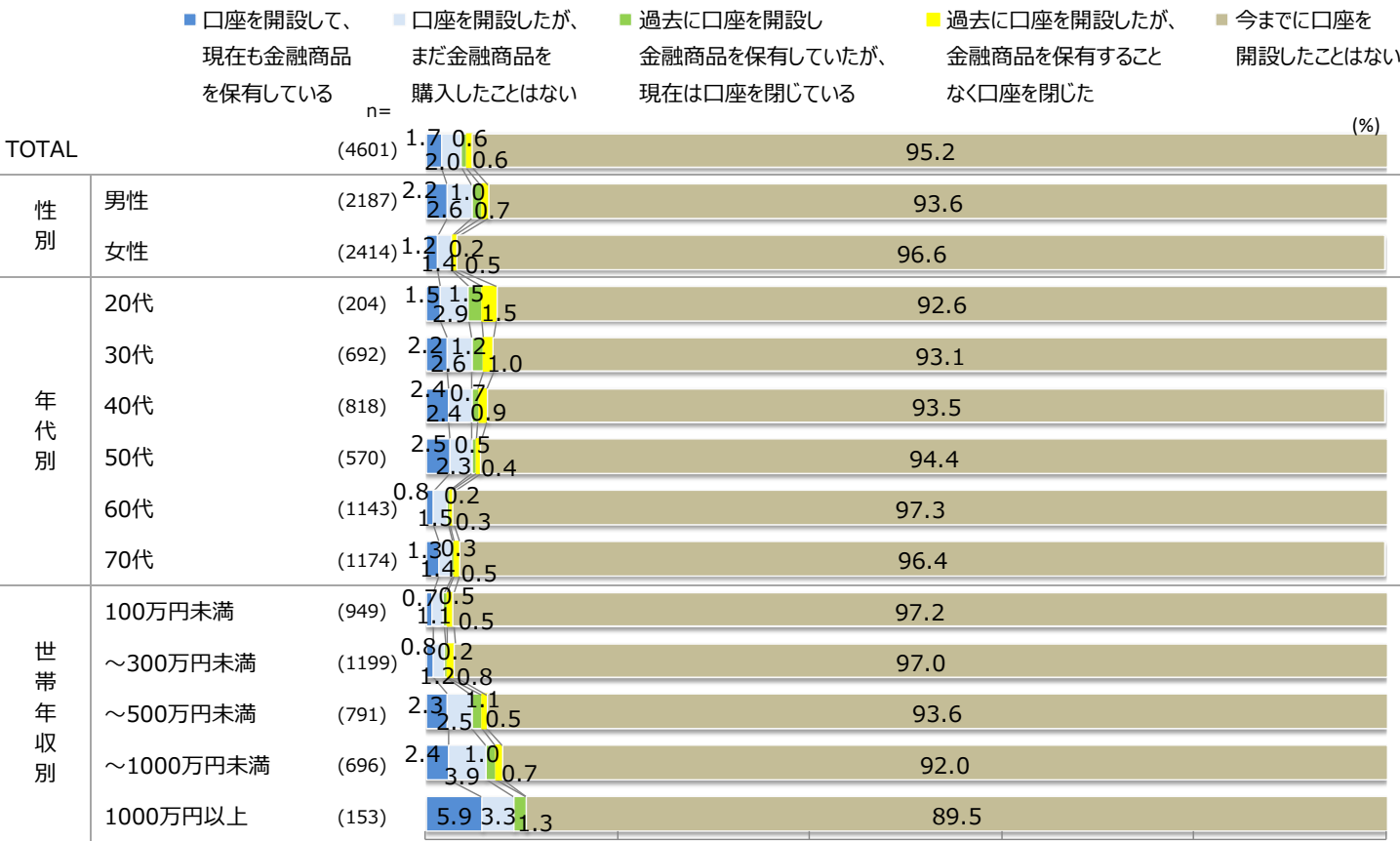


6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

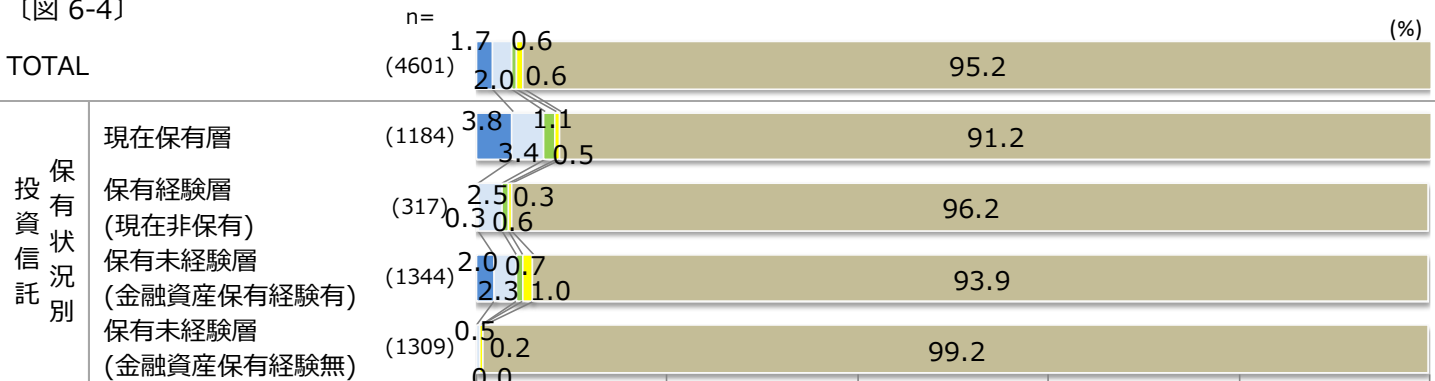
(2) ジュニアNISAの利用状況(20歳未満の親族がいる制度認知者) 〔Q16②:単数回答〕

- ジュニアNISA認知者のうち、95.2%が同制度での口座開設未経験となり、同制度で現在金融商品を保有者している者は1.7%と極めて少数に留まる。
- どの属性でも、同制度の口座未開設層が約90%以上となる。〔図6-3〕〔図6-4〕

〔図 6-3〕



〔図 6-4〕

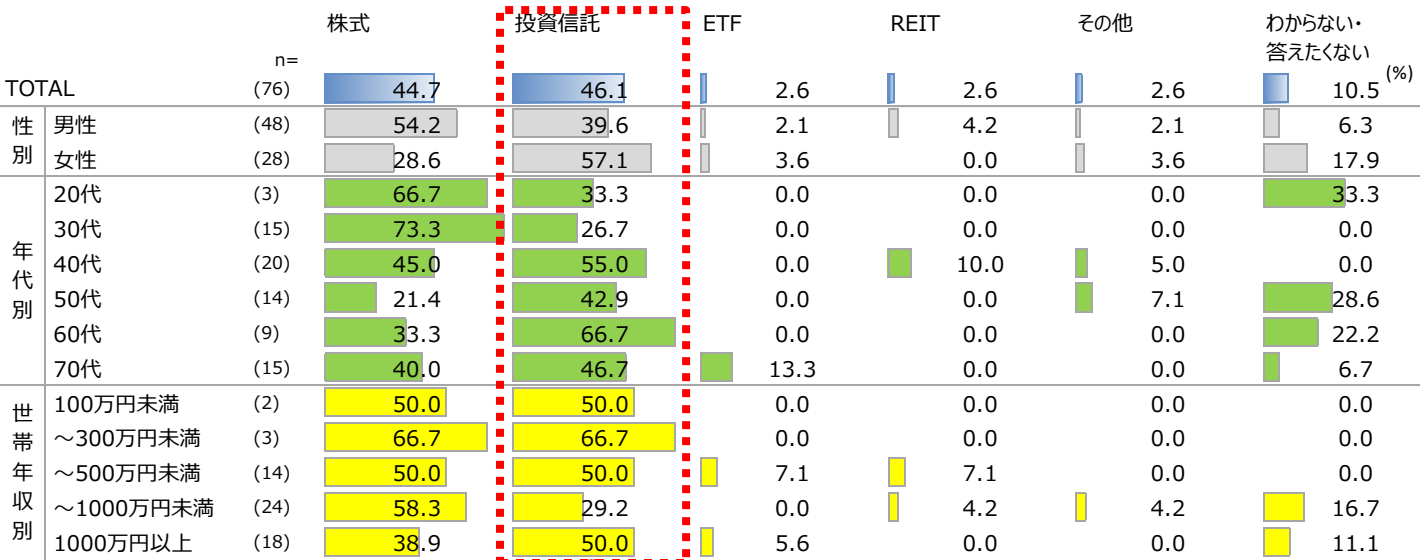


6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

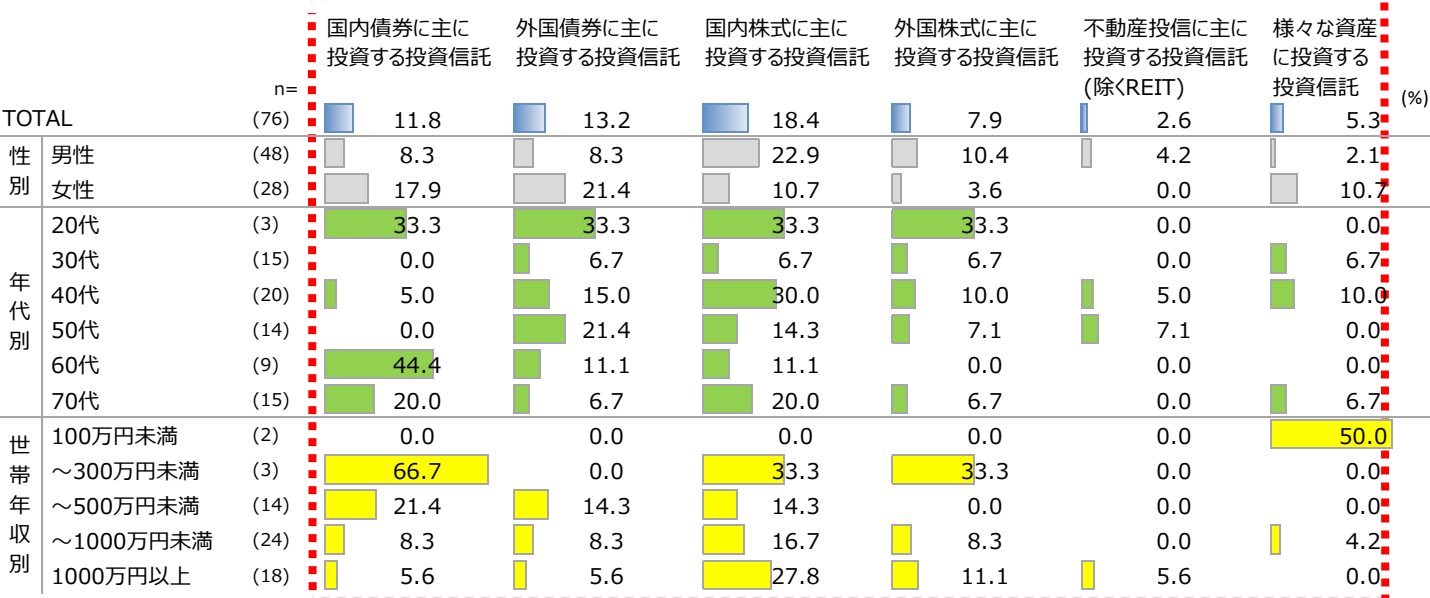
(3) ジュニアNISAでの保有金融商品(20歳未満の親族がいる ジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q17②:重複回答]

- ジュニアNISAでの保有金融商品をカテゴリごとにみると、「投資信託」は46.1%で最多。「株式」が44.7%で続き、ETF、REITは共に2.6%に留まる。投資信託の中ではNISAと同様に、「国内株式に主に投資する商品」の保有率が18.4%と他商品に比べやや高い。〔図6-5〕〔図6-6〕

〔図 6-5〕【ジュニアNISAで保有している金融商品カテゴリ】



〔図 6-6〕【ジュニアNISAで保有している投資信託商品詳細】



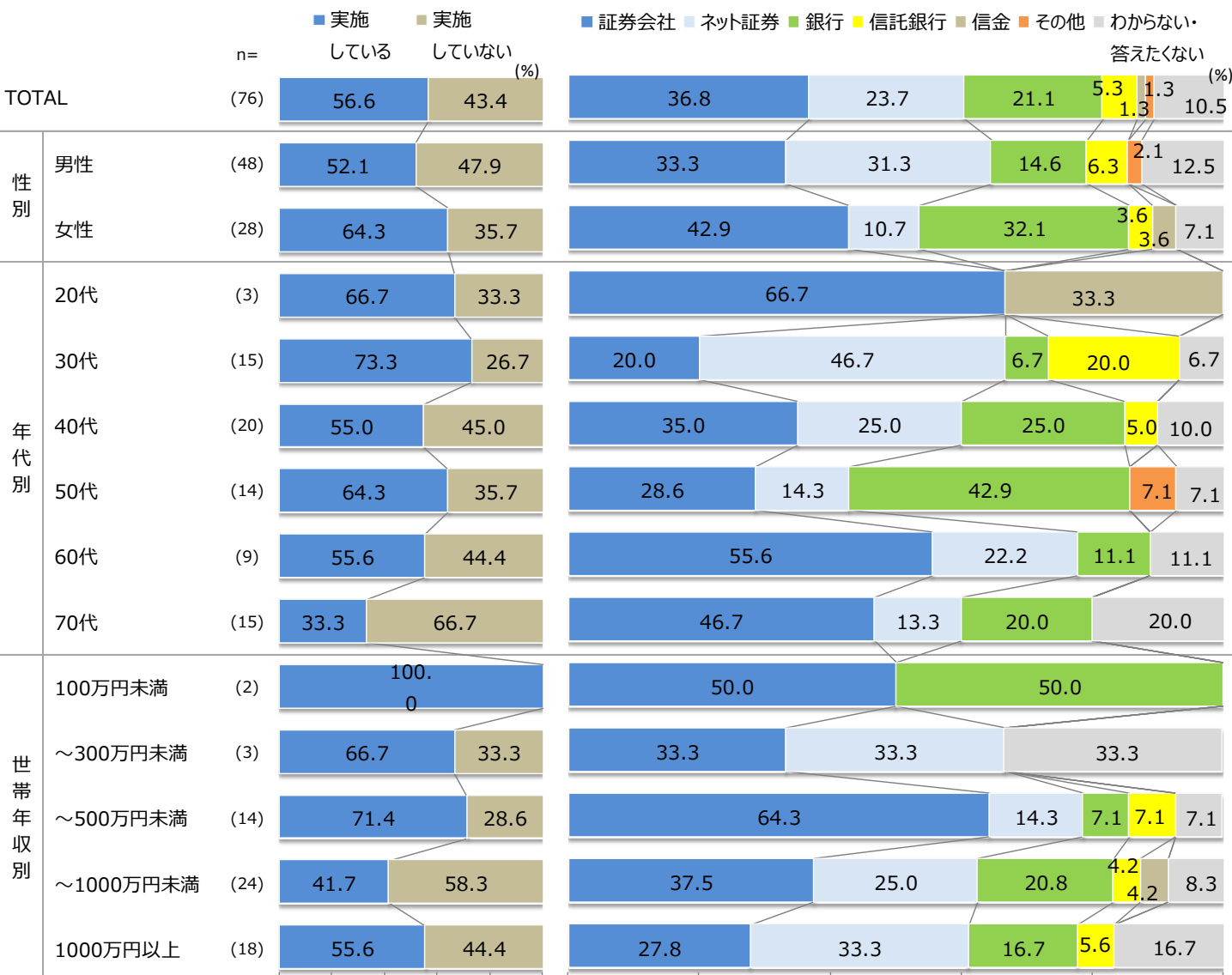
6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(4) ジュニアNISAでの積立投資実施状況／口座開設金融機関(20歳未満の親族がいるジュニアNISAでの現在金融商品保有者)[Q18/Q19②:単数回答]

- ジュニアNISAでの積立投資実施率は、56.6%とNISA(46.5%〔図5-7〕)に比べて高い。また実施率は男性よりも女性で高い。〔図6-7〕
- ジュニアNISA口座開設の金融機関は「証券会社」が36.8%で最も多く、「ネット証券」(23.7%)、「銀行」(21.1%)が続く。男性では「ネット証券」が多く、女性では「証券会社」「銀行」が多くなる傾向。〔図6-8〕

〔図 6-7〕【ジュニアNISAでの積立投資実施状況】

〔図 6-8〕【ジュニアNISA口座開設金融機関】



6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

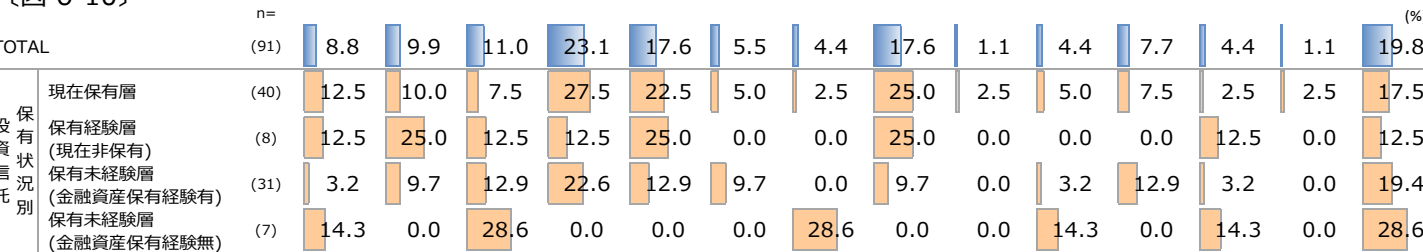
(5) ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入理由(20歳未満の親族がいる、ジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q20②:重複回答]

- ジュニアNISAでの金融商品未購入理由は、「どの商品を購入してよいかわからない」(23.1%)、「経済状況などタイミングを見定めている」(17.6%)、「投資に回すお金がない」(共に17.6%)が上位にあがる。
〔図6-9〕

〔図 6-9〕



〔図 6-10〕

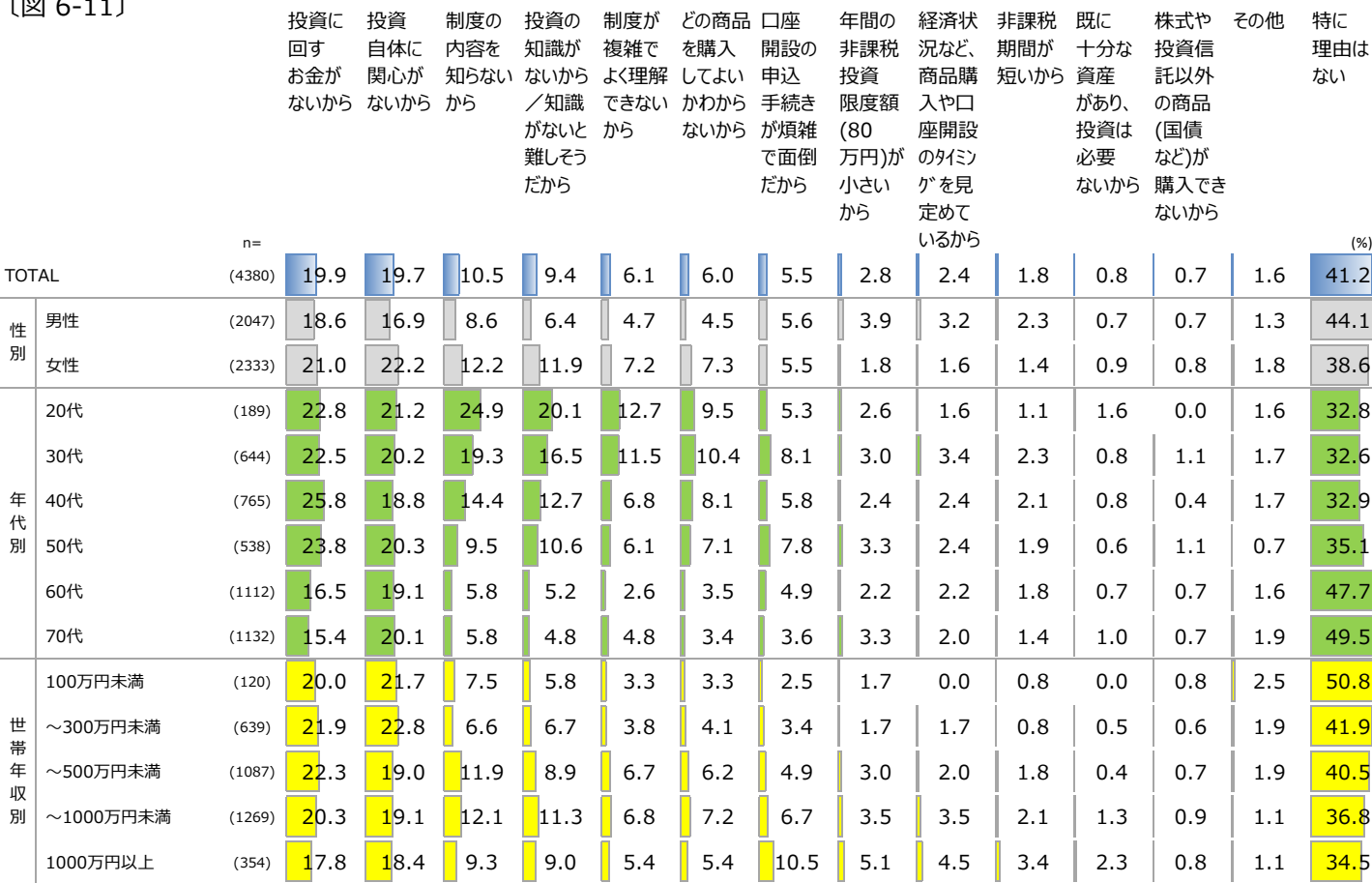


6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

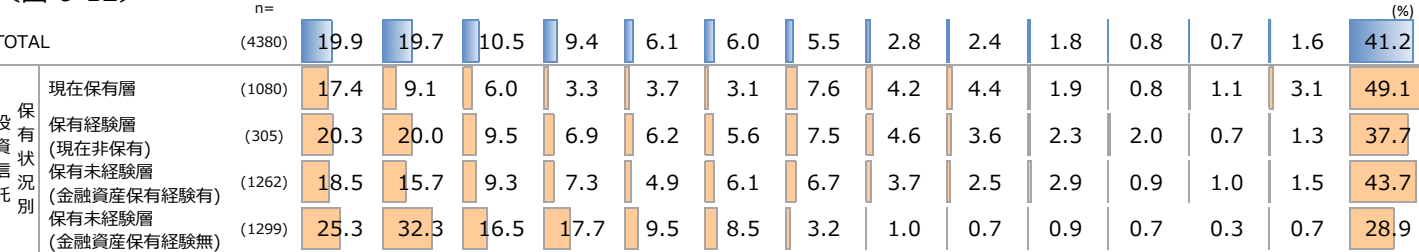
(6) ジュニアNISA口座未開設理由(20歳未満の親族がいる、ジュニアNISA認知・口座未開設層)〔Q20②:重複回答〕

- ジュニアNISA口座未開設理由は、「投資に回すお金がない」(19.9%)、「投資に関心がない」(19.7%)が上位にあがる。またNISAと同様に若年層ほど「投資知識がない」「制度内容を知らない」「どの商品を購入してよいかわからない」「制度が複雑で理解できない」が高く、知識のなさが理由として多くなる。〔図6-11〕

〔図 6-11〕



〔図 6-12〕



6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

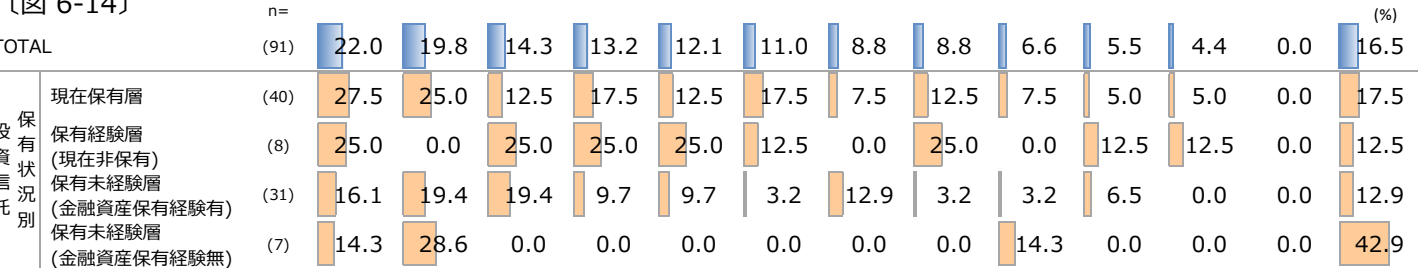
(7) ジュニアNISA口座での金融商品購入検討のきっかけ(20歳未満の親族がいるジュニアNISA口座開設・金融商品未購入層)[Q21②:重複回答]

- ジュニアNISAでの金融商品購入検討のきっかけは、「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」(22.0%)、「身近な人に勧められたら」(19.8%)が上位にあがる。〔図6-13〕

〔図 6-13〕



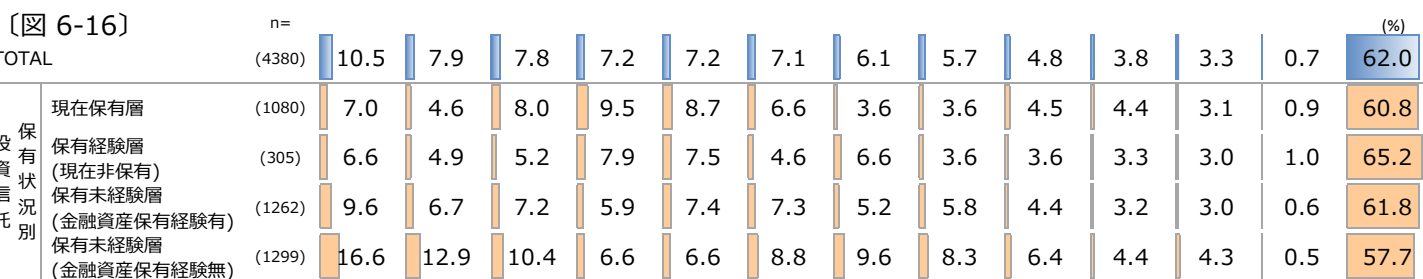
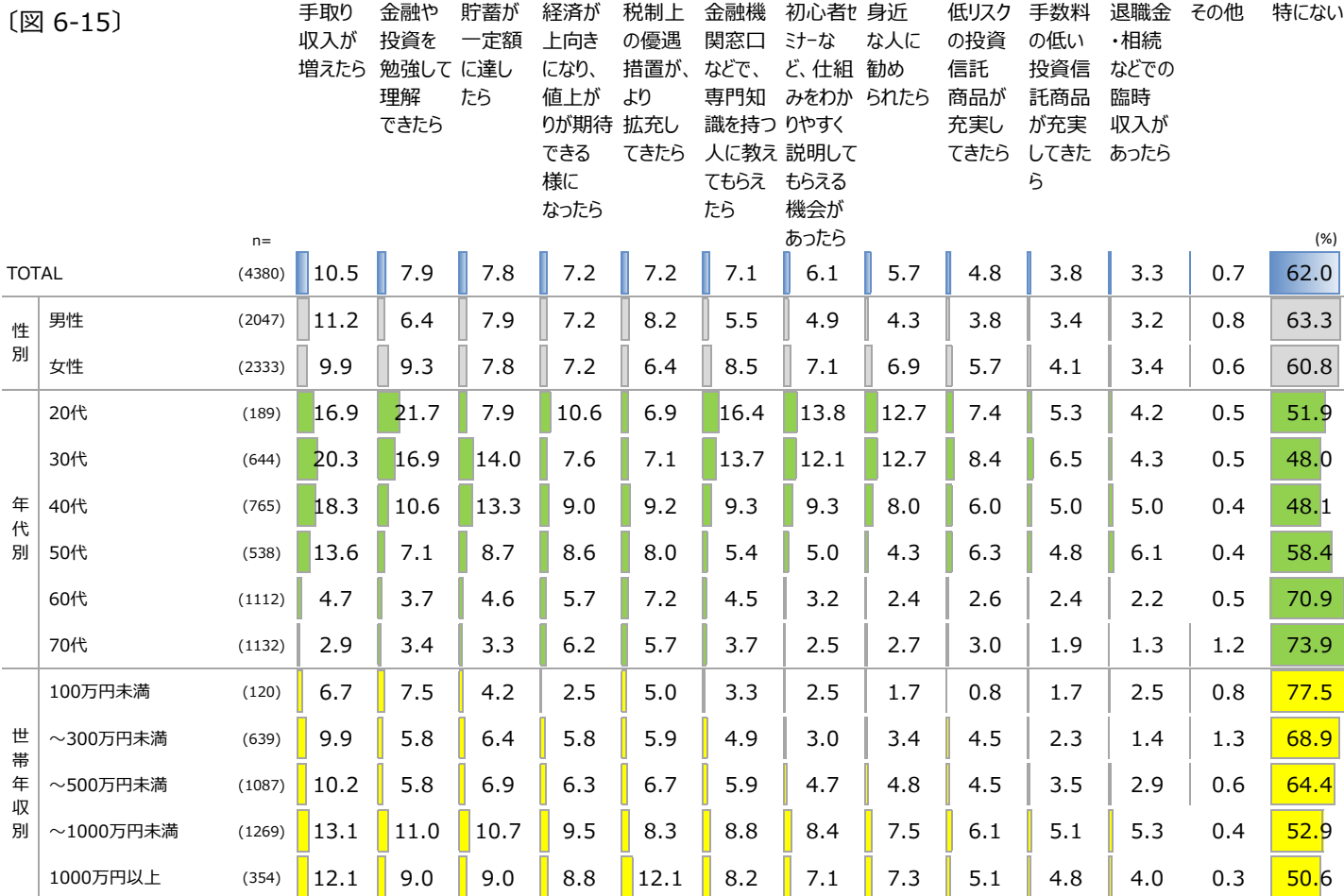
〔図 6-14〕



6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(8) ジュニアNISA口座開設検討のきっかけ(20歳未満の親族がいる、ジュニアNISA認知・口座未開設層)[Q21②:重複回答]

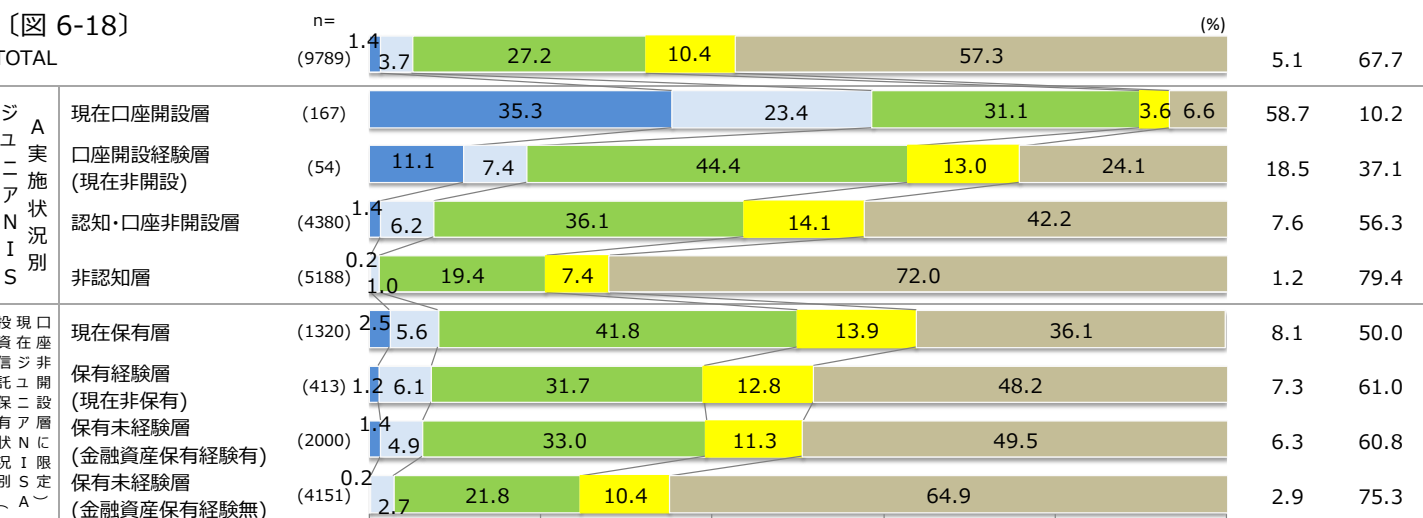
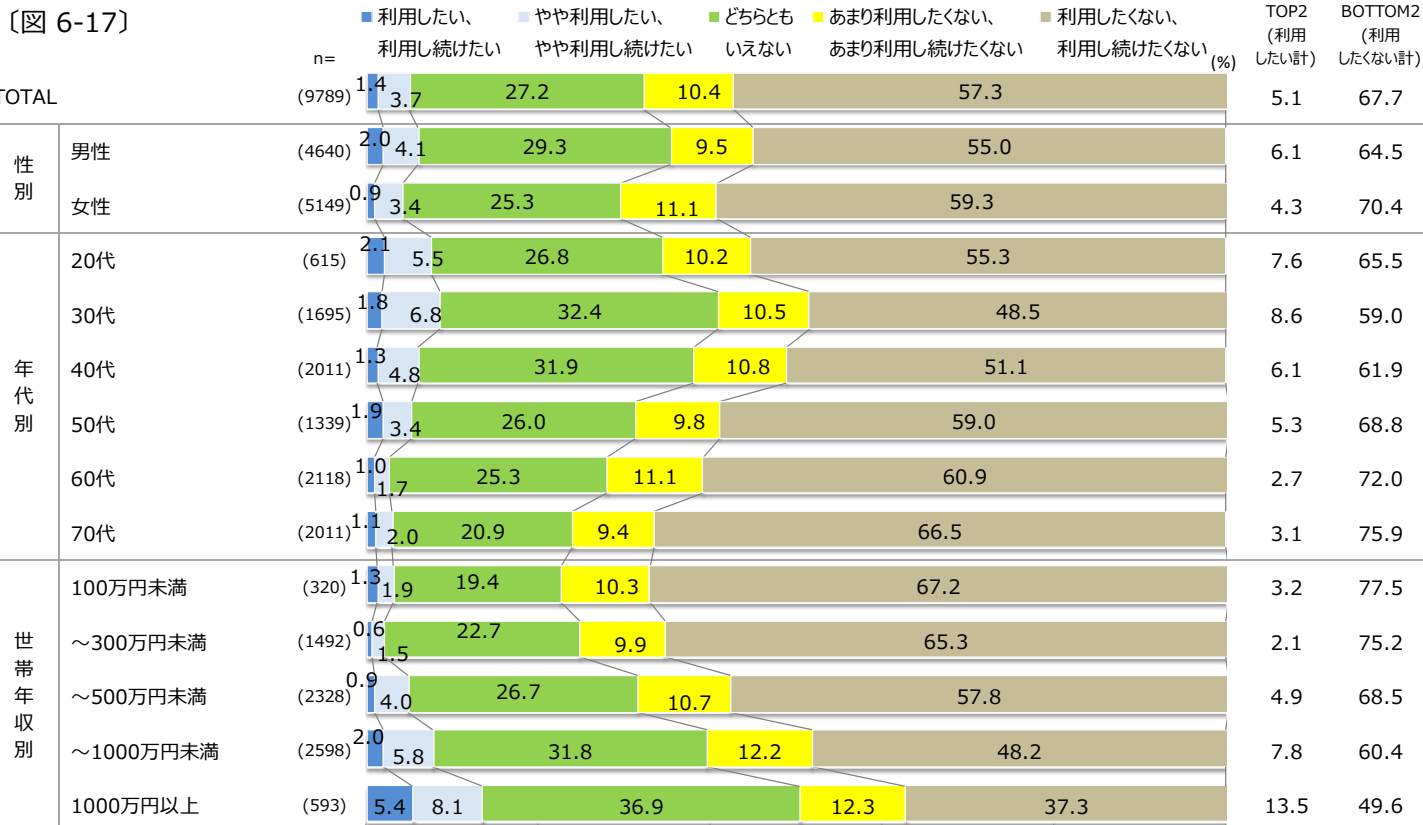
- ジュニアNISA口座開設検討のきっかけは、「手取り収入が増えたら」(10.5%)が最も高く、以下いずれの項目も10%に満たない反応。年代別で見ると、どの項目も40代以下の層で50代以上の層に比べて高くなる傾向。〔図6-15〕
- 投信保有別で見ると、保有未経験層(金融資産保有経験無)ではいずれの項目も他層に比べ高くなる傾向。〔図6-16〕



6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

(9) ジュニアNISAの今後の利用意向(20歳未満の親族がいる者) 〔Q22②:単数回答〕

- ジュニアNISAの利用・継続利用意向は、TOP2(利用したい計)が5.1%、BOTTOM2(利用したくない計)が67.7%との結果となり、NISAに比べ利用意向は低い(NISA TOP2:14.9%/BOTTOM2:60.5%〔図5-17〕)。TOP2は若年層ほど、高年収層ほど増す傾向。〔図6-17〕
- 現在ジュニアNISA口座開設層では、TOP2は58.7%となる。〔図6-18〕

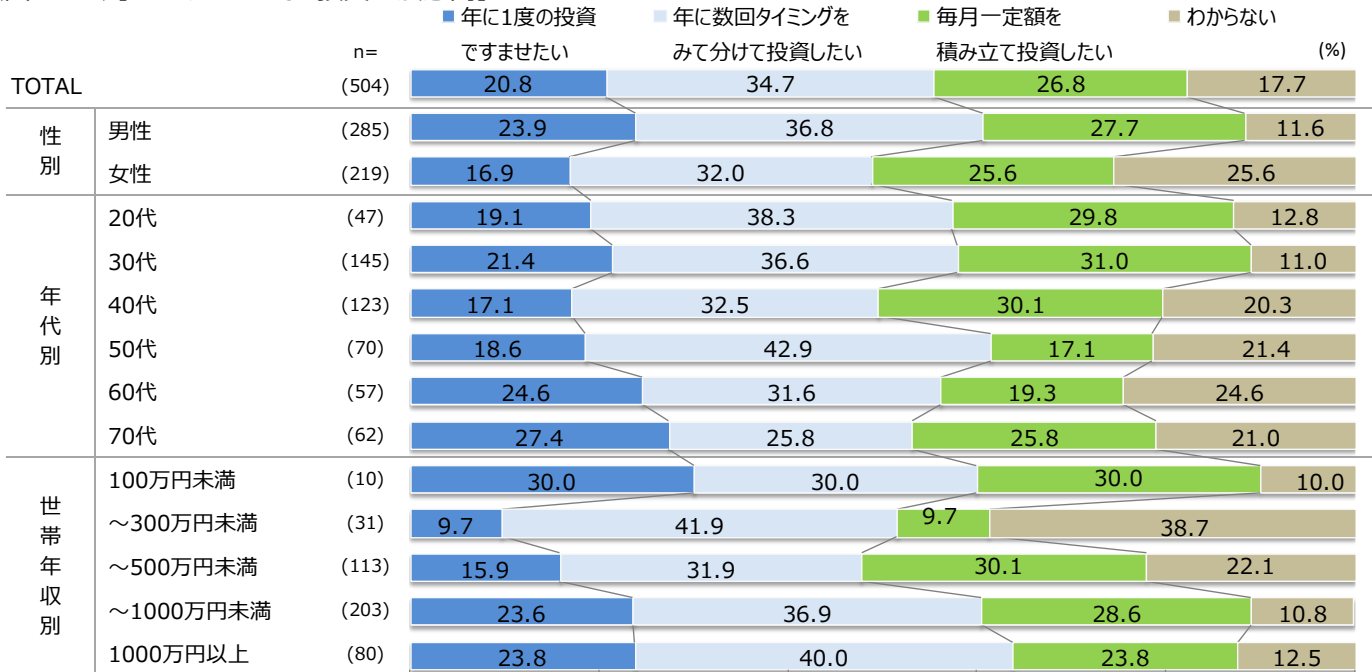


6. ジュニアNISA制度の浸透状況、今後の利用意向

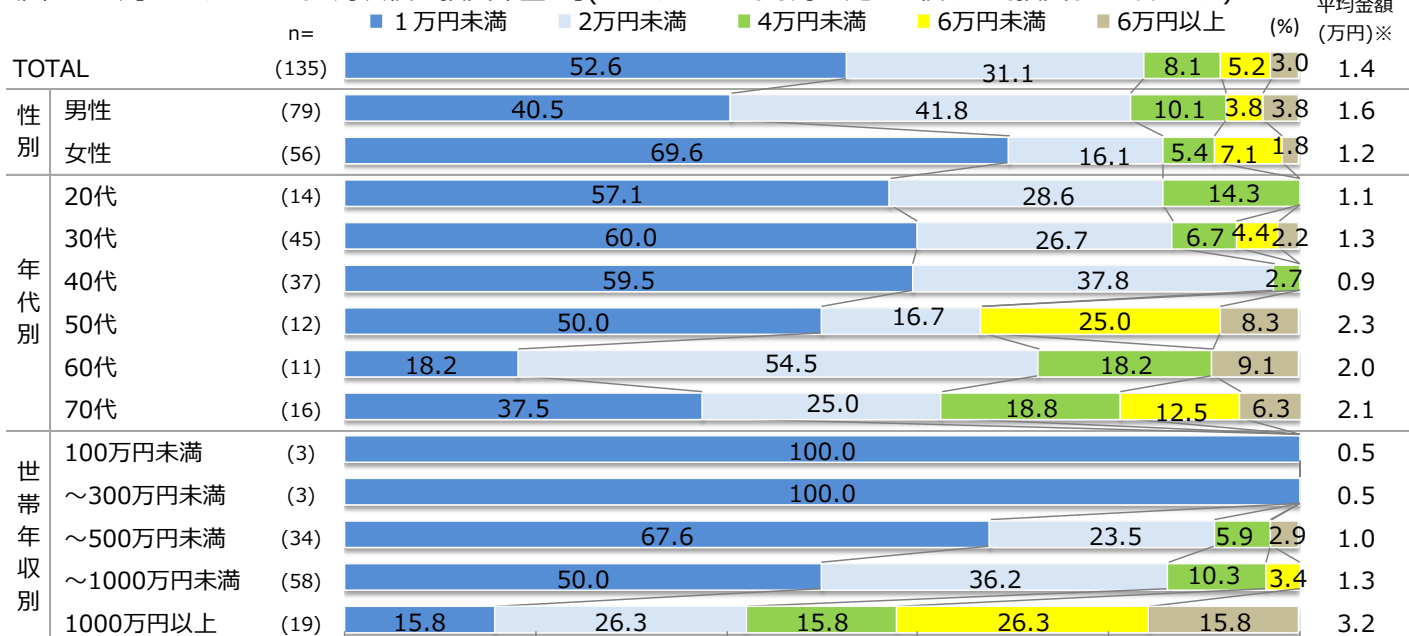
(10) ジュニアNISAでの投資方法意向／月次積立投資希望額 (ジュニアNISA今後利用意向者)[Q23②/Q24②:共に単数回答]

- 実施したい投資方法では、「毎月定額積立投資」が26.8%とNISA(17.7%)〔図5-19〕を上回る反応。「毎月定額」の額面は「2万円未満」が52.6%と約半数だが、「4万円未満」が31.1%みられ、NISAに比べ高額となる模様(NISA 2万円未満70.5%/4万円未満14.9%〔図5-20〕)。
〔図6-19〕〔図6-20〕

〔図 6-19〕【ジュニアNISAでの投資方法意向】




〔図 6-20〕【ジュニアNISAでの月次積立投資希望額】(ジュニアNISAで毎月一定額を積み立て投資したい者ベース)



※平均値算出にあたってのウエイト値 1万円未満：0.5万円/2万円未満：1.5万円/4万円未満：3万円/6万円未満：5万円/6万円以上：6万円

7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、 今後の利用意向

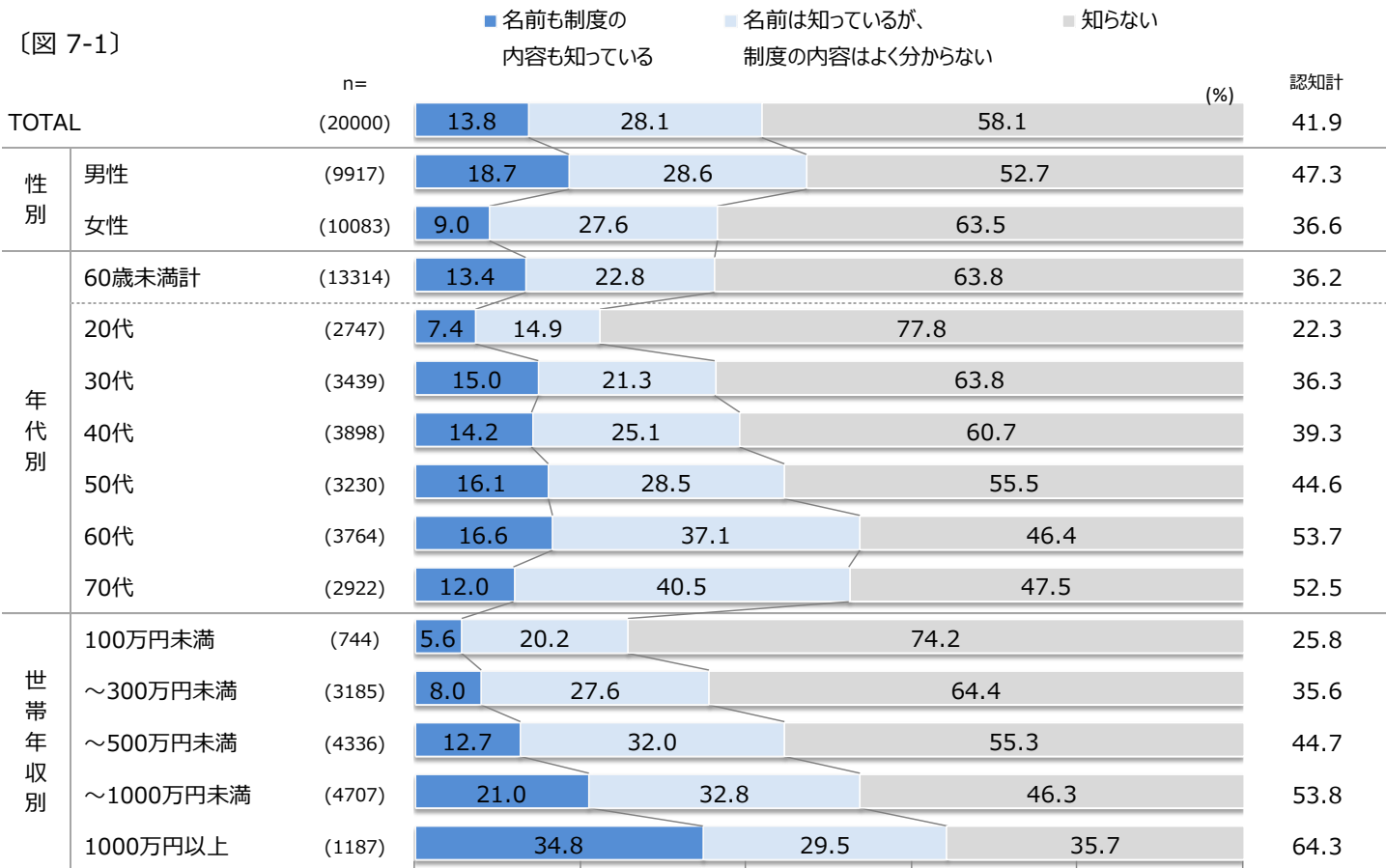


7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

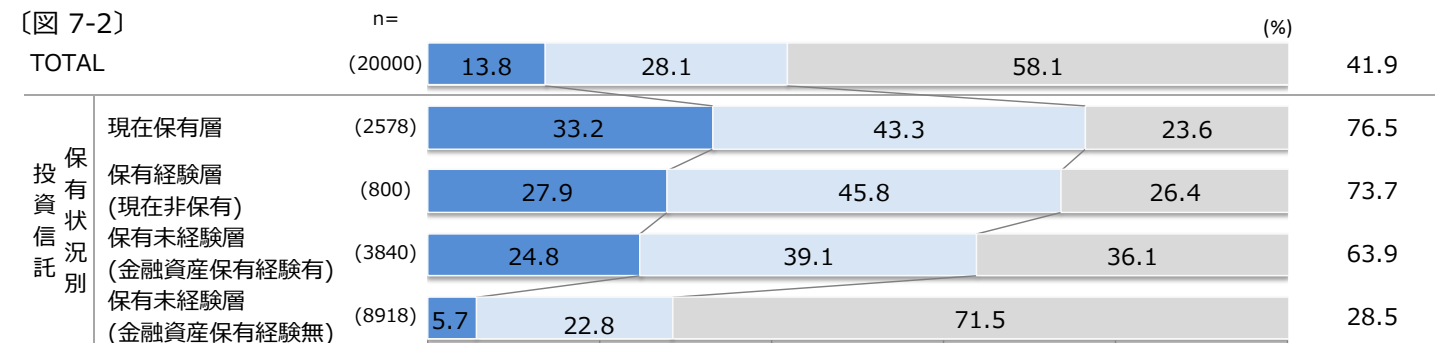
(1) 企業型確定拠出年金の認知〔Q15③:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金の認知率(認知計)は41.9%。制度内容認知率は13.8%となる。
- 年代が上がるにつれ認知率は高まるが、制度内容認知率は20代、70代で他年代に比べ低く、30～60代では同程度となる。また世帯年収別では高年収層ほど認知率、制度内容認知率共に高くなる。〔図7-1〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率は高く、保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は28.5%、制度内容認知率は5.7%に留まる。〔図7-2〕

〔図 7-1〕



〔図 7-2〕

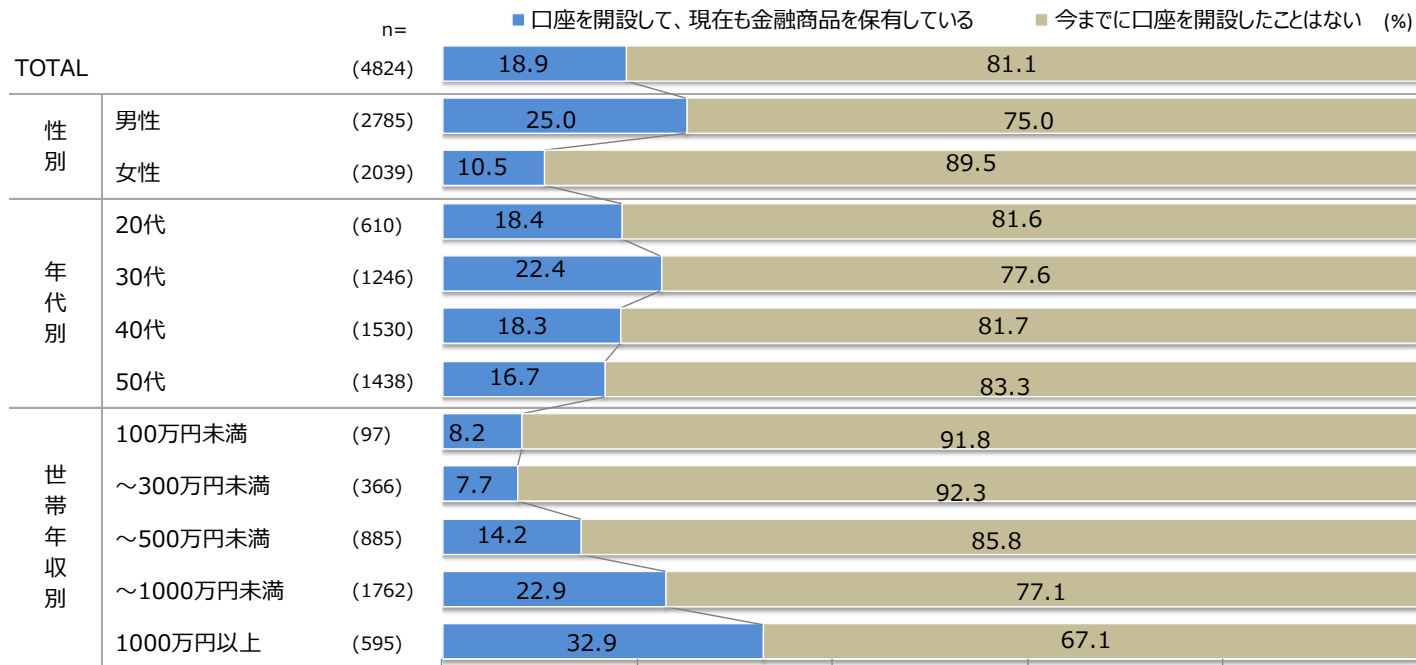


7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

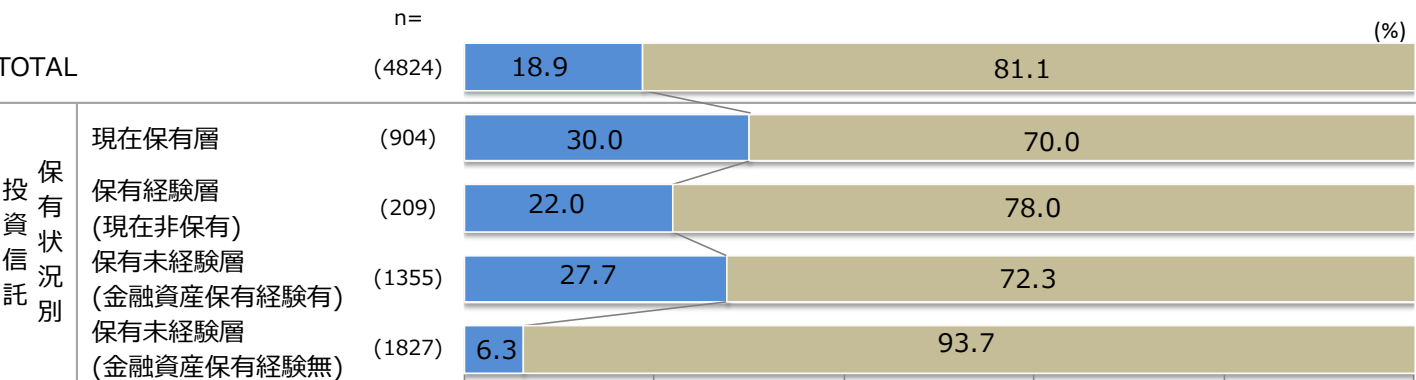
(2) 企業型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者) 〔Q16③:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金認知者のうち、同制度での現在金融商品保有者は18.9%となる。
- 同制度での現在金融商品保有者は、女性より男性で多く、年代別では30代で最も多い。また世帯年収別では高年収層ほど多くなる。〔図7-3〕
- 投資信託保有状況別でみると、現在保有層の30%が同制度で現在金融商品を保有している。〔図7-4〕

〔図 7-3〕



〔図 7-4〕



7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(3) 企業型確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、企業型確定拠出年金での現在金融商品保有者)〔Q17③:重複回答〕

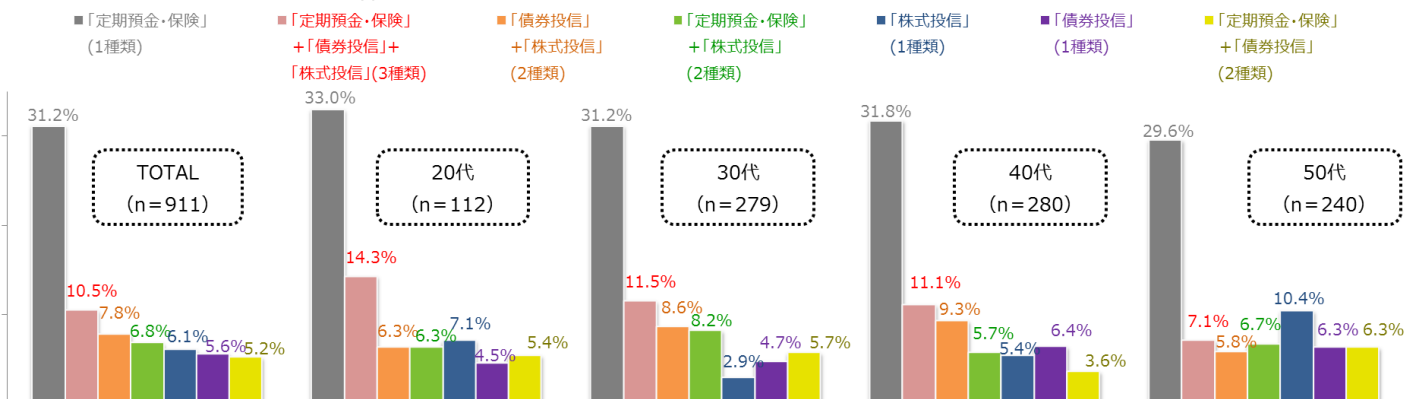
- 企業型確定拠出年金での保有金融商品は、「投資信託計 *」(55.1%)が最多。また投資信託商品の中では「国内株式に主に投資」(34.8%)、「国内債券に主に投資」(31.1%)が多い。
- どの年代も「投資信託計」の保有率が最も高い。また世帯年収別では1000万円以上世帯で「国内／海外株式に投資する投資信託」の保有率が他層に比べて高くなる。〔図7-5〕
- 金融商品の保有を「定期預金・保険」(定期預金が保険商品保有)、「債券投信」(国内か海外債券に主に投資する投信保有)、「株式投信」(国内か海外株式に主に投資する投信保有)、「不動産投信」(不動産投信に主に投資する投信保有)、「その他」(様々な資産に投資する投信かその他商品保有)に分類して併用状況を確認した。その結果、どの年代でも「定期預金・保険」1種類の保有が30%前後で最も高く、20～40代では「定期預金・保険」+「債券投信」+「株式投信」と3種類での分散保有が続く。対して50代では「株式投信」1種類の保有が続くのが特徴的。〔図7-6〕

* 投資信託計・・・「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 7-5〕

	n=	定期預金 保険商品	投資 信託計 (*)	投資						その他	わから ない・ 答えたく ない	(%)
				国内債券 に主に 投資する 投資信託	外国債券 に主に 投資する 投資信託	国内株式 に主に 投資する 投資信託	外国株式 に主に 投資する 投資信託	不動産 投資信託 に主に 投資する 投資信託 (除<REIT>)	様々な 資産に 投資する 投資信託			
TOTAL	(911)	48.4	23.1	55.1	31.1	22.0	34.8	24.1	4.7	8.8	2.3	12.2
性別												
男性	(696)	47.6	22.7	58.6	33.0	24.4	39.1	26.7	4.9	9.5	2.0	11.6
女性	(215)	51.2	24.2	43.7	24.7	14.0	20.9	15.8	4.2	6.5	3.3	14.0
年代別												
20代	(112)	52.7	27.7	56.3	31.3	25.0	32.1	26.8	6.3	7.1	1.8	10.7
30代	(279)	53.8	23.3	54.1	31.5	25.1	36.6	28.3	6.5	7.2	2.2	13.3
40代	(280)	45.7	24.6	55.0	34.3	23.2	35.0	24.3	3.6	9.6	2.9	11.4
50代	(240)	43.3	18.8	55.8	26.7	15.4	33.8	17.9	3.3	10.4	2.1	12.5
世帯 年収別												
100万円未満	(8)	62.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
～300万円未満	(28)	53.6	32.1	64.3	42.9	25.0	28.6	25.0	10.7	7.1	3.6	7.1
～500万円未満	(126)	54.0	23.8	50.8	24.6	20.6	28.6	16.7	4.0	7.1	1.6	13.5
～1000万円未満	(404)	48.3	25.0	55.2	32.4	21.5	35.1	24.5	4.2	10.1	2.5	11.1
1000万円以上	(196)	47.4	23.5	65.3	34.2	25.5	47.4	32.7	7.1	7.7	2.0	7.7

〔図 7-6〕【年代別での金融商品保有種類別比率】



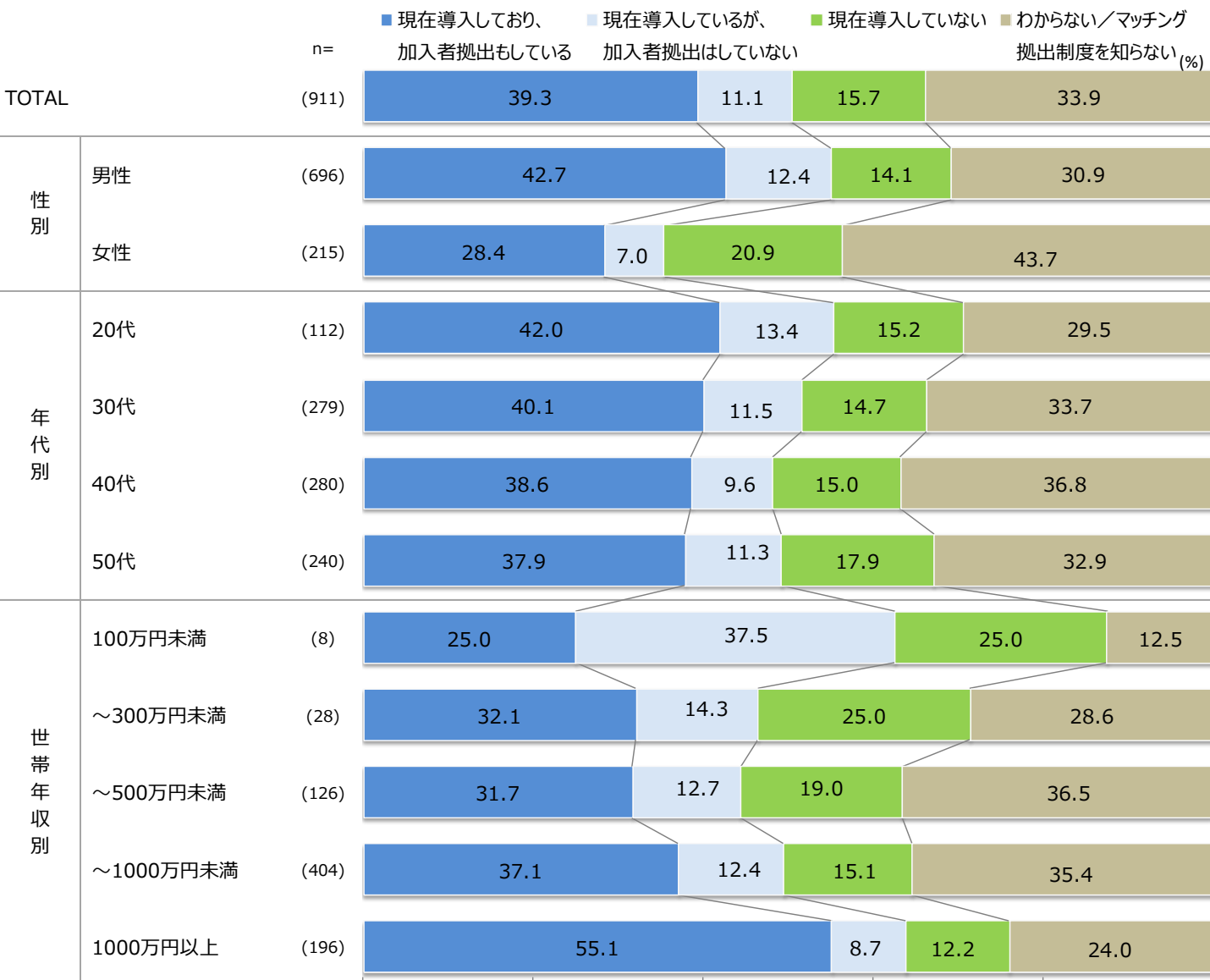
7. 企業型確定拠出年金の浸透状況、今後の利用意向

(4) 企業型確定拠出年金のマッチング拠出実施状況


(60歳未満の企業型確定拠出年金加入層)〔Q30:単数回答〕

- 企業型確定拠出年金加入者の39.3%が、マッチング拠出を実施している様子。一方で「わからない／マッチング拠出制度を知らない」も33.9%みられる。
- マッチング拠出実施者は、若年層ほどやや多く、また世帯年収が高い層ほど多くなる〔図7-7〕

〔図 7-7〕



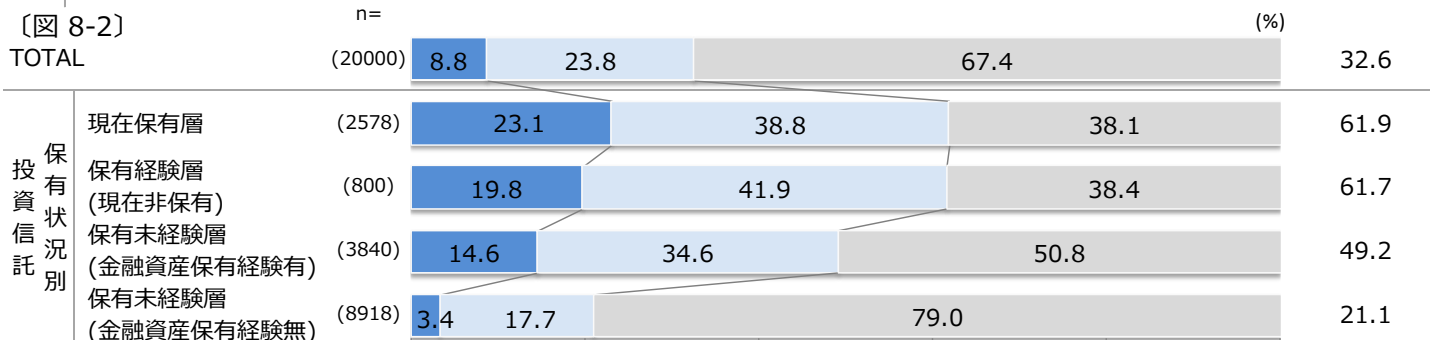
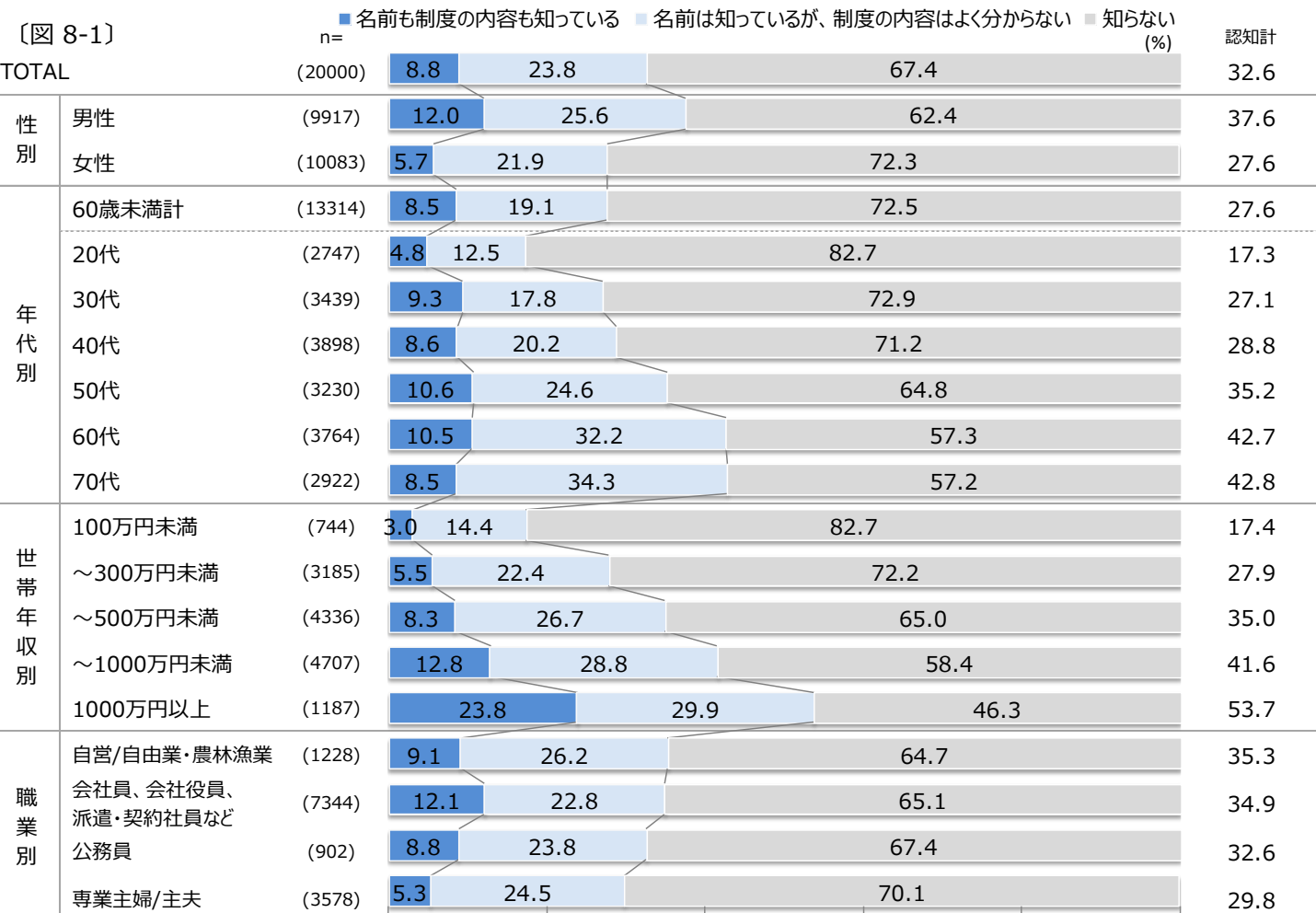
8. 個人型確定拠出年金の浸透状況、 今後の利用意向



8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(1) 個人型確定拠出年金の認知〔Q15④:単数回答〕

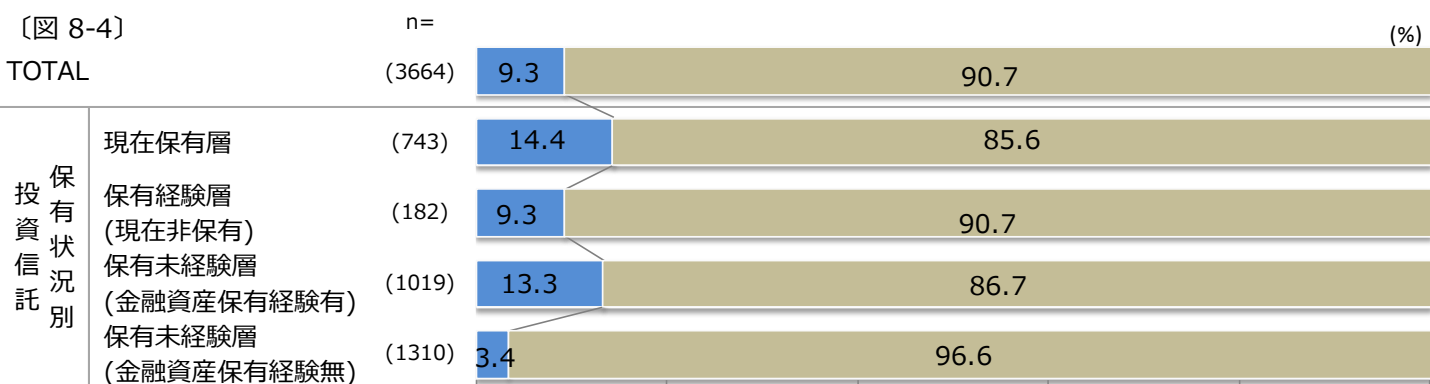
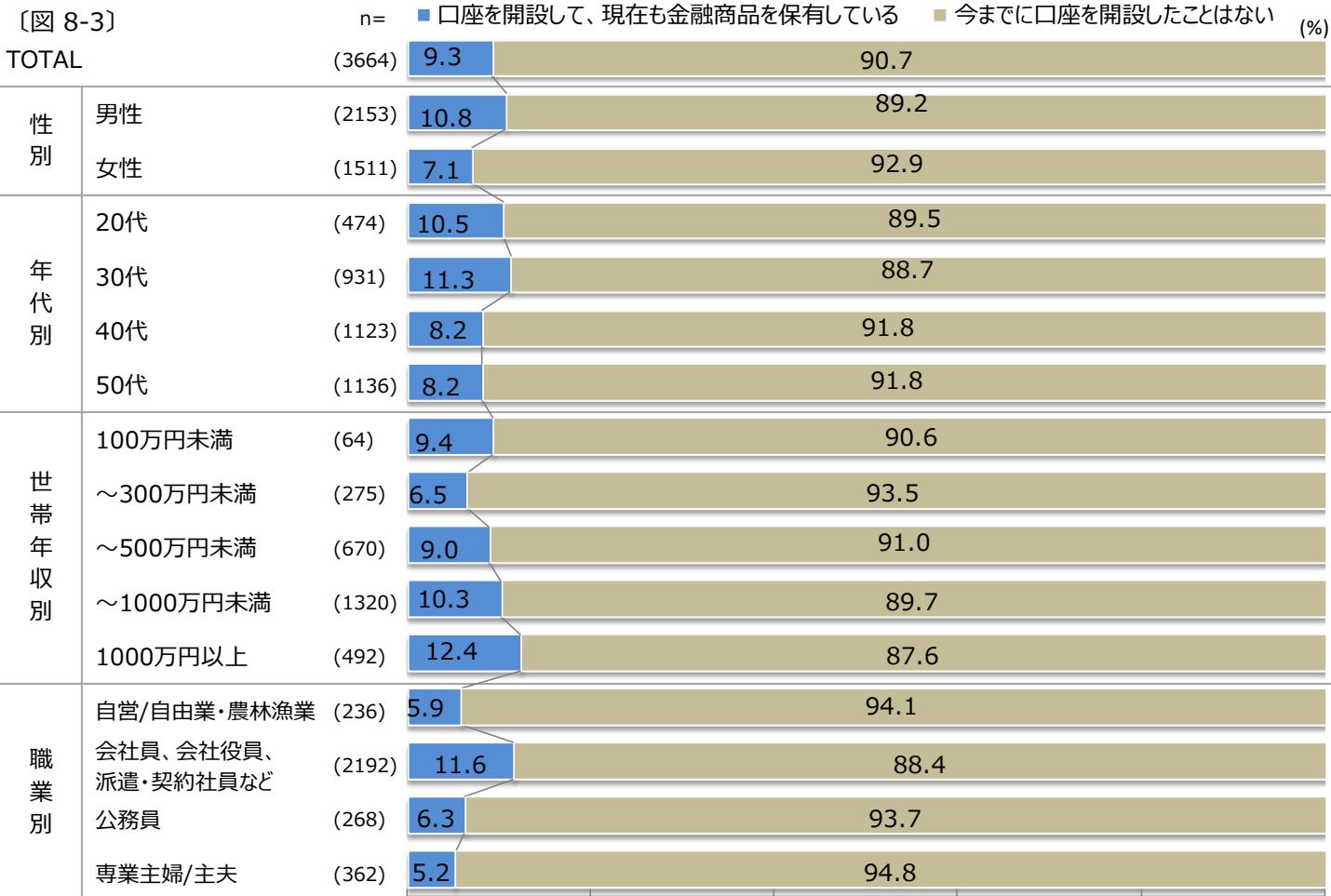
- 個人型確定拠出年金の認知率(認知計)は32.6%、商品内容認知率は8.8%と、企業型(認知計:41.9%、商品内容認知:13.8%〔図7-1〕)に比べやや低い。また高齢層ほど認知率は高いが、制度内容認知率は年代間で大きな差はみられない。世帯年収別では、高年収層ほど認知率、制度内容認知率共に高くなる。職業別では「公務員」「専業主婦/主夫」で認知率が相対的に低い。〔図8-1〕
- 投資信託保有状況別でみると、投資への関与が強い層ほど認知率は高く、保有未経験層(金融資産保有経験無)での認知率は21.1%、制度内容認知率は3.4%に留まる。〔図8-2〕



8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(2) 個人型確定拠出年金の利用状況(60歳未満の制度認知者) 〔Q16④:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金認知者のうち、90.7%が口座未開設。現在金融商品保有者は9.3%に留まる。
- 現在金融商品保有者は、企業型と同様に女性より男性で多く、年代別では30代で最多。また世帯年収別では高年収層ほど多くなる傾向。〔図8-3〕
- 投資信託保有状況別でみると、現在保有層の14.4%が同制度で現在金融商品を保有している。〔図8-4〕



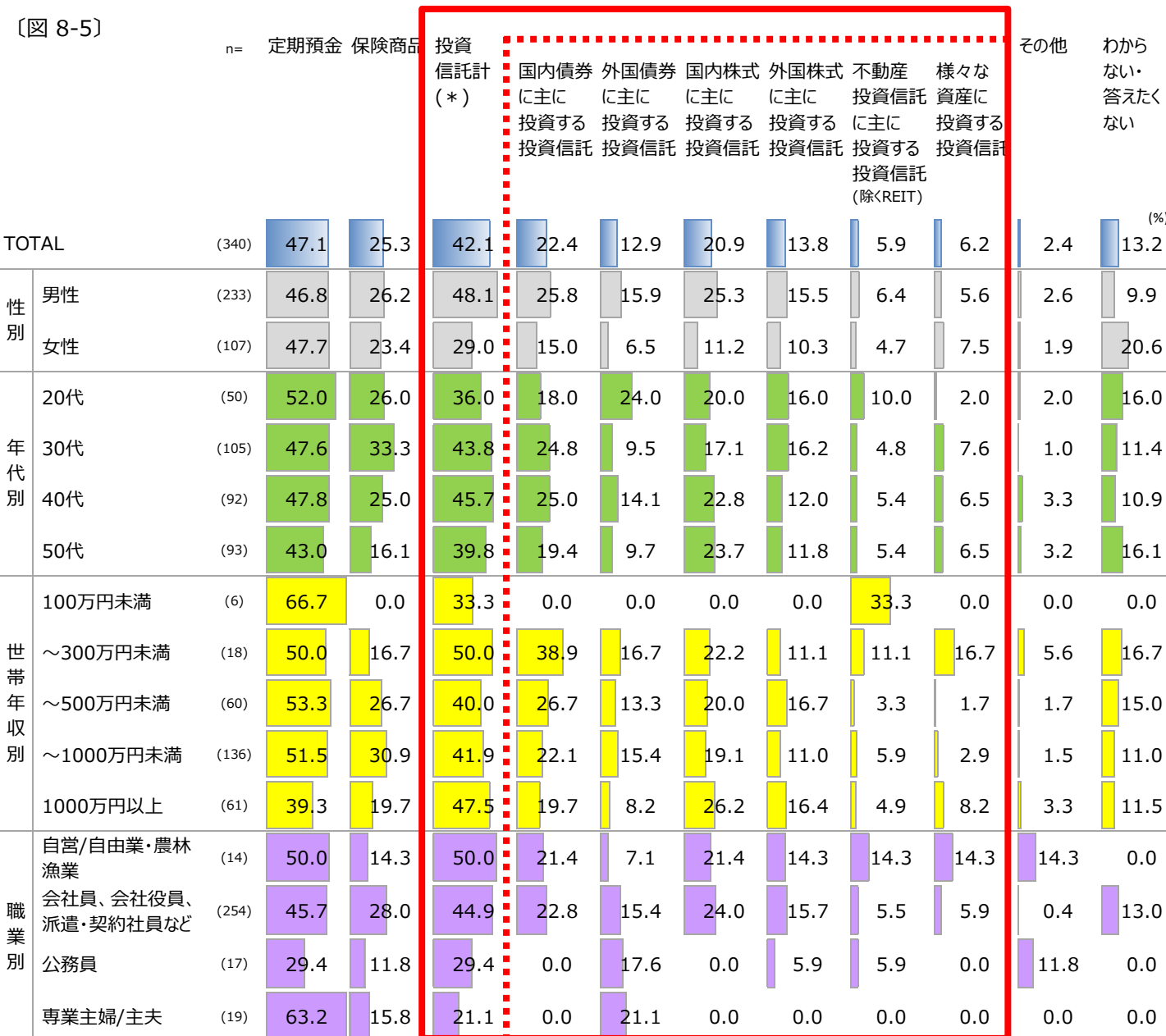
8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(3) 個人確定拠出年金での保有金融商品(60歳未満で、個人型確定拠出年金での現在金融商品保有者)[Q17④:重複回答]

- 個人型確定拠出年金での保有金融商品は、「定期預金」(47.1%)が最も多く、「投資信託計」(42.1%)が上位に続く。企業型に比べ「投資信託」の保有率は全体的に低くなる傾向。
- 年代別で見ると、どの年代でも「定期預金」が最も高い。また20代では「外国債券／不動産に主に投資する投資信託」が他年代に比べ高く、20～30代では「外国株式に主に投資する投資信託」、40～50代では「国内株式に主に投資する投資信託」が相対的に高くなる。
世帯年収別では1000万円以上世帯で「国内株式に主に投資する投信」がやや高い。〔図8-5〕

* 投資信託計・・・「国内債券に主に投資～様々な資産に投資する投資信託」のいずれかを保有している者の割合

〔図 8-5〕



8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(4) 個人型確定拠出年金の特徴認知(制度認知者全体)[Q27①:複数回答]

- 個人型確定拠出年金の特徴では、「掛け金が全額所得控除される」(23.9%)、「受け取るときも税制優遇措置がある」(14.2%)といった、税制措置に関連した項目の認知が高くなる。一方で「わからない・特にない」が59.9%と高く、まだまだ内容を認知されていない様子が見える。
- 「わからない・特にない」はいずれの年代も半数以上にのぼる。〔図8-6〕

〔図 8-6〕

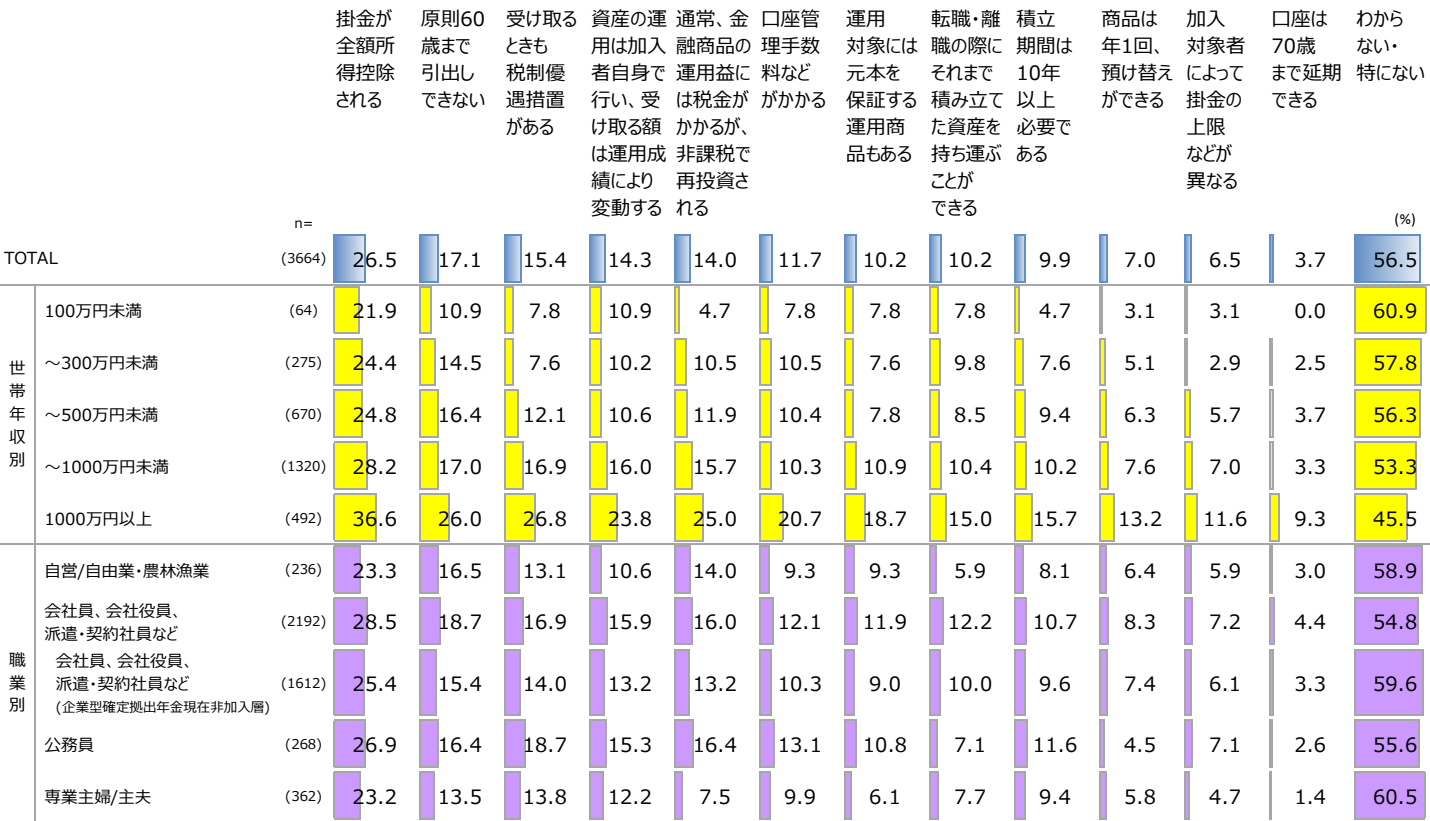
	n=	掛け金が全額所得控除される	受け取るときも税制優遇措置がある	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	原則60歳まで引出しできない	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、非課税で再投資される	口座管理手数料などがかかる	積立期間は10年以上必要である	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	運用対象には元本を保證する運用商品もある	商品は年1回、預け替えができる	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	口座は70歳まで延期できる	わからない・特にない	(%)
TOTAL	(6522)	23.9	14.2	13.6	13.4	12.4	9.9	8.8	8.6	8.1	5.9	5.4	3.5	59.9	
性別	男性 (3732)	24.4	15.4	14.5	14.4	14.0	10.7	9.1	9.1	9.3	6.8	5.8	4.0	59.0	
	女性 (2790)	23.2	12.6	12.3	12.0	10.2	8.9	8.3	8.0	6.5	4.7	4.9	2.8	61.1	
年代別	20代 (474)	25.9	14.1	13.5	17.9	18.1	11.0	9.9	11.6	10.3	9.1	7.4	4.6	51.9	
	30代 (931)	27.4	17.4	17.3	20.0	15.1	12.9	11.5	11.9	13.1	6.6	7.6	3.9	54.8	
	40代 (1123)	28.0	15.8	14.3	17.7	13.0	12.4	10.1	10.9	10.2	7.0	7.3	3.3	56.6	
	50代 (1136)	24.5	13.9	12.2	13.9	12.2	10.2	8.5	7.4	7.7	6.5	4.5	3.6	59.7	
	60代 (1608)	22.8	14.1	13.2	10.3	11.5	8.0	6.9	7.0	5.8	5.2	4.0	3.1	61.7	
	70代 (1250)	17.6	10.7	11.8	6.2	9.0	7.4	7.9	6.4	5.0	3.5	4.0	3.5	67.7	

8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

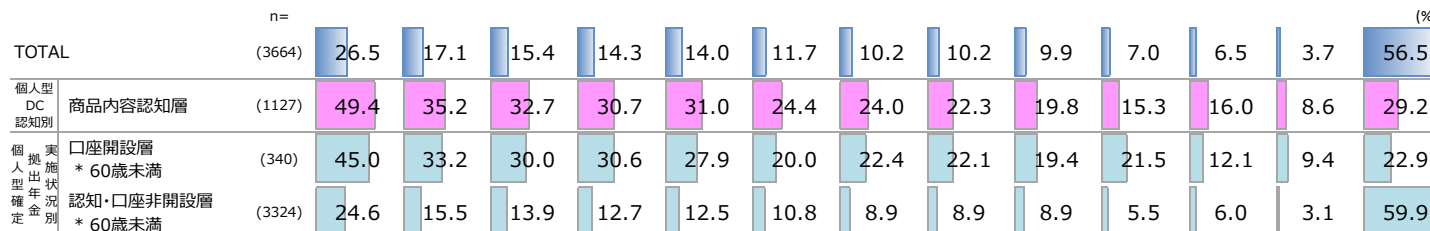
(5) 個人型確定拠出年金の特徴認知(60歳未満の制度認知者) 〔Q27①:複数回答〕

- 60歳未満の制度認知者に絞ってみると、個人型確定拠出年金の特徴認知では、「掛け金が全額所得控除される」(26.5%)、「原則60歳まで引出しできない」(17.1%)、「受け取る時も税制優遇措置がある」(15.4%)が上位に続く。
- 世帯年収別では高年収層ほどどの項目も認知は高くなる。また職業別でみると、「自営/自由業・農林漁業」「専業主婦/主夫」で他層に比べ、どの項目も比較的認知が低くなる。〔図8-7〕

〔図 8-7〕



〔図 8-8〕



8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の魅力点(60歳未満の者)[Q27②:重複回答]

- 個人型確定拠出年金の魅力点では、「掛け金が全額所得控除される」(17.2%)が突出。どの属性でみても「掛け金が全額所得控除される」が最も高くなる。〔図8-9〕〔図8-10〕

〔図 8-9〕

		掛け金が全額所得控除される	受け取る時にも税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、非課税で再投資される	運用の対象には元本を確保する運用商品もある	転職・離職の際に積み立てた資産を持ち運ぶことができる	商品は年1回、預け替えができる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	口座は70歳まで延期できる	原則60歳まで引出しできない	積立期間は10年以上必要である	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にない	(%)
TOTAL	n=(13314)	17.2	9.4	7.8	6.1	3.6	3.3	2.1	1.6	1.4	1.2	0.8	0.6	73.9	
性別	男性 (6750)	16.9	9.0	8.7	5.6	3.3	3.1	2.6	1.4	1.5	1.5	1.0	0.8	73.4	
	女性 (6564)	17.4	9.8	6.9	6.6	4.0	3.5	1.7	1.9	1.4	0.9	0.7	0.4	74.5	
年代別	20代 (2747)	15.2	7.3	7.0	4.5	3.8	3.3	2.0	1.6	1.3	1.1	0.9	0.6	76.4	
	30代 (3439)	19.8	10.1	8.7	7.1	4.5	3.5	2.9	1.4	1.5	1.5	0.6	0.7	71.3	
	40代 (3898)	16.8	9.3	7.3	6.5	3.4	2.9	2.1	1.5	1.7	1.2	0.8	0.5	74.4	
	50代 (3230)	16.5	10.6	8.1	5.8	2.7	3.5	1.5	2.1	1.3	0.8	1.0	0.7	74.0	
世帯年収別	100万円未満 (492)	11.2	4.7	5.3	3.5	2.6	3.0	2.8	1.8	1.4	1.4	0.2	0.8	79.7	
	～300万円未満 (1539)	13.9	8.4	6.6	4.5	3.9	2.9	1.6	1.8	1.4	1.0	1.0	0.3	78.5	
	～500万円未満 (2557)	18.1	8.6	7.0	6.6	4.0	3.5	2.3	1.5	1.9	1.4	1.3	0.9	72.5	
	～1000万円未満 (3555)	22.3	12.6	10.4	8.2	4.2	4.4	2.9	2.0	1.6	1.5	0.6	0.6	65.8	
	1000万円以上 (943)	29.6	18.9	17.2	9.5	5.5	5.4	3.7	3.0	2.4	1.9	1.1	1.4	55.7	
職業別	自営/自由業・農林漁業 (751)	17.0	9.9	8.4	5.5	1.3	3.5	2.5	2.0	1.2	2.0	1.2	0.5	75.0	
	会社員、会社役員、派遣・契約社員など (6580)	18.9	10.3	8.8	6.3	4.3	3.4	2.6	1.7	1.6	1.3	0.8	0.7	71.0	
	会社員、会社役員、派遣・契約社員など (企業型確定拠出年金現在非加入層) (5790)	16.4	8.6	6.9	5.8	3.9	3.0	2.0	1.5	1.3	1.2	0.8	0.6	74.8	
	公務員 (845)	21.4	12.2	10.2	9.2	2.4	3.1	1.4	1.3	2.1	1.8	1.1	0.4	68.3	
	専業主婦/主夫 (1631)	16.1	9.1	6.4	6.7	3.2	3.0	1.3	1.2	0.9	0.9	0.5	0.4	76.4	

〔図 8-10〕

		掛け金が全額所得控除される	受け取る時にも税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益には税金がかかるが、非課税で再投資される	運用の対象には元本を確保する運用商品もある	転職・離職の際に積み立てた資産を持ち運ぶことができる	商品は年1回、預け替えができる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	口座は70歳まで延期できる	原則60歳まで引出しできない	積立期間は10年以上必要である	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にない	(%)
TOTAL	n=(13314)	17.2	9.4	7.8	6.1	3.6	3.3	2.1	1.6	1.4	1.2	0.8	0.6	73.9	
個人型確定拠出状況別	口座開設層 (340)	39.4	26.8	23.8	12.6	9.1	11.8	15.0	4.4	7.4	4.1	2.6	3.2	27.1	
	認知・口座非開設層 (3324)	30.0	17.7	15.4	10.6	6.3	4.7	3.6	2.3	2.6	1.9	0.9	0.9	54.0	
	非認知 (9650)	12.0	5.9	4.6	4.3	2.5	2.5	1.2	1.3	0.8	0.8	0.7	0.4	82.4	
現在保有層(金融資産保有有経験層)に限定した個人型確定拠出状況別	現在保有層 (1025)	41.3	24.4	26.2	11.9	6.7	5.4	5.2	3.2	2.6	2.0	0.9	0.9	41.5	
	保有経験層(現在非保有) (271)	29.9	20.7	19.9	11.8	6.6	5.2	3.3	3.3	3.0	2.6	0.0	1.1	56.1	
	保有未経験層(金融資産保有有経験有) (2000)	25.9	14.5	12.2	9.8	4.7	5.0	2.6	2.3	1.5	1.9	0.9	0.7	60.1	
	保有未経験層(金融資産保有有経験無) (6784)	14.4	7.3	5.1	5.5	3.4	2.9	1.4	1.4	1.3	0.9	0.7	0.5	79.2	

8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(6) 個人型確定拠出年金の最魅力点(60歳未満の者)[Q27③:単数回答]

- 個人型確定拠出年金の最魅力点は、魅力点と同様「掛け金が全額所得控除される」(12.6%)が突出。またどの属性でみても「掛け金が全額所得控除される」が最も高くなる。〔図8-11〕〔図8-12〕

〔図 8-11〕

		n=	掛け金が全額所得控除される	運用対象には元本を保証する運用商品もある	受け取る時も税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益は税金がかかるが、非課税で再投資される	商品は年1回、預け替えができる	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	口座は70歳まで延期できる	原則60歳まで引出しできない	積立期間は10年以上必要である	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(13314)	12.6	3.1	2.9	2.5	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.2	73.9	
性別	男性	(6750)	12.7	2.7	2.5	3.2	1.1	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	73.4	
	女性	(6564)	12.4	3.6	3.2	1.8	1.0	1.0	0.7	0.6	0.5	0.2	0.3	0.1	74.5	
年代別	20代	(2747)	11.5	2.4	2.0	2.2	1.3	1.1	0.8	0.7	0.3	0.5	0.5	0.2	76.4	
	30代	(3439)	14.9	3.6	2.8	2.3	1.0	1.4	0.9	0.4	0.5	0.4	0.3	0.1	71.3	
	40代	(3898)	12.2	3.2	2.6	2.6	0.9	1.0	1.0	0.5	0.6	0.4	0.3	0.2	74.4	
	50代	(3230)	11.5	3.3	4.0	2.9	0.9	0.5	0.6	0.6	0.7	0.3	0.5	0.3	74.0	
世帯年収別	100万円未満	(492)	8.1	1.8	2.0	1.2	1.2	1.6	1.8	0.6	0.6	0.8	0.2	0.2	79.7	
	～300万円未満	(1539)	9.6	2.3	2.2	2.4	1.0	1.2	0.5	0.6	0.5	0.3	0.6	0.2	78.5	
	～500万円未満	(2557)	13.6	3.3	2.7	2.0	1.4	1.0	0.9	0.5	0.7	0.5	0.5	0.4	72.5	
	～1000万円未満	(3555)	16.4	4.2	3.9	3.5	1.4	1.1	1.1	0.8	0.7	0.5	0.2	0.3	65.8	
	1000万円以上	(943)	22.7	4.8	5.2	5.7	0.7	1.3	1.6	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	55.7	
職業別	自営/自由業・農林漁業	(751)	13.2	2.7	2.1	2.8	0.9	0.3	0.5	0.9	0.4	0.5	0.5	0.1	75.0	
	会社員、会社役員、派遣・契約社員など	(6580)	13.9	3.2	3.2	3.0	1.1	1.3	1.1	0.6	0.6	0.5	0.4	0.2	71.0	
	会社員、会社役員、派遣・契約社員など (企業型確定拠出年金現在非加入層)	(5790)	12.0	3.0	2.7	2.2	1.1	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.5	0.2	74.8	
	公務員	(845)	15.7	5.0	3.1	2.8	0.9	0.7	0.6	0.2	1.1	0.6	0.7	0.2	68.3	
	専業主婦/主夫	(1631)	11.0	3.9	3.4	1.9	0.9	0.7	0.5	0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	76.4	

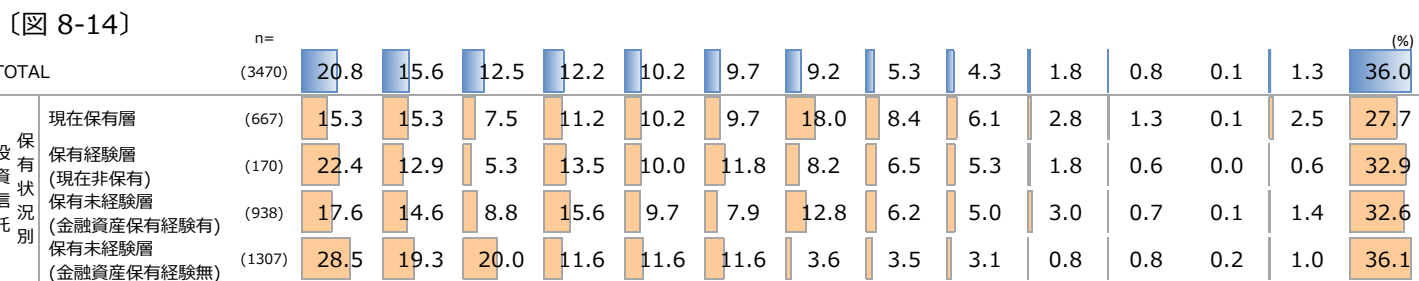
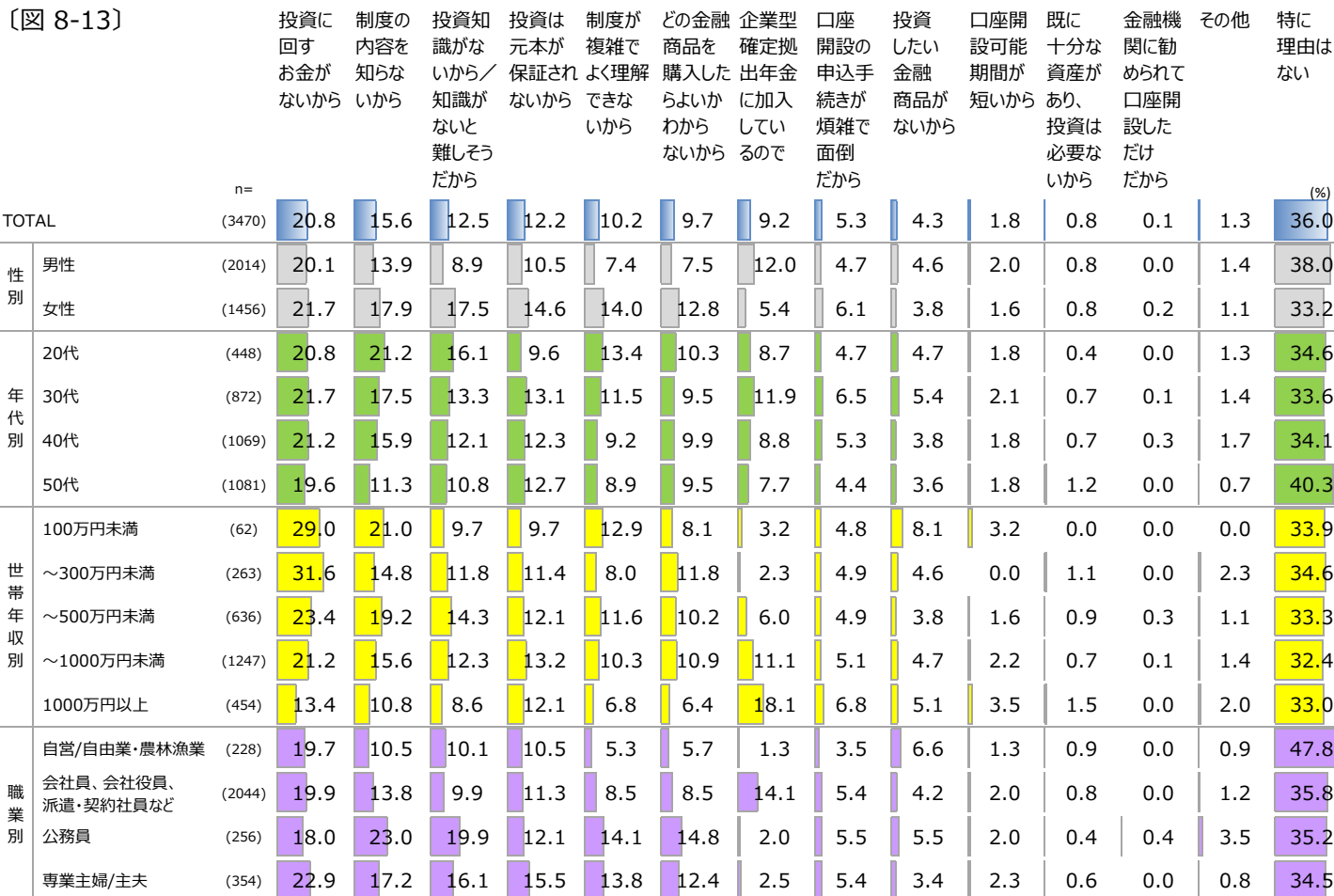
〔図 8-12〕

		n=	掛け金が全額所得控除される	運用対象には元本を保証する運用商品もある	受け取る時も税制優遇措置がある	通常、金融商品の運用益は税金がかかるが、非課税で再投資される	商品は年1回、預け替えができる	転職・離職の際にそれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	口座は70歳まで延期できる	原則60歳まで引出しできない	積立期間は10年以上必要である	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	口座管理手数料などがかかる	わからない・特にない	(%)
TOTAL		(13314)	12.6	3.1	2.9	2.5	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4	0.2	73.9	
個人型確定拠出状況別	口座開設層	(340)	31.8	4.7	10.0	8.2	3.8	2.4	5.9	1.5	2.6	1.2	0.3	0.6	27.1	
	認知・口座非開設層	(3324)	22.6	5.3	5.1	5.1	1.6	1.7	1.4	0.7	1.1	0.6	0.4	0.3	54.0	
	非認知	(9650)	8.4	2.3	1.9	1.4	0.7	0.7	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	0.1	82.4	
投資信託保有状況別(年金実施確定拠出年金に限定)	現在保有層	(1025)	30.5	5.1	6.0	9.5	1.5	1.4	1.9	0.9	1.1	0.5	0.3	0.0	41.5	
	保有経験層 (現在非保有)	(271)	18.8	5.5	5.5	7.4	1.8	0.4	0.7	1.1	1.1	0.7	0.0	0.7	56.1	
	保有未経験層 (金融資産保有経験有)	(2000)	19.3	5.2	4.5	4.3	1.6	1.5	1.1	0.7	0.5	0.9	0.4	0.2	60.1	
	保有未経験層 (金融資産保有経験無)	(6784)	10.3	2.9	2.3	1.3	0.8	0.9	0.5	0.5	0.5	0.2	0.3	0.2	79.2	

8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(7) 個人型確定拠出年金の口座開設・投資性商品未購入理由及び口座未開設理由(60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)〔Q25:重複回答〕

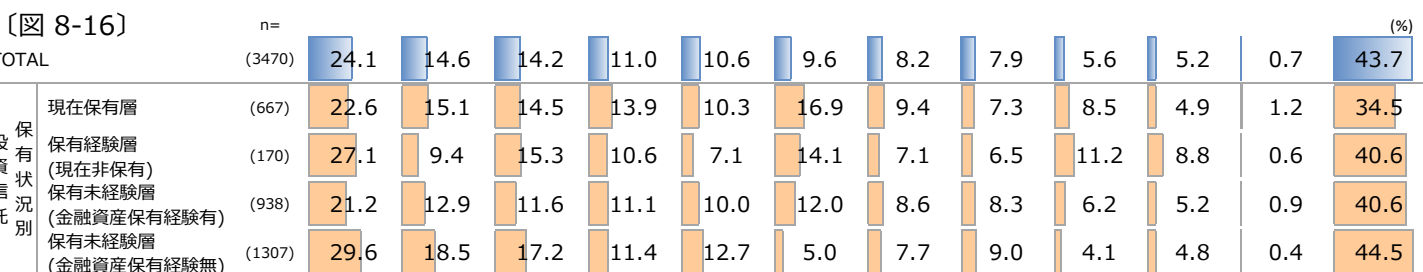
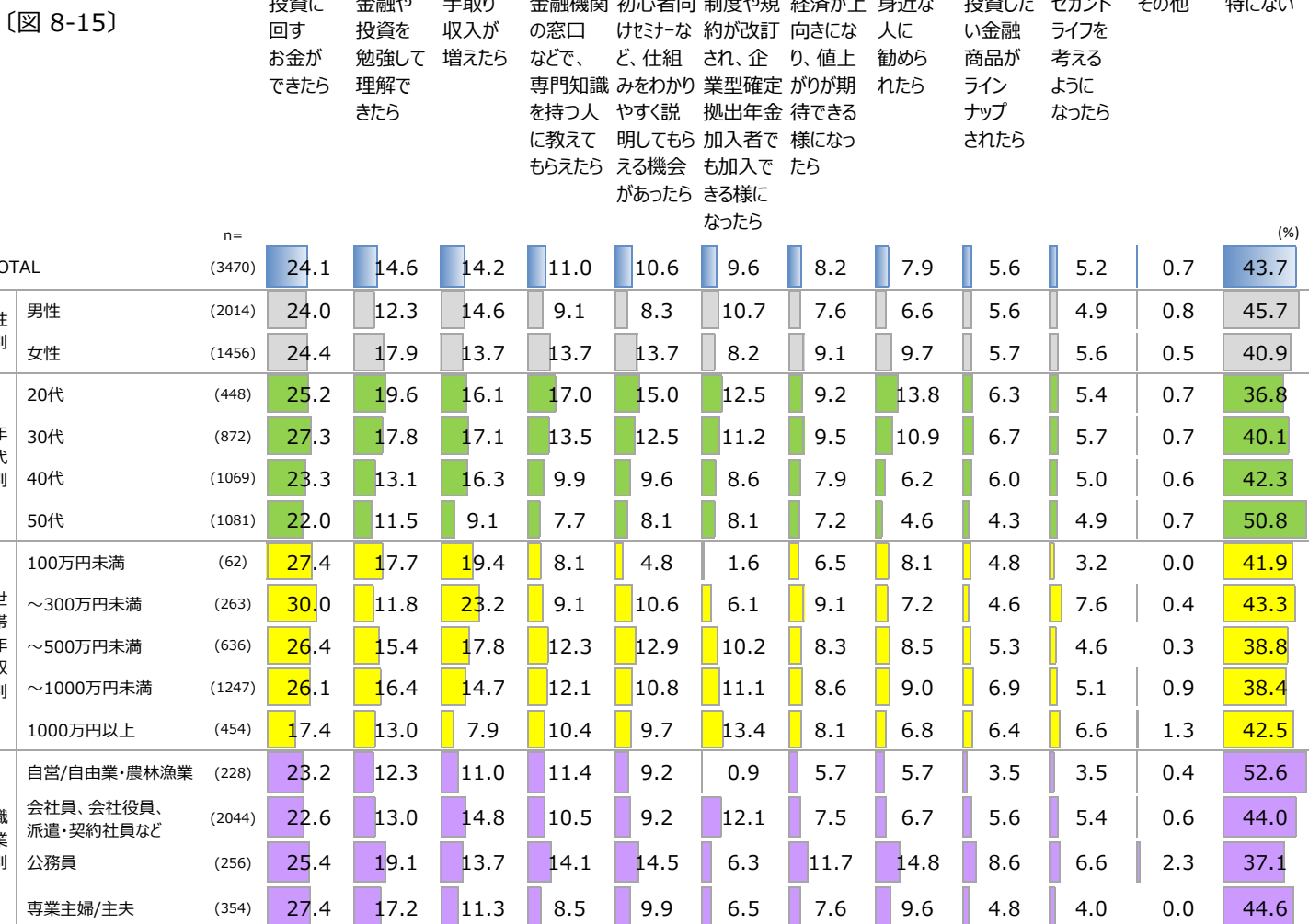
- 個人型確定拠出年金で投資性商品(定期預金・保険を除く商品)の未購入の理由や、口座未開設の理由では、「投資に回すお金がないから」(20.8%)、「制度内容を知らないから」(15.6%)が上位。
- また若年層や公務員、専業主婦／主夫で「制度内容を知らないから」「投資知識が無いから」「制度が複雑で理解できない」「どの金融商品を購入したらよいか分からない」が高く、知識や理解のなさが理由として多くなる。〔図8-13〕



8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

(8) 個人型確定拠出年金での投資性商品購入及び口座開設検討のきっかけ (60歳未満の口座開設・投資性商品未購入、口座未開設層)[Q26:重複回答]

- 個人型確定拠出年金で投資性商品(定期預金・保険を除く商品)購入や、口座開設検討のきっかけでは、「投資に回すお金ができたら」(24.1%)が最も高く、「金融や投資を勉強して理解できたら」(14.6%)、「手取り収入が増えたら」(14.2%)が上位に続く。
- 高年収層ほど「企業型加入者でも加入できる様になったら」が増加。また年収が300～500万円世帯で「初心者セミナーなどでわかりやすく説明」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」が僅かだが高くなる。公務員や専業主婦／主夫では「勉強して理解できたら」「身近な人に勧められたら」がやや高い。〔図8-15〕

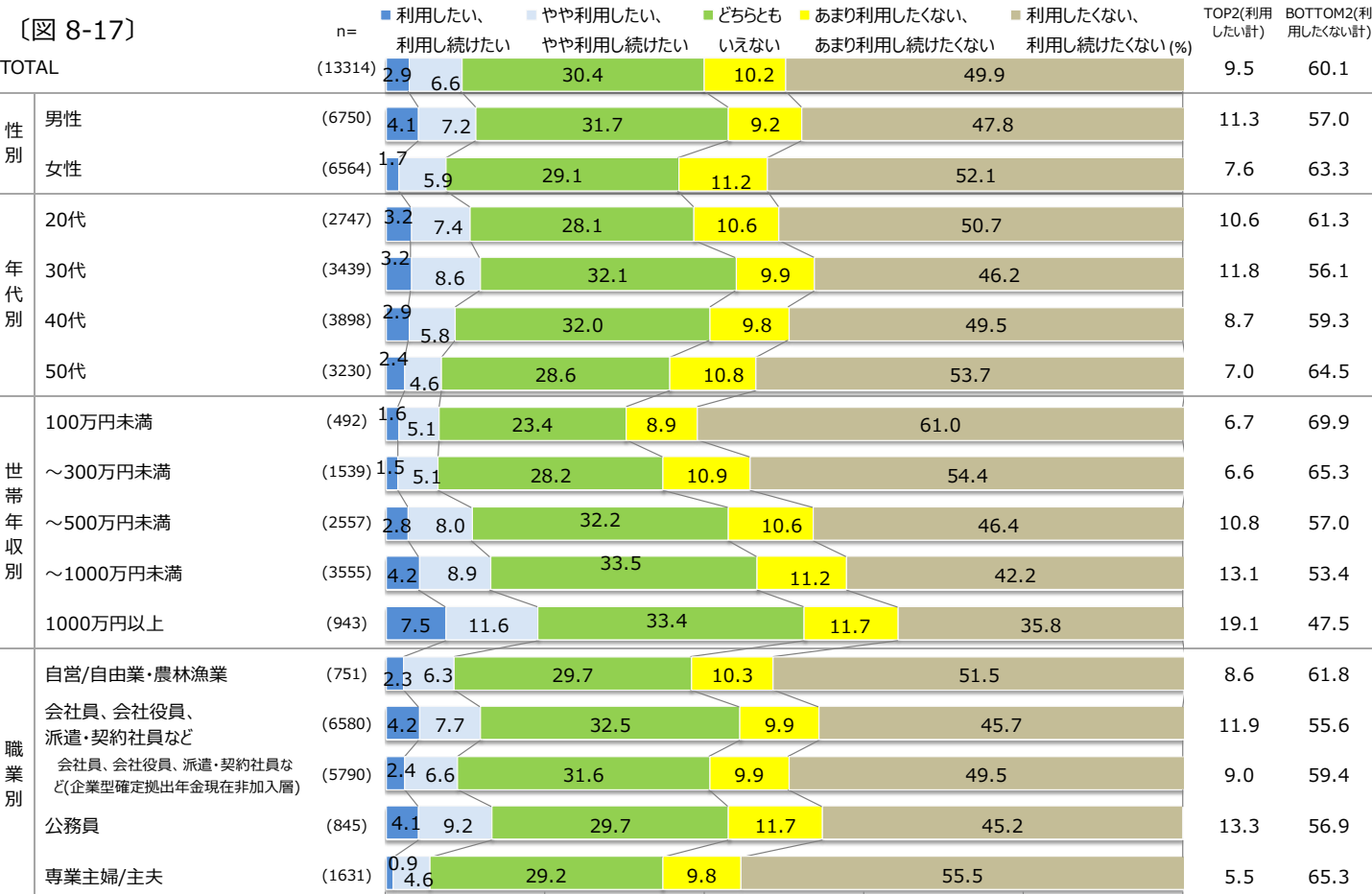


8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

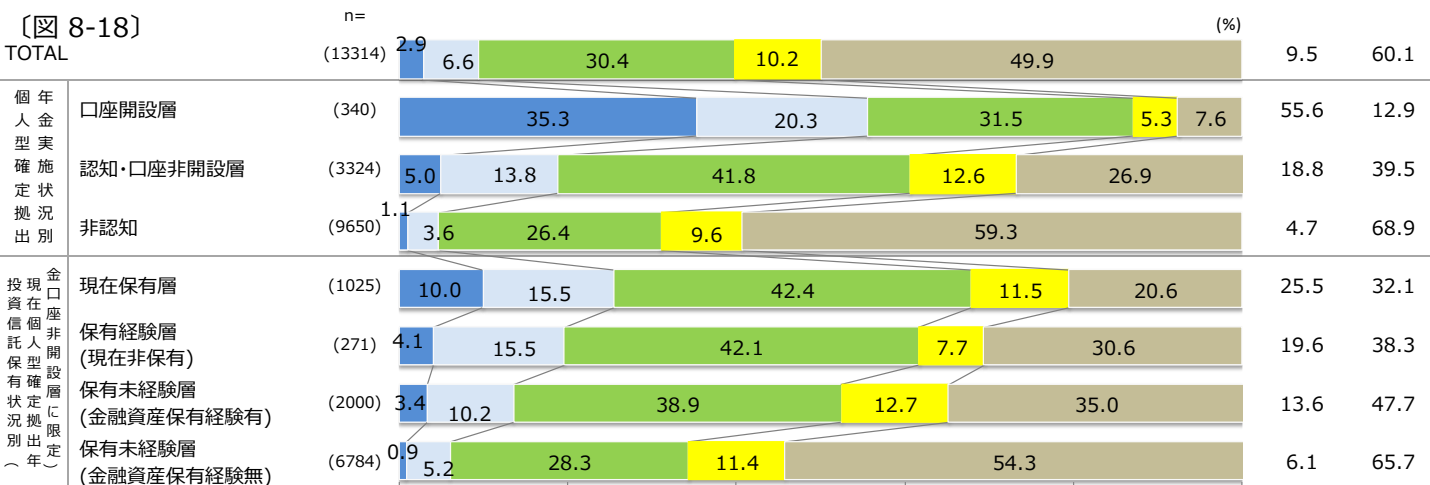
(9) 個人型確定拠出年金の今後の利用・継続利用意向(60歳未満の者) 〔Q28:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金の利用意向は、TOP2(利用したい計)が9.5%、BOTTOM2(利用したくない計)が60.1%との結果。TOP2は相対的に30代以下で高く、また高年収層ほど高くなる。〔図8-17〕
- 現在口座開設層では、TOP2は55.6%に留まる。また現在口座未開設層を投資信託保有状況別にみると、投資信託への関与が高い層ほどTOP2が高く、利用意向が強くなる傾向。〔図8-18〕

〔図 8-17〕



〔図 8-18〕

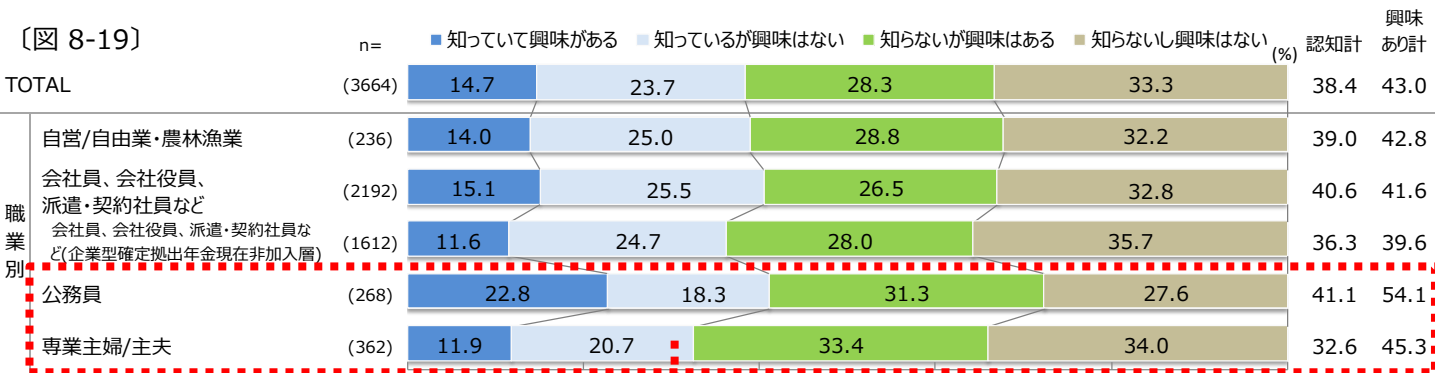


8. 個人型確定拠出年金(iDeCo)の浸透状況、今後の利用意向

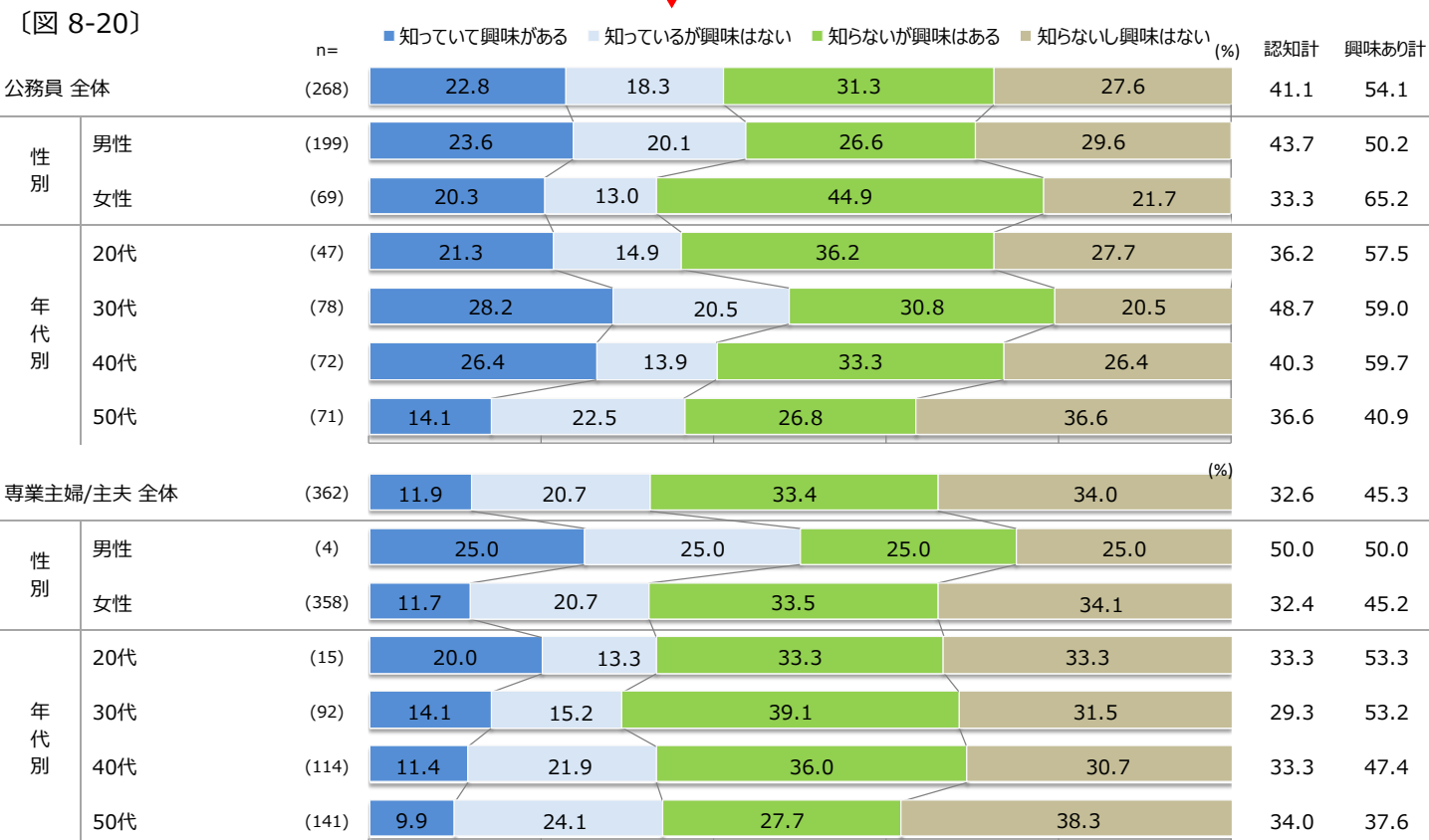
(10) 個人型確定拠出年金の利用対象者拡大に関する認知と興味度 (60歳未満の個人型確定拠出年金認知者)[Q29:単数回答]

- 60歳未満の個人型確定拠出年金認知者における、同制度利用者拡大についての認知率(認知計)は、38.4%に留まる。また利用者拡大について興味があるのは43.0%との結果。職業間で認知率に大きな差はみられないが、興味度は拡大対象の「公務員」「専業主婦/主夫」で高い。〔図8-19〕
- 「公務員」「専業主婦/主夫」を属性別に分けてみると、「専業主婦/主夫」での興味度は、若年層ほど高くなる。〔図8-20〕

〔図 8-19〕



〔図 8-20〕



9. その他項目

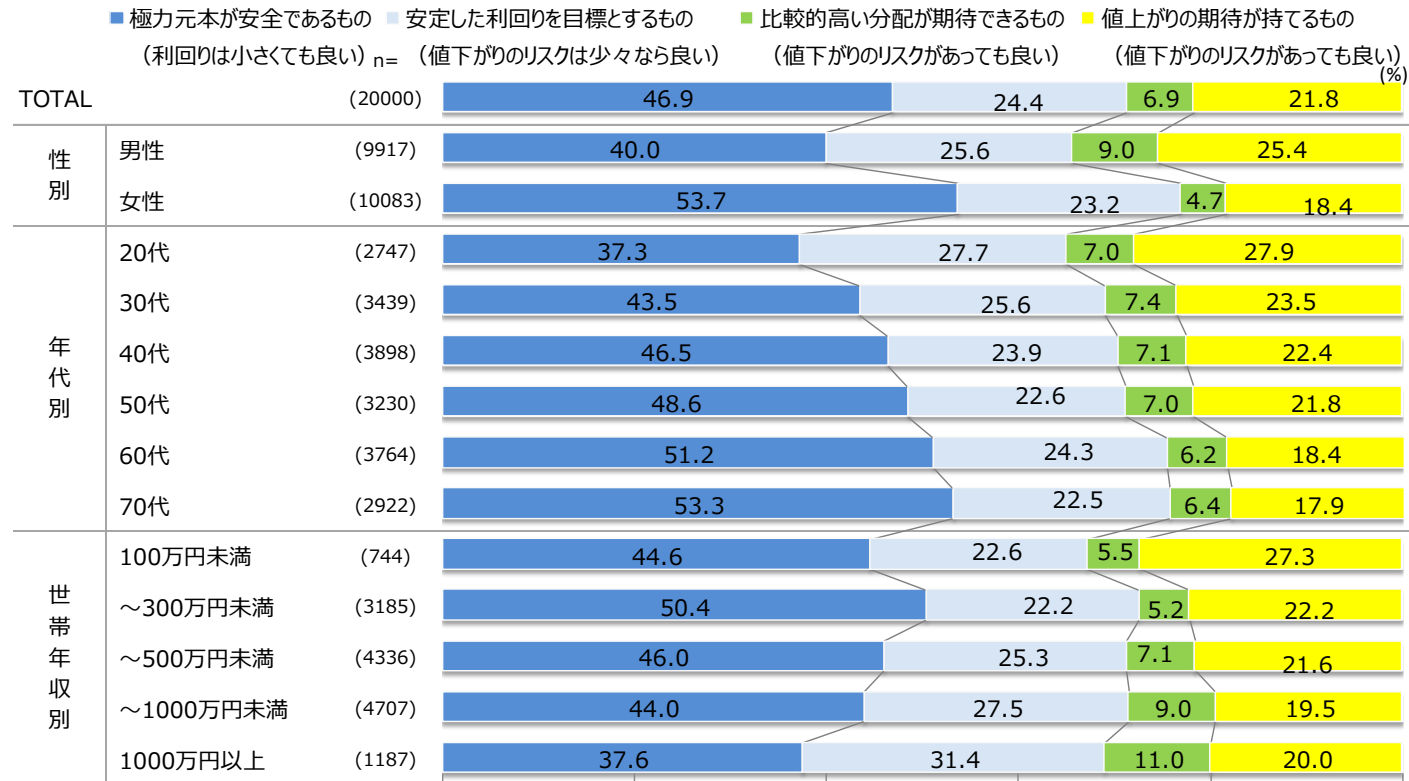


9. その他項目

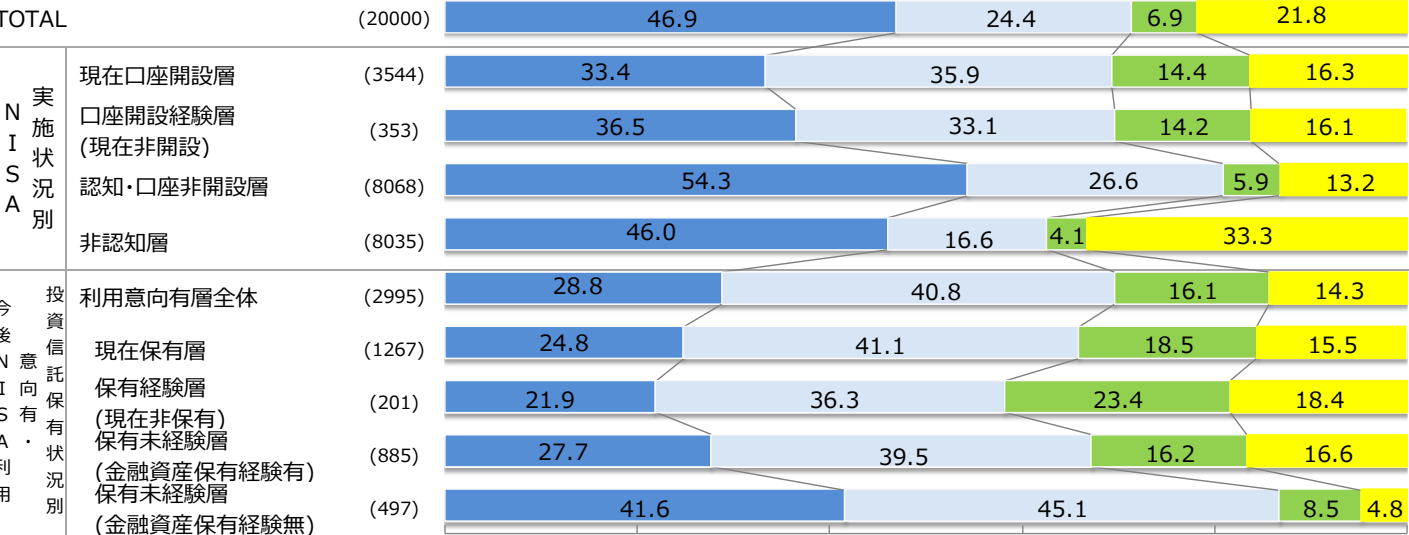
(1) NISA制度で投資する場合に、選択したい金融商品〔Q31①:単数回答〕

- NISAで投資したい商品は、「極力元本安全」商品が46.9%で最多。「極力元本安全」商品は高齢層ほど増加。世帯年収別では高年収層ほど「極力元本安全」商品は減少し、「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が増加する。〔図9-1〕
- NISA現口座開設層や、今後NISA利用意向有層では「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が高い。〔図9-2〕

〔図 9-1〕



〔図 9-2〕

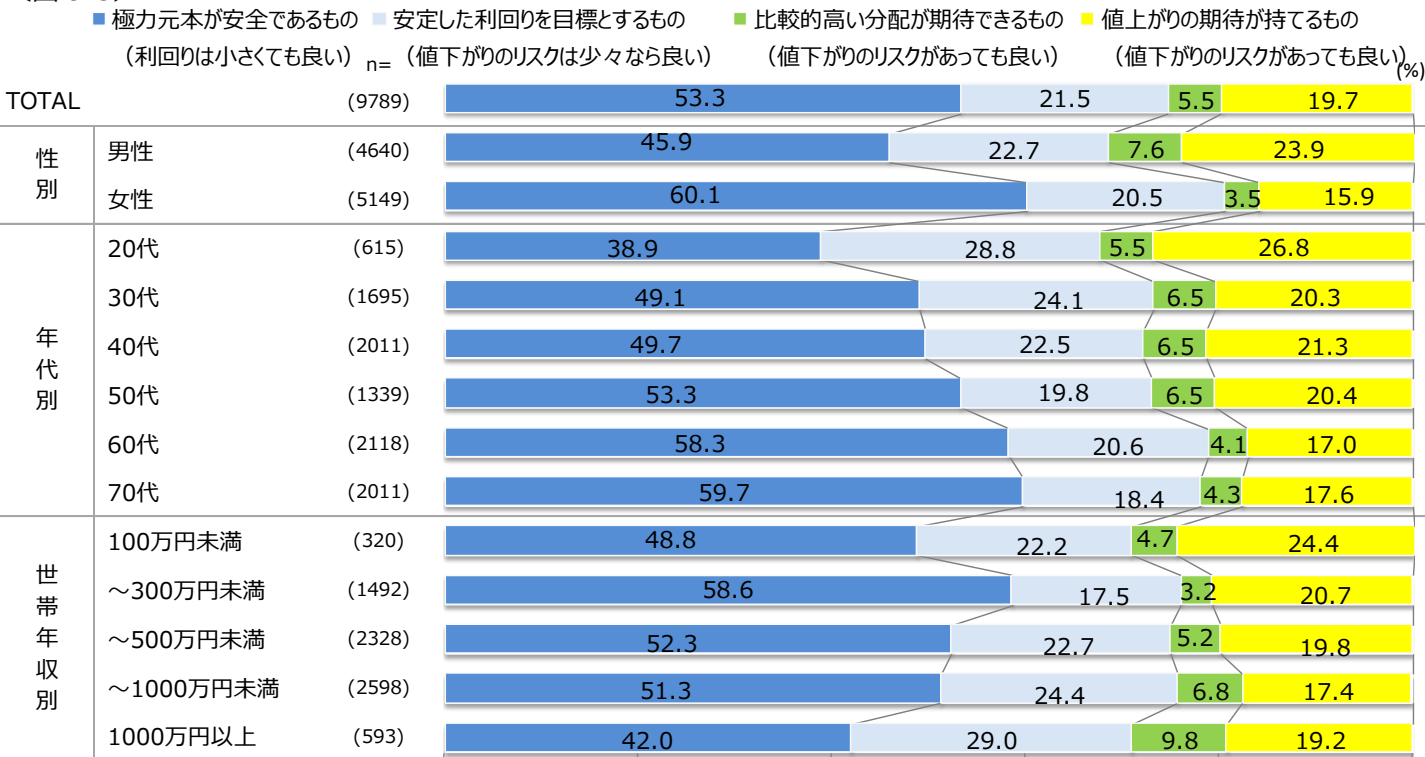


9. その他項目

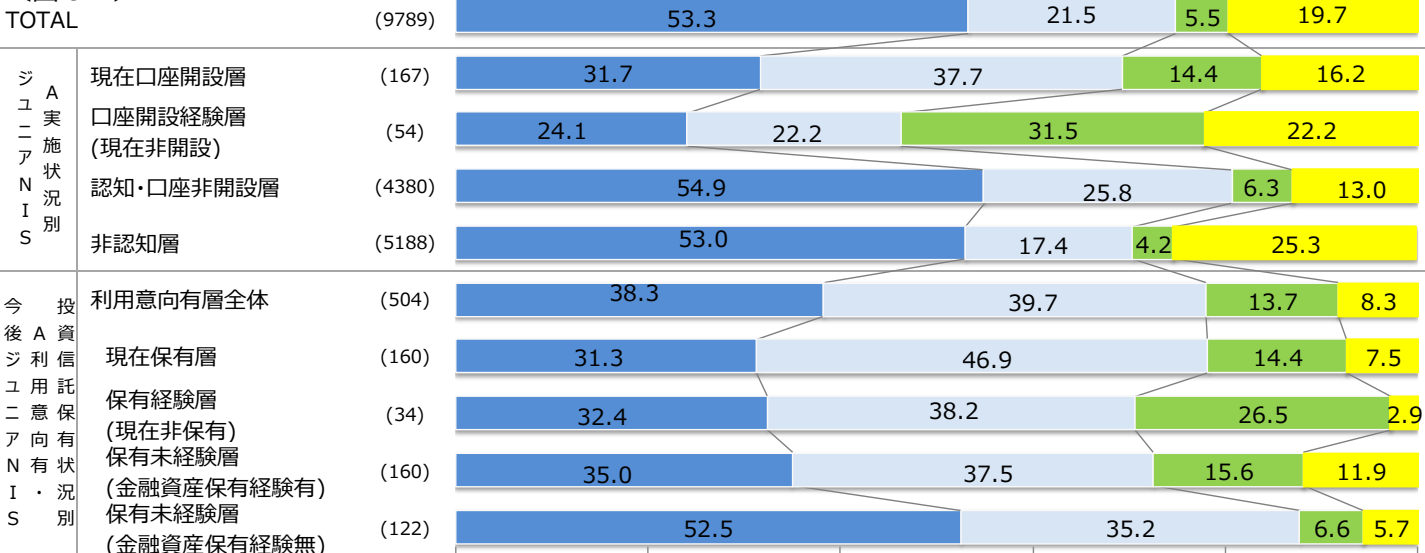
(1) ジュニアNISA制度で投資する場合に、選択したい金融商品 (20歳未満の親族がいる者)〔Q31②:単数回答〕

- ジュニアNISAで投資したい商品は、「極力元本安全」商品が53.3%で最多。NISAと同様に「極力元本安全」商品は高齢層ほど増加。また世帯年収別では高年収層ほど「極力元本安全」商品が減少し、「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が増加する。〔図9-3〕
- ジュニアNISA現口座開設層や、今後ジュニアNISA利用意向有層では「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が高い。〔図9-4〕

〔図 9-3〕



〔図 9-4〕

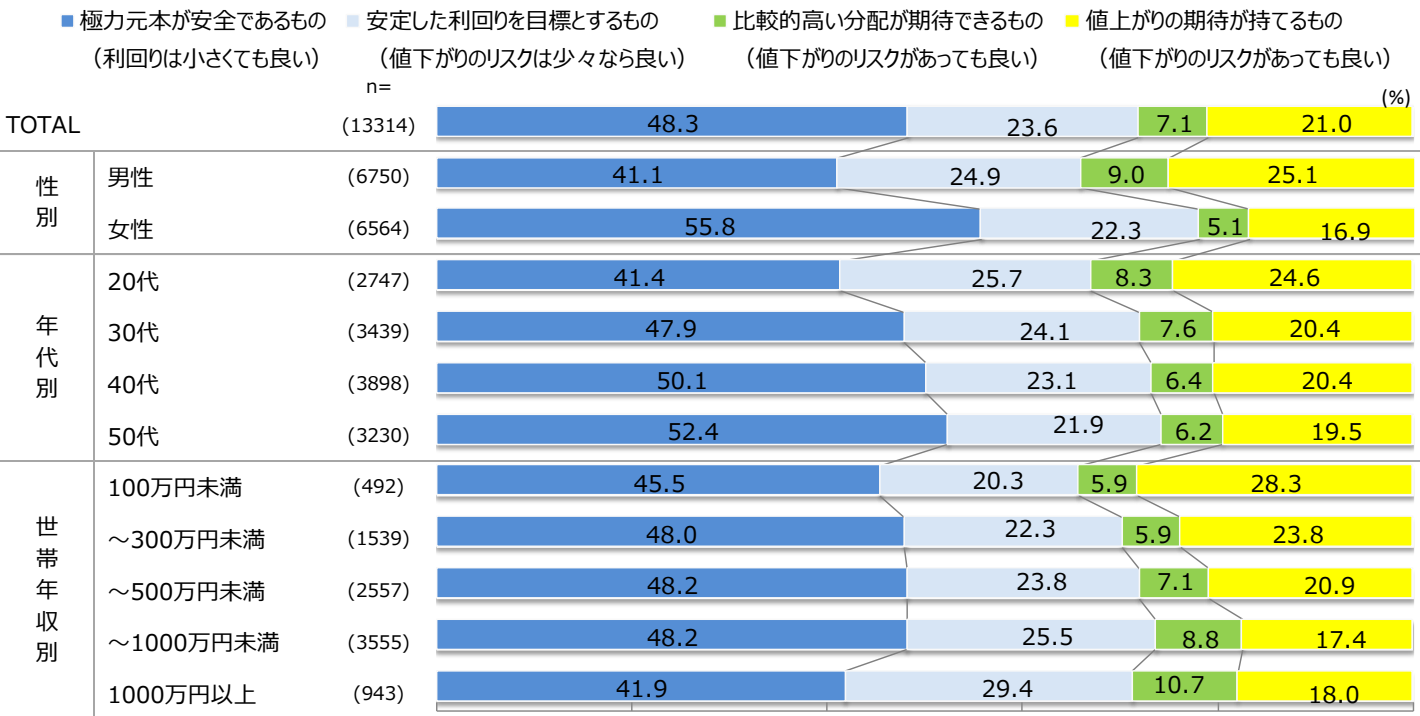


9. その他項目

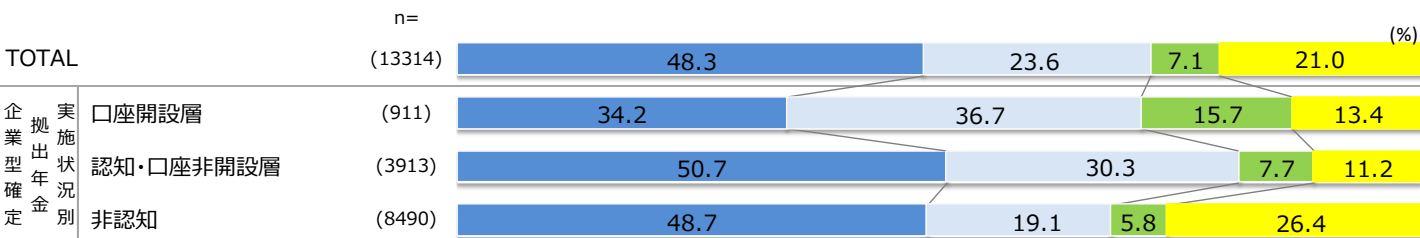
(2) 企業型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)[Q31③:単数回答]

- 企業型確定拠出年金で投資したい商品は、「極力元本安全」商品が48.3%で最多。「極力元本安全」商品は高齢層ほど増加。世帯年収別では高年収層ほど「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が増加する。〔図9-5〕
- 企業型確定拠出年金現口座開設層では「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が高い。〔図9-6〕

〔図 9-5〕



〔図 9-6〕

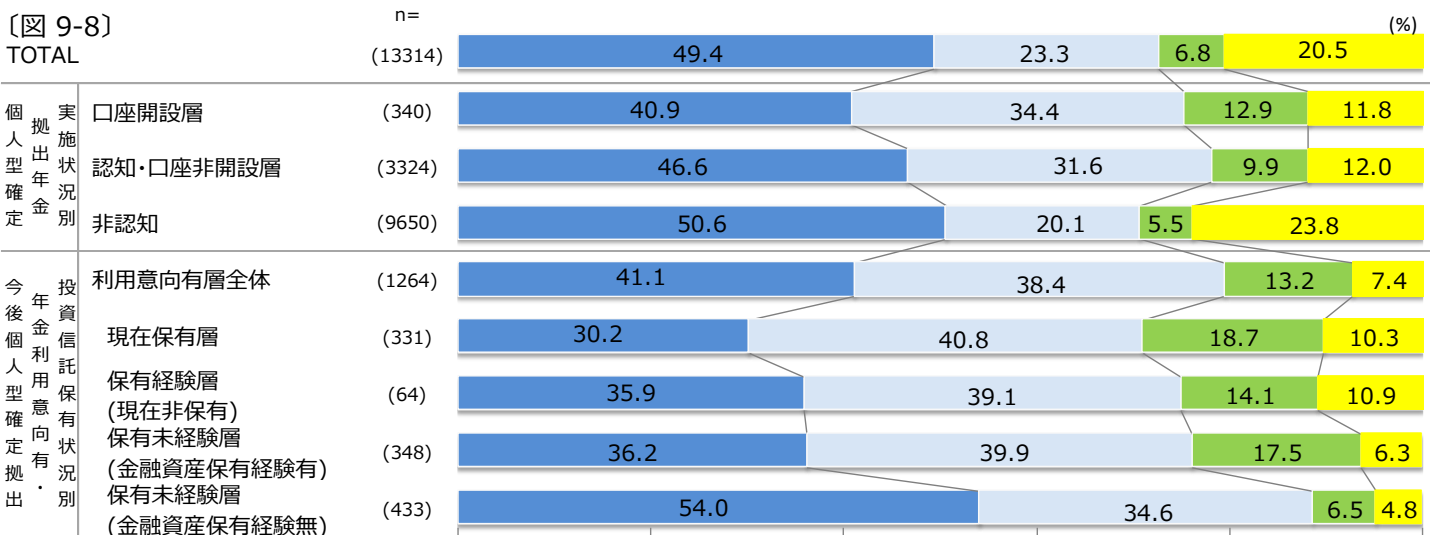
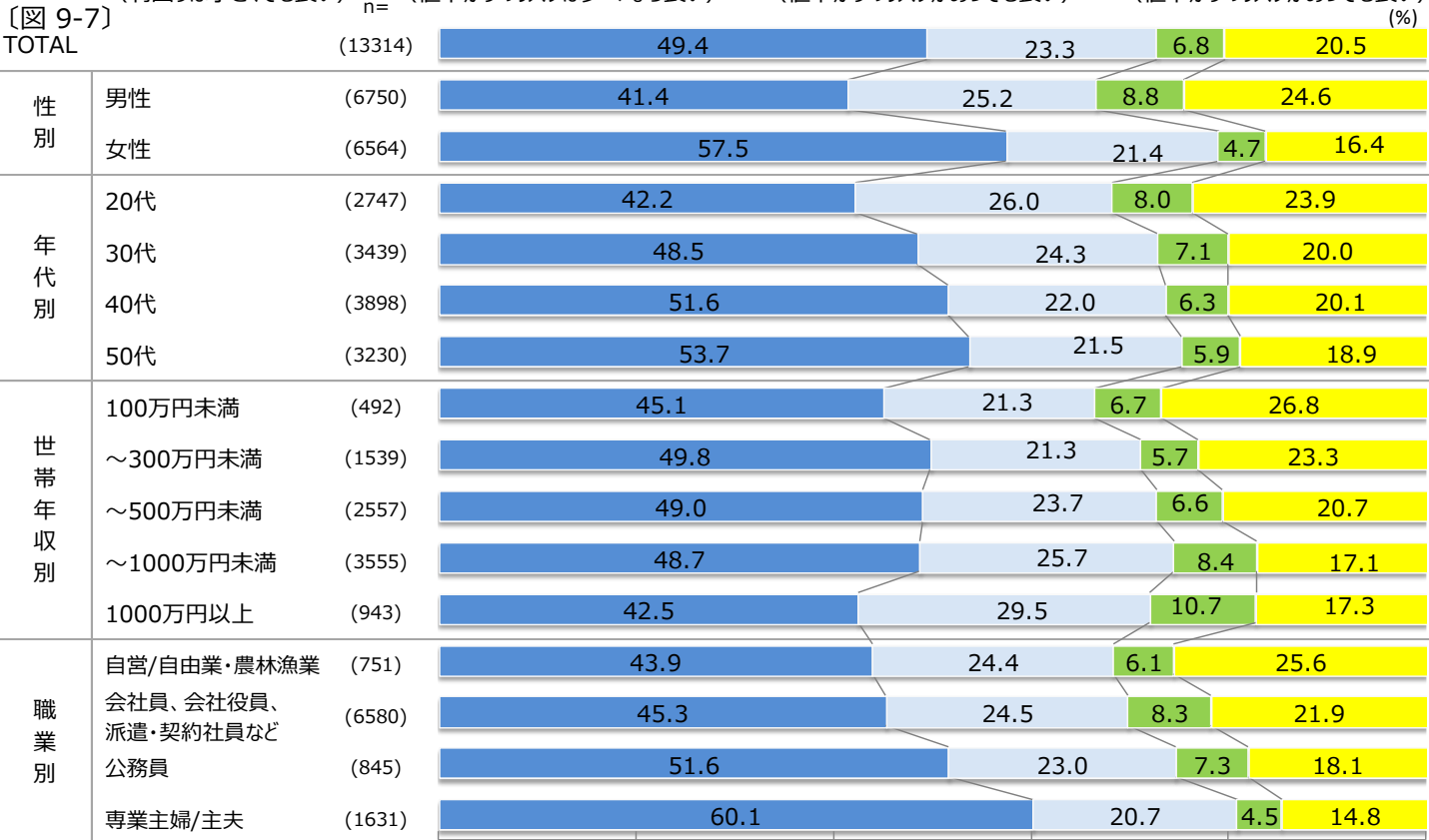


9. その他項目

(2) 個人型確定拠出年金で投資する場合に、選択したい金融商品 (60歳未満の者)〔Q31④:単数回答〕

- 個人型確定拠出年金で投資したい商品は、「極力元本安全」商品が49.4%で最多。「極力元本安全」商品は年齢が上がるほど増加、また公務員、専業主婦/主夫で半数を超え高い。〔図9-7〕
- 現口座開設層や今後利用意向有層では「安定利回り目標」「比較的高い分配期待」商品が高い。〔図9-8〕

■ 極力元本が安全であるもの (利回りは小さくても良い)
 ■ 安定した利回りを目標とするもの (値下りのリスクは少々なら良い)
 ■ 比較的高い分配が期待できるもの (値下りのリスクがあっても良い)
 ■ 値上がりの期待が持てるもの (値下りのリスクがあっても良い)



末尾添付資料：調査票



添付資料：調査票

Q1 あなたの性別を教えてください。

(回答は1つ)

1 男性

2 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

1 才

Q3 あなたの職業をお知らせください。

(回答は1つ)

1 会社員・非営利団体職員

2 会社役員・経営者

3 派遣・契約社員

4 公務員

5 自由業（医師・弁護士など）

6 農林漁業

7 自営業（農林漁業を除く）

8 パート・アルバイト・フリーター

9 専業主婦／主夫

10 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

11 無職、定年退職

12 その他の職業

Q4 あなたの親族に20歳未満の人はいますか。あてはまる人数をお答えください。

(回答は1つ)

	1 1人	2 2人	3 3人以上	4 該当する親族で、20歳未満の人はいない
1 あなたの子ども(20歳未満)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなたの孫(20歳未満)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q5 あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

(回答は1つ)

	1 100万円未満	2 100～300万円未満	3 300～500万円未満	4 500～800万円未満	5 800～1,000万円未満	6 1,000～1,500万円未満	7 1,500万円以上	8 わからない・答えたくない
1 あなたの世帯年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 あなたの個人年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 あなたはこれまでに「現金・預貯金(円)以外の金融資産」を保有したことがありますか。

(回答は1つでも)

※「現金・預貯金(円)以外の金融資産」…外貨預金、株式、債券(国債・公社債など)、投資信託、FX、ETF、J-REITなど。

土地や不動産のものは、保険は除きます。

	1 外貨 預金	2 国内 株式	3 外国 株式	4 投資 信託 (除く ET F、R EIT)	5 外国 で作 られ た投 資信 託(外 貨建 てM MFな ど外 国籍 の投 資信 託)	6 ETF	7 不動 産投 信(J -RE IT)	8 個人 向け 国債	9 国内 債券 (個人 向け 国債 除く)	10 外国 債券	11 先物、 オプション、 コモ ディ ティ 商品 (金 など)	12 FX	13 その他 具体的に:	14 この 中で 保有 した もの はな い／ 保有 して いる もの はな い	15 わか らな い・ 答え たか う
1 保有したことがある金融資産	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 現在保有している金融資産	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<Q7①聴取対象：投資信託現在保有者(Q6②=4)>

<Q7②聴取対象：ETF現在保有者(Q6②=6)>

<Q7③聴取対象：J-REIT現在保有者(Q6②=7)>

- 金融商品についてお伺いします。
- 世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
- 財形貯蓄や確定拠出年金を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 現在あなたは、以下の金融商品をどの程度の期間、保有していますか。

(回答は1つ)

※複数のファンドを保有している方は平均保有期間でお答えください。

	1 1年 未満	2 1年 以上 ～3 年未 満	3 3年 以上 ～5 年未 満	4 5年 以上 ～10 年未 満	5 10年 以上
1 投資信託	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 ETF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 不動産投信(J-REIT)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■金融商品についてお伺いします。

Q8 あなたは、以下の金融商品をどの程度ご存知ですか。

(回答は1つ)

※ 「ETF」とは、株価指数などに連動する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

※ 「不動産投信(J-REIT)」とは、不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているものを指します。

	1 名前も商品の内容も知っている	2 名前は知っているが、商品の内容はよく分からない	3 知らない
1 ETF	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 不動産投信(J-REIT)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q9①聴取対象：ETF認知者(Q8①=1-2)>

■金融商品についてお伺いします。

Q9 金融商品のETF(株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの)には以下の様な特徴があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

※ 成行(なりゆき)注文とは…売買価格を指定せず、銘柄、数量のみを指定して取引する形態のこと

※ 指値注文とは…一口当りの売買価格を指定して注文をすること

	1 元本保証はない	2 一般的な投資信託の購入価額は一日1つの基準価額であるが、ETFはその時々々の取引価格が購入価額となる	3 成行(なりゆき)・指値注文が可能	4 証券会社ごとに購入時の手数料が異なる	5 運用管理費用(信託報酬)などの手数料は、一般的な投資信託より低い	6 分散投資ができるのでリスクの低減が期待できる	7 指数に連動するので値動きがわかりやすい	8 株式より価格の変動が少ない(値動きが穏か)	9 わからない・特にない
1 あなたが知っている特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 あなたが魅力を感じた特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 あなたが最も魅力を感じた特徴(回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

添付資料：調査票

<Q10①②聴取対象：ETF保有経験者および内容認知者(Q6①=6 or Q8①=1)>

ETF(株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの)を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

Q10 ETFで不満を感じるのどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	1 元本保証がない	2 仕組みや運用実績がわかりにくい	3 専門知識がないと商品を選びにくい	4 リターン(収益)が低い	5 分配金が少ない	6 株式に比べて面白さに欠ける	7 債券に比べてリスクが高い	8 購入後の運用に関する情報が少ない	9 手続きがわずらわしい	10 積立ができない	11 最低購入価額が高い	12 種類が多く選択に迷う	13 その他	14 わからない・特になし
1 不満を感じる点 (回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 その中で特に不満を感じている点 (回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■金融商品についてお伺いします。

Q11

以下の金融商品の「ETF」の説明文を読んで、あなたは今後、どの程度購入してみたいと思いますか。また現在保有している方は、今後どの程度保有し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

<ETFの特徴>

「ETF」とは、日本の証券取引所に上場している投資信託です。取引所に上場されていることから株式と同様に成行・指値注文等が可能で、取引所の時価で売買が可能です。日経平均やTOPIXなどの指数などに連動するので値動きがわかりやすい金融商品です。投資信託の中でも運用管理費用(信託報酬)などの手数料が一般的に低くなっていることも特徴の一つです。

- ※ 成行(なりゆき)注文とは… 売買価格を指定せず、銘柄、数量のみを指定して取引する形態のこと
- ※ 指値注文とは… 一口当りの売買価格を指定して注文をすること

- 1** 購入してみたい、保有し続けたい
- 2** やや購入してみたい、やや保有し続けたい
- 3** どちらともいえない
- 4** あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない
- 5** 購入したくない、保有し続けたくない

添付資料：調査票

<Q12①聴取対象：J-REIT認知者(Q8②=1-2)>

■金融商品についてお伺いします。

Q12 金融商品の不動産投信(J-REIT)(不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの)には以下の様な特徴があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	1 元本保証がない	2 少額から不動産投資できる	3 複数の不動産に分散して投資できる	4 専門家が運用や物件の管理などを行う	5 運用益のほとんどが分配される	6 インフレになると不動産価格や賃料が上がり、REITの価格や分配金も上がるので、インフレ対策になる	7 比較的高い利回りが期待できる	8 保有する資産にはオフィスビル、住宅、商業施設、ホテル、物流施設など異なるタイプの建物を保有する複合型、総合型などがある	9 ファンドによって決算期(分配)が分散している	10 換金性・流動性が高い	11 開示されている情報が入手しやすい	12 わからない・特いない
1 あなたが知っている特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 あなたが魅力を感じた特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 あなたが最も魅力を感じた特徴(回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

<Q13①②聴取対象：J-REIT保有経験者および内容認知者(Q6①=7 or Q8②=1)>

不動産投信(J-REIT)(不動産に投資する、日本の証券取引所に上場しているもの)を保有したことがある方、内容についてご存知の方に、お伺いします。

Q13 不動産投信(J-REIT)で不満を感じるのはどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。そのうち特に不満を感じている点を1つあげてください。

	1 元本保証がない	2 仕組みや運用実績がわかりにくい	3 専門知識がないと商品を選びにくい	4 リターン(収益)が低い	5 分配金が少ない	6 株式に比べて面白さに欠ける	7 債券に比べてリスクが高い	8 購入後の運用に関する情報が少ない	9 手続きがわずらわしい	10 最低購入価額が高い	11 種類が多く選択に迷う	12 その他	13 わからない・特いない
1 不満を感じる点(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 その中で特に不満を感じている点(回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

添付資料：調査票

■金融商品についてお伺いします。

Q14

以下の金融商品の「不動産投信(J-REIT)」の説明文を読んで、あなたは今後、どの程度購入してみたいと思いますか。また現在保有している方は、今後どの程度保有し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

<不動産投信(J-REIT)の特徴>
「不動産投信(J-REIT)」とは、日本の証券取引所に上場している投資信託の一種で、不動産に投資する金融商品です。
一般的不動産とは異なり、専門家が運用を行い、少額から複数の不動産に分散して投資ができます。物件から得られた賃料など運用益のほとんどが分配される金融商品です。また不動産価格や賃料に連動して値動きするのでインフレ対策にもなると言われています。
取引所で売買されているので流動性があり実物不動産とは異なり換金しやすい商品です。

- 1 購入してみたい、保有し続けたい
- 2 やや購入してみたい、やや保有し続けたい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない
- 5 購入したくない、保有し続けたくない

■投資制度についてお伺いします。

Q15

あなたは、以下の投資に関する制度についてご存知ですか。それぞれあてはまるものをお答えください。

(回答は1つ)

- ※ NISA制度(少額投資非課税制度)とは、20歳以上を対象に2014年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。
- ※ ジュニアNISA制度(未成年者少額非課税制度)とは、2016年から始まった、投資から得られる収益に対する非課税制度です。0歳~19歳の未成年者が対象ですが、親権者が子や孫に代わって運用を管理できます。
- ※ 確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。また確定拠出年金は「企業型」と「個人型」に分かれますが、「企業型」の加入対象者は確定拠出年金を導入している企業の従業員です。

	1 名前も制度の内容も知っている	2 名前は知っているが、制度の内容はよく分からない	3 知らない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 企業型確定拠出年金	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

<Q16①聴取対象：NISA制度認知者(Q15①=1-2)>

<Q16②聴取対象：ジュニアNISA制度認知者(Q15②=1-2)>

<Q16③聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15③=1-2)>

<Q16④聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15④=1-2)>

<Q16⑤聴取対象：60歳以上の企業型確定拠出年金認知者(Q2 ≥ 60 且つ Q15③=1-2)>

<Q16⑥聴取対象：60歳以上の個人型確定拠出年金認知者(Q2 ≥ 60 且つ Q15④=1-2)>

各投資制度をご存知の方にお伺いします。

Q16 あなたは、以下の投資制度で口座を開設し、株式や投資信託などの金融商品を購入したことがありますか。それぞれあてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

	1	2	3	4	5
	口座を開設して、現在も金融商品を保有している	口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない	過去に口座を開設し金融商品を購入していたが、現在は口座を閉じている	過去に口座を開設したが、金融商品を購入することなく口座を閉じた	今までに口座を開設したことはない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 企業型確定拠出年金	<input type="radio"/>	--	--	--	<input type="radio"/>
4 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)	<input type="radio"/>	--	--	--	<input type="radio"/>
5 企業型確定拠出年金	<input type="radio"/>	--	<input type="radio"/>	--	<input type="radio"/>
6 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)	<input type="radio"/>	--	<input type="radio"/>	--	<input type="radio"/>

<Q16①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16①=1)>

<Q16②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16②=1)>

<Q16③聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60 且つ Q16③=1)>

<Q16④聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60 且つ Q16④=1)>

現在、各制度で金融商品を保有している方にお伺いします。

Q17 あなたが現在保有している金融商品を、各制度ごとにお答えください。

(回答は1つでも)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	定期預金	保険商品	株式	国内債券に主に投資する投資信託	外国債券に主に投資する投資信託	国内株式に主に投資する投資信託	外国株式に主に投資する投資信託	不動産投資信託に主に投資する投資信託(除くREIT)	様々な資産に投資する投資信託	ETF(上場株式投資信託)	REIT(不動産投資信託)	その他(上記にあてはまらないもの)	わからない・答えたくない
1 NISA制度	--	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 ジュニアNISA制度	--	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 企業型確定拠出年金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--	--	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

<Q18①/Q19①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16①=1)>

<Q18②/Q19②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品保有者(Q16②=1)>

NISA制度またはジュニアNISA制度で、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q18 あなたは現在NISA/ジュニアNISA口座で積立投資を実施していますか。

(回答は1つ)

	1 実施している	2 実施していない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

NISA制度またはジュニアNISA制度で、「口座を開設して、現在も金融商品を保有している」方にお伺いします。

Q19 あなたが、NISA/ジュニアNISAの口座を開設した金融機関を教えてください。

(回答は1つ)

	1 証券会社	2 ネット証券	3 銀行	4 信託銀行	5 信金	6 その他(上記以外の金融機関)	7 わからない・答えたくない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

：

<Q20①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品未購入者およびNISA口座未開設者(Q16①=2 Or 5)>

<Q20②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品未購入者およびジュニアNISA口座未開設者(Q16②=2 or 5)>

NISA制度またはジュニアNISA制度で、「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q20 以下の制度で、金融商品を購入していない、または口座を開設していないのはなぜですか。それぞれあてはまるものをいくつかでもお答えください。

(回答は1つでも)

	1 口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから	2 非課税期間が短いから	3 株式や投資信託以外の商品(国債、公社債など)が購入できないから	4 年間の非課税投資限度額(NISA120万円/ジュニアNISA80万円)が小さいから	5 どの商品を購入してよいかわからないから	6 経済状況など、商品購入や口座開設のタイミングを見定めているから	7 制度の内容を知らないから	8 制度が複雑でよく理解できないから	9 投資に回すお金がないから	10 既に十分な資産があり、投資は必要ないから	11 投資の知識がないから/知識がないと難しそうだから	12 金融機関に勤められて口座開設しただけだから	13 投資自体に関心がないから	14 その他 具体的に：	15 特に理由はない
1 NISA制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

<Q21①聴取対象：NISA口座開設・現在金融商品未購入者およびNISA口座未開設者(Q16①=2 or 5)>

<Q21②聴取対象：ジュニアNISA口座開設・現在金融商品未購入者およびジュニアNISA口座未開設者(Q16②=2 or 5)>

NISA制度またはジュニアNISA制度で、「口座を開設したが、まだ金融商品を購入したことはない」方、「今までに口座を開設したことはない」方にお伺いします。

Q21 あなたが、以下の制度で金融商品の購入や口座の開設を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

(回答は、くつでも)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	身近な人(家族・友人などに)勧められたら	金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらったら	初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえらる機会があったら	金融や投資を勉強して理解できた	貯蓄が一定額に達したら	手取り収入が増えたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向きになり、値上がりが期待できる様になったら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	12 その他 具体的には:	13 特にな
1 NISA制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■NISA制度/ジュニアNISA制度についてお伺いします。

Q22 下記の説明を読んで、あなたは今後NISA/ジュニアNISA制度をどの程度利用したいと思いますか。現在利用している方は、今後どの程度利用し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

<NISA制度の特徴>

NISAは、年間120万円までの株式や投資信託への投資から得られる収益(収益分配金・配当金、譲渡益)が、5年間非課税となる制度です。現在は平成35年までの期限限定の制度とされています。

<ジュニアNISA制度の特徴>

ジュニアNISAは、年間80万円までの投資から得られる収益(収益分配金・配当金、譲渡益)が、5年間非課税となる制度です。

0歳～19歳の未成年者が対象ですが、親権者が子や孫に代わって運用を管理できます。NISAとは異なり子や孫が18歳になるまで其口座内の金融資産や資金を払い出すことはできません。また口座内の金融資産や資金は、子や孫のために用いることができます。

	1	2	3	4	5
	利用したい、利用し続けたい	やや利用したい、やや利用し続けたい	どちらともいえない	あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない	利用したくない、利用し続けたくない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q23①聴取対象：NISA制度今後利用意向者(Q22①=1-2)>

<Q23②聴取対象：ジュニアNISA制度今後利用意向者(Q22②=1-2)>

NISA制度またはジュニアNISA制度を「今後利用したい、利用し続けたい」とお考えの方にお伺いします。

Q23 あなたはNISA制度またはジュニアNISA制度で、どのような投資方法を実施したいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

	1 年に1度の投資ですませたい	2 年に数回タイミングをみて分けて投資したい	3 毎月一定額を積み立て投資したい	4 わからない
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q24①聴取対象：NISA制度での今後積立投資意向者(Q23①=1-2)>

<Q24②聴取対象：ジュニアNISA制度での今後積立投資意向者(Q23②=1-2)>

NISA制度またはジュニアNISA制度で「毎月一定額を積み立て投資したい」とお考えの方にお伺いします。

Q24 あなたはNISA制度またはジュニアNISA制度で、毎月いくらずつ積み立てたいですか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

	1 2万円未満	2 4万円未満	3 6万円未満	4 8万円未満	5 8万円以上	6 1万円未満	7 2万円未満	8 4万円未満	9 6万円未満	10 6万円以上
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	--	--	--	--	--
2 ジュニアNISA制度	--	--	--	--	--	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<Q25/Q26聴取対象：60歳未満で、個人型確定拠出年金で口座開設・投資性商品未購入者および口座未開設者{Q2<60 且つ (「Q16④=4&Q17④で1か2にのみ回答」 or 「Q16④=5」)}>

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)で、「定期預金、保険商品以外の金融商品を購入していない」方、「今までに口座を開いたことはない」方にお伺いします。

Q25 個人型確定拠出年金で、金融商品を購入していない、または口座を開いていないのはなぜですか。あてはまるものをいくつかでもお答えください。

(回答は1つでも)

- 1 企業型確定拠出年金に加入しているのだから
- 2 投資は元本が保証されないから
- 3 口座開設の申込手続きが煩雑で面倒だから
- 4 口座開設可能期間が短いから
- 5 制度の内容を知らないから
- 6 制度が複雑でよく理解できないから
- 7 投資したい金融商品がないから
- 8 投資に回すお金がないから
- 9 既に十分な資産があり、投資は必要ないから
- 10 投資の知識がないから/知識がないと難しそうだから
- 11 どの金融商品を購入したらよいかわからないから
- 12 金融機関に勤められて口座開設しただけだから
- 13 その他 具体的に：

個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)で、「定期預金、保険商品以外の金融商品を購入していない」方、「今までに口座を開いたことはない」方にお伺いします。

Q26 あなたが、個人型確定拠出年金で、金融商品の購入や口座の開設を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

(回答は1つでも)

- 1 制度内容や勤務先の規約が改訂され、企業型確定拠出年金加入者でも加入することができるようになったら
- 2 身近な人(家族・友人など)に勧められたら
- 3 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら
- 4 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
- 5 金融や投資を勉強して理解できたら
- 6 投資したい金融商品がラインナップされたら
- 7 投資に回すお金ができたら
- 8 手取り収入が増えたら
- 9 経済が上向きになり、値上がり期待できるようになったら
- 10 セカンドライフを考えるようになったら
- 11 その他 具体的に：
- 12 特になし

<Q27聴取対象：個人型確定拠出年金認知者(Q15④=1-2)>

Q27 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)には以下の特徴があります。それぞれの特徴を読んで、各質問にあてはまるものを全てお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	掛金が全額所得控除される	通常、金融商品の運用益には税金(源泉分離課税20.315%)がかかるが、運用益も非課税で再投資される	受け取る時も税制優遇措置がある(一時金は「退職控除」、年金は「公的年金等控除」という控除が受けられる)	資産の運用は加入者自身で行い、受け取る額は運用成績により変動する	運用対象には元本を保証する運用商品もある	商品は年1回、預け替えができる	積立期間は10年以上必要である	転職・離職の際にこれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができる	原則60歳まで引出しできない	口座は70歳まで延期できる	口座管理手数料などがかかる	加入対象者によって掛金の上限などが異なる	わからない・特がない
1 あなたが知っている特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 あなたが魅力を感じた特徴(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 あなたが最も魅力を感じた特徴(回答は1つ)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

■個人型確定拠出年金についてお伺いします。

Q28 下記の説明を読んで、あなたは今後個人型確定拠出年金制度をどの程度利用したいと思いますか。現在利用している方は、今後どの程度利用し続けたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

<個人型確定拠出年金の特徴>

個人型確定拠出年金とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金と異なり、加入者自身が運用を行う私的年金制度です。

「掛金は全額所得控除」「運用益も非課税で再投資可能」「受け取り時の控除措置」など、様々な税制優遇措置を受けることができます。

また転職・離職の際にこれまで積み立てた資産を持ち運ぶことができます。

但し原則として60歳まで引き出しができません。また口座管理費などの手数料がかかります。

- 1 利用したい、利用し続けたい
- 2 やや利用したい、やや利用し続けたい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用したくない、あまり利用し続けたくない
- 5 利用したくない、利用し続けたくない

<Q29聴取対象：60歳未満の個人型確定拠出年金認知者(Q2<60 且つ Q15④=1-2)>

個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)をご存知の方にお伺いします。

Q29 個人型確定拠出年金の利用対象者が2017年1月から専業主婦・公務員の方にも拡大され、これにより日本に住む基本的に60歳未満のすべての人が確定拠出年金を利用できるようになります。あなたはこの改正についてご存知でしたか。またこの制度に興味がありますか。

(回答は1つ)

- 1 知っていて興味がある
- 2 知っているが興味はない
- 3 知らないが興味はある
- 4 知らないし興味はない

<Q30聴取対象：60歳未満の企業型確定拠出年金口座開設・現在金融商品保有者(Q2<60 且つ Q15③=1)>

■企業型確定拠出年金についてお伺いします。

企業型確定拠出年金で金融資産を保有している方にお伺いします。

Q30 あなたの職場は企業型確定拠出年金における、マッチング拠出制度を導入していますか。またマッチング拠出の加入者拠出をしていますか。
※マッチング拠出とは、確定拠出年金において、事業主(企業)の拠出額に上乗せする形で加入者(従業員)が拠出できる制度です。

(回答は1つ)

- 1 現在導入しており、加入者拠出もしている
- 2 現在導入しているが、加入者拠出はしていない
- 3 現在導入していない
- 4 わからない/マッチング拠出制度を知らない

■投資制度についてお伺いします。

Q31 各制度で新規投資、追加投資(増額)を考えたとした場合、あなたはどのような金融商品を選択しますか。お気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

(回答は1つ)

	1 極力元本が安全であるもの(利回りは小さくても良い)	2 安定した利回りを目指すもの(値下がりのリスクは少々なら良い)	3 比較的高い分配が期待できるもの(値下がりのリスクがあっても良い)	4 値上がりの期待が持てるもの(値下がりのリスクがあっても良い)
1 NISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ジュニアNISA制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 企業型確定拠出年金	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>